



# 伊藤音次郎日記

## 1940(昭和 15)年

文字データ作成: 一般財団法人 日本航空協会 2018(平成 30)年 6 月

\* お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。

一般財団法人日本航空協会

航空遺産継承基金事務局

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-1

電話 03-3502-1207

ファクス 03-3503-1375

電子メール [isan@aero.or.jp](mailto:isan@aero.or.jp)

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会

▲▼2ページ▲▼ 昭和十五年要記

- 一 航空局仕事ニ最善ヲツクス事
  - 二 海軍機作業ニ努力スル事
  - 三 特長アル作業ヲ発見 進ムベキ事
- (イ) プロペラ(木製可変ピッチ)ノ研究  
(ロ) 其他

大口地代十三、十二、迨一六九、八〇 川島久太郎へ滞納

▲▼3ページ▲▼ 一月

航空局仕事取ル事

▲▼4ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月1日(月)

天気晴

初日出雲ノ爲メ拝セズ 氏神ニ和子ト参拝  
午後三時頃迄般若心経観音経ヲ写ス 観音経中バニシテ宇賀佐藤來 引ツ、キ吉田重  
雄來 書クコトヲ止メル  
吉田ヨリ種々一週飛行中ノ話シヲ聞ク 土産トシテ写真ニ各乗員ノサインセルモノヲ  
貰フ  
夜食後花ナドシテ八時過ギ吉田佐藤帰ル  
夕方迄西風強シ

▲▼5ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月2日(火)

天気 曇リ後晴

六時二十五分起床 雲多シ ラジオ体操ヲ行フ  
夜八時頃迄カ、ッテツヒニ昨日カラノ観音経ヲ写シ終ル 本年ノ発展ヲ祈願シテ  
來客黒沢君、村山大工、廻間君  
夜花ヲ家内中デ遊ビ十時床ニツク  
二日ニ渡リ好日ト云ヒ得ルヨイ正月ヲナス

明日ハ仕事ノ事

▲▼6ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月3日(水)

天気 快晴

六時二十五分起床 初メテノ好晴ニ和子ト日ノ出ヲ拝シニ氏神ノ裏ニ行ク  
九時頃ヨリ家内ト醫者ニ行ク 自分ハホルモンノ注射 家内ハ六〇六ノ水銀剤ダケヲヤ  
ル 浅間神社ニ参拝  
稲毛ノ家ニヨリ春子ヲ連レテ帰宅ス  
來客 豊田君、太田、青木、兄來 其爲メ今日ハ予定ノ仕事ガ出來ナカッタノミナラズ  
腹ノ工合ガ悪イ

▲▼7ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月4日(木)

天気 快晴

昨日腹ガ空カナイ上ハ物ヲ喰ツタノデ終日腹ガシク、痛ム 九時半工場出 一同ニ非  
常時局ニ対スル認識ヲ與ヘルコト 將來ニ希望ヲ持タセル意味ノ話シヲナス 野口氏ヨリ  
工場員ニ責任感ニツキ希望ヲ述ベル  
事ム所工場、根本方進(ママ)ニツキ研究改善事項ヲ書イタモノヲ野口氏ニ渡シ自分ハス  
グ帰宅 安静ニス 兄ヨリ電話アリ 白渕ト此正午会フコトニナツテ居ルカラ來テ呉レト  
ノコトニ午後船橋ニ行ク 清平帰ル様ニ電話シタガ、マダ出発ノ報ガナイトノコトデアツ  
タ 一昨日木下ヨリ百円送ツテ呉レトノ入電アリ 今日又入電アリ 奈良原氏來場

▲▼8ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月5日(金)

天気 快晴

下腹痛ムノデ工場休ム  
原價計算調ベヲ行フ 請負ノ分ダケ出來ル 非常ニ参考ニナル。之レヲ製造部長ガヤラ  
ナイデハダメダ 最(ママ)非ヤラセル様ニスルコト  
三時頃清平來 今江氏トノ會見明日ニナツタ由

▲▼9ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月6日(土)

天気 快晴

腹工合直ラズ 船橋へ電話シテ清平ニ今日ノ會見ヲ依頼ス  
午後快通丸ヲノム 夕方ヨリ出初メ終夜下痢ス

午後不思議ニ眠氣ヲ催ス

▲▼10ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月7日(日)

天気 晴

終日在宅 下痢尚ヤマズ 正午入浴後醫者ニ行キ注射ヲナス 今日ハ少シ強イノヲヤルトノコトデアッタ 身体弱テ居ルガ割合ヒ何ントモナカッタ  
キミ君退院 帰宅ス  
今後ノ方針ナド考ヘル

▲▼11ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月8日(月)

天気 快晴後風

午後西風強クナル

八時半工場出 一通り工場ヲ見ル 金工部淋シカッタ 九時半出 清平宅ニヨリ十一時同道シテ上京 清平白渕氏へ行ク 分局ニ行キ挨拶廻リヲナス 部局長ダケ會ワズ一時出ル 弘中ニタノマレモノノ時計ヲ見ニ行ク ニケ陳列ニ出テ居タ 一ケハ百九十九円 一ケハ三百五十円デアッタ。帰途又船橋ニ立寄り四時十分帰宅 夕食後又腹痛ハゲシク下痢ス 早く床ニツイタガ眠レズ一時過ギ漸ク眠レル  
本日野口宮崎モ出社セヌ由

▲▼12ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月9日(火)

天気 晴風強

朝サンパツシテ九時過ギ出社 佐藤ヲ呼びリベットノ件ヲ聞ク 尚仕事ニツキ注意ヲ與フ 根岸一二パイピング接續悪シク長島ニ注意ス ドウモ責任感ガ薄クテ困ツタモノダ。太田ヨリ話シアリ 工場大轉カンヲ要スト思フ 其爲メニ必要ナレバ太田トテ如何ナル犠牲ニデモナルトノコトデアッタ 目下工作中ニツキ一二ヶ月待ツ様話シテ居ク 三時頃ヨリ野口氏ト懇談 事ム所ノ人事ニツキ野口氏ノ所見ヲ聞ク 一番ヨイト思ツタコトハ金工部ノ熟練工一二ヶ月遊バシテモ入レタイトノコト 太田ノ處へ申込ミアル船岡ノ件話シテ居ク

▲▼13ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月10日(水)

天気 晴

野口宮崎休

八時半出社 九時半ヨリ布施ヲ連レテ相羽ノ學校ニ行ク 途中清平宅ニヨル 昨日又會エズ今日必ズ會フ由 今江氏イクラ急(ママ)ガシイト云ツテモ少シオカシイゾ 相羽不在 高野ノ案内デ現品ヲ見ル 六十二号ガヨサソウトノコトニ明日飛行館デ會ヒタイ旨事傳テ出ル 附近デ晝食ヲナシ吉原氏訪問 三ヶ年ノ賣上ヲ書イテ貰フ 會ヲヤルコト 福前ヲケンセイヌルコトノ打合セラナシ自分ハ協會ト青年團ニ挨拶ニヨリ堀中将ニ會ヒ組合設立ノ件注文ヲ組合ヘマテ貰フコトノ考慮ヲ依頼シテ帰ル

◆▼14ページ◆▼ 昭和15(1940)年1月11日(木)

天気晴

八時過ぎ出社 佐藤上京 島田、欠 一三ノポンプヤルモノナク岡田ニ命ズ 仕事ニ対スル責任感ガ無イノニアキレル 野口來 アトヲタノミ出カケタ處へ奥山野口兩君來 佐倉ニグライダー飛行場ヲ作ルニ當リプライマリニセコンダリー一寄贈方申込ミアリ 考慮ヲ約ス

吉野町長立候補ニツキ野口氏埋立問題ト飛行場ニツキ應援寅(ママ)説ヲヤツテモヨイカヲトノコトデアッタ

上京 萱場ニ直行 無尾第二號三面圖ト仕様書ヲ貰フ 之レで見積リシテ呉レトノコトデアッタガ後チ内藤氏來 骨格ナド大分変ルノで見積ハモット圖面ガ出來テカラニシテ貰フ 一号機十四日試飛行ノコト。東日ニヨリ清水君出田君ニ會フ 和田君ニ挨拶ス。肥田木ニ持タセテヨシタ計器ヲ持ッテ帰ル 帰途吉野町長ニ會ヒ野口氏ノコトニツキ話ス

4

◆▼15ページ◆▼ 昭和15(1940)年1月12日(金)

天気晴

八時過ぎ工場出 野口出社 吉田ヨリ電話アリ 三時迄ニ東京へ出ル様トノコト 又? 川口氏來 十五日總會ニ出ラレナイ爲メ決算表ヲ野口氏ヨリ説明 諒解ヲ得 アトハ富尾氏ニ依頼スルコトトナル 讀賣時沢氏來 一寸挨拶シテ上京 清平ハ白瀧氏ヲ迎ヘニ行キ兄ト自分先キニ福西ニ行ク 三十分程話ス内白瀧氏來 同氏中々話ハシツカト上手デアッタ 借金モ株モ全部デニ二十五万円ニ圧縮出來ナイカトノコトデアッタ 福西大ニ賛意ヲ表シタ上同氏トシテハ株ヲ二十五万ニスルコト 減資ハヤメテ残りノ二十万ヲ伊藤名議(ママ)トシテ出資シテ貰フコト 借金ニ増資迄無利子据居キノコトト云フコトデアトメテ見タイトノコトデ兩者諒解ナリ清涼亭ニ行キ夕食ヲ共ニシ分レル 明 日菅谷氏ニ會見スベク電話ス 不在 明日モ上京スル由福西へ電話スル様タノンデ居ク

◆▼16ページ◆▼ 昭和15(1940)年1月13日(土)

天気晴

八時過ぎ工場出 野口一二時間出社 晝前又千葉へ行く  
菅谷氏数回連絡セシモ昨夜來 ツヒニ帰宅セズ 福西ニモ二度連絡ス 尚明日ハ福西ニ  
所用アリ会エズ 善後處置ニツキ清平福西店ニヤル  
久次郎午後一時ヨリ大坂へ帰ル 兄東京迄同行ス  
夕方注射ニ行く

夕食後七時半電話アリ上京 福西ニ行く 清平待チ居リ共ニ大塚ノ待合喜多村へ行く  
福西菅谷スデニ大分ヨツテ居タ。菅谷ハ現社ヲ更ニ二十万円以下ニシテモカマワシ。更生方  
法ハ自分で講ジテ居ル 自信ヲ持ツテ居ルトノコトデ手ガツケラレズ 更ニ福西ヨリ明  
日ヲ期シテ十一時出テ帰ル

▲▼17ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月14日(日)

天気晴

終日会社 九時頃出社

田中計器ヨリ社員來 渡辺君モ來 夕方佐藤同道シテドコカエ行く 五十円持ツテ  
野口、宮崎出社 宮崎朝夕醫者ニ通テ居ル由

一三艦攻ガソリンポンプ付キ 夕方試運転 結果ヨシ パイプ一部漏リ取替ル 辻本氏  
練習ニ來

富尾章氏監査ノ爲メ來 後兄モ來

岡田氏秋田氏同道來 工場見テ晝食セズニ帰ル

四時半頃早川氏來 木下ト共ニ鈴木館へ案内 九時頃迄ツキ合ツタガ中々帰リソウニ  
モナク木下モ、マダ居タソウナノデ先キニ帰ル  
清平四時頃福西へ電話シタガマダ帰ラヌ由

▲▼1ページ▲▼ 前年ヨリ繰越事項

二年見送テ立遅レタ發展計画ハ本年最(ママ)非共遂行スベキ事

性格ヲ強クスル事ニ心掛クベシ タ、ジイカリヲ顔ニ表ス事ヲナサザル様修養スベキ事

▲▼18ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月15日(月)

天気晴

例ニヨリ遅レ晝食後会議初マル 福西一時過ぎ來 川口氏十一時頃來 晝前千葉へ帰  
ル

決算報告ト監査役改撰ハ重任ニテ決定 減資ノ件ニツキ福西ヨリ一二週間内ニ會見出來ルカラ半減ノ株ニ対シ出資者ガアレバ交渉進メテヨイカトノコトニ全員異議ナク決定ホツトス

▲▼19ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月16日(火)

天気 晴

自宅ヨリスグ上京 清平ニヨル 九時過ぎ マダ朝食中デアッタ 兄ハ床ノ中 清平同様福西ニ行ク 來客多ク後チヲ期シテ白洲ノ方へ出シタ予算書ヲ渡シ今後ノ会见ト交渉ノ方法ニツキ考慮ヲ依頼シテ自分ハ局ニ行ク 局長ニ會フ 仕事ノ件依頼ス 両部長ニモ話シ居イテ呉レトノコトデアッタ 少々タヨリナイ  
久次郎出征ノ旗ニ藤崎大佐其他数名書イテ貰フ 東日ニ立寄ツタガ清水居ラズ 協会ニ行キ堀閣下ニモ書イテ貰フ 尚講習会ノ件材料等ノ門(ママ)題モアリ榊原氏ト相談シテ呉レトノコトデアッタ  
膠着方ト航空用語集ヲ求メ三越ニヨリ帰ル

▲▼20ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月17日(水)

天気 晴

角材料調査ニ上京

午後ヨリ局ニ行ク 榊原氏ニ會フ 材料ト講習会ノ件話シ會フ 協会へ製作許可願ヒ出スコトノ注意ヲ受ケル 局長ニ會フ器材課長ニ木下ニ會エナイコトヲ相談ス 工政課へ時々來ルカラ其時知ラセテ貰フ様ニシテハ如何トノコトニ工政課長ニモタノンデ居ク。 協会堀閣下ニモ會フ 久次郎出征ノ旗ニ書イテ貰フ 三時半航空時代ニ行キ五時ヨリトリ、亭ニテ會食 清水、松下、鷺見君ト九時頃迄話シヲ聞ク 非常ニヨカッタ

▲▼21ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月18日(木)

天気 晴

野口今日午後減資ノ手續キ其他デ千葉へ行クトノコトデ在社ノ予定ノ處福西ヨリ電話アリ 打合せタイトノコトニ午後ヨリ上京ス 宮崎來 アトタノム  
清水晝頃來 C五帰ル  
三時福西ニツク 四時過ぎ兄清平來 借金据居キ 増資ノ際株券デ返スカ、或ハ末年返金ヲ延期スルコト 弍十五万ノ株ヲ伊藤名議(ママ)ニ預リ之レニヨリ金ヲ出シテ貰フ 外第二段トシテ更ニ二十万五千円ノ株ヲ預リアト出サセル担保ニスル方針ニ決定 明日明後日中ニ菅谷ニ合せ吉田トノ交渉ヲ進メルコト 清平宅ニテ久次郎ノ入営祝賀

久次郎本人ヲ中心ニスキ焼ヲヤル  
リベットニツキ注(ママ)告ス

▲▼22ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月19日(金)

天気晴

終日在所 菅谷今日千葉デ多用 明日上京スル由 午後福西へ電話シテ貰フ様タノム  
福西へ其旨傳エル  
久次郎明日浜松入営ノ爲メ徳治東京駅迄送ル  
中央氣象台一三式完成 堪航証貰フ  
八九見積リ根岸君ニ渡ス  
印度人練習生來 局ヨリ指令ノ通り履歷書 保証人、目的ヲ書イテ出ス様話ス

▲▼23ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月20日(土)

天気晴

七時起床 十時半研究所着 山崎十一時迄待ツタガ來ラズ 内藤君ニ會ツテ出ル 鷺  
見君訪問 丁度Bニツイテヤツテ居テ呉レル處デアッタ 二月中頃ニ製作圖ヲ出シテ  
モヨイカトノコトニ三月ニ這入ッテモヨイ旨答テ居ク  
設計事務所ニ行ク途中晝食ス 肥田木又居ラズ福西ニ電話ス 今日急用デ鶴見ニ行ッ  
タノデ明日ニシテ呉レトノコトニ山崎自宅へ行ク。風引デ今日休ンダトノコト 囑託料ヲ  
拂ヒ小供ニ買ッテ來タ洋菓子ヲヤル  
マイゼノ圖面不明ノ點ヲ聞キ計算ノ件依頼ス。物待(ママ)振ッテ居タノデ若シ出來ナ  
イナラ早く返事ヲシテ貰ヒタイ 他へ依頼シナケレバナライカラトコトワツテ歸ル 五  
時帰宅

▲▼24ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月21日(日)

天気晴

七時過起床 朝食後工場ニ行キ菅谷氏ニ電話スル 今日三時頃福西へ行クトノコトデ  
アッタ 宮崎君來 布施醫院ニ行キ安元ヲ見舞注射ヲスマセ帰途菅谷氏工場前カラバ  
スニ乗ル 宅ニ寄ッテ貰フ 福西ハ明日午後二時頃ニシテ呉レトノコトデアッタ 金ノ事  
デ奔走シテ居ルラシイ。今回ノ話シノコト 仕事ト金ヲ持ッテ來ルノダカラドウダト云  
フト大變賛成シテソレナラ吉田ニ損ヲサセナケレバ全部引渡サセテモヨイトノコトデアッ  
タ 之レデ一ツノ難関ニ対スル見込ミハツイタ 吉田モ恐ラク、ソウダロウ



▲▼25ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月22日(月)

天気 晴

七時半起床 九時工場出  
角マイゼ材料調査初マル

無尾模型型來 矢野削り初メル 受取りデヤラセルコトトス

清平來 共ニ上京 清平局文部省生田等ニヤル 自分福西ニ行ク 二時着 四時頃菅  
谷來 啣

五時頃福西帰宅 菅谷ハ吉田ニ會フ必要ナシ 自分ガ引受ケルガ吉田ノ分モ先方ニ買  
ワセルコトヲ主張 借入金ニ絶対反対デアッタ。福西津江氏ノ方話シ進行 明日自分ニ  
會ツテ呉レトノコトデアッタ 菅谷ハ二三日先キト云ツテアッタ。菅谷ト三善デ水たき  
ニテ夕食ヲ共ニ帰宅 九時。

今夜八目ガサエテ眠レズ 午前三時迄週刊朝日ヲ讀ム

▲▼26ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月23日(火)

天気 晴

八時半工場出 福西ヘノ約手書キ清平宅ニヨリ昨日ノ話ヲナシ白渕ノ方聞ク 今日今  
江ガ來ルコトニナツテ居ル由ニテスグ出カケル 自分福西ニ行ク 來客アリ盆栽クラフト  
三越シニ行キ一時再ビ行ク スグ同道シテ東京會館ニ津江氏ト會フ 大キナ頭ガツルツ  
トシタ感ジノ男デアッタ 福西ハ三菱トノコトデアッタガ話シハ総資本三億位デ動カシ  
テ居ル大キナモノデ宮サマノ御声掛ケナラ何ンデモヤルトノコト 然シマツ初メニ五十万  
円位デ初メテ更ニ大キクシタイトノコトデアアル由 決(ママ)局白渕ノ話シト同ジニナル  
買収スルコト 減資セザルコトノ方針 後チ福西トハ白渕ノ方金額ノ折レ合ガツクカイ  
ナカガ分ラナイノデ話シハ續ケルコトニシテ貰フ 清平宅ニテ兄清平ノ今日ノ会見模様  
ヲ聞ク 土地ノ方モ此際キメテ貰ヒタイコト 明後日吉田氏ト白渕会見ノコト

▲▼27ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月24日(水)

天気 晴

時事 雨降ラズ電力節約石炭不足重大過ス

十時迄工場ニ居タガ二人共來ラズ 上京 清平足(ママ)ト晝食後福西ニ行ク 白渕ト  
津江ノ問題ニツキ協議 津江ノ方大キク三、五百万円デ進マセル方針ヲ取ルコト 吉田  
氏ノ方ハ土地共デ損ノナイ様ニセバ廿五万円デ丁度ヨクナルガソレタケ白渕ノ方ハ出シ  
得ルヤ否ヤ難問ニツキ津江氏ノ方急イデ見ル事トス 四時終ツテ 千円手形ヲ奈良原  
名儀(ママ)ニ直シ自分裏書キニシテ五十円利子ヲソエ二月廿六日迄延期渡ス

銀座デ弘中ニタノマレタ時計ヲ見テ東日会館へ航空學館ノ映畫ヲ見ニ行ツタガ時間ノ都合デ止メ兄ト二人デ先キニ帰ル

◆▼28ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月25日(木)

天気晴

十時工場出 船橋ニテ打合セ清平ト上京 正午一時福西ニ行ク 四時迄福西ト打合セ津江氏会见ノコト福西ニ依頼シテ清平ト出テ、夕食 映画ヲ見時間ヲツブシ八時三十六分新橋ニテ乗車 三等寢台ノ下デハ讀ミモノモ出來ズスグ眠リニツク

◆▼29ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月26日(金)

天気晴

五時起床 七時十分大坂着 地下鉄デエミ須町ニ行キ散髪ヲナシ、姉ノ天王寺町ノ新店ニ行ク 落付イタヨイ家デアッタ 晝食ノ馳走ニナリ姉二十円小遣ヲ居ク 二十円ト思ツタガ、クラブノ金ヲ少シ今月ハ使ヒスゴシテ居ルノデケンヤクス 佐渡島西店ニ土産物ヲ届ケ美津濃ニ行ク 一時十五分 二時頃迄居ル 組合ノ判ヲ貰フ マイゼ講習会ノ件佐藤先生ノ都合聞合セテ貰フコトス。大毎ニ行キ大蔵志鶴大牧ト梅田ホテルデコーヒーヲノミナガラ五時十五分前迄話シ合フ 五時十分前新大坂ホテルニ行キ井上長一、中山弘一、其他諸氏ニ會フ 四百人近イ人盛宴デアッタ 川端家トハ現大坂市會議長ヲシテ居テ小供ノ頃英祿氏トハ友達デアッタ由 井上下同席デアッタノデ色々其後ノ話シヲ聞ク 八時半終リブラ、歩イテ十時發ニ乗車ス 十一時眠リニツク

◆▼30ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月27日(土)

天気晴

七時起床 食堂ニ行ク 丁度沼津デアッタ アシタカ山ノ上ニ秀麗ナ富士ニ赤イ日ガサシテ居タ 久シ振りデ仰グヨイ富士デアッタ 初メテ大坂ヨリ上京シタ頃ノ事ヲ思ヒ出ス

新橋下車 福西ニ電話スル 津江聯絡取レナイトノコト 船橋へ電話シタラ清平迎へニ行ツタトノコトニ福西へ更ニ電話スルト同氏宅デ待ツテ居タ 小野サンニ會ヒ局ニヨリ榊原サント話シタ 両部長會議ノ爲メ福西ニ行ク 正午過ギ迄待ツタガ津江氏ドコニモ居ラズ福西ニ連絡ヲタノミ帰ル 工場出 清水Cニ試飛行中デアッタ 奈良原サンモ見エル 野口休

◆▼31ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月28日(日)

天気晴

九時宅ヲ出菅谷訪問 丁度居タ バスガ四十分オキニナツタノデ電車デ行ク。先方急イデ居ルコト、先日ノ話シデハ少シヘダタリガアルコト、出シタ金ハ出來ルダケ設備ニカケ株ノ買収ナドニハ余リ費消シタクナイ 此爲メニ国産ハ兔ニ角吉田氏ノ協力ヲ得タイ 其意味デ会见シテ貰ヒタイト云フ 同氏モ諒トシ月末苦シイノデー日カ二日ニ会见日ヲキメテホシイトノコトデアッタ 尚土地ハ会社へ買戻シ会社デ埋立願書ヲ出スコトニ承諒吉田氏モ勿論勿論異議ナシトノコトデアッタ 尚二三話シ會ヒ布施醫者ニヨリ正午工場出。野口出ズ 宮崎來テ居タガ事務所ニ居ラズ二時頃帰り仕度ヲシテ居タ 野口君ノコトヲ聞ク 連絡ナシトノコト 吉田ト関西地方へ旅行シテ居ルラシイ。立タマ、山東ニ支拂予定ヲ聞キ六日ノ収入ヲ入レテ三千円不足ダト自分ニ報告シテ三時前醫者へ行クトテ帰ル。後チ兄ガ來テ居タノデ聞クト何ニカ顔ヲ眞赤ニシテ怒ツテ帰り仕度ヲシテ居タトノコトデアッタ

夜角ノ處デ小供ノ宮参リノ会食アリ。明日白瀧氏ニ會フコトス

▲▼32ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月29日(月)

天気晴

野口晝頃出社スルカラ居テ貰ヒタイトノコトデアッタ由ナレドモ奈良原氏トノ約束アリ 九時ノバスニテ市川ニ行キ同道シテ上京 航本第二課少佐ニ會ヒ、クラブノ件ト大連行荷物運送ノ件ニツキ諒解ヲ求メ文部省ニ関口松下氏訪問 組合ノ件ヲ強調シテ一時飛行館ニ行キ晝食後二時辻井上氏ト話ス 小野氏不在 二時半丸ビル九階ニ行キ三時ヨリ白瀧氏ト會見 兄清平モ來 一日午前十時福西宅へ集マルコトニキメ其他ハ考慮シテ居イテ貰フコトトシテ四時東京會館ニ清平ト行ク 福西、津江ト會フ 津江例ノ出資者支那ニ出張中 來月中頃帰ル由 ソレ辻ハダメ 報知安信部ニ津江ノ調査ヲ依頼シ帰宅ス

▲▼33ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月30日(火)

天気晴

イクラ眠ツテモ眠レル ヤハリイクラカ、ツカレタノデアロウ 十時起床 正午工場出 野口宮崎來テ居ラズ 菅谷へ一日會見ノ件電話カケル 丁度野口広告ノ件デ來タトノコトデアッタ コ、ガ濟ンダラ工場へ出ルトノコトデアッタガツヒニ來ラズ 明日ノ約手ノ手配ナシ

午後兄ト会社株券買収問題等ニツキ協議シタガヨイ案ガ得ラズ 自分トシテハ吉田氏新出資者ニ協調ヲ奨メ善処ヲ依頼スルニトゞメ案ヲ出サヌコトニ決定ス。

萱場ヨリ武田氏來場 島來ラズ 飛行ハ明日カラトノコトヲ聞イテ現圖ト模型ヲ見テ

帰ル

夜犠牲者ノ爲メニ写経ヲナス

◆▼34ページ▲▼ 昭和15(1940)年1月31日(水)

天気晴

八時半工場出 煉炭ニツヨリナシ

野口宮崎出版社 晝前漸クソロウ 野口ニ白渕ノ方ノ会見明日吉田氏ニ話シ出來ル様菅谷会见スル意味ヲ話ス

午前十一時過ギ矢野外一名來 モビールニツキ交渉 毎月六鐘ヅ、タノム

一時頃ヨリ上京 模型ノ青写真ヲ焼カセ清水ニ來テ貰フ 日本工業組合広告ノ件話シヲ聞ク 後チ渋谷ニ鷺見氏訪問 丁度内藤氏モ來テ居タ B八ノ件内藤氏帰ツテカラ少シ話シ合ヒ帰リニ清平ニヨル 今日木下ニ會ツタ由 検査ガ陸軍ノ検査ニナルノデ工合ガ悪イトノコト

日立ハ八幡氏ニ會ツテ小翼ノ件タノンデ來タ由

◆▼35ページ▲▼ 二月

航空局急グコト

白渕氏關係急進ノコト

◆▼36ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月1日(木)

天気晴

六時半起床 定刻出 一月一杯定時間ニ出ナカッタ爲メ部長級ハ誰一人定刻ニ出テ居ルモノハナカッタ 菅谷氏ニナルベク早く出テ貰フ様電話シテ八時半工場出 自宅ニヨリ京成ニテ船橋ニヨリ兄ト同道福西へ十時半到着 清平白渕氏間モナク來 十一時五分菅谷君來 福西所要ノ爲メ外出ス 其間白渕氏ヨリ一通リ話シアリタルモ菅谷氏ハ結局軍部カラ何ヲ注文スルカラドレダケノ設備セヨトノ明確ナ話シデナケレバ金ヲ出ス人ハナカロウ(之レハ吉田ノ考ヘヲ其マヽト思ワル)トテ出資ヲ本當ニシナイラシカッタ。ガツヒニハ吉田ノ株ハ全部譲ルコト 又ハ協同モ考ヘルトテ一致セズ イヅレ明日回答スルコトトシテ白渕氏ニ時前帰ル 間モナク福西帰宅 アト又會談一時間 明日四時ヨリ清凌亭デ会见スルコトニシテ決定ヲ見ズ分レル 菅谷君ハ株ハ四分ノ一ハモトヨリ十万円位ニシテモ差支ナシトノコトヲシキリニ云テ居タガソレデ吉田氏ハ差支ナキヤト念ヲ押スト不確実デアッタ

◆▼37ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月2日(金)

天気 曇り後雨

六時半起床 定刻出社 部長級一人モ出テ居ラズ初年工モ食事中ノモノ食事前ノモノ多シ

九時半出上京 バス今月ヨリ一時間オキニナル 京成迄徒歩 十一時過ぎ局着 工政課長、器材課長面接 修理ノ件木下会見ノ結果ヲ報告 検査ヲ局ノモノデヤツテ貰フコトヲタノム 松浦氏ハ陸軍ト交渉シテ見様トノコトデアッタ 企畫課長ニ挨拶シ文部省ニ行ク 一時関口松下氏ト會見 文部省型圖面組合デ製圖スルコト差支ナシヤツテ貰ヒタイトノコトダカラ山崎氏並ニ委員会ノ諒解ヲ得ルコトス ウインチ見積書提出ノコト

午後四時上野烏錠ニテ待ツ 五時全部集マル 福西ダケツヒニ來ラズ 今日吉田ニ會ツテ白渕氏ノ話シラシタル由 君ノ意見ニマカセルト云ワレタトノコト 最モクワシクハ何ニモ云ハナカッタトノコトデアッタガ今日ハ白渕氏ニ伊藤会社ノ爲メ尽力ヲ乞フ握手仕様なドトテ更ニ要領ヲ得ズ 兄ヤ白渕氏モ今日ナニカ具体的ノ話シ聞キタイトセマツタガ語ラズ 明後日白渕氏ト菅谷二人ダケ會見シタイト菅谷ノ希望ラシク、ソノコトニス兄ヤ清平ノ同席ヲ菅谷ハキラツテ居ルト見ラレル

◆▼38ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月3日(土)

天気 曇り

定刻出 野口君ニ事傳ヲシテ九時ノバスニテ上京 十時四十分研究所着 木村氏ニ萱場トノ關係ニツキ考慮ヲ依頼 尚材料又ハ陸軍へ仕事ノコトタノム 四十分会見 内藤氏ト二十分会見 胴体線圖間モナク出來ル ヨシ 山崎氏會見約五十分 文部省型圖面作製ノ件諒解ナル 月曜日肥田木打合せノ爲メ研究所へヤルコトス マイセ計算ノ件報酬問題デニ三日考へサセテ呉レトノコト。設計事務所へ一時過ギ行 清平待ツテ居タ 二時迄居リ小林君ニハ清平ヨリ話シサセルコトニシテ京橋高野組ニ衣笠氏訪問 大坂ノ岸本五平ニ百万円スグ出ス話シアリ 火曜日會見ヲ約シテ帰ル 三越ニ盆栽ト畫ノ展覽會ヲ見六時帰宅 兄ト買テ來タモツデ會食ス

◆▼39ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月4日(日)

天気 晴

六時半起床 定刻出 二番ニテ菅谷ニ行ク 丁度白渕ト電話デ今日夕方會見打合せ中デアッタ 菅谷ニ意見ヲ聞ク。余ツタ二十五万ノ株デ工策スルコトハドウカト思フトノ

コトデアッタ。ソレハ方法ハイクラモアルダロウト話ス内來客アリ 切上ゲテ船橋ニ行キ  
以上ヲ清平ト兄ニ話シ稲毛ニ行キ注射ヲナシ十一時帰場 野口氏ニ今日迄ノアラマシ  
ヲ話シ吉田氏ニ通ジテ貰フコトス  
午後タマツタ手紙ノ返事ヲ書キマイゼ圖面ヲ見ル。プロペラ木製ノ外皮ヲステンレスデ  
ツ、ムコトヲ考ヘ試作ヲ志ス

本記事ハ五日ナリ

▲▼40ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月5日(月)

天気 晴

六時半起床 七時兄ト成田山参拜ニ行ク 十時半帰ル 注射ノ日ナレドモ行キニ立ツ  
テ居タノガ馬鹿ニツカレタノデ終日在宅 休養ス

▲▼41ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月6日(火)

天気 曇リ後雨

六時半起床 定刻出 七時四十分バスニテ菅谷ニ行ク 昨夜帰ラス由 スグ引返ス 清  
平來テ居タ 昨日四時頃菅谷白渕会见 其後清平白渕ト会见シタガ何等マトマリタ  
ル話シナク今後ヤル人ノ爲メニ吉田ニタトエ損ヲサセテモ評價ヲウント落シ国産モ安ク  
買収スル方針ヲ取りタイ旨話シタ由 白渕氏ハソレニハ関與シタクナイカラ会社内部ノ  
コトハマトマツテカラ話シヲ續ケタイト云ツタ由 同夜大坂ヘ行キ八日帰ル由 ソレ迄ニ内  
部工作シテ居イテ呉レトノコトデアッタ由 十一時野口來 兄清平自分ヨリ今日迄ノ  
経違(ママ)ニツキ話シ菅谷氏ノ意中モ聞キ吉田氏ニ相談シテ貰フコトヲ依頼ス  
一時ヨリ上京 矢野中華航空ニ連レテ行ク 新井氏不在 西川氏北京ニ帰ツタ由 福  
西ニ行キ其後ノ経過ヲ清平ト話シ四時半井上ニ行キ衣笠氏ヲ待ツ 久シ振リデタ食  
ヲ共ニシ会談 大坂ノ岸本出資ノ件仲介者中川氏ニ明日会见出來ルカ聞合セ津田沼ヘ  
電話スル由 中川氏ハ会社ニ関係セズ一定ノ報酬デヨイトノコト 要スルニブローカート  
見テヨカロウ

▲▼42ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月7日(水)

天気 曇リ

朝菅谷訪問 白渕ト会见ノ模様ヲ聞ク 結局国産ノ株ヲ安ク取ルカ或ハ会社解散迄  
行ツテ新規ニ吉田ヨリ出サセルトノコト 白渕氏ニハ身体ダケ入社ヲ乞フ意味ノ話シデ  
アツタ 今日福西ニ会フ由 船ノ件兄ヘ事傳ヲ聞ク

金工部島田、岡田休 ホトンド作業進マズ 野口宮崎今日八初メテ十時頃ソロッテ出社。  
矢野退社ノ件 文部省見積書提出ノ件決定

衣笠氏ヨリ電話アリ 三時半ヨリ四時迄三会见出來ルトノコトニ晝食後船橋ニ行キ兄  
ト共ニ上京 衣笠氏事ム所ニヨリ電気クラブニテ中川氏及神谷氏ト初会见 中川氏ハ  
將來何千万円ニテモ出來ルナラ、アトデ多少ノ訂正ハヨイカラ計畫書ヲ作ツテ出シテ貫  
ヒタイトノコト 現在ハ借金ガアツテモンナコトハカマワヌ、タ、軍部ノ仕事ガ順序ヨク  
進ム見込ガ立テバヨイトノコト 尚堀中将ヤ岡楢ノ助氏ナド少年時代ノ友人ダトノコ  
トデアッタ。明日計畫書再検討ノ爲メ清平、宅へ來ル様兄ニコトツケル

◆▼43ページ◆▼ 昭和15(1940)年2月8日(木)

天気 快晴

六時半起床 定刻出 山東九時 野口十一時頃出 宮崎休 晝前帰宅 兄、清平ト  
中川へ提出ノ書類ニツキ相談 此間作ツタ五百万円ノ予算書ニキメル。タイプヲ打チニ  
清平上京 兄船橋へ菅谷ガ來ルカモ知レヌノデ帰ル 自分モ二時工場出  
島田問題 昨日清平宅へ來タ由 任カセレバヤル意志アル由 岡田昨日結婚式ヲヤツタ  
由

◆▼44ページ◆▼ 昭和15(1940)年2月9日(金)

天気 晴

定刻出 野口千葉へ行く予定ニツキ終日工場ニ居ルベク書類ハ清平持参セルコトニシテ  
居イタガ衣笠氏ヨリ電話アリ 急グカラ最(ママ)非今日中ニ來テ貫ヒタイトノコト 十  
一時頃宮崎來 帰宅晝食後上京 途中停電アリ 三時半高野組ニツク 丁度清平ト  
一所ニナル 中川氏五時デナイト手ガ明カナイトノコトニタ食ヲ丸ノ内会館デスルコト  
ニキメ銀坐通デストップ時計ヲ見テアルク 先日山崎デ見タノハスデニ賣レテナカツタ  
丑時半六時中川來 衣笠ト四人デ食事ス 書類ヲ渡ス 十一日工場ヲ見ニ來ルコトニ  
大体キメル 然シマトマル迄ニハ後一ヶ月乃至一ヶ月半ヲ要ストノコトデアッタ  
中川氏ハ小サイ財産ナドハドウデモヨイ 將來ノ仕事ノ見透(ママ)シサエアレバヨイ 財  
産ハ權利トカ土地ナドアレバ適當ニ出來ルシ吉田氏其他ニ対シテモ相当ノコトヲシタ方  
ガヨイトノコト 福西式デアッタ

◆▼45ページ◆▼ 昭和15(1940)年2月10日(土)

天気 晴

六時半起床 宅ヨリスグ船橋警察署へ行く 九時半 中台賄ノ件 十月中頃中台ヨリ

食事者少ナクナツタ爲メ何ントカシテ呉レトノ交渉アリシモ野口不在中ニツキ帰ツテカラ相談セシメタコト 以上ノコトヲ聞取り書キヲ作製 十時半終リ清宅ニ寄ル 同道シテ帰宅 晝食後工場出 野口君出社 宮崎休 佐藤ニリベツト督促セシム。萱場無尾 試験延期ノ爲メ來ラズ 奈良原氏來場 久シ振リデ會フ 中沢氏出資ノ件ニテ會ヒタガツテ居ルトノコト 火曜日行クコトトス。野口氏菅谷君ト会見シタル由 吉田氏ハ具體的ノ話シニナル迄菅谷君ニ交渉方任セタル由

◆◆46ページ◆◆ 昭和15(1940)年2月11日(日)

天気 晴

六時半起床 七時半出社 無風デ天気晴朗 八時五分前整頓セシメ簡單ニ挨拶ヲナシ船橋太神宮ヘ行進ス 途中木ノ下宅ヘ一寸寄り注意ヲ與ヘタノデ一行ヨリ遅レ花環デ漸クオヒツク、セナカカラ汗ガ出タ 型ノ如ク宣誓迄終リ小學校ニ行ク 野口節、奥山ニ會フ 十一時ニナル 講演ヲ聞イテハオソクナルノデ失禮シ買物ヲナシテ帰宅 晝食後工場ニ行ク。二時衣笠、中川両氏來 同時ニ菅谷君來 照(ママ)介ス 菅谷君昨日福西ニ會ツタ由 会社解散説ヲ福西ニ話シタ由。ソレハマツカッタ 国産トシテハ返ツテ予防線ヲ張ラレル恐レアリト、イマシメル 明日福西ニ會ツテ呉レトノコト 承知テ分レル 中川衣笠工場ヲ見自宅ニ帰り會談 中川氏ヨリ計畫書ニ対スル注文アリ 機械購入ノ點モット確實性アル様作ル (381ページへ続く)

◆◆47ページ◆◆ 昭和15(1940)年2月12日(月)

天気 曇リ

定刻出 八時二十五分ニテ上京 福西ニ行ク 來客多ク小一時間待ツ 菅谷ト会見ノ模様聞ク 社長ト国産ノ悪口ヲサンヅ、云ツテ居テ解散説ヲ持チ出シタノデ福西トシテハ今迄ニタク菅谷君ヲヤツツケテト云ツテ居タ 要スルニ今日ニシタノハ吉田サンガシタノデ昨年來ハ国産モ社長モ何ンモサセテ居ナイデハナイカトヒドク云ツタ由 結局明後日役員會ヲ開クコトニキメテ航空局ニ行ク 榊原氏ニ會ヒ計器ノコトデ打合セ尙文部省型ノコトニツキ山崎氏ヘ部品規格ニツキ局カラ云ツテ貰フコトトス 器材課長ニ會ヒ物動ノ前川氏ニ照(ママ)介サレ申請ノ要領ヲ聞ク。生田君ニ會フ

協會ヘ行キ堀閣下ニ會フ 中川氏ノ件ヲ聞ク ヨク知ラナイラシイガ一度會ツタ時出資金ノコトハタノマレタソウダガ君ノ處トシテハ余リ進マナイ方ガヨカロウトノコトデアッタ。マイゼ小野サンニモ會フ マイゼ講習ノ件局デ反対シタトノコトデア実物ヲ見セル程度ノコトヲヤリタイトノコトデアッタ 尚二千六百年事業トシテ航空功労者ノ表章(ママ)者ヲキメル要員ヲ自分ニタノミタイトノコトデアッタ 新井三郎氏丁度來合セ同氏



モ委員ニタノムトノ内相談ヲ受ケタリ  
清平宅ニヨリ兄ニ會ヒ今後ノ打合セラナス

◆▼48ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月13日(火)

天気 雨

朝菅谷ニ電話スル 昨夜帰ラズ、クラブカラ來テ呉レトノコトデ歸テ來ル筈ニナツテ居ルトノコトデアッタガ終日待ツタガツヒニ電話ナカッタ 野口ハクラブヘ行ツテ居テヤハリ菅谷ヲ待ツテ居ルトノコトデアッタガ夕方電話アリマダ會エヌトノコト

正午ヨリ布施サンニ行ク 帰リニ表具屋(ケミ川)ニヨリ尾崎學堂ノ書ヲ額ニタノンデ、バスノ通過時間迄三十分アルノデ、向ヒ風デアッタガ歩キ出シタ 一軒屋デ漸クバスガ通ツタ ツヒニ工場迄歩ク 四十分余リカ、ツタ 夕方寒氣ガシハジメタノデ四時帰宅 スグ床ニツク 七度ニ分程アッタ

木下外練習生今日雨ノ爲メ洲崎ヘ行カズ、ドコニ泊ツタカモ分ラス 試験官西沢少佐ガブリ、シテ居タトノコトニ三時頃ヨリ徳次上京サセル 富士屋旅館ニ居ル旨夜電話アリタリ

◆▼49ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月14日(水)

天気 曇後晴

少シユックリ寢ルツモリアッタガ菅谷宅ニ居ルトノコトニ八時出カケル バス時間ガ悪イノデア京成デ行ク 菅谷国産タイヂデムキニナツテ居ルガ国産ヲ引込メルコトハ福西ガ確実ニヤル 條件ハ十万円ヲ返スコトニヨツテ確実デアルカラ新ラシイ白渕氏ノ話シデ吉田氏ト共ニヤル様吉田氏ヘ話スコトヲ云フトソレナラ分ツテ居ルカラ話ス、トノコトデアッタノデ、スグ今日中ニ會ツテ貰フ様依頼ス 其席デ吉田ニ四分ノ一ニハラシテ、カタ代リシロト云フコトハ自分トシテハ云エナイト云ツテ居タ 先日來ノ口振リトハマツタク反對ナ話シデアッタ。帰場 野口氏宮崎氏兄清平ト相談 菅谷氏ト共ニ吉田氏ニ會フコトノ手配ヲ宮崎氏ニ依頼 宮崎連絡ニ歸ツタガ吉田氏マダ歸ラヌ如シ 川口氏三時來場 白渕氏ノ件一通リ今日迄ノ経過ヲ話ス 試験場内終り松平外一名桐生着 風ソヨク帰還ハ明朝トノコト

◆▼50ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月15日(木)

天気 晴夜雨

定刻出 スグバスニテ菅谷氏訪問 途中宮崎君ニ會フ ヤハリ菅谷氏ヘ行ツテ來タガ、テンド話シニナラナイト分レル 變ニ思ヒナガラ同氏訪問 別ニ何ノコトモナカッタガ今

日ハ昨日ノ話シハ忘レタ如ク新ラシク金ヲ持ツテ乗出ソウト云フ人ナラ吉田ノ分ヲ買取ツテヤツテ貰ツテハドウカ ソレナラ責任ヲ以テ話シラツケルトノコト 又一番初メノ話シニギヤクモドリ 然ラバ株ダケ初メ出シタ十五万円デ引渡シアトノ貸金六當分其マヽニオイテ貰ヘルカ、海ノ土地モ買戻サセルカ 最モ海ノ分ニ対シテハ多少ノ利ヲ付ケルトシテト念ヲ押スト株ト貸金ノ件ハ責任ヲ以テ引受ケル 土地ノ方ハマダ一度モ話シタコトガナイカラ一應話シテ見ルトノコトデ  
(382ページへ続く)

▲▼51ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月16日(金)

天気晴

定刻工場出 朝礼後工場一巡 清平へ行ク 昨日ノ野口トノ話シヲナシ十時ノバスニテ帰場 野口來テ居タ  
佐藤出社 リベット二十三日迄ニ全部出來ルコトニナツタ由 愁眉ヲ開ク。吉田氏今日ハ杉村氏ノ葬式(午後二時)ニ行キ尚八柱カラ我孫子迄行ク筈トノコト 今夜花ノ井へ帰ツタラ野口氏会ツテ貰フ様依頼ス  
奈良原氏來  
午後二時帰宅 局提出書類(修理ノ件)サガシタガ分ラズ。写経ヲナシ阿弥陀経終ル

▲▼52ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月17日(土)

天気晴

六時半起床 定刻出社 今日ハヤ、遅レテ工場内ヲ見廻ル 板金一番ヨシ 整備第二一金木工組立ノ順 組立六一番悪イ 何十分タツテモ見廻ラナイカギリ火ニ當ツテ居ル 之レヲメモニ書イテ宇賀ニ注意ス  
十時ヨリ上京 福西ニヨリ昨日迄ノ経過ヲ話ス 尚中川ガ大正工作ノ大口ヨリ聞イタ吉田ノ計畫ナルモノ(国産伊藤ノ株ヲ集メ国産モ出シ伊藤モ出シ新ラシイ技術者ヲ入レテヤル方針)ヲ話ス 之レニヨレバ菅谷ノ解散説モ吉田ノ諒解アルモノトウナツケル  
東日ニヨリ大藏ニ會フ 奈良原氏待合ワセテ居タガ今日ハ中沢氏出テ來ナイトノコトデ芝ニ盆栽賣立会ヲ見ニ行キ帰ル 四時半 清平宅ニ行クト丁度野口君來テ居タ 吉田氏ニ會ツテ例ノニツニツキ聞イタ處、一二対シ吉田ハ自力デヤルコトハ初メノ意志ニ代リナイガヤルトシテ大改革ヲ要スル考ヘナリト

(385ページへ続く)

▲▼53ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月18日(日)

天気 晴

六時半起床 八時清平宅ニツク 共ニ白瀧氏ヲ程ヶ谷ノ自宅ニ訪フ 丁度十時 白瀧氏ニ案ノ提示ヲ乞フトアラカジメ出来テ居タノヲ見セタガ正味資産ヲ十七万円ニ見テコレカラ銀行ト岩間田山両氏ノ分三万八千円ヲ引イタモノヲ吉田、国産、伊藤、ノ三ツノ出資並ニ貸金ノ合計ニ案分シタモノヲ取前トスルコト ソレニヨルト丁度貸金モ入レテ五十万円ノ四ノ分ノ一ニシカナラナイ数字デアッタガ結局八十七万円トシタ資産ノ見方一ニアルコトデ之レヲ入レ第三者ニ見積ラセルコトニ打合セ引上ゲル 今日ノ案ハ全然菅谷君ノ案ニヒトシイモノデアッタ 菅谷君ガ吉田ニ云ツタ白瀧氏ト諒解ガ出来テ居ルトノ件ハ低ク資産ヲ見テ引渡ストノコトデアッタ由 菅谷ノ行動モ次第二吉田ト諒解アルコトガ分ツテ來ル 今日ノ白瀧ノ案ヲ書イタモノヲ借りテ帰り清平宅ニテ相談 役員会ニ六数字ヲ現サズ計算ノ方針ダケヲ示スコトニシテ役員会ヲ開クコトニキメタ方 帰宅ス

▲▼54ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月19日(月)

天気 晴後曇リ

定刻出 九時ヨリ醫者ニ行ク 十一時前帰ル 稲毛ヨリ菅谷君ニ電話デ白瀧氏カラ案ノ提案ガアッタコトヲ話シ案ハ野口君ニ渡シテ居クカラ研究シテ貰ヒタイ 其上デ至急役員会ヲ開キタイ旨述べテ居ク。帰場後野口君ニ案ヲ渡シ一通リ説明シテ居ク。帰宅 安静ニス 三時頃猿田宮原小栗來 一五式ノ件 佐藤ガ一千二百円デ一度引受ケタノダカラ千五百円以上出セナイトノコト 自分ハ式千円マデマケタガ小栗ノ話シデ千七百五十円出ス由 當方返事ハ明日トシテ分レル

▲▼55ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月20日(火)

天気 雨

終日自宅ニテ静養 頭痛ハ直ル  
十時頃清平來 午後工場ニ行キ夕方帰り野口君ニ会ツタガ野口君ハ此ノ問題ニ余リ関係シタクナイトノコトデアッタ由 昨日白瀧ノ方ハ今週中ニマトマラネバ今江ノ方ハコトワルトノコトデアッタトノコト 尚白瀧氏内部ノ人トシテ働カセテ呉レトノ希望アリタル由  
身体ハヤスンダガ頭ハカヘツテツカレタ様ダ

▲▼56ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月21日(水)

天気 晴

定刻出社 スグ菅谷ニ行ク 左ノ足ニオデキガ出來タトテ痛ソウデアッタ マダ野口ニ  
会ワナイトノコトニ臼渕ト會タ話シヲナシ案ヲ公式デア表シテ出ス 私見トシテ到底成立  
不可能ト思フガト云フト勿論出來ナイカラ役員会ニ報告シタ方ガヨイトノコトテ最近  
ニ役員会ヲ開クコトノ諒解ヲ得 尚此種ノ計画ハ中止スベキカ或ハ尚條件ニヨリ進メテモ  
ヨイカトノ問ニ対シ大ニヤツテヨイトノコトデアッタノ言質ヲ得テ九時半帰宅 野口  
氏ニ菅谷会見役員会開催諒解得タコトヲ話シ結局廿三日開ク様命ズ  
午後神戸ノ一五ノ持主來 野口ト交渉セシメ取キメヲナス  
満州ヨリC二六台 B二十台ノ注文アリ 太田ヲ呼び打合せ回答ノ骨子ヲ作ル  
兄奈良原氏來  
無尾試飛行二回 タブヲツケタ結果九十キロ時デ手バナシ出來ルトノコトデアッタ

◆▼57ページ◆▼ 昭和15(1940)年2月22日(木)

天気 晴

定刻出 工場内ノ者呼バセル 今日ハ殆ンド朝礼ニ参加ス ヨツテ毎朝出ルコトヲ説諭ス  
野口君來テカラ上京 清平宅ニヨリ清平ト上京 船橋駅ニテ宇賀ニ會フ 航空局提出  
書類訂征(ママ)ノ必要アリ 明日ニ延期ス 佐藤日本飛行學校へ一五部品取りニ行ク  
東日ニテ奈良原氏ト會ヒ共ニ北尾氏母堂ノ葬儀ニ行ク 帰途文部省ニ立寄り松下氏ニ  
會フ 組合ノ総会、材料問題等ニツキ話シ會フ 航空時代ニ寄り渡辺氏ニ會フ 同氏松  
下氏ノ提案ナリトテ組合相談役ニサレタイトノコト 近ク總會ヲヤルカラ、ソレ迄ニ手  
續キヲシテ居ク旨答へ銀坐四丁目迄歩イテ帰ル 船橋ニテ野口君ニ會フ  
萱場ヨリ模型ノ補助翼動カナイカライケナイト木村氏ニツキ返サレタトノコトデアッタ  
動カナイ様ニスルコトニナツタコトヲ木村氏ハ知ラナカッタノダロウ  
徳次夜一時帰宅 近頃ドウモヨクナイ

◆▼58ページ◆▼ 昭和15(1940)年2月23日(金)

天気 晴風

時事 夜八時頃久々田ニ火事アリ 當町デハ二十年振り

二時頃眠リニツイタガ小便近ク一時間位三起キル六時半起床 定刻出 今日兵器廠  
ノ内検査アルトノコトデアッタノデ宇賀局行キヲ止メ自分一人上京 九時四十五分ニ  
ノル 野口君途中デ會フ。清平宅ニヨル 野口電話アリ 国産三人共欠席トノコトニツ  
キ対策ヲ考へ兄国産へ行クコトニシ役員会ハヤルコトトス 清平齋藤機械ト設計事ム所文  
部省形急ガセニヤル 自分萱場ニ行ク 社長仙台台へ行き不在 武田、松井両氏ニ會フ  
十二月二十二日補助翼固定ニスルコトニキメタ事ヲ話ス ヤハリ動ク様ニシテ呉レトノコ  
トニ其圖面ガ二時來ルトノコトニ待ツタガ來ラズ 送ッテ貰フコトトシテ、マイゼ特種材

料有ルモノハ譲ツテ貰フコトニキメ中沢氏ニ行ク 福西宅へ行くコトニキメ局ニ行キ工政課  
村上氏ト会ヒ組合千葉県ヲ経ズ商工省直カツトスルコトニキメ局ノ指令ヲ貰対策シテ  
貰フ 福西ニ行キ中沢氏奈良原氏ト共ニ中沢氏招会(ママ) 同氏住宅建築ノ件  
兄ニ清平宅デ国産明日皆來ルコトニナツタト聞ク 福西へ又電話シテ最(ママ)非來ル様  
妻君ニ頼ム

▲▼59ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月24日(土)

天気 晴温

六時半起床 定刻出 九時半野口來 山東同ジク 兵器廠ノ仕事検査ノ結果ノ手配  
野口ノ來ル前命ジテ居ク 野口ヨリ更ニ指令ス 京都ノ五台ノ件ニツキ廻間協会ニ行ク  
清平、兄、章、菅谷、宮崎、岡田、川口、留雄ノ順ニ來着 福西來ラズ 十一時半ヨリ  
一月分報告 白渕ノ件兄ヨリ経過ヲ話シ菅谷会見ノ模様ト同氏ノ考ヘヲ述ベル コヽニ  
兄ト菅谷トノ見解ニ相違ノアルコトガ明カトナリ色々協議ノ末明晩川口岡田両氏白  
渕氏ト會見スルコトトナル 終ツテ應召者ト入営者ニ対スル手當ノ件 結局入営者モ事  
変中ハ應召者ト同様ニ見ルコト 手當ノ額ニツイテハ社長総務ニ一任ノコトニテキマル  
満州空務協会マダ見積リ出サズ 最(ママ)非出サセルコトニ野口ニ命ズ 明日休ムカラ  
帰ツテ書クトテ書類ヲ用意シテ帰ル  
クラブ栗野應召送別会 島付デ今夕行ク 自分欠席ス

▲▼60ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月25日(日)

天気 晴後雨

氣持ノヨイ天気デアッタ 八時半起床 九時半工場出  
今日ハ野口、宮崎、山東休 佐藤上京 宇賀千葉へ行ツタ由 マイゼ材料調べヲ行フ  
日立ヨリ板金作業アリ來テ呉レトノコトニ午後長島ヤル 奥山君ヨリミリーリンク仕事ア  
リトノコトニ明日島田ヤルコトヲ約ス  
明日ノ結果ニヨリ白渕氏ト川口、岡田、兄今日午後三時ヨリ会見ノ筈  
組合委任状判ヲ貰フ爲メ大坂へ送ル

▲▼61ページ▲▼ 昭和15(1940)年2月26日(月)

天気 晴風

定刻出 清平ヲ協会ト日立へ 廻間ヲ協会ト局へ 角、板買ヒニ、宇賀千葉縣庁ヘソ  
レヽヽ出ス

野口出社 二階ニテ以上ヲ報告シ今朝清平カラ昨日白渕氏ト川口岡田会見ノ報告ヲ

話ス 今夕川口氏吉田ニ会フベク其前ニ菅谷ト野口ニ会ヒタイ由  
佐藤支部へ行ク様事傳ル。工場維持ニツキ現業員デハ一万円ノ賣上生産出來ナイコト  
会社トシテハ一万五千元以上ノ賣上ヲセネバ黒字ニナラナイ事、小學卒業生採用ニツ  
キ意見ヲ述ベル

午前中マイゼ材料調べ 正午ヨリ醫者ニ行ク 二時半帰ル 宮崎來社 株主印鑑ナド  
調査シテ居タ 兄ガ來宅トノコトニ帰宅 昨日ノ話シヲ聞ク

◆◆62ページ◆◆ 昭和15(1940)年2月27日(火)

天気晴

終日在社 朝八時起床散髪 十時出社

セロファン防湿函ローラーメタル設計ヲナス

清平ノ電話ニヨレバ吉原帰場 弘中明日頃上京ノ由 日立六今度ノ分ハ他へ注文出シタ  
ガアト局ノ三式三台バカリアルカラソレヲヤツテハドウカトノコトデアツタガ検査ノ都合  
上四月カラ初メタラトノコトデアツタ由。協会ハ此度ダケ六百円 以後ハ六百五十円  
ト決定シタル由 福田ヲ訪ヒ合セアリ全額会員へ右ノ旨通知スルコト

山ノ内君ヨリ電話アリA二三台ホシイトノコト 明日清平ヲヤルコトトス

野口ヨリ昨日川口氏ト會見ノ模様報告アリ 現状將來ノ見透(ママ)シニツキ聞カレタ  
由

今日八頭ノ工合悪シク早ク床ニ入ル

◆◆63ページ◆◆ 昭和15(1940)年2月28日(水)

天気晴

六時半起床 定刻出 十時半頃野口來 昨夜終車迄吉田ト話シタガ金ヲ出サナイ

今日ノ支拂ヒ六ツ間敷カモ知レヌトノコト 今カラ又行クガ支拂一日延バシテ居キタイ  
トノコトニ山東ヲ呼び銀行ノ手續キ上明日ニナルカモ知レヌトノ理由デ延期サセル 清  
平ニ電話シ協会ノ件 山ノ内會見ノ件 山崎解決ノ件(マイゼ計算スルカシナイカ) 局  
照明賞ヒニ行ク件等ニ上京サセル。齋藤機械ノ五百円ノ内設計料五十円 外ニ五十円  
中貸シトシテ百円引キ清平貸四百円山東ニ渡ス 廻間文部省ヨリトラック運搬シ來。  
夜富山へ出発 五十円返出ス

終日防湿函金具設計

午後野口ヨリ電話アリ 一日役員會ノ有無川口氏ニ連絡取レズ工場ヨリ自宅ノ方へ聞  
イテ呉レトノコト 尚金ノ方マダ話マトマラズ宮崎ト相談中トノコト 川口氏不在 夜オ  
ソクナルトノコトニ川口氏ノ連絡ヲ船橋ノ兄へ電話デタノム

◆▼64ページ◆▼ 昭和15(1940)年2月29日(木)

天気 晴

定刻出社 清平へ電話シテ野口宅へ聞カセル 吉田出サズ 宮崎他ヨリ一時借りシテ五千円間ニ合セル由 野口銀行ニヨリ十時迄ニ出ルトノコト 午前中防湿函ノ金具九分通り終ル 現場へ出ス 吉田出サズ 奈良原氏ノ分ダケ意地ガ立タナイカラトテソレダケ小切手ヲ寄コス 午後奈良原氏來 九八ヨリ受取り現金ニシテ渡ス。三時頃宮崎來 二階へ呼び労ヲネギラウ 一時借りデニ週間内ニ返ス約束トノコト

四時バスニ乗り遅レ徒歩 京成ニテ上京 五時半二十五分遅レテ坂東氏主催後藤勇吉君ノ十三回忌 四年目ニ一回 三回目ノ会ニ列ス(Aワン) 食後思出話シアリ自分モ進メラレテ秩父ノ宮殿下台臨ノ時ノ話シヲナス メヅラシイ人モ大分見エタ

◆▼65ページ◆▼ 三月

白濁関係進行ノコト

作業ニ対シ工員充実策ヲ取ルコト

◆▼66ページ◆▼ 昭和15(1940)年3月1日(金)

天気 雪

六時十分起床 定刻出 興亜奉公日ニアタリ定刻出勤者少ナシ 仕事ノ有望ナルコトヲ話シ工員募集ニツキ各員協力 一人一人主義デ人ヲ集メルコトヲ話ス

定刻ニ遅レ十二時二十分漸ク役員会ソロウ 留雄氏関西ニアリ福西熊谷ニ地慎(ママ)祭アリトテ欠席 岡田川口両氏ヨリ白濁氏ト会见模様ノ報告アリ 川口氏ノ見解トシテ話シヲ進メルコトガヨカロウト思フトノコトニ自分ヨリ菅谷、章氏、野口氏ニ順次意見ヲ聞ク 皆同意サレタノデ吉田氏ノ意見ヲ聞爲メ吉田氏ト会见ノ人ヲハカル 結局川口、菅谷、岡田即時行クコトニナル 野口一バスオクレテ行ク 四時頃野口ヨリ電話アリ 吉田モ話シ進メルコトニ同意 回答ハ川口氏ヨリ白濁ニナシ今後ノ交渉要員ハ川口氏ガ任命スルコトニキマリタリトノコト

明日弘中來ルニツキ時計ヲ買ツテヤルノニ会社金ナイニツキ自分ノ国防貯金ヲ出シテ使ツテ居クコト 満州ノ注文決定ノ上ハ会社負担ノコトノ諒解ヲ得清平ニ買ヒニヤル

◆▼67ページ◆▼ 昭和15(1940)年3月2日(土)

天気 曇リ後晴

川口氏ノ話シ清平へ朝電話スル 午前九時半清平來 午前中マイゼ材料調査 正午過ギ弘中吉原來場 弘中B二10C二6機納期ニツキ相談ヲ受ケ出來ルダケ急グコトニ大体B二三ヶ月間 C二四ヶ月間ニ仕上ゲルコトニス 金額ハ弘中帰滿後知ラセテ呉レル(ママ)コトトス 大体見積書ノ通りノ金額ニナレバ内容ノ入レ替リハ弘中適当ニキメルコトニ諒解ス 無尾ノ試験ヲ見テ吉原ノ工場へ行ク 清平夜帝国ホテルへ弘中訪問 時計持参ノコトニキメル  
少年團B二完成 明朝六時發自動車デ持参ノコトナル

▲▼68ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月3日(日)

天気 晴

七時起床 朝食後角ヲ呼ビC二製作ノ件協議ス 九時四十五分ノ自動車ニテ出發 清平同道平塚ニ行ク 白洲ハ明日会ヒタイトノコトノ由 一時日本航空工業着 立川ヨリ福井中佐來社 検査中ノ由ニテ一時間程待チ玉木ニ會フ TKノ尾翼一部ヲヤツテ貫ヒタイトノコト 毎月五台分位入ル由 丁度ヨイ仕事ナノデ検査官ノ諒解ガツイタラヤルコトニキメル事ニ六月一杯迄滿州行ノグライダー一杯ナノデ、ソレ迄ニ準備シテ八九月頃カラ製品ノ出ル様ニトノコト 丁度願タリカナツタリデアッタ マイゼ用鋼板ヲタノミ四時十二分發ニテ帰宅 上野ヨリ福西へ電話シタガ不在 妻君ニ一寸話シテ七時半帰宅  
今日ノオヒナ様ニスシガ出來テ居タ 上野デ御菓子ヲ買ツテ來テ上ゲル

▲▼69ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月4日(月)

天気 晴

六時半起床 定刻出 九時野口、山東出社 十時宮崎和服ニテ出社。川口氏ヨリ計理士二名來 財産調査ヲ初メル 資料提供ス  
清平海軍監督官並ニ協会へ行ク  
堀中将明朝來場ノ予定  
一時注射ノ爲メ布施醫師ニ行ク 近頃左横腹ガ毎日痛ムコトヲ話ス ヤハリ一度外科ニ見テ貰エトノコト 第四性病ナレバ早クナオルトノコト 帰場後多少気分悪ルカッタガ定刻迄居ル  
弘中へ手紙出ス。山崎居ラズ連絡ツカズ  
兄午後工場へ來 夕方帰ル

▲▼70ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月5日(火)



天気 晴後曇

定刻出社 今日モ計理士來 九時宮崎出社  
十一時堀閣下來場 工場ヲ見晝食後帰ル 同道シテ京成ニテ上京 閣下ハ日暮里デ乗替 自分ハ福西ニ行ク 電話シタラ岡田、富尾留雄氏來 福西ヨリ菅谷ノ話シアリ 菅谷ヨリ昨年大坂ヨリ帰京直後國産ノ株取ルコトヲ吉田ノ名デ依頼サレタコト並ニ今回菅谷ヒトリ福西ヲ訪問 自分ト國産ノ悪口ヲザン、ナシタコト、吉田ノ命ニヨリ國産ノ株ヲタタイテ取ルコトノ相談ヲ受ケタコト等自分モ初メテ聞ク様ナコトガ多カッタ 局へ行ツタ帰り清平モ寄ル 五時過ぎ辞シテ清平宅ニヨル 山東來テ居タ 山東ニ清平ヨリ今回ノ話シヲ一通リナス 九時帰宅  
福西小宮ウルサク來タ由。坂東氏ヨリ電話デ吉田ノ件頼ンデ來タ由

▲▼71ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月6日(水)

天気 晴

今日監督官ノ來社ヲ朝礼ノ時告ゲ工場整頓サセル 後チ主任級ヲ皆集メ増資予定ノ爲メノ棚卸シデアルコトヲ告ゲ定刻出勤者ホトンドナイ事ニ注意ヲ與ヘル。宮崎ヨリ電話ニテ野口氏ノ母堂ハマダ死シタノデハナイトノコトデアッタ。十時半頃來 五十円借リタノヲ一週間ト云ツテアッタノデ今朝ツカマツタトノコトデアッタ

十一時林監督官來社 清平同道工場ヲ一週シ何シナ仕事ヲ希望スルカトノコトニ練習機ノ主翼尾翼等 外ニ金属仕事ハ進メテ行キタイコト 設備増設ノ予定書ヲ示シ指示ヲ依頼ス

戸川君ヨリ鋼板全部間ニ合セルトノコトデアッタ 坂東氏ヨリテスターヲ電話シテ貰ヒタイトノ電話アリ

萱場支拂十一日トノコト 浜谷引上げ九日ト決定ス

▲▼72ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月7日(木)

天気 曇雨

六時二十分起床 七時二十分出 川口氏訪問 丁度八時役員会ノ件 同氏ハ一日延バシテ十日ニシテハトノコトデアッタノデ、ソレノデキル様計理士へ話スコトトス。尚臼渕氏トノ交渉要員ヲ川口氏カラ任命サレタイ旨依頼 川口、伊藤久、ノ外岡田ニスルカ福西ニスルカデアッタ。万一日渕ノ方ダメノ場合吉田氏ノ方針ヲ確メテ貰フコトヲ依頼ス。清平宅ニヨリ同道シテ十一時海軍監督官事ム所着 一時間待サレ林氏ニ會ヒ昨日ノ札ヲ述ベ練習機自費試作ノ件ヲ話ス 一寸今迄例ノナイコトデアルガ圖面ハ借りラレルダロウガ材料ハ六ツ間敷カモ知レヌトノコト 部品ヲセツテハトノコトニ勿論ソレハ依頼シテ万事御委セスルカラトタノム

二時帰場 野口氏來テ居タ 計理士ト打合セ中デアッタ 日取ノ件十五日迄延バシテ  
貰ワナイト責任ノアルモノガ出來ナイトノコトニ、止ヲ得ズ一應ゴチラモ相談スルガ出  
來ルダケ急イデ貰フコトヲタノム  
清平白渕ト十一日会見ノコトヲキメテ來タトノコト

▲▼73ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月8日(金)

天気 曇リ

朝川口氏ニ電話ノ(ママ)役員会十五日ニシテホシイト計理士ノ希望ヲツタエ白渕氏ニ交  
渉方ヲ依頼ス 伊藤カラヤツテ呉レトノコトデアッタガ我レハ、カラハ、ソシニ延バス訳ニ  
行カナイトコトワル。後チ清平ヨリ電話サセル  
計理士二時頃迄來ラズ 事ム所ヘ電話シタガ千葉ヘ行ツタトノコト 午後宮崎來 五千  
円ノ金請求セラレ十五日迄ノバシテ居イタトノコト。山東ニ云ヒ含メ計理士來タラ十  
日中ニヤル様ツタエサス。宮崎ニハ此度ノ件成否ハ半々ト思フカラ万一ノ場合吉田氏ノ  
今後ノ方針ヲ聞イテ居イテ貰ヒタイ旨云ツテ居ク。マイゼ材料調査 一時ヨリ上京  
三越ニテ小鳥ノエヲ買ヒ清平宅ニヨリ同人ノタン生日祝デ馳走ニナリ今日羽布ニツキ調  
査シタ報告ヲ聞ク

▲▼74ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月9日(土)

天気 雨曇

定刻出 徳治ニ朝礼ニ出ナイモノ調査ヲ命ズ 七八名アッタ。野口、宮崎出社 野口ニ  
昨日宮崎ニ話シタ如ク今回白渕ノ話出來ナイ場合ノ覺后ヲウナガシ工場改革ノ方針  
ヲ立テルコトヲ命ズ。尚ホ現在ノ作業方針ヲ今日会議ヲ開イテ決定スルコト  
設計事ム所引揚 晝頃トラック來  
午後帰宅 休

▲▼75ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月10日(日)

天気 晴風

朝菅谷ヘ行ク予定デ七時半出タガバス工合悪クツヒニ三台乗リソコネ中止ス  
十時宮崎來 正午野口來 宇賀ヨリ野口養生工補助金デ宿舍改善費ニアテルコトノ  
諒解ヲ得セシム 夕方聞ゲハ承認シタ由。(野口ヨリ自分ニハ何等話シアラズ) 計理士  
青木來ラズ 川口氏來ル 結局十四日デナケレバ出來ナイラシイ 十三日中ニ完成セ  
シムル様依頼ス

午後豊田來 坂東氏ヨリ依頼ノテストダートシテ入社ノ件話ス 最(ママ)非行キタイガ

軍隊ノ方先方カラ話シテ貰ヒタイトノコト 尚今若シ出來ナケレバ將來ニモ宜シクタ  
ノムトノコトデアッタ 今日ハ軍服デアタ  
三時半更ニ工場出 終業後帰ル 清平來 明日鋼管ノ件、木綿ノ件デア上京サセルコト  
トス 五円渡シ

◆▼76ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月11日(月)

天気晴

昨夜橋本善喜來 一泊ス 恵美子昨日コワイ夢ヲ見タトテ八帖ニ寝タノデ丁度八帖  
坐敷ニ七人デ寝タコトニナッタ

朝礼不参加者ノ調査三日間終了

正午ヨリ布施醫者行

終日マイゼ主翼圖整理 強度計算ノ爲メ

鈴木、旭サル完成検査 一五水上内部検査 一五宮原ノ名デハ局ノ検査受ケラレズ、  
クラブ名儀(ママ)デアケルコトトス

宮野口九時半頃宮崎十時過ぎ出社 計理士本日ツヒニ來ラズ 青木計理士ノ無責任  
ニ驚ク 白洲氏ハ六十五日會見ノ由川口氏ヨリ電話シタ由

福西ノ重役高橋氏生田、松下來場ス 野口ニ先月末借リタ五千円ノ問題モアリ今月  
モ又スグダシ今迄ノ支拂モタマツテ居ル様子ダカラドウスルツモリカ吉田氏ハ川口氏カ  
ラデモ話シテ貰テハドウカト云ツテ見タガ返事ナカッタ

◆▼77ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月12日(火)

天気 晴曇

六時半起床 一番バス來ラズ 電車ニテ清平宅ニヨル 昨日特免品トシテノ羽布有望ト  
ノコトヲ聞ク 平塚ニ行ク 十時半着 晝食ノ馳走ニナリ一時五分ニテ帰ル 鋼板本日  
發送スルコト パイプト鋼棒釘ノコト 鋼板デ大分迷惑ヲカケタラシイノデ頼ムコトヲ  
止メル 吉田ノコトハヤリ(ママ)軍ノ方ヘノ手ハナイラシイ 外ニ誰レガナイカトノコトデア  
ッタ。陸軍ノ仕事ノ件 工場設備書類出スコトトス。清平宅ニヨリ工場ヘ電話ス 野口  
夕方ヨリ上京シタル由。時代社ノ広告料一時組合金デ融通シヨウト思ツテ出ス様ニ命  
ジテ居イタ處野口出サナカッタ由 山東ノ話シデハ組合ノ金ハ組合トシテ銀行ヘ入レテ  
ナイ由

川口氏ニ清平宅カラ電話シタガ不在ニツキ計理士ノ方ト連絡ツイタカ聞イテ貰フ様タ  
ノム

◆▼78ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月13日(水)

天気 晴

定刻出 川口氏電話シタラ昨夜帰ラズトノ事 其旨船橋へ電話シ弘中、中、慎へ手紙書キ九時過ギノバスデ菅谷君訪問 第三商事イヨ、大詰トナリ警視廳ヨリ解散(?)ヲ命ジラレテ居ルトカニテ借金タケ整理ツケバ止メルトノコトデアッタガ、少シ位ナラ思ヒ切ツタ方ガヨイト注(ママ)告ス。當社ノ事宮崎、野口ノ苦心ニツキ同情ヲ以テ相談ニ乗ツテヤツテ貫ヒタイ旨依頼シテ帰ル。野口出社 宮崎來ラズ。モビール引取ル 三時半帰宅 家内ト和子ヲ連レ佐倉へ鳥ノ玉子ヲ買ヒニ行ク 種蓄(ママ)場へツイタラ丁度五時。四時終了デダメ ガツカリシタガ家内ニ佐倉中學ヲ初メテ見セル 死ンダ長男ノ事共思ヒ出多シ ドウシテ死ンダカ

▲▼79ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月14日(木)

天気 風雨晴夕風

六時半起床 ムックリ新聞ヲ見八時散髪ニ行キ九時出社 鈴木、旭両サルノ奨励金下書キヲナシ青木ニ書カセル  
クラブガソリン三十罐來 罐ヲ空ケテ持チ帰ル モビールロヲ明ケル インタバ青バント百二十番Mデアッタ  
葉方ヨリ手紙來 返信ヲ出ス  
奈良原、清平兄來 二時国産主人川口、宮崎、菅谷來場 三時頃ヨリ會議ヲ開ク 福西ジンマシンノ爲メ出席出來ヌトノ事デアッタ 川口氏ヨリ青木計理士ノ報告書提出朗讀アリ 全資産廿八万余円 全負責(ママ)廿五万余 差引三万余残ル計算ニナツテ居タ 之レハ自分ノ想像ヨリ約三万バカリ多カッタ 外ニ調査報告書ニ合資会社ヨリ株式会社ニナツタ

▲▼80ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月15日(金)

天気 晴

定刻出 朝礼後三番ニテ上京 兄清平同道十時丸ビル九階ニツク 岡田氏スデニアリ 清平白渕氏同道ス。役員会ノ決議ニヨリ自今自分ガ表面ニ交渉スルコトニナツタ旨述べ計理士ノ調査表ト一月末ノ決算表ヲ渡ス 内訳ハ廿日頃出來ルトノコトニ一日モ早クトタノマレル 主トシテ岡田氏ロヲ聞キ調査書ノ外ニイクラ権利カノレンダイヲ見テ呉レルカラ示シテ貫ヒタイト述べ之レニ対シ白渕氏ハ水曜日回答ストノコトニテ会见ヲ終ル 丁度熱海へ行ツテ居ル筈ノ今江氏來ラレ白渕氏今江氏ト會見 打合セヲナシ晝ニ約束アリトテワカレル。福西ニ電話シタガ不在 兄ト三越ト上野ノ盆栽展ヲ見テ三時半帰宅 二三盆栽ノ植替ヲナス。

佐倉ヨリレグホーンノ玉十五個家内買ツテ來ル

▲▼81ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月16日(土)

天気晴

昨夜恵美子ト仁三郎試験ノ爲メ徹夜シタノデコチラモ安眠出来ズ 七時半起床 八時半工場出 野口母堂死去セラル 川口氏へ昨日ノ報告ヲナス 吉田氏へハ僕カラ報告シテ呉レトノコト 菅谷へ電話スル 工場へ行クトノコトデアッタ 十時過ぎ來 昨日ノ報告ヲナス 吉田氏ト会見ノコト 今夜カ明日連絡シテ貰フコトトス 間モナク上京ス アトエ宮崎出社ス。二階ニヨビ昨日ノ話シニ吉田ト会見ノ件連絡ヲ取ラセルコトトス 尚金ノ件ニツキ自分ノ意見ヲ述ベル 即チ収支ヲ書キ出シ其上ニ現注文ヲ基礎ニ借り入レヲナスコトヲ吉田ニ申込ムコトデアッタ。ソレヲ自分カラ話シテヨケレバ話ス 悪ルケレバ野口ガ帰ツテカラニスルカトノ案ニ対シ宮崎ハ野口帰ツテカラニシテ呉レトノコトデアッタ 兵器廠仕事検査二十台分受ケル 手直シアリ 清平來 センイ局提出書類作製 局清書ト延期願作製分

▲▼83ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月17日(日)

天気晴

定刻出社 兵器廠手直シニツキ佐藤ニ嚴重命ズ 午後電気熔接出来ルコトニナリ二十日ヨリ初メルコトニキマル 宮崎ヨリ十時頃電話アリ 吉田国ノ方へ行ツテ不在ノ由 グライダー賣レタモノデ協会ノ手續キガマダシテナイモノガアルノデ青木ニツクラセル。格納庫ニハ自動車ノ部品ガ土ノ上ニバラ散(ママ)イテアッタノデ倉庫ニ入レサセル。兄來テ居タンウダガ終業後帰ッタラ、モウ居ナカッタ。今日ハ馬鹿ニツカレ夜ハ眠カッタ 正午血液検査ニ布施サンニ行ク。家内勘藏氏ノ法事ニ行キ夕方帰ル 文部省型圖面本日終ル 明日肥田木持参ノコト 野口母堂葬儀

▲▼82ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月18日(月)

天気晴

七時起床 八時半工場出 九時宮崎出社 同氏先月末作ツタ五千円ヲ会社ノ借入レ金ニシテ呉レトノコト ソレハ差支ナキモ今日判ヲ貸シテ呉レトノコトニ貸シハスルガ野口氏出社後ニスル様注意ス 正午帰宅後尚メモニ書イテ其旨徳治ニ持参サセル 吉田昨日国へ行ツテ今日モ帰ラズ 福西カラ電話アリ午後行ク 四時頃会見 津江氏ト明日午後前十一時第一ホテル(深町氏ホテル)ニテ会見シタシトノコトノ由 承認シ

テ帰ル

清平工場へ呼び織維局へ出ス書類訂正サセル

◆▼84ページ◆▲▼ 昭和15(1940)年3月19日(火)

天気 晴

七時起床 徳次清平宅へ織維局提出書類持参ス 九時工場出 九時半武崎君來 計器武崎持参シテ千九百円 胴体銀色ニスルコト 明後日千円持参 アト四月廿五日頃飛行ハ五月六七八日頃静岡ニテトノコトデ決定 共ニ出カケル 此前鈴木來 奨励金提出方タノマレル 尚同氏建物其他一切一万五千円デ買収ノ案キマル

十一時半丁度予定ヨリ三十分遅レル 福西表ニ出テタクシーニ乗ル處デアッタ 同乗シテ第一ホテルニ行ク 津江氏外ニ約束アリトテ居ラズ 深町氏ニ初メテ會フ。カタ替リ三十五万 擴張費二十五万 一ヶ年後三百万ノ金入ルコトヲ話シ、何ンデモナイ様ナコトヲ聞イテ分レ萱場ニ行ク 二時間以上待タサレル 清平來 圖面ヲ見セテ貰フ 六月末完成ノコト 陸軍規格ニヨルコト等ノ話シヲ聞ク。島安博引取ツテ呉レ囑託ニシタイトノコトデアッタ

文部省ニ電話ス 折角書イタ圖面不用ニナツタ由 福田ニアル圖面デ決定シタ由。  
朝吉田へ會見申込ミノ手紙ヲ書キタ方船橋駅前ニテ投函ス

◆▼85ページ◆▲▼ 昭和15(1940)年3月20日(水)

天気 曇晴

定刻工場出 主任級デハ佐藤ダケオソク休日ノ翌日トシテハ皆ヨク出テ居タ  
組合ノ鋼板調へ福田以外ニ分配發送サセル

野口宮崎十時頃出 野口ニ階ニヨビ白渕ト會見ノ結果ヲ話シ尚材料ノ必需品 作業ノ急務、吉田トノ會見ノ件等懇談ス

梅山出テ工場ヲ初メ様トシタガ許可ニナラズ又使ツテ呉レト云ツテ來タ由野口ヨリ相談アリ 梅山其者ニ大シテ欠點ハナイガ岡田ハ又處分ヲ要スル様ナ場合ガ生ズルカモ知レナイガ其場合梅山ガジヤマニナル様ナコトハナイカ考慮スル様話ス 宮崎ト相談ノ上決スル由。宮崎計理士へ調査表取りニ行ク。宮崎ノ五千円口ニ対シテ自分ノ取ツタ處置ヲ話シテ居ク

奈良原氏來 十年式賣レタコトヲ話シテ居ク 尚新会社ヘクラブ合流ノ件モ承認ヲ得テ居ク

二時半野口クラブニ行ク 吉田帰ツテ居タラ電話デ知ラセルトノコトデアッタガツヒニ電話ハコナカッタ

◆▼86ページ◆▼ 昭和15(1940)年3月21日(木)

天気 晴

風寒ケレドモ静ナリ 上上ノ御中日

定刻出 九時吉田へ電話シタラ今朝早く上京 夜ハ宴会ガアルカラオソクナルトノコト  
九時半頃宮崎ヨリ山東ニ電話アリ 計理士ノ書類ハ川口氏ニ渡シタ 吉田ハマダ千葉ニ  
帰テ居ラナイトノコト。スデニウソデアル事ガハツキリシタ 何故自分ニ會フコトヲサケル  
ノカ。何ニカヤマシイ處ガアルノカ或ハ自分ヲキラツテ居ルノカ分ラナイ

山東家内悪ク廿六日迄休暇呉レトノコトデ帰ル 後チ野口出社 自分モ帰宅後デアッ  
タノデ用件ヲ書イテ徳治晝食ニ帰ツタ時持タセテヤル

晝食後船橋ニヨリ清平ニ組合ノ印ヲ渡シ兄ヲサソウタガ行カナイトノコトニ家内仁三  
郎和子ト四人デ墓参ス 五時帰宅 松戸デ植木鉢ヲ買ツテ帰ル  
武崎來ラズ ガソリン來タ由

◆▼87ページ◆▼ 昭和15(1940)年3月22日(金)

天気 晴風強

朝六時起床 雪ガ一寸バカリ積ツテ居タ 晴レタガ西風最大十五米突ニ及ブ 朝川口  
氏ニ電話シテ白渕氏ノ回答廿五六日頃ニナルコトヲ知ラセル 吉田氏ニ會ワナイコトモ  
話ス 清平ニ電話シ協会マイゼ見セルコトノ打合せ商工商(ママ)局行クコトヲ命ズ 菅谷  
君ニ電話ス 今日吉田氏ニ會エル様ナラ電話デ知ラセテ貰フコトヲタノミ尚同氏カラモ  
土地ノコト聞ク様依頼ス 十時過ギ野口出社 宮崎ノ金ドウナツタカ聞ク 其後會ワ  
ナイノデ分ラヌトノコト。収支ヲ話シ吉田氏ニ一万五千円程出シテ貰フコトヲ話シタカ  
ウヤムヤニ終ル 宮崎ガ話シテ居ルラシイ様ナコトモ云ツテ居タ。必要ナラ菅谷川口氏  
ニロヲ聞イテ貰ツテハト注意迄シタガラチアカズ。午後鋼ト釘ノ買入レニ野口上京ス。

奈良原氏來 航空殉難史ヲ貸ス

主任級ヲ集メ船ノ準備作業 其後ノ準備ニツキ命令ス 佐藤午後休ンデ來ラズ 無責  
任ナヤツダ 宇賀一 生縣命ニ仕事ノダンドリ迄ヤツテ居タ 角ニハ荷ガ重ソウナノデ協  
カヲ依頼ス。角小供入院ス

◆▼88ページ◆▼ 昭和15(1940)年3月23日(土)

天気 晴風

今日モ北西風強シ 朝清平ニ電話ス 佐田サンニ會ヒ二行ク由 二番バスデ菅谷ニ行ク  
昨日ハ市川ノ市長問題ニ介入 吉田ニモ會ワナカツタ由 工場ノ今月ノ支拂ヒノ件ニツ  
キ話ス。ソレハ何ントカナル迄吉田氏ニ出シテ貰ワネバナラナイトノコトデアッタ。野口

ト一所ニ吉田ニ行ク事ヲ依頼ス。快諾ス。宮崎菅谷ノ近所ニ引越シスルトノ事。前数日出勤セズ。帰リニ布施サンニヨル。マダ少シ残ツテ居ルトノコトニ又注射ヲ受ケル。帰社野口出社。昨日銀行ヘヨツテ見タガ話シ出セナカッタトノコト。広鋼板モウマク行カナイ由。今日午後私用デ上京スルトノコト。出テ行ツタ。明日ノ準備宇賀ニタノミ午後帰宅安静ニス。

竹崎君九百円持参。十年式ノ金借受ル。千円書イテ渡ス。二千三百円ト書イテ呉レトノコトデアッタ。

▲▼89ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月24日(日)

天気 晴風ヤ、静マル

六時半起床。八時半工場出。川口氏ヘ電話。書類貰ヒニ行クコトス。清平ニ電話。明日白渕ニ会フ由。打合セラナス。佐田少佐ニ対シテノ方針ヲサツケル。商工省ノ件モ福西ニ電話。津江ノ方進行今ダシ。分リ次第知ラセル由。手形ノ方五百円内入スルコトノ承認ヲ得。午後青木ニ持参セシム。

木更津小學校ノ學生五十名ノ筈ノ處僅カニ七名ヨリ來ラズ。先生ヤ就業紹介所ノ連中十二人モ來。食事ヲ出シ旅費ヲ拂フ。外三十円出ス。コンナコトハヨクナイ事ダト思フ。ガ人ヲ得ル爲メニ止ムヲ得ナイコトカモ知レヌガカクノ如キコトヲセネバナラヌ制度ガヨクナイ。官吏モダラクスル一方ダ。

正午宮崎來。二時過ギ和田氏カラ例ノ五千円ノ件ニツキ電話アリタリトテ帰ル。兵器廠ノ作業明日ノ受檢準備終ル。

▲▼90ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月25日(月)

天気 晴

上天気。八時工場出。野口十時出社。宮崎午後三時頃一寸來テ計理士二代(ママ)シタ書類ヲ持ツテ帰ル。スグ帰ル。

朝菅谷君ニ電話ス。本日上京ノ予定トノコトデアッタガ月末余日ナイガ野口宮崎共ニ吉田ノ前ニ出ルコトヲオソレニ行カナイ様ダカラ話シテ貰ヒタイコトヲタノム。心得タトノコトデアッタ。

兵器廠検査明日トナル

一五式發動機漸ク本調子トナル。午後宮原氏來。猿田宮崎ヘ行ツテ居ルトノコトニ打電ヲ依頼ス。

四時頃平松氏來。Cニ仮組立迄ヤツテ貰フコトヲ依頼。工賃ヲ示ス。相談シテ返事スルトノコト。

夕方野口ニ支拂ノ方針アルヤヲ聞イタガ何ソニモナイトノコト。吉田ニ会フト頭カラド



ナラレルノデイヤダトノコト 仕様ノナイモノダ  
恵美子卒業 三十番デ優等出來ナカッタガ勤労賞ヲ貰フ

▲▼91ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月26日(火)

天気晴

定刻出社後散髪ヲナス 十時工場ヲ帰ル 清平待ツテ居テ佐田サンカラ電話アリハイ  
プト鋼棒陸軍ノ方ウマク行キソウダトノコトニテスグ上京ス  
野口相談ノ上吉原へ三百円送金 シベリヤ商会ト釘取りニ午後ヨリ上京ス ドウモ此  
頃出タガル

廿八日ノ支拂ヒニツキ朝菅谷君へ電話ス 明廿七日夕方吉田千葉へ帰ル由トノコトニ其  
時野口ニ同道シテヤツテ貰フ様タノム 快諾シテ呉レタノデ其事ヲ野口氏ニ話ス 氏ニ  
宮崎ニ會ワセルツモリノ由ニテ吉田ニ會ツテモドナラレルダケデ困ルトノコトデ會フトハ  
云ワナカッタ 困ツタ人ダ。午後帰宅 盆樹ノ植替ヲナス  
竹崎君來 宮原ノサル二千円デ賣ル約束ヲス 來月十日頃半金 月末半金ナラ出來  
ルトノコトデアッタ 明日宮原へ返事スル予定

▲▼92ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月27日(水)

天気晴

定刻前出 清平ニ電話ス 縣ノ太田氏ト宇賀上京スルコトヲ話シタノニ清平ハ縣へ行ク  
予定シテ居タトノコト 願書ハ工商省へ届イタ由 兎ニ角宇賀ト一所ニ行ク様云ヒツケ  
必要書類ト判ヲ徳次ニ持タセテヤル 其爲メオクレ菅谷ニ行ケズ 電話シタラ昨日カラ  
帰ラヌ由 兄病院ヨリ來 奈良原氏來 午後宮崎來 明日ノ金ノ件ニツキ吉田ニ話セ  
ズ明日佐原へ行ツテ金ヲ作ツテ來ルトノコトニ晝頃出社シタ野口ヲ呼び返濟ニツイテ相  
談 五月末トスルコトニキメ方法ハ満空ノ注文書ガ來タラ銀行ノ兵器廠ノ手形ヲオトシ  
テ後更ニ借入レラスルコトトス 給料支拂ハ一日延期シテ廿九日トスルコトトス 額ハ  
一万円迄  
夕方松木サン來 聯盟決(ママ)成ノコト 來月十四日佐倉デグライダー大會ヲヤルコ  
トノ相談アリ 奈良原氏ト共ニ  
菊池ノ弟貞君來 シュークリームヲ貰フ  
夕方五時頃菅谷マダ帰ツテ居ナカッタ

▲▼93ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月28日(木)

天気晴

八時出社 清平ト電話デ話ス 今日八局へ組合ノ地区ニツキ証明ヲ貰ヒニ行クトノコト。  
宇賀ヨリモ昨日ノ報告ヲ聞ク 太田氏時間ニ東京駅へ來ラズ 其爲メソゴヲ來シ午後  
二時商工省デ會ツタ由 宇賀本日更ニ縣ニ行キ訂証(ママ)箇所ノ下書キヲ貰ヒ帰ル  
明日タイプ打タセルコトニ青木ニ命ズ  
午前太田ヨリ前ノ退所申出者ニ対スル方針ニツキ話シアリ 宇賀ヲ呼ンデ相談 結局  
収入ヲ多クシテヤル爲メニ受負制度トスル事 新入所者ニハ特ニ実情ヲ話シ月収イクラ  
ト云フコトデ話ス外ナカロウト云フコトニナル  
午後防湿函ノメタル引モノ製圖ヲナス。昨日洲崎行キノモノヲ集メ注意ヲス 白渕ヘ示  
ス書類作製ヲ終ル 夜徳次ニ清平ヘ持参サセル  
今日貫々ヲ請求シタラ金高ヲ聞イテ一年ニ何回ツカウカト云ヒ出シタノデ間ニ合フナ  
ラ借りテ貰ツテモヨイ 兎ニ角必要ナ時ニ間ニ合セテ貰ヘバシイテ買フ必要モナカロウト  
云ツテ居タ 馬鹿、シイ事ダ

◆◆94ページ◆◆ 昭和15(1940)年3月29日(金)

天気 晴風弱シ

定刻出カケタガ兄ガ來ルトノコトデ待ツタガ又來ナイトノコトニ少シオクレテ行ク 清  
平ヲ呼び明日ノ組合總會ノ打合せヲナシ、試作ノ仕事ノ差(ママ)圖ヲナス 十時野口  
來場ト共ニ和子ヲ動物園ヲ見セル(優等ノ賞々)爲メニ帰宅 家内ト共ニ上野ニ行ク  
終ツテ三越ニテ小鳥ノエヲ求メ帰りニ小西鋳店ニヨル 明日百匁位間ニ合セルトノコト  
浅草橋ヨリ帰ル

野口ノ報告書ニヨルト四千五百円宮崎持参 銀行ノ千円ヲ加へ五千五百円デ給料ダ  
ケ支拂ヒ今月ノ役員ノ分ハナシトノコトデアッタ。役員ニ対シ自分ガ金ヲ作ツテヤルベキ  
デアルカ、其必要ナイカ考慮ヲ要ス

◆◆95ページ◆◆ 昭和15(1940)年3月29日(金)

天気 晴

定刻出社 野口ヨリ電話アリ 上京後洲崎へ行クトノコトデアッタ 十時出 奈良原サ  
ンニヨリ吉田ノ百五十円奥サンニ渡ス スデニ出ラレタアトデアッタ 両国ニテ晝食後、  
洲崎ニ行ク マイゼ機見学。今朝田母神氏來タノデ十四日ノ件ニツキ橋本氏ノ諒解ヲ  
得 組合へ渡辺氏相談役ノ件ニツキ松下氏推撰(ママ)トノコトニ同意ヲ聞ク 渡  
辺君ノ云フ程デモナカッタ タゞ連絡係トシテアッタ方ガヨカロウト思ツタカ性格的ニハ  
ドウカト云フ懸念モアルラシカッタ 田中ノ格納庫ニヨル 宮原ノサル見ル 先ヅ普通デ  
アッタ 渡辺ニ會フ 先日約束ヲタガエタコトヲコトワル。清水君トトラックノ件打セ驚  
見君トB七ニツキ一寸話ス 以上才組合總會午後五時ヨリ蔵前會館デ組合員ダケデ

會フコトヲ打合セル。宮原氏平松氏等ト自動車ニテ銀座ニ出紅茶ヲノミ時間ヲツブシ  
五時藏前會館ニ行ク。生田、梅津、大久保宮原自分デ順序ヨク會議ヲ七時終ル 今朝  
ニ行キ夕食ヲ共ニ九時半終リ十一時帰宅 兄ガ觀音神ノ台デフラ、シテ居ルノニ  
會フ 八時半頃カラ停留所ノ附近ヲウロツイテ居タラシイ

◆▼96ページ▲▼ 昭和15(1940)年3月31日(日)

天気 曇後晴

非常ニツカレラ感ジ七時起床 八時半工場ニ出タ 弘中ヨリ作業進メテ貫ヒタイコト  
注文書ハ手續ギ中、金ハ必要ナラ三分ノ一出スカラ知ラセテ呉レトノコトノ手紙來 昨  
日葉方來タ由 明日會フコトス 萱場へ電話シタガ休ミラシカッタ 太田ヨリ九州ヨリ  
金ヲ出スカラグライダー製作ヲヤレトノコトデ相談ヲ受ケル グライダー今後ノ状況  
ヲ話シテ今度前田氏トノ關係モ考慮ヲ要スル旨述ベル 今日佐藤博氏今日來ル予定  
ノ處三日ニ來ルトノコトデアッタ。正午頃下腹腹痛ハゲシク帰宅ス

吉兵衛商店二人來 一時間以上待タセテ居タ様ダ 結局五日二千円位ヤツテアトハ金  
ヲ受取ツテカヲト云フコトニシテハドウカト方針ダケ與ヘル

夕方清平來 明日白渕午後一時半會ヒタイトノコト 今江ノ方ハ見込薄ラシイ 昨日  
人ヲ入レテ呉レトテヨコシタ由 シカモ入社後ノ仕事ノ指圖迄シテアッタノデ今後ノ多  
難ヲ思ワセル

◆▼97ページ▲▼ 四月

資本体制本月中ニ決定ノコト  
組合認可取ルコト

◆▼98ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月1日(月)

天気 曇リ

定刻出 野口本日千葉ニ行クカラオソクナルトノコトニ作業方針確定 其他ニ關スル注  
意書キト今日ノ出先キヲ書イテ佐藤ニ預ケ上京ス 丁度十二時半前ニ新井氏ヲ訪問  
食事ニ行コウトテ丸ノ内ホテルニ行キ食事ナガラ大藪ノ件依頼 出來ソウナノデ會ツテ  
ヤツテ貫フコトニシテ今日ハ馳走ニナツテ分レ丸ビル九階ニ行ク 丁度一時半兄來テ居タ  
電話シタラ、スグ清平ト一所ニ白渕氏來 今江氏ト會ツテ來タ處デ結局ヤルト云フ  
コトニ決定 出資方法ハ未定ナレドモ取アエズ原ノ専務関本(?)ニ工場ヲ見テ貫フトノ  
コト 四日ニ今江氏會見 五六日頃 オソクモ八日頃見ニ來ルトノコトデアッタ ソレカ

クラブノ件ハ安岡ノ話ナドシテ留保 尚考慮スルコトトシ赤川君ハ今月カラ給百二十円ヤツテ呉レトノコトニキメタガ出社ハ新出資後トシテ貰フ 外一名ハ製圖モ出來ルノデ手傳ヒト云フコトデ當分タノムコトトス。協会ニ行キ葉方ト連絡シ新橋駅デ待合ス 一時間待サレ五時過ギ萱場ニ行ク マダ検査官居ルトノコトニ照(ママ)介ダケシ武田氏ニ明日會ツテ貰フ様タノミ尚鋼棒ノ方佐田少佐ノ照(ママ)介状ト資数表ヲ預ケ監督官ノ返事ヲ聞イテ貰フコトヲタノミ帰ル 清平宅ニヨリ夕食後今日ノ決(ママ)果ヲ岡田氏ニ報告ヲサセ十時帰宅 野口出社セズトノコト

◆▼99ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月2日(火)

天気 晴曇

定刻出社 試作部出勤者一名 角迫病院ニ行ツタマ、來ラズ 宇賀ニ上ノ地所調査ト五十嵐説諭方ヲ命ズ 東洋金属ヨリ書類到着ス 野口八時半頃出社 昨日宮崎ト二人デ吉田ニ行ツタガ金ヲ出ストハ云ワナカッタ由。作業方針其他ノ條項進捗ヲウナガス 尚組合總會ノ話シ其他ヲナス 奈良原氏來 明日日佐藤氏來場予定ノ處明日差支明後日來ルトノ清水カラノ電話ニヨリ明日明(ママ)ヶ瀬(同道スル約束ヲナス 夜村山ヲ呼ビヨセル 谷津ノ親類(家ノ直シニ行ツテ居ルトノコトニ明日切り上ゲル様命ズ

◆▼100ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月3日(水)

天気 曇、風、雨

五時半起床 工程表ノ作り方 職工ノ手配等クワシク書イテ徳治ニ持参サセル 八時四十分ニテ市川ニ行キ奈良原サント共ニ大宮二十時着 盆栽村ヲ見学シ公園ヲ通り氷川神社参詣ス 桜ハホンノチラホラ咲キ初メテ居タ 一時過ギ浦和駅前着 一時四十五分ノバスデ明(ママ)ヶ瀬飛行場ニ行ク 一時夙(ママ)イダ風又強クナル 三時過ギソアラノ飛行機曳航ヲ行フ 千米突ヨリ旋回スルコトナク風向ヒノマ、着陸ス 清水明日佐藤サンニ同行出來ナイカラ秋葉原ニタレガ來テ貰ヒタイトノコトニ帰途船橋ニヨリ清平ニ行クコトトス

◆▼101ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月4日(木)

天気 晴

上天気 八時工場出 九時野口出 昨日命ジテ居イタコトニツキ野口ト相談スベクニ二階へ呼ンダガ手が放セナイトテノビル内十一時 佐藤博先生來 奈良原清平同道スコ

レヨリ先キ小平氏來 二十日頃。バラシユートヤリタイトノコト 飛行機ヲ賣ツタカラ鈴木ニヤツテ貫ヒタイコトヲ話シタガ最(ママ)非ニトノコトニ今月ダケヤルコトニ來月カラ値上ゲスルコト ソレニヨツテ鈴木ノ方ヘヤラセルコトトス 晝食後帰ル 角ノ方計晝書ガ出來テ居タ 太田ノ方モヤツテ居ル様デアッタ 佐藤先生自宅へ御連レシ晝食ヲ出シ四時十分帰ラル 清平送ル 五時過ギ葉方君來 決(ママ)局萱場ダメデアッタトノコトニ工場ノ状態ヲ話シ當分無尾ヲヤツテ貫フコトニキメル

◆▼102ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月5日(金)

天気 曇後雨

定刻出社 作業調査C二B二ノ工賃調査ヲナス

十一時頃小野少将、摺沢大佐、等飛行場ヲ見ニ來 晝食後松戸カラ柏へ行ク 清平來

初年工四名木更津ヨリ來 入社挨拶ヲナス

五日支拂日ニツキ野ロインガシソウデアッタガ金ハ這入ツタノカドウカ 三時頃宮崎來 社シタガ金ヲ持ツテ來タノカ聞ク暇モナカッタ

白渕照(ママ)介ノ平岡來 清平ニ話シサセ後チ自分一寸會フ 白渕氏入社迄三円五十錢デ手傳ツテ貫フコト 但シ白渕氏ノ話シモアルカラ月収ハ希望ニ添フ様ニスル旨述べル 五時半木下耶摩次ヨリ電話アリ 會ヒタイトノコトニ出カケル 飛行クラブデ会见 適當ナ出資者ガアルカラ出サセテハドウカトテ会社内容ヲ聞カレル。コレハ局松浦氏ノ諒解モアリ自分ノ老後ヲ安タイニスル爲メトノ老婆心モアッタ。局内部ノ本社ニ対スル空氣モ聞ク

白レグ生レル日

◆▼103ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月6日(土)

天気 晴ニワカ雨アリ

六時半起床 昨日クビニ出來タオデキニ吸ヒ出シヲ張ツタノト少シ痛ンダノデヨク眠レナカッタ 八時出社 鷺津ヨリ野ロ君今日用事ノ爲出ラレナイトノコト 佐藤宇賀三兵器廠ノペンキ塗り不合格ノ場合ノ責任ヲペンキヤガ負ノカドウカラヲタシカメテ居ク様書イテ居ク 九時五分ノ自動車ニテ船橋ニ行キ清平宅ニヨリ兄ト二人ニ昨日ノ木下トノ話シヲナシ木下へ出ス書類ノ内容ヲ清平ニツクラセル

十時半樂園ニ行ク 川口菅谷來テ居タ 五六人來ルトノコト 吉田ハ來ナイトノコト

野ロ宮崎ヲ電話デヨブトノコトデアッタガ野ロ出社ナキ爲宮崎一人來 今日ノコトハ

宮崎予期セルモノ如ク辨護士佐藤氏トモスデニ面セキアリタリ 外ニ小西某辨ゴトト

二人 佐藤ベンゴ士八川口氏ノ知合ラシカッタ 川口氏ヨリ先搬(ママ)ノ計理士ノ調査ニヨリ同氏ハ会社ニ対シイヤキガシタガ自分ナラ吉田氏トノ交友關係カラ何ントシタイ考ヘカラ佐藤先生ニ計ツテ更生スル爲メニハ

387頁へ

(387ページへ続く)

▲▼104ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月7日(日)

天気 晴

六時起床 一家ソロツテ朝食 今日ハ珍ラシク徳治ガ一番早カッタ 家内ハ国防婦人会デ學校ヘ行き自分ハ工場ヘ行キツヒデニ岸ノ家ヘタノシダヒヨガ生レタカ見ニヨル 十三ケノ内十二羽生レタトノコト 後千仁三郎函ヲ持参 家ニ連レテ帰ル 一羽フミツブサレテ死ンデ居タ由 自分布施サンニ行キ一月分四十二円八十錢漸ク拂ヒフ クビノオデキヲ話スト糖尿病カモシレヌトテ小便ヲ取テ居ク。大口宅ニヨリ今日遅レナガラ一週忌ヲヤルトノコトニオ参リシテ五円上ゲテ帰ル 佛手柑ノ植替ヲナス 根ガ随分一杯ニナツテ居タ コレデ元氣ガ出テ呉レレバヨイガ 一時頃船橋ト下カラ皆來ル 恵美子ノ卒業祝ニ赤飯ヲ御馳走ス

四時頃散会 六時廿五分ノ自動車デ帰ツテ今日ハ一家団欒 楽シイ一日デアッタ 徳治ガカワイソウニ日直デ参加出來ナカッタ

▲▼105ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月8日(月)

天気 晴曇リ

定刻出社 弘中へ手紙出ス 一昨日ノ佐藤辨ゴ士へ奈良原氏ヲ世話シテ居ルトノ川口菅谷ノ話シハ取消シテ貰ヒタイコトヲ云ツテヤル 十時出テ一度宅ニヨリ十二時二十五分ニテ上京 二時東京クラブニ行ク 三時木下來 其後松浦氏ニ会ヒ木下ガ出資ニ対シテ責任上局ノ方デモ積極的ニ伊藤ヲ援助スル件ニツキ懇談 松浦氏快諾 両部長ト佐藤少将ニ松浦氏ヨリ話ストノコトデアッタ由 尚木下氏ハ佐藤少将大塚寅雄大佐ニモ同様應援ヲタノシダ由 佐藤少将モ承知シテ呉レタトノコト 松浦氏ノ話ノ模様ニヨリ木下自身両部長ニ談判スルトノコト。又出資者ノ方ヘモ電話ダガアラマシ話シ百万円出スコトノ承認ヲ得テ居イタカラ局ノ方キマリ次第決定スルトノコト 出資者ハ現ニ工藤君ノヤツテ居ル三百万円ノ社長船何トカ云フ人ダトノコトデアッタ。参考書類タイプ打ツテ居ル旨話スト明後十日夕方會フ予定ダカラ四時頃迄ニクラブヘ預ケテ居イテ貰ヒタイトノコトデアッタ

東日ニ行キ十四日ノCニト清水君借リル件承認ヲ得 自動車ハダメ

帰りニ清平宅ニヨリ兄ト二人ニ報告ス コレガ出来レバ実ニ神助トヨリ思エナイ

◆▼106ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月9日(火)

天気 曇雨晴

午前五時十五分起床 五時半出 昨日ノ木下君ノ話シニヨリ成田山へ御札ヤラ御願ヒ  
ヤラニ参拝ス 八時五分帰宅 朝食後九時工場出 此頃アラレ降ル 上京予定ヲ中止  
ス 野口病氣ノ爲メ今日モ出社セヌトノコト 後チ宮崎ヨリ国産ノ方ドウカトノ問ヒ合  
セアリ 昨日行ツタガ又明日行ツテ見ルツモリト返答シテ居ク

角ニ函ヲ完成サセルコトヲ命ズ 設計部八九本日ニテ終了 アト二日間ニテC二金具圖  
面整理ノコトトス 兵器検査今日モ延期トナル 本日練習休

午後二時晝食ノ爲メ帰り其マ、ウララカナ日並ニ盆栽ヤダリヤ、水仙ノ植替ヲナス

兄來 昨日水ニ落チテ死シタ鳥ヲ料理シテ呉レタ 宇賀二号鋼板購入ノ爲メ午後上  
京サセル 日東ノ七百二十二円五十銭預ル内百円持タセテヤル

鷺津來ラズ 木更津ノ金不明

竹崎十年写真取りニ來

松木先生三十一日佐倉へ行クコト 自動車ノコト打合ス。乗池電話ス メンバー知ラセテ  
貰フコト ピストンリングタノム

◆▼107ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月10日(水)

天気 晴

定刻出社 主任級ヲ集メ野口宮崎出社不明ニツキ満空ノグライダー製作方針ニツキ  
協議ス タマ、佐藤ヨリ異論アリ 決(ママ)論トシテ皆ハ自分ヲ信賴スルノカシテ居ナイ  
ノカシテ居ルナラ自分ニ將來ノコトヲマカセテ居ケト云ヒ聞カセル

十一時文部省着 関口氏不在 協会三行ク 中氏來テ居タ 第一ホテルニ行キ晝食ヲ  
共ニス 再ビ協会ニ帰り今日ノ会合(航空三十年史編輯委員会初会合)ニ出ラレナイコ  
トヲコトワリ文部省ニ行ク 山崎氏ノ紹介(ママ)デ関口氏ニ會フ 組合トシテ文部省型  
ニツキ、價格ノ件、台数予定ノ件、代金支拂ニ関スル件、部品ノ件等ニツキ懇談ス 三  
度協会ニ行ク 三時半三越ニ行キ十五円ノ切手ヲ求メ帰宅 モーニングニ着替千葉長  
崎屋ニ行ク 式終リ正三酒宴中デアッタ 白戸側トシテハ自分一人デアッタノデ來テヨ  
カッタト思フ 先方ハ六、七人來テ居タ 八時半帰宅ス

◆▼108ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月11日(木)

天気 晴

六時半起床 八時工場出 清平ヨリ今朝十時木下氏会见ノ爲メ飛行クラブへ來テ呉  
レトノ電話アリタル由 野口氏ニ會エズ 満飛行グライダー製作ノ件仕事ハ間ニ合ス自  
信アルガ材料代ト人ヲ入レルコトノ讚(ママ)成ヲ得ラレナケレバ出來ナイ 出來ルナラヤ  
ルガ然ラザレバ弘中へ兄ニ諒解ヲ得ル手紙ヲ出シテ呉レル様書キ置イテ清平ニ行キ共ニ  
上京 木下、飯倉氏ト會フ 結局船崎氏ト会见スルコトトナリ連絡ノ結果午後二時來  
ルトノコトデ待ツコトトス 二時過ぎ來 宮本氏モ同席会见 廿五万ノ損失ヲ消スコト  
ニツキ疑問アリ 税ノカ、ラナイカヲ辨護士ニ聞キニ宮本飯倉氏行ク 不明 明日迄ニ  
調べテ居ク由 船崎氏ハ土地ヲ買ツテ居イテ増資ノ時ソレデ廿五万円迄ニ見テ貰フコト  
ナド話シアリタリ 尚同氏ハ航空局ガドノ程度ノ援助サレルカヲ知リタイトノコトニ又  
明日ヲ約シ四時ヨリ木下氏ト局ニ行キ松浦氏ニ礼ヲ述べ工政課長並ニ土井氏會ヒ課長  
ニ六援助ニツキ懇談 数字的ニ云フコトハ一寸出來ナイトノコトニ然ラバ援助スルカシナイ  
カ聞カセテ貰ヒタイ旨ヲ述べ明後日課長ヨリ監理部長ニ話シテ呉レル由 土井氏ハ欠損  
問題ニツキ五十万円ヲ五十万円デ賣ツタコトニシ旧株主ハ責任上損失ヲ補フコトニスレ  
バ借入金モ欠損モナクナリ課税サレナイダロウトノコトデアッタ クラブニ帰り打合せ  
明日木下氏技術部長ニ會ヒ明後日午前十時自分ト木下氏局へ行クコトニキメル  
帰り清平宅ニヨリ株ト借金整理案ニツキ相談ス。野口君正午兄ガ上京ノ電話デ一所ニ  
ナツタ由。工場へハ出ナカッタトノコト

◆▼109ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月12日(金)

天気 晴

定刻出社 來信調べ 島ヨリ佐倉ノ情况ヲ聞キ着陸ハ止メサセル 電話申込宇賀ニ書カ  
セル 野口君出社 六日三田浜ノ件説明ス 満州飛行機ノ件作業ハ間ニ合セルガ金ノ  
方ハドウカト尋ネタニ対シ同氏モ五日以來吉田氏ニ努力シタガツヒニダメダカラ到底  
間ニ合セラレナイトノコトニ然ラバ然ルベク弘中へ手紙出ス様命ズ。吉田氏ハ野口等ニモツ  
ト苦勞シナケレバダメダトノコトデアッタ由 尚宮崎目下工場一大改革ニツキ準備中  
ナリトノコトデアッタ由

清平同道正午過ぎ福西ニ行キ現況ト本望ノ件、国産公正証書ノ件ヲ話シテ晝食後分  
レ萱場ニ行キ棒鋼ノ代金ヲ支拂フ 武田総次郎氏今日ハ馬鹿ニシオレテ居タ 萱場ノ飛  
行機製造計畫ダメラシイ

三時クラブニ行ク 船崎氏木下氏飯倉君宮本君清平居ル 技術課長ニ今日會ツタ結  
果本日四時半ヨリ局デ伊藤ノ爲會議ヲ開イテ呉レル由 四時半木下氏行ク 六時頃  
帰り大出來ノ由 七時ヨリ船崎氏宅ニ行キ木下氏ヨリ報告ス。本日ノ會議ハ桜井技術  
部長議長トナリ佐藤少将、乗員課長、工政課長、器材課長、参集 監理部長ニ時(マ  
マ)前電話シテ伊藤更生ニツイテハ讚(ママ)成ダカラ技術部長ニ一任スルトノコトデアッ  
タ由



(391ページへ続く)

▲▼110ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月13日(土)

天気 曇雨

六時起床 宇賀呼ビニヤル 組合商工省書類ノ件今日午前中ニ縣庁へ聞合セニ行クコトヲ命ジ八時ヨリ上京 九時半局ニツク 木下氏スデニ來テ居タ スグ技術部長ニ會ヒ礼ヲ述ベ曰瀧氏ノ件話ス ソレハ金ノ方ハスグコトワル事 同氏ニツイテハ余リアチコチ出ルノハ原因ガワカラヌガ面白クナイト思フカラ山川氏ト相談シテ居クカラ少シマテトノコトデ同氏ニ一任ス 監理部長ニ會ヒ丁度ソコへ來タ工政課長ニモ礼ヲ述ベ器材課長町田乗員課長ニ會フ。佐藤少将不在デアッタノデ名刺ヲオイテ帰ル 十時半クラブニ行ク兄、清平來テ居タ マモナク船崎氏來 木下氏ヨリ今日ノ模様報告 來週中ニマトマルカトノコトニマトメル予定ダガ国産ノ方カ少シ遅延スルカモ知レヌトテ其理由ヲ話ス 尚金ハ準備出來テ居ルカラ株金ト借金ハ同時支拂ツテヨイトノ諒解モ得ラレル。一時半ヨリ清平、兄曰瀧氏ニ行ク。兎ニ角航空局カラノ命デ出資ノ件ハ中止シテ居ケトノコトニツキ一週間程ノバシテ貰ヒタイ 其内ニ理由モハツキリスルカラト云ツテ居ク。清平又行キ自分帰宅 途中カツシカノ盆栽屋ニヨリチヤボノ玉子ト杜松ヲ求メル 清平宅ニヨル六時帰ツテ來タ 役員会ノ通知書下書ヲサセ帰宅 ハガキニ書イテ明日出ス仕度ス 吉田氏ハ別ニ手紙書ク

▲▼111ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月14日(日)

天気 雨後曇

佐倉ニ千葉中學校グライダー訓練大會 朝カラ雨ノ爲メ気マヨウ ソレデモヤルコトニナツテ清水晝頃來 晝食後行ク 朝工場ニ行キ野口君ニ明日ノコト電話シ速達ヲ徳治ニ出サセル 日東ノ製品ニツキ電話アリ 急グラシイノデ岡田ニツイテ調べサセ電話デ返事サセル 二三日中ニ完納スルコト 兄、清平來 明日ノ予定ニツキ話シノ準(ママ)序等計畫ヲ立ツ。後チ昨年ノ日記ヲ調べ吉田ノ交渉事項ニツキ省ミル 後チ舟板デ盆栽棚ヲ作ル 朝醫者ニ行ク 夜早ク床ニツク

▲▼112ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月15日(月)

天気 晴

時事 会社廿五万円ノ保儉ヲ附ス

朝神佛二今日ノ會議ヲ祈リ出社 葉方本日ヨリ出社 野口外一同ニ引合セル 岡田氏旅行中 留雄氏突然故他ニ約束アリ來ラレヌトノコト 福西ハ支拂日ノ爲メコラレヌガ決定通りニ異議ハ云フヌトノコト カクテ十時ノ会ガ正午晝食後一時頃ニナル 参加者菅谷君川口氏兄、清平、宮崎、野口。會議前大乘的立場カラ審議サレタイコトヲ希望シ清平ヨリ白渕氏トノ経過ヲ話シ昨日一マツ中止シタコトヲ述ベル アト自分ヨリ土曜日局ニ呼バレ技術部長ヨリ会社ノ状況ト財政状態ヲ聞カレ結局式十五万円ノ株ト二十五万ノ借金ヲ支拂テヤルカラ全部一先ツ手ヲ引セヨ 回答八月曜日トアッタノヲ火曜日ニシテ貰ツタコトヲ述ベル 章氏国産ヲ代表シテ讚(ママ)意ヲ表ス 菅谷例ノ調子デコチラニモ、案ガアルトノコトニ其案ヲ示サレタイト突込シタガ、ソレハ今云エヌトノコト。川口氏ハ結局吉田氏ノ意見ヲ聞クコトガ第一デアルトナリ宮崎ガ其間キ役トナル吉田氏本日特ニ出席ヲウナガシタノニ対シ病氣ノ爲メ出ラレヌトノコトデアッタ 宮崎氏一人デ行キ兼ネルトノコトニ川口氏ニ共ニ会ツテ貰フコトト尚席上菅谷君ノ会社改革案アリトノコトナレドモ社長トシテ知ラヌコトヲ局ヘ行ツテ話シサレルコトヲコトワルトキメツケテ居ク 尚川口氏ニ社長ノ意見ヲ無視シタル改革案ナド出タ場合自分ハ進退ニツキ考慮スル旨ノベテ居ク 尚吉田氏最初ノ伊藤ヲタスケテモノニナツタヲ手ヲ引クトノ言葉ニ対シ此際感謝ヲ以テ手ヲ引カラレ(ママ)事ヲ希望シテ居ク

◆◆113ページ◆◆ 昭和15(1940)年4月16日(火)

天気 快晴

五時半起床 六時ヨリ川口氏訪問 目的ハ菅谷君ヲ押ヘル爲メ 川口氏昨日二時間程待サレ吉田氏ニ會フズ同氏ノ意見(今回ノ話シハ佳イ話シト思フトノ讚成意見)ヲ宮崎ニヨク話シテ居イタトノコトデアッタ。スグ菅谷ニ電話スル 宮崎同氏宅ニ居リ相談中ノ由 自分ニ行ツタヲヨカロウトノコトデアッタ 辭シテ船橋ニ行キ清平上京ノ打合せヲナシ今日ハ吉田ノ返事ヲ聞ク爲メ終日在所スルコトトス 野口來 吉田氏ヘ會ツテ自分ノ考ヘヲ傳エテ貰フコトヲタノム 一、吉田氏ノ爲メニ伊藤会社ガ今回ノ話シガ出來タト考ヘ感謝シテ居ルコト。出來ルダケ損ヲカケナイ様最后案トシテ自分一個ノ考ヘハ十五万ノ借金ヲ廿五円株ニテ賣ツタコトニ引下ゲルコト 之レハ菅谷君デモ提案シテ呉レタラ自分ガ第一ニ賛成スル 外ニ土地デデモ色ヲツケル事モ出來ルト思フ旨ヲ述ベル 野口氏ハ吉田ハ今日トナツテハ面上意地デモ當会社ヲヨクシナケレバナラナイト考ヘテ工策シテ居ルトノコトデアッタ。ソレニ対シテハ此度ノ話ハ充分同氏ノ意思ガ尊重サレテ居ル旨ヲ述ベテ居ク 三時過ぎ野口吉田ニ行ク 八時電話アリ 重大事ニツキ今少シ考慮サセテ呉レトノコト 後十時頃更ニコチヲヨリ電話シ明日ノ取締役会ニ出テ貰ヒタイコトヲ依頼ス 岡田氏ニ電話シ留雄ニ同伴シテ貰フコト 川口氏菅谷氏ニモ明十時役員会ノコトヲ電話ス ドチヲモ不在ニツキ事傳ル。大坂佐渡島ヘ電話シ航空局カラ会社ニツキ重大ナ話シアリ 自分ハ局ノ關係上行ケナイカラ兄ヲ代ニヤルカラ會ツテ貰ヒタイ

トタノム 都合デ向カラ上京スルトノコトデアッタ 兄大坂出發ス 午後九時半船橋發

◆▼114ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月17日(水)

天気 快晴

時事 佐田航空官來場 試験無事終了ス

五時半起床 七時工場出 菅谷川口ニ電話スル 十時半富尾留雄岡田氏來 自宅へ奈良原氏ト行テ貰フ 川口氏一時ニ來ルトノコトデアッタガ來ラレナクナツタ由電話アリ 昨夜東京泊リノ菅谷氏來ルコトニナル 病氣欠勤カト思ツタ野口氏モ來 一時半ヨリ取締役会ヲ開ク 一昨日昨日ノ経過ヲ話シ留雄氏ヨリ意見ヲ聞ク 賛成 次ギニ菅谷氏 之レモ意外賛成意見ヲ述べタゞ自分ニモ案ガアルカラ無條件服従ハ出來ナイ ヨリヨイ條件ニスル爲メ努力サレタイトノ希望付 次ギニ岡田氏同様ノ意見 但シ最悪ノ場合先方提示ノ通りニテモ應ズル心カマエニテ賛成 野口氏同ジク意(ママ)義ナシ 清平ニ聞ク辻モナシ 奈良原氏モトヨリ。決議録ニ記入 三時半終ル 清平ト上京 木下ニ報告 共ニ技術部長訪問 吉田ヨリタレカ連レテ行クカラ過已ヲネグライ一切ヲ渡セト云ツテ貰フコトヲ打合ス 尚部長ヨリ白渕氏ニ会ツタコト 同氏取締役トシテ入レルコトノ話シアリ 尚役員ノ振当ニツキ十九日船崎氏同道部長へ木下氏行クコトニナル 白渕氏ヨリ清平へ謝禮金ノ請求書來ル 大坂ト橋本国雄へ速達出ス

◆▼115ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月18日(木)

天気 晴

六時起床 定刻出 川口氏ニ電話ス 野口君ニモ電話ス 出社スルトノコト 山東家内ノ葬儀二節子ト宇賀行クコトニナリ香奠ヲ事傳ル 野口宮崎各十円ヅヽニツキ自分ニ十円 外役員五円ヅヽトス。九時川口氏訪問 昨日ノ報告ヲナシ航空局へ同行ヲ頼ミ吉田氏ト連絡シテ行クトノコトデ後刻時間ノ打合せスルコトトシテ歸社 野口君ニ其旨ツタエ昨日ノ決議モ吉田ニツタエル様話ス 川口氏ノ話シデハ宮崎ノ改革案デ機械辻買ツテ有ルトノコト 野口君ノ口振リデ見テモ大分進ンデ居ルラシク吉田トシテハ又航空局ノ声カヽリト云フノデ又自分デヤツテ見タイ考モシテ居ルラシイ。野口君ソレデモ一生懸命仕事ノ方ヤツテ行クノハ感心ダ 弘中ヨリ発注半分ニシテ見積書ヲ出セトノ返事來 野口君ニ出サセル

晝帰宅 野口君ノ書イタ昨日ノ決議録ノ写シヲ大坂へ送ル アト一通写シヲツクツテ居ク。兄ヨリ佐渡島金先キニ送レトノコトノ由 竹島不在 中山氏廿日歸ルトノコトニ其上ノコトニスル様清平ト話ス

夜川口氏ニ電話スル 吉田氏ト連絡取レナイガアス行ツテ見様トノコトニテ九時半津田

沼駅デ待合スコトス

▲▼116ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月19日(金)

天気 雨後晴

六時起床 定刻出 川口氏ニ電話シテ打合セ船橋省線駅デ待合ス事トス 今日検査官來ルコト 日本パイプ電話アルカモ知レスコト 鋼棒切断ノコトヲ命ジ清平宅ニヨリ宇賀アトヨリ來ルコトヲ話シ九時半駅ニテ待ツ。九時四十五分川口氏ト上京 十時半技術部長ニ會フ 同氏ヨリ川口氏ニ吉田氏ノ伊藤援助ヲ謝シ今後モ宜シクト云ヒ然シ此度ノ航空局ノ斡旋ニ対シ少シデモカレコレ免(ママ)倒ナ話ニナルナラ局トシテハ一サイ手ヲ引キ、アトドウナルトモカマワナイト云ワレタ。アトデ川口氏ノ話ニ対シ取引上ノ事ハ直接交渉シタラヨカロウト云ワレタノハ一寸困ツタ 川口氏ヲ上野駅ニ送ル 明後日午前中ニ帰ルカラ吉田氏ニ會ツテ話ストノコトデアツタガ直手紙ヲ出シテ貫ヒタイコトヲ依頼ス 正午クラブへ清水君ヲ呼び会社へ來ル希望アルカラ聞ク 最(ママ)非來タイトノコト 鷺見君ノコトモ希望アルラシイトノコトデアツタ

午後佐藤未亡人カラ委任状ノ判ヲ貰フ。四時クラブニテ舟崎氏ニ會ヒ其後ノ経過ヲ話ス 同氏ヨリ株主總會ノ委任状取ツテ居イテ貫ヒタイトテ原稿ヲ呉レタ 宇賀商工省へ行ク 木下氏本日発熱シテ來ラレナイトノコトデ技術部長ト舟崎氏会见ヲ月曜日ニ延期ス。其旨船橋ヨリ桜井氏宅へ電話ス。野口休ミ、多分千葉デ相談シテ居ル事ダロウ

▲▼116ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月20日(土)

天気 晴後曇リ

▲▼117ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月20日(土)

天気 晴後曇リ

七時半宇賀來 昨日商工省ノ模様ヲ聞ク ヤハリ理事ノ履歷書出スコトナリ今日スグ速達デ求メルコト 縣庁へ行テ書式ヲ聞イテ來ルコト 会社ノ方ハアト二三日デマトマルカラ静觀スル様話ス 特免会社カラ綿四梱四月分配給アルコトニナツタトノ通知昨日來 工場へ取ツテヤリ、清平宅へ持参ス 尚兄へノ手紙書カセスグ上京。秋田氏訪問 委任状ニ判ヲ貰ヒ銀坐ニ行き書留速達ニシテ出ス 飛行協会ニヨリ小野氏会議中ニツキ西山へ昨日津田沼へワザ、來場サレタ札ヲ述ベニ二千六百年記念ノ爲メ航空効(ママ)労者表章(ママ)撰コウ委員受諾ノ旨述ベテ局ニ行き大塚大佐ヲタツネタガ不在。福西ニ行

ク、マダ帰テ居ラズ。博覧会ヲ見ル。今日初メテテレビジョンヲ見ル。余リセンメイデハナカッタ。マダマダ進歩ノ余地アル。

二時工場ニ帰ル。野口氏ニ昨日川口氏ト局ヘ行ツタコトダケ話ス。昨日野口千葉ニ行ツタ筈ニツキ吉田氏ノ意見如何ト聞イタガマダ何ニモ聞カナイトノコトデアッタ。仕事振リカラ見テ一寸六ヶ間敷カト予感サレタ。三時菅谷ヨリ電話アリ。佐藤先生來テ居ルカラ會ヒタイスグ來テ呉レトノコトニ四時丁度菅谷宅ニツク。

以下菅谷宅ニテノ話

佐藤氏ヨリ何故其後來テ呉レナカッタカトノコト。国産デ取消スコトヲ遅延サセテ居タノデ月曜日公証役場ヘ行ク予定シタ處土曜日ニ航空局ノ此度ノ話シ初マリ多忙ニテ行ケナカッタト答フ。尚菅谷氏ヨリ航空局ノ話シタカラ聞ク。アラマシ聞イタガクワシク聞キタイトノ事ニ昨年今頃ヨリ乗員養生用機材ノ整備ニツキ局ニ願出テ居タ事、其後合同問題ガアッタコト。ツヒニ出來ズ昨年末ニ及ビ局トシテ考慮シテ呉レルトノコトニマカセテアッタ事、議会中デアッタノデ其後局ヘハ其問題デハ行カナカッタ事。然ル處突然土曜日ニヨバレ幣(ママ)社一月末ノ決算表ニモトツキ二十五万円ノ損失計上ノ理由ヲ聞カレタコト。従ツテ株ハ二十五万円デ決議サレテ居ルコト。二十五万円ノ借金ハ非常金デヤラネバナライカトトノコトニ金デ決済スル必要アリト答ヘタル處ソレデハ五十万円アレバ方ガツクカトノ問ニツク旨返答ヲシタ事。急キヨ月曜日ニ役員會ヲ開キ吉田氏ノ意見ヲ聞クコトニシタコト。十七日取締役會ヲ開キ吉田氏ノ意見ハ別トシテ役員ノ意見ヲマトメタル爲メ開催、破談ニシナイ程度ニ交渉ヲ續ケ、イクラデモ有利ニ取キメルコトノ決(ママ)論ニ達シタコトヲ話ス。之レニ対シ菅谷氏ハ尚交渉ノ余地充分ニアリト自分ハ云ツタトフエンサレタ。

尚白渕氏問題ニツキ次ギノ如ク説明ス。昨年春海軍ノ仕事ヲ取ル爲メ努力シテ海軍ノ動員計画ニ加ヘラレ職工辻教育ヲ受ケ、或ル程度ノ設備ヲシタラ仕事ヲ貰エル迄ニナツテ居タ(此時佐藤氏ソレハソウダロウト云ワル)ガ不幸ニシテ其設備ガ出來ナカッタノデ清平ガ白渕氏ニ如何ニシタラヨカロウカト相談シタ處同氏關係デ金ヲ出ス人ヲ照(ママ)介スルカラヤツテハドウカトノ話シヨリ進行シ各役員ニモ相談。諒解ヲ得菅谷氏モ白渕氏ト會見サレ結果役員會ニテ小生ニ交渉ノ任ヲ定メラレ白渕氏ト交渉。本月十四日工場ヲ見ル(ママ)來ル迄ニナツテ居タ處ヘ局ノ話シガアリ局ヘモ其旨話シタルニ、スグコトワレト云レタニヨリ一時中止シテ貰ツテ居ル次第アルト述べル。之レニ対シ菅谷氏ハ白渕氏ト自分モアッタガ、ソノ方ハ全然問題ニナラナイ。出來ナイ話シデスト辨明シテ居タ。

以上ニヨリ佐藤氏ハ菅谷氏ニ自分ニ依頼サレタ方針ガ確固タルモノデアルナラ他ノ出資ノ話シヲ進メルコトハ困ル。自分ヘノ依頼ノ整理案一點張りデヤツテ

▲▼116ページ▲▼昭和15(1940)年4月20日(土)

(117ページから続く)

貫ヒタイト云フ 菅谷ニソレハ其方針ニ吉田氏ハ決定シテ他ハカエリミナイト返答シタガソレナラ何故新出資交渉ヲ吉田氏ガ承認シタカトノコトニ菅谷氏タヂ、ノ体デソレハ川口氏モ心配シテ此話シヲ進メタラトノコトニ川口氏ノ手前川口氏ニ様子ヲ見テ貫フ程度ニ依頼シタ迄デアルト考ヘテ居ク

佐藤氏ノ話シニハ吉田氏ノ更生案ハ國産ト伊藤ノ株ヲ全部吉田ヘ引渡スコトデアルトノコト。ソレハ初耳デ過日三田浜デハ國産ノ株ヲ取ルコトノ話シダケシカ聞カナカッタコトヲ強ク云フ 佐藤氏更ニ吉田氏ニマカセテハドウカトノコトニオマカセスルコトハ昨年来ノ方針デアルガ此度ノ更生案ナルモノハマダ何ンモ聞イテ居ラナイカラ自分ノ意見ハ申上ゲラレナイトキツパリコトワル 尚其上ソレデハ君ノ希望意見ヲ聞カセテ呉レトノコトデアッタガソレハ吉田氏ニ対シ自分カラ案ヲ出ス訳ニ行カナイト云ツタガ最(ママ)非出シタラヨカロウトノコトデアッタガ突然ダカラトテコトワル

外ニ田山氏ニ会ツテ創立當時ノコトヲ質問シタ處ツヒニ余(自分)ノ話シタ處(ママ)リニ自白シタ 尚円満ニ解決スルコトニハ田山氏モ協力スルコトニナツタガ同氏ハ廿三日迄大坂ニ旅行スルシ佐藤氏モ廿四日迄旅行スルノデ其後ニ会见 吉田ノ改革案ニテ話シヲ進メル予定ナリトノコトデアッタガ尚吉田氏ト川口氏ノ意見ガグラツイテ居テハ法律上ノ責任ハ取レナイカラ其點ヲ確カニシテ居イテ呉レト菅谷氏ニ迫ツテ居タ 川口氏明朝帰ルニツキ明後日其點ハツキリスルトノコトデアアル

別室ニテ菅谷氏ト話ス 同氏ハ新ラシイ仕事モ取ツテアルトノコトデアッタ 別ニ何ニカト聞カナカッタガ此際吉田氏ニ大シタ損ヲカケナイデ手ヲ引イテ貫フコトハ吉田氏ニ対シ恩返しノ一端トモナリ菅谷ノ責任モ幾分軽クナルモノダシ又コレカラ更生案ニヨツテヤツテモ、ハタシテウマク行クカドウカ疑問ダカラト話ス 之レニハ菅谷氏モオトナシクウナツイテ居タ

尚終リモ辨護士ト菅谷氏ノ前デ御参考迄ニ話ストテ左ノ通り話ス菅谷氏ノ御尽力デ吉田氏ガ御参加下サツタ 最初ノ御意志トシテ千葉県ノ事業トシテ伊藤君ノ不愚(ママ)ヲ救ヒ確實ニヤレル様ニナツタ上ハ伊藤君ニスベテヲ譲ルト云ワレタ事ガ自分ハ衷心感謝ニ堪エナイノデアアル 従ツテ此度ノ話シハ航空局ガ自分ヲ捨(ママ)ヒ上ゲテ更生サセテ呉レル事ニナツタノハ一重ニ吉田氏ガ今日迄一昨年末ドウナツタカ分ラナイ会社ヲ永續サセテ下サツタ御蔭デアルト感謝シテ居ル次第デアルカラ此度ノ話ハ吉田氏ノ御損害ヲ最少ニトゞメテ御手ヲ引イテ頂ケルヨイ案デアルト考ヘルモノデ之レニハ賛成ヲ得タイ考ヘデアアルコトヲ佐藤、小西両先生ニ参考迄ニ申上ゲルト述ベル 佐藤先生ハアク迄吉田氏案ニマカセロトノコトデアッタ 之レハ商賣氣モ大ニアル事ト思フ

別室ノ話シ後スグ帰ル 菅谷氏ハ二人ト会食ニドコカ行クトノコトデアッタ 以上

右ニヨリ野口君ノ態度カラ見テ吉田案デ押シ進ム考ヘモアルラシイ様ニ思ワレルノデ川口氏ニヨツテ吉田氏ノ意見ヲ変エサセル外ナイト思フ 尚菅谷氏ヲ説クコトモ又急務ナリト考ヘ明朝菅谷氏訪問ノコトヲ考フ

◆▼118ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月21日(日)

天気 晴雨晴

昨日ノ結果ニ見テ菅谷君ヲ説ク必要アリ七時半ニテ千葉ニ行ク 一寸外出シタトノコトニ妻君ト少時話ス 菅谷君帰り航空局案ニ同意スル様説ク 川口氏ハスデニ其意デア  
ルコトハ菅谷君モヨク知ツテ居タ 明日ハ吉田氏ト會エル筈ダカラ決定スルトノコト  
帰途注射ニ立寄り工場ニ帰り正午野口君ヲ二階ニ呼ビ昨日佐藤辨ゴ士ト會見模様ヲ  
話ス 野口君ハ此際航空局案ニヨリ菅谷氏トシテハ内部的ニ吉田ニ有利ナ様努力スルコ  
トガ必要ダトノ意見ヲ述ベテ居タ 尚国産ノ株ヲタゞ取ルト今日菅谷君ノ説ヲ話スト  
ソレハ吉田ノ人格ヲ傷ツケルモノデ吉田ハ賛成シナイダロウトノコトデアッタ 午後帰宅  
清平ニ以上ノ話シヲナシ特免会社ノ模様ヲ聞ク

◆▼119ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月22日(月)

天気 晴

今日吉田氏ト川口菅谷會見予定ニツキ早朝川口氏訪問 川口氏ハアク迄コンドノ案ヲ  
支持スル氣持ガ見ラレタノデ安心シテ清平宅ニ行ク 大坂佐渡島現金引替ヲ主張シテ  
ユヅラストノ電話アリタル由 中山氏廿七日帰坂ノ由 中山氏ニ依頼スル様云フ 宇賀  
ト清平特免会社へ行ク 自分一度帰宅 モーニングト着替上京 福西ニ行キ不在 少  
時待ツ 今朝田山氏カラ呼バレテ行ツタトノコト 吉田ノ計畫スツカリ聞イタ由 當方  
ヨリ航空局ノ話シクワシク話ス 田山氏會ヒタイトノコトニ福西同道行ク 佐藤氏ハ航  
空局ノ話シハ仮リ作り上ゲタモノト考ヘテ居ル由 コヽデモ又田山氏ニクワシク話シ多分  
本日ヲ以テ吉田ノ諒解マトマルモノト考ヘル旨答へ結果知ラセルコトトス 國産ハ當分一  
切知セズニ居キタイコトヲタノンデ居ク 航空時代ニ行キ百三十円上半期広告料ヲ拂  
五時生田、松下來 生田ニ特免会社ヨリ四梱配給ニナツタコトヲ話ス。今回モ其爲メニ  
來タラシイノデ喜ンデ居タガドウモ生田ノヤリ方ハ氣ニイラナイ

◆▼120ページ◆▼ 昭和15(1940)年4月23日(火)

天気 晴

八時工場出 菅谷ニ電話スル 昨日吉田氏ニ會ツタガ川口氏ヨリアトデ行ツタノデ、ク  
ワシクハ川口氏カラ聞イテ呉レトノコトデ少シ變ニ感ジタ 川口氏ニ電話ス 尚一兩日  
考ヘサセテ呉レトノコトデアッタ由 ソレヲ云フ迄ニドウモ話シタクソウナ風デ之レハ大分  
六ツ間敷ナト思フ 清平ニ右報告シ生田ニ會フ様話ス。野口君ニ會ヒニ行クトノコトデア  
ツタ 九時川口氏訪問 様子ヲ聞ク 吉田氏トシテハ各方面ニ手ヲ広ゲテ更生案ヲ立

テテ居ル關係上ソウスグト云フ訳ニ六行カナイラシイガ一兩日中ニ返事スルトノコトデア  
アル由 尚月末近キ事ナド話シ航空局案賛成方ヲタノミ明日吉田氏ノ返事ヲ聞イテ  
貰フ様タノム 帰宅晝食 工場へ行ク予定ノ處へ工場ヨリ電話ニテ木下氏ガスグ來レ(マ  
マ)クレトノコト 二時上京 三時クラブ着 タレモ居ラズ 話シハ吉田ヨリ佐藤辨ゴ土局  
へ行ツタトノコトニスグ局工政課ニ行ク 課長不在 土井、村上氏ニ聞イタガタレモ來ナ  
イトノコト 技術部長其他会議中ノ由ニツキ再ビクラブニ歸ル 木下、舟崎両氏居リ本  
日木下へ桜井氏ヨリ電話ニテ昨日佐藤ガ吉田側トシテ來タ由 クワシイコトハ木下ニ聞  
ケトテ歸シタトノコト 尚其際会社不正事例アリト話シタトノコト 電話ニツキクワシ  
クハ、ワカラナカッタトノコト 考へレバ昨年來工場不況ニ導イタノモ横領ノ下心カララ  
シイ様ニモ思ワレル 舟崎氏ハタシカニソウダトノ見解デアッタ 結局明日日川口氏吉田ノ  
返事聞キニ行トノコトニ木下氏ト同道川口氏五時半訪問 木下ヲ照会 木下ヨリ今  
迄ノ経過ヲ話シ善処方ヲ依頼 川口氏モヨク分ツタトノコトデアッタ。木下氏スグ歸ル  
自分清平ニ話シテカラ歸宅ス

◆▼121ページ◆▼昭和15(1940)年4月24日(水)

天気 晴

時事 航空界引退決意

三時ノ時計ヲ聞イテカラズト考へル 吉田ガ佐藤ヲ局へヤッタモノト考へルト局ノ話シ  
ヲコウス手段ト云フコトハハッキリ分ルノデ、コレハトテモ一通リデハ済マナイト思レタ 結  
局国産ワイヂメ佐藤側ヲモ同様ニ株ヲ取り上ゲ様トノ手段ニ相違ナク斯克考エレバ昨  
年來ノコトハハッキリスベテガ鏡ニ写ツタ如クニ分ツテ來タ 大坂ノ株ヲ取ツタコト 清平  
ヲヤメサセタコト 社長ヲロボットニシタコト 会社ヲワザ、不況ニ導イタコト 白洲ノ  
話シヲ永ビカセ不調ニ終ラセ様トシタコト等。ソコデ自分ハ今日ノ返答ガモウアラカタ  
分ルノデ対策トシテハ吉田ニ味方スル訳ニハ行カズ国産ヲカバウコトモ出來ズ結局止メル  
外ナシ 然ル上ハ熱勢ヒ此際航空界ヲ引退スル外ナシトノ結論ニ達シタノデ今日返事ニ  
ヨリ明日午後二時カラ役員会ヲ開クコト 以上ノ相談ヲスル爲清平ニ行キ更ニ菅谷君  
ニ一言挨拶シテ居キ十時工場出 奈良原氏來テ居タノデ以上ヲ述べ野口ヲ呼び同様  
讚(ママ)意ヲ話シ尚最后ノ方法トシテ吉田氏ガ自分ニ会ツテ呉レルナラ会ヒタイ旨野  
口ニ話ス 野口九時頃千葉ニ行ク 五時電話シタラ主人醫者ニ行ツテ居ラズ 野口モド  
コカへ出テ行ツタトノコト 川口氏マダコヌ由。木下氏桜井部長ト会見ノ模様電話アリ  
佐藤ハ会社創立當時ノコトニヨリ伊藤ト國産ヲ告訴スルコトヲ吉田カラ依頼サレテ居ル  
尚役員会デ局ノ話シニ應ズル様キメタコトハナイ 自分モ會議ニ列シタナドウソヲ云ツテ  
居タ由

七時飛行クラブノ清平ト電話デ話シ帰宅シテ返答ヲ待ツコトトス 木下氏ニマダ、クラ  
ブニ居テ呉レタ由



▲▼122ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月25日(木)

天気晴

午前一時カラ眠レヌマ、今日ノ予定ヲ考ヘル 川口氏ニ吉田ノ返事ヲ聞キニ行クコト 佐藤辦ゴ士ヲ何ントカ説キ伏セテ吉田依頼ノ件ヲ中止サセルコトヲアレコレ考慮ス 今日八家内浅川へ旅行スルノデ四時二起キル 自分六時起床 川口氏八時訪問 同氏モ昨夜吉田氏訪問 例ニヨツテ待タサレ終車デ帰宅 寝タノハ二時ニナツタトノコトデアツタ 吉田氏へ局へ回答モ急グシ工場内ノ状待(ママ)モ一日モユルガセニ出来ナイカラ吉田案デヤルカ局案デヤルカ 吉田案デヤルナラ局ヲナットクサセ得ルダケノ案ヲ明示シテコトワリニ行クコトノ回答ヲ求メタルニ尚考へサセテ呉レ 急グコトモワカッタトノコトデ又々要領ヲ得ナイ由 尚吉田ハ現物ノマヽヲ他ニ引渡スコトハ吉田ノ面目トシテ千葉県デ

▲▼123ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月26日(金)

天気晴

六時起床 徳治ニ組合書類工場ニ取りニヤリ七時半出 清平宅ニヨル 技術部長十時半ニコイトノコトニ時間ガ早イノデ少時話シ九時福西ニ行キ五百円手形書替分渡シ利子廿五円ト共ニ封筒ニ入レ玄関デ妻君ニ渡ス。福西居ルトノコトニ應接ニ通り十五分アマリ待サレ会见 今日田山氏ト會フノニ、ナルベク局案デヤル様先方辦ゴ士ニ頼ンデ貰フコトヲ依頼ス

局ニ行ク 丁度十時半 部長会議中トノコトニ名刺ヲアツケ飛行館ニ行ク 清平一人デアツタ 十二時半頃漸クソロフ 晝食中ニ相談 値段ノ問題ヲ其場デキメズ後刻回答ノコトニキメルコトニ申合セ一時五分文部省着 タヽチニ初マル 學務課長ノ挨拶 関口氏ノ説明 山崎氏ノ解説後資材價格、配給ニツキ五時迄會議 終ツテ明日價格、組合ヲ通スカ各社へ発注スルカ、色ヲ何ニスルカ 以上ニツキ回答スルコトニナリ一同曙ニ行ク 自分一人サラニ山崎氏ニ會ヒ関口氏ノ意見ヲ聞イテ貰フ 價格五百五十円ト以前ニ聞イテ居タノハ絶対カ 六百円デハドウカトノ點ニツキ笑ツテコタエズ 五百五十円ヨリ多少ハアユミヨルガ六百円ハダメラシイトノコト 之レニヨリ曙ニテ會議 十時迄二百七十円(生田聞イタ値段)ニキメタカ條件ヲ附スルコトナル 色ハクリーム 注文ハ各社別個ノコト

▲▼122ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月25日(木)

(122ページから続く)

顔ヲ上ゲテ歩ケナイカラ自分ノ手デヨクシテ他ニヤルモノナラヤリタイトノ希望ヲ持ツテ居ル由 ソレニ対シテ八面目上ノ事ハ一搬資本家ヘノ肩替リナラ、ソウモ考ヘラル、ガ監督官庁タル航空局ノ斡旋ニヨルコトデアルカラ吉田氏ノ顔ハ立派ニ立ツデハナイカト云ワレタ由

本日佐藤辨ゴ士宅ヘ十時ニ來テ吳レトノコトノ由 川口氏急(ママ)ガシイノダガ一所二行クトテ船橋駅デ待合セルコトニシ清平宅ニ行キ清平福西ヘ国産ノ人タチト會ヒニ行クコトニシ十時半川口氏ト落合ヒ上京 十一時二十分佐藤事ム所ニツク 菅谷氏スデニ來テ居タ 今日ハコ、デ田山氏ト會見予定デアツタガ田山氏明日ニ延期シテ吳レトノコトデアツタ由。佐藤辨ゴ士ニ桜井部長ヲ訪問シタコトハ氏個人ノ考デアツタカ吉田氏ノ依頼ヲ受テ行カレタカト聞ク 吉田氏ノ依頼ニヨツテ行ツタ 君ノ話シト大分チガウ。航空局ハ何ニモ知ラナイ タゞ援助スルト云ツタダケダトノコト 自分ノ一(ママ)ツタコトニ一ツモ嘘ハナイ 局ガ援助シテ吳レルコトニナツタノハ木下ガ資本家ノ間トヲ奔走シテ吳レタコトデ金ハ局カラ出ナイコトモ初メカラ云ツテアル。タゞ局ガ援助シテ吳レルニツイテハ局課長會議迫関ハテ、キメタコトデ其翌日自分ガヨバレテ話シヲ聞カサレタモノデアール ドコニ話シガ違ツタ處ガアルカト反バクス 尚菅谷話シノ中ニ又例ノ無方針云々ヲ云ヒ出シタノデ我マンナラズ今日ハ一寸待ツテトオサエ何ニガ無方針デアツタカ 昨年大坂カカラ帰ツタ直後吉田氏ニ大小ニ案ヲ提出シタニモカ、ワラズ、其マニギリツブシテ実行サセナイカラ無方針ニナツタノデハナイカ。菅谷ソソナ方針ハ見タコトモナイトノコトニ見タケレバ吉田氏ノ手許ニアルカラ見セテ貰エトキメツケル ツヒニ彼ロフツグム 川口氏取ナス 又佐藤氏ヨリ自分ニ吉田案ニ從ツテヤルカトノコトニ此前三モ聞カレタ問題デ吉田氏ノ案ヲ聞カナイ内ハ返答出來ナイトコトワル 然ラバ君ノ意見ハドウカトノコトニ自分トシテハ此度ノ航空局ノ話ヲ最善ナルモノト考ヘル 吉田氏、ガ之レニ、ヨキ回答ヲ與ヘラレルコトノミヲ待ツテ居ルト述ル

最后ニ明日午後三時田山氏ガ国産ノ方ノ話シヲマトメテ返事ニ來ル筈ダカラ明日ハ万事キマルダロウトテ国産ガ、オドシニ應ズルモノ、如ク信ジタ口振りデアツタ。一時終リ銀坐美松デ晝食 二時間ヲツヒヤシ三時終ル 飛行クラブニヨル タレモ居ラズ 福西ノ電話番號ヲ書イテ居キ同氏宅ニ行ク。會スルモノ国産三人 奈良原、清平外ニ岩間氏ガ居タ 国産ハマダ何ニモ知ラナカッタガ明日田山氏ノ佐藤トノ會見ハ国産ノ返事ニヨルノデ之レ以上カクス訳ニモ行カナイガ自分ノロカラハ云エナイノデ福西ガ田山氏カラ聞イタ通リヲ話シテ貰フ ハタシテ國産ハソソナコトデー株モ出セナイ、トノコトデアツタ 明朝田山氏ト福西国産ガ會見 電話デ此度ノコトガ決裂シタ場合航空界ヲ引退スル決意ヲ話シ尚出來ルナラバ、佐藤氏ニ今取リツ、アル手段ヲ中止サセルノミナラズ吉田氏ニムシロ局案ニヨル円満解決ヲハカル様努力セラレタシトタノム 終テ五時辭シクラブニ行ク 木下、井倉氏ニ以上ノ経過ヲ報告シ明日ハ一日文部省ノコトニカ、ルノデ明後日會フ約束ヲシテ帰ル 兄大坂ヨリ晝帰り野口ト會談シタ由

◆▼124ページ◆▼昭和15(1940)年4月27日(土)

天気 曇雨風

六時起床 八時十分前工場出 佐藤、宇賀、肥田木ニソレ、用件ヲ済マセ八時二十五分ニテ清平ニ行ク 木下ヨリ電話アリ 技術部長ノ方ヨリ吉田ノ方早クヤレトノコトニ吉田ニ会见ヲ電話デ申込ム 女中ノ声ニテ不在イツ帰ルカ分ラヌ由 止ムヲ得ズ手紙ヲ書キ速達親展ニテ出ス 回答ヲ求ム 清平ト上京 自分局ニ行ク 技術部長不在 工政課へ電話ノ証明ヲ依頼シ三十日朝貰ヒニ來ルコトニシテ俄雨ノ爲メ傘ヲ求メ三越ニテ晝食シ一時クラブニ行ク 宮本氏居リ木下氏ト連絡 羽田へ行クコトトス 同工場ニテ会见 今朝手紙ノ写シヲ見セ尚明日川口氏訪問ノ予定ヲ述ベ工場ノ一部見學シテ三時再ビクラブニ帰ル 清平來 井倉氏トモ會フ

船橋ニテ岡田氏ヨリ電話アリ会エトノコトニ連絡シ福西宅デ待ツ 本日国産ハ勝手ニイクラデ賣ルト云フコトハ出來ナイトコトワツタ由 尚創立當時ノ帳簿記入ニツキ山東ニツキ調査 大シタ違反モナキ由 田山氏モ問題ニナルマイトノ見解ノ由

菅谷、佐藤、小西、四時半頃国産ニ行キ伊藤ヲ告発シタ(此コトハ田山氏ニモ云ツタ由)ト言明 国産ノ株ヲ無條件提出ヲ要求シタル由 之レモコトワツタトノコト 七時頃福西宅ニテ会合 報告ヲ聞ク 尚円満解決ノ爲メ月曜日解答スルコトニナツテ居ル由 田山氏ノ意見ハ誰レカ吉田氏ヲ説得スル人ガアレバソレガ一番近道トノコト。ソレモ六ツ間敷ノデ結局今一度川口氏ノ認識不足(創立當時ニ不正アリトノ觀念ヲ解ク爲明日会见スルコトトス 吉田氏ヨリ会见申込ニ対シ回答無シ 野口ノ手紙報告シテ株主總會ヲ菅谷ヨリ申出アリ通知ダシタ由

◆▼125ページ◆▼昭和15(1940)年4月28日(日)

天気 雨曇夜晴

清平ニ行ク 八時川口氏スグ來テ呉レトノコト 清平同道九時ツク 会见 知ツテ居ルカドウカ昨日告訴シタトノコト 株主總會招集ノ件並ニ國産ノ返事等ヲ話スト知ラナイトノコトデアッタ 目的ハ吉田氏ニ會ワセテ貰フニアッタノデ懇願ス ソレデハ政友会支部デ待ツテ居テ呉レタラ川口氏吉田宅へ先キニ行クカラ電話シテ呉レタラスグ來ル様ニオシエル 時間ハ午後一時頃トノコトニ尚清平カラ二三想(ママ)談 十時半清平宅帰ル 奈良原氏居ラレ百円御渡しシ今夜福井ニ行カレル打合せヲナス 晝食後イソイデ千葉ニ行ク 一時十分支部着 同三十分吉田へ電話スル マダコヌトノコト 二時更ニシタガマダコヌトノコト 二時半川口氏支部ニアラワレ支部カラ吉田ニ電話セラル 今居ルガコレカラドコカエ出カケルトノコトニツヒニ會ワズ 今夜加納屋ノ宴会デ會フトノコトニ何分ノ局ニ対スル返事ヲタノミ工場ニ帰ル 野口氏三時頃來タラシイ

終業後階上デ野口氏ヨリ株主總會招集ヲ菅谷氏ノ電話ガ昨日ニ回モアッタガ手續キ

不備ノ爲メ出来カネルノデ今朝來菅谷氏へ行ツタガ不在ノ爲メオクレタトノコト 吉田氏モ会ワナカッタ由 一時吉田ニ行ツタラスデニ出タアトノコト コレハウソト明ラカデニ時半川口氏ノ電話ノ時ハコレカラ出ル處ダツタカラデアアル 自分カラハ手續キダケハ今日ノ場合余程注意サレタシ 折角ノ總會ガ無効ニナツテハ才氣ノ毒ダカラト注意ス小西辨ゴ士來 野口氏會フ 自分船橋ニ行キ堀閣下ニ相談スベク電話シタガ來月二日迄旅行ノ由

本日午後二時菅谷氏福西訪問 此上ハ告訴ノ一途アルノミト強ガツテ居タガ明日國産ノ人タチトモ會ヒタイカラ來テ呉レ 時刻ハ明日打合ストノコト

▲▼126ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月29日(月)

天気 晴

七時半起床 ユックリシタ 散髪後工場行き 九時半吉田ニ電話スル 只今御留都(ママ)デスト予定通りデアッタ 船橋へ電話シ今日福西へ自分ハ社長ノ立場上行クコトヲ止メル旨ツタエ木下連絡取レタラ行クコトトス。久シ振りデユックリス 午後組合ノ廿六日ノ記録ヲ作ル 後チ今回ノ事件ニツキ心境ヲ記ス。夜川口氏宅へ來テ呉レトノコトニ夕食後七時川口氏宅ニツク 株主總會ハ手續キ上出来ナクナツタノデ議案中役員改撰ノ件ハ実ハ社長ヲ辞任シテ貫ヒタイ事デアッタノデ此際止メテ呉レ 理由ハ明日國産側カラ株ノ讓渡ニツイテノ返事アル筈ダガ万一ノ場合告訴スルコトニナルカラ其場合第一ニ君ガ責任者ダカラ槍玉ニ上ラネバナラナイ。吉田氏ハあく迄君ヲ將來見テヤリタイト思フガ、ソナコトニナルトソレガ出来ナイノデ今ノ中ニ辞任シテ呉レレバ將來免(ママ)倒ヲ見ルカラトノコト 考慮スル旨述べ尚期限ガアルカト聞クトナイガ早イ方ガヨイトノ事

船橋ニ行ク 丁度兄ト清平ガ帰ツタ處デアッタ 今日ノ福西宅へ國産三人來 明日ノ回答ハヤリ應ジラレナイ意味ノコトヲ田山氏ニ返事スル筈 昨日菅谷ガ福西ヲ訪問シタノハヨク意味ハ分ラナイガ最后ノ調定(ママ)ヲ意味シテ居ルノデハナイカ。川口ヨリノ話シヲナシ福西へ報告ノ爲メ電話シタラ丁度今菅谷來テ居ルトノコト 中々御勉強ダ

▲▼127ページ▲▼ 昭和15(1940)年4月30日(火)

天気 晴

六時起床 昨夜一時間オキ位ニ目ガ醒メ今日ハ眠カッタ

八時工場出 徳治同道清平ト共ニ上京 徳次航空局へ証明ヲ貰ヒ電話ノ申込ミニ行ク。清平ト福西ニ行ク 福西モ多忙ノ爲メ小川氏へ行ク 自動車中ニテ昨夜菅谷君トノ会见模様ヲクワシク聞ク 結局菅谷ハ告訴一點張りデ進ムカラ話シハ川口氏ニ話シテホシイ 尚伊藤、國産側一人トテ明日(今日ノコト)川口氏ニ會ツテ呉レトテ電話番号迄教

エテ帰ツタトノコト。午後田山氏事ム所ニ福西、岡田自分清平ト話シ會フ。岡田氏ヨリ佐藤菅谷国産訪問ノ模様ヲ話シ福西ヨリ二日ニ渡ル菅谷君訪問ヲ話シ自分ヨリ昨夜川口氏ヨリ社長辞任問題ヲ話ス。田山氏ヘノ質問告訴ガ成立スルヤ否ヤニツキ同氏ハ単ナル商法違反程度デ起訴ニハナラナイ。社長ニ対スルサギ告訴ナンカ問題ニナラズ。六万円問題ハ会社成立前ノ公証々書ヨリ出資シタコトガ明ラカニナルカラ手續キ上ノ事ダケデヤハリ問題ニナラヌトノコトデアッタ。尚廿七日佐藤事ム所ニテ田山氏ニ対シ国産伊藤ノ株ヲ提供サセ吉田ヨリ涙金ヲ與ヘソレヲ全部合セテ今度ノ局ノ話カ又ハ今一口ノ方ヘ賣込ム予定ナリ云ヒタル由。之レデ初メテ吉田ノ眞意ガ分ツタ。昨日新タニ菅谷ハ国産ヲオドカス爲メ京都ヘ行クトモ云ツテ居タ由。

午後五時クラブニテ木下宮本氏ニ會ヒ以上ヲスベテ話シ今少シク日延シテ居イテ貰フコトトス。

清平宅ニテ宇賀ニ会ヒ初メテ以上ノ話シヲス

◆▼129ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月1日(水)

天気晴

七時半起床 マダ眠カッタ 昨夜一時頃徳次帰りニ時半頃ソソワシテ居ルノデ見ルト大変ヨツテ居ルラシイノデ久シ振りニ張り飛バシタガヨツテ居テヨク分ラナカッタラシイ 困ツタ奴ダ

清平宅ニヨル川口氏ヨリ電話アリ上京ガ少シ遅レルカラ一時頃電話シテ呉レトノコト岡田氏ヘソノ由電話スルト事前ニ田山氏ガ会ヒタイトノコト スグ田山氏ヘ行ク 三人デ会谈 ホントウニ告訴スル様ナラ、コチラデモ脅迫ニ対スル防備トシテ告訴シナケレバナラナイ 今日會ツタラ川口氏ニ告訴状ガ預ケテアルトノ佐藤ベンゴシノ話シダカラ其ツモリデ会见セヨトノコトデアッタ 新橋東洋軒ニテ會フ 自分ヨリ自身ノ身分問題ニツキ大坂ヨリ中山氏上京ノコトヲ報告 岡田氏ヨリ国産ガ参加ノソモノモ初メヨリ今日迄ノ経過ヲ話シタニ対シ川口氏大分分ツタラシク結局今迄ノ話シデハ應ジラレナイカラ應ジ得ル様ナ案ヲ出シテ貰ヒタイト述ベコレカラ佐藤氏ト會フトノコトニ其結課(ママ)ハ明朝八時川口氏宅ヘ聞きニ行クコトデ分レル 以上田山氏ニ報告 丁度福西氏モ來テ居タ 更ニ国産事ム所ニヨリ清平ト同道帰宅ス

川口氏ハ今日ハ岡田氏ト會ワナイコトニシテ居イテ呉レ 理由ハ川口氏ノ心境ノ変化ガ岡田氏ニ會ツタ爲メト思ワレト困ルカラトノコトデアッタ。コレハ一ツノ感動デアッタ。吉田氏ガ速カニ心境ノ変化ヲシテ呉レルトヨイノダガ不可能カモ知レヌ

◆▼130ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月2日(木)

天気晴

六時起床 八時十分前川口氏訪問 昨日ノ回答ヲ求ム 然ル處ソレハスデニ云ヒタル通り株ト債券ヲ提出サセルコト 外ニナイトノコトニソレヲセネバ問題ニナリマスカトノ問ニ勿論問題ニナルカラ今日国産へ行ツテ国産ノ方カラドウシテ貰ヒタイト云ワシタ方ガヨイ 今日中ニ返事サセヨトノコトデアッタ 自分ノコトモ二三話シ工場ニ出ル 野口君ニ会フ 吉田氏ノ名デ佐藤菅谷ノヤツテ居ルコトハ株ヲ出サネバ告発スルトノコトデ世間ニ聞カレテ吉田氏ノ名ヲ傷ケルモノト思フカラト一言注意シテ居ク。スグ上京 国産ニ行キ同道シテ田山事ム所ニテ川口氏ノ会见報告ヲナス。福西氏菅谷氏ト連絡アリ 今日皆ア行クコトニナツテ居ルトノコトニ先方ノホントウノ處ヲ聞ク爲メ福西、岡田、留雄清平自分ト五人デ佐藤事ム所ニ行ク 菅谷、小西モ居リ佐藤氏ヨリ国産ノ返事ハドウカトノコト ソレハ今章氏京都へ相談ニ行ツテ居ルカ、ハッキリ吉田氏ノ要求ヲ聞キタイトノ申出ニ佐藤氏ハ国産ノ株ト債券ヲ無條件提出シタラヨイ 然ラザレバ速(ママ)刻告訴スル方針デスデニ警視庁ノ会社係ニ下話シモシテアルトノコト マツタク脅迫ナノデ福西、岡田留雄三氏ヨリ何回トナク繰返シ聞イタノニ対シ同一ノ事ヲ繰リ返シダカラ出來ルダケ早く回答セヨトノコトデ皆帰ル 自分ダケ止メラレタノデ清平ト残ル 僕ニハスグ取締役ト社長ヲ止メロ 然ラザレバ職權ヲ以テヤメサセル。尚伊藤側ノ株モヤハリ無條件デ出セトノコト 聞クダケ聞イテ帰ル

◆▼131ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月3日(金)

天気晴

五時起床 七時清平ニ寄リスグ福西ニ行 八時半ツク 田山氏ヨリ電話アリ 今朝佐藤ヨリ電話アリ 其爲メ九時半ニ田山事ム所へ集ツテ呉レトノコトデアッタ 福西宅ニテ福西起キルノヲ待ツ間ニ最后ノ手段トシテ今一度吉田ニ手紙ヲ出スベク下書キヲナス。福西起キタノデ結局ハ航空局案ニヨツテ社長ニ一任セシムル様ニ取運ブコトニ打合せヲナシ共ニ田山事ム所ニ行ク。国産ヨリ依頼ノ型式ニシタ渡辺辨、ゴ士來テ居タ 清平、中山、岡田、章、留雄ノ順ニテ到着 田山氏ヨリ佐藤ヨリ本日午後二時頃会ヒタイ 国産ノ方説キツケテ返事ヲ聞カセテ呉レトノコトデアッタ由 伊藤ハ取アエズ取締役解任ノ手續キヲスルトノコトデアッタトノコト 渡辺辨護士ヨリ反告訴ハイツデモ出來ルガ、ソウスレバ互ニ不利トナリ会社ノ存立モアヤクナルカラ中(ママ)裁者ヲ以テ中(ママ)裁サセルガヨイトノ意見ニテ同氏特別關係アリトテ京成ノ後藤国彦氏ニ電話デ話シタラ今日大坂ニ行クカラ月曜日帰ツテヨク話シヲ聞クトノコトダカラマカセテハドウカトノコトニ一同異議ナシ 尚其前渡辺氏ト田山氏トデ佐藤ニ会ツテザックバランニ解決案トシテ局ノ話シニ賛成スレバ吉田ノ出シタダケ返シテヤルコト 外ニ若干ノ費用ヲ負担出來ルカトノコトニ任カセルコトトス。夕刻ノ話シデハ佐藤ト明朝九時会见スル由 又菅谷ヨリ電話ニテ福西ニ会见申込ミ來リタル由。

晝食ハ中山氏ヲ加ヘオリンピクニテ皆ト共ニス 夕方兄清平中山氏トウ〇屋ニ行き委任

状ヲ貫ヒ佐渡島ノ方ノ委任状ヲ依頼ス 事情ハ大分分ツタラシカッタ。社長辞任ノ件ハ  
コトワルトノコトニ一決ス

飛行クラブニテ吉田ヘノ手紙書イテ出ス 井倉、宮本ニ会ヒヨク話ス 木下ニ傳言タノム  
丁度船崎氏來 一通リ話ス 氏ハ同情シテ大ニヤレトノコト 尚局ノ諒解ツケバ他ニ工  
場ニ作り先ヅ初メテモイイトノコトデアッタ

▲▼132ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月4日(土)

天気 晴後雨

七時半起床 イクラデモ眠カッタ 九時工場出 野口君ト一所ニナル 奈良原氏見テ  
居タ 昨日迄ノ経過話ス 葉方ヨリ国へ家内ヲ呼ビニ帰ルツヒデニ木工ニ三人連レテ來  
ルコト 山口縣ノ国際飛行場ヲ見テ來ルカラ飛行場附近ニ工場ヲ建設シテハドウカナ  
ト話シアリ 今夜スグタツ由 八九ノ改造ニツキフレキシブルカラズニスルコトニ決定  
発注ヲ命ズ

正午後帰宅 晝食後上京 二時半 国産ニヨル 清平居タ 今朝田山渡辺佐藤会见ノ  
結果万事渡辺ニ委セルコトニナツタ由 後藤氏ヲ仲裁ニタノム件ハ佐藤ヨリ辨ゴ士ガ四  
人モ居テ素人ニ仲裁シテ貫フナド不見識ダカラ何ントカキメ様ト云フコトニナツタ由  
渡辺氏ハ自分ニ今迄ノコトヲヨク聞キタイノト航空局ノ話シニ間違ヒナイカヲ、タシカメ  
タイトノコトニ、クラブニテ木下ニ会ヒ明後前九時半渡辺事ム所へ木下ニ來テ貫フコトノ  
承認ヲ得ル。船崎氏來ルトノコトニ待ツタガ來ラズ 六時頃ニナツタガ雨モ大分降ツテ  
來タノデ報告ヲ木下、井倉氏ニタノミ帰宅ス。東京ヨリ電話シ決議録船橋迄届ケテ貫  
フ。佐藤菅谷渡リニ舟ト渡辺氏ヲ歓迎シタラシイ 予想通り

▲▼133ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月5日(日)

天気 雨夕方晴

七時半起床 九時三十分皆揃フ 肥田木今村尚遅クナル 布施、太田、佐藤、宇賀、  
角以上ニ今回ノ初マリヨリ今日迄ノ経過 今後ノ見透(ママ)シ 和戦イヅレニヨルモ皆ニ  
ハ安心シテ作業ニ従事スル様話ス 十一時終了

布施サンニ行ク 先週注射休ム スグ其マ、船橋へ兄ノタン生祝ニ行ク 小供ノ初節句ニ  
モナル 三時頃終ツテ船橋ノ町ヲ散歩シテ帰ル 眠クテタマラナカッタ 七時床ニ入ル

▲▼134ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月6日(月)

天気 晴

西風強ク寒カッタ 七時半出 八時五分福西ニツク 四十分清平來 福西食事ニオク

レ九時半出ル 九時四十分渡辺事ム所ニツク 木下岡田先着 スデニ話シ進行中デアッ  
タ 渡辺氏モ局ノ話シガ眞実デアルコト並ニ佐藤辨ゴ土ガ桜井技術部長ニ役員会ニ出  
席シテ伊藤ノ云フ様ナ決議ハシタコトガナイナド云ツタコト追話ス。岡田氏ヨリ八国産ノ  
資料ヲ提出 自分カラ、ヨク菅谷ガ云フ伊藤ニ何等案ガナク無能ヨバワリスルノニ対シ  
昨年八月廿二日付ノ吉田へ会见申込ミノ手紙ノ写シヲ見テ如何ニ吉田ガ我マ、ナコト  
ヲヤツテ居テ自分ノ意見ヲ用ヒナカッタカラ示ス 尚昨年吉田ガ金ヲ出シタ追ノ経過  
ヲ書イタ手記ガアッタノデ参考ニ渡ス 田山氏ノ発案デ先方デハ航空局ノ話シハウソデ  
実現シナイモノト云ツテ居ルカラ見セ金ヲシテヤツテ呉レナイカト木下氏ニ申出アリ  
資本家ノ意見ヲ聞クコトニシテ分レル 明朝八午前九時佐藤事ム所へ田山渡辺両氏行ク  
由。ソレ追ニ吉田へ渡ス金ノ高ヲ知リタイトノコトニ野口氏ニ電話シタ方追ニ書キ出シテ  
貰フコトトス

十一時半飛行クラブニ行ク 木下、井倉、船崎氏居タ 見セ金ノ件ハ船崎氏ハカクナル  
上ハ意地デモヤルガ初メト大分気持チガ違ツテ居ルノデ一株デモ残ス訳ニ行カナイカラ  
全部スルコト 取引ハ自分ノ方モ顧問辨ゴ土ヲ出スカラ辨ゴ土同士デヤラセルコト ソレ  
ナラ見セ金ハ必要アルタイトノコトデ午後一時田山氏へ国産福西モ来 木下氏ヨリ其旨  
述ベル 一同讚(ママ)成ス

午後二時商工省へ組合課へ挨拶ニ行キ国産ニ一寸立寄り帰ル 兄書類ヲ持ツテ船橋へ  
帰ル

夜田山氏ヨリ佐渡島ニ會エヌガ電話ト手紙デ話シテ居イタ 今夜鹿児島へ立ツト返電  
アリ

◆◆135ページ◆◆ 昭和15(1940)年5月7日(火)

天気 晴

五時起床 ヌックリ工場ニ出ル 久シ振りニ朝礼ニナス

九時野口出社 自分局プライマリーノ試作ニツキ太田ト肥田木ニ命ジテ居ク 野口ヨ

リ岡田等島田ヲ止メサセルカ自分等ガ止メルカドチラカニシテ貰ヒタイト申出タ由

島田ノ今日ニイタラシメタノハ事ム所ノ罰(ママ)デアルコトヲ指摘ス 賄モ此十五日デ止  
メタイト申出アル由ヲ聞ク 適當ニ処理サレタシト云ツテ居ク

今月決算期ニアタリ金が不足トノ話アリ 今回ノ件ニツキ一通リ話シ吉田氏側ニ買収  
サレルカ航空局案ニヨツテ他ニ買収サレルカイヅレニカキマルカラ、キマレハ自然其點モ解  
決ツクベシト云ツテ居ク 午後二時半飛行クラブ着 井倉船崎木下宮本ノ順デ來 清  
平国産ヨリ連絡係リヲナス 四時半頃渡辺氏へ電話ス 田山氏ト佐藤ト會ツテ來タガ  
明日午前九時カラ佐藤ガ木下氏ト會ヒタイトノコト 理由ハ吉田側ニテハスデニ仕事ノ  
計畫モ出來、ヤルツモリデ居ルノデ、木下氏ノ方ヘヤルコトトナルト全部計画ヲ變更シ  
ナケレバナライカラ一度ヨク聞キタイトノ希望ノ由 木下氏ト渡辺氏ト電話デ話シ



ヲ聞キ行クコトニ決定ス 船崎氏等ト相談ノ決(ママ)果向ツテヤルト云フナラ、アツサリ  
おやりナサイト云ツテ木下ハ手ヲ引クコトヲ宣言スルコトニ申合セル 国産ニ其旨木下ヨ  
リ話ス 国産ハコワレルコトヲ心配シテ自分ニ明朝田山氏ニ会ッテコワサナイ様ニタノンデ  
クレトノコトデアッタ

佐渡島ヨリ株主総会ヘノ委任状タケ速達デアル

▲▼136ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月8日(水)

天気 曇リ

七時半船橋ニツキ八時前清平ト兄田山事ム所ヘ木下氏ト會ヒニ行ク 今九時ヨリ佐藤  
田山渡辺木下会見ノ爲メデアッタ 十一時自分田山事ム所ニ行ク 田山渡辺木下氏  
ヨリ報告ヲ聞ク 福西、章、岡田、清平兄モ共ニ木下氏ヨリ承(ママ)細説明シタノデ早  
速今日千葉ヘ行き吉田ト相談ノ上今夜又ハ明日渡辺氏ヘイツレ共回答スル由 渡辺氏  
ハ交渉ノ爲メ第一案ニ案ト案ヲ作ツテ呉レトノコトデアッタ 尚今日モ二三回マダ告訴  
スルト云ヒ田山氏ニハ被告アツカヒシテ金ヲ二重取リシタナド云ツテ居タ由 又吉田ハ  
部品作業ヲヤル爲メ三十万円モ機械ヲ買ツテ受取り迄アルトノコトニ渡辺氏ヘ受取り  
ヲ見セル様要求シタ由。国産ニ集合 第一案ハ借金ヲ拂ツタアト平等ニ損ヲ負担スルコ  
ト 第二案ハ吉田ノ出シタダケ返シテヤルコトノニ案ヲ作りタ方又福西岡田留雄ト渡  
辺事ム所ニ持参ス  
午朝(ママ)奈良原氏ト十時航空本部ニ行ク 西原少佐ヨリクラブ練習生募集ハドウ云  
フ訳カトノコト二年キメデ其マ、忘レテ居タ 早速ヤメルト答ヘ尚国策ノ爲メナラ如何様  
ニモスルカラト答エテ居ク 後チ内田少佐ニ會ヒ会社内紛ニツキ知ツテ居ルノデ一寸挨  
拶シテ居ク  
七時半帰宅

▲▼137ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月9日(木)

天気 曇薄日サス

六時起床 八時出社 途中鈴木ニヨル アンリ才整理依頼ヲウケル 布施見ニヤルコト  
トス 八時半工場出 九時野口出社 兄奈良原氏來 九時四十五分オクレ十時ヨリ  
上京 福西ニヨル 岡田丁度來テ居タ 岡田ト福西何ニカ事業上ノ事ラシク別室ニテ話  
ス 一時半辞シテ東京飛行クラブニ行ク 朝十時船崎氏來ラレタ由 三時過ぎ井倉、  
宮本來 清平ヨリ電話アリ 菅谷ヨリ一時頃(千葉)田山ヘ電話ニテ今カラ上京スルカ  
ラ會ヒタイ旨云ツテ來タガ三時半ニナツテモ電話ナク田山渡辺両氏四時半ニテ他ニ用  
件アリ今日ハトテモ會ツテ居ラレナイカラ明日午前八田山氏裁判所ヘ行ク爲メ午後會  
見スルコトニキメ先方ヘ申込ダトノコトニ其旨井倉君ニ傳ヘスグ帰宅 五時帰ル 兄ニ報

告 和子ノ復習ヲサセル 本日ヨリ相撲初マル

鹿兒島ノ仲山大坂ノ佐渡島へ株引取りノ件ニツキ手紙出ス(銀坐ヨリ速達ニス)

◆▼138ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月10日(金)

天気 曇晴

八時工場出 九時野口出社 奈良原氏來 十時半帰宅 晝食後上京ス 其間陸軍科學研究所ノ某大尉來宅 サルノ四十ノ件ジプシート交換ナラ御願ヒスルト答へ早速交渉シテ二三日中ニ御返事スルトテ帰ル

一時半國産ニヨル 今朝小西辨ゴ士ヨリ渡辺氏へ電話アリ 昨日千葉ニテ相談シタガ吉田トシテハスデニ技師三名辻頼ンデアルノデ一應コトワルニシテモ相談ノ必要アリ 月曜日辻回答ヲ待ツテ貫ヒタイトノコトデアッタ タゞ待ツテ呉レト云フダケカ否カ更ニ渡辺氏ニ電話スル ヤハリ同ジコトデアッタガ渡辺氏ハ待ツテ呉レト云フ以上コチヲノ話シニ好イ返事スル爲メデアロウ 尚月曜日ニ決定的ナ返事ヲ聞クコトニスルトノコトデアッタ 一時半クラブニ行ク 丁度木下來テ居タノデ以上ヲ報告シ四時分レテ帰ル 五時船崎氏來ルトノコトデアッタガ木下氏ヨリ話シテ居クトノコト 尚本日技術部長、工政課長カラ聞カレタカラ一通リ話シタトノコトデアッタ 六時帰宅 三越デ肉ヲ買ツテ來タノデ久シブリデスキ焼ス

◆▼139ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月11日(土)

天気 晴

今日ハ少シユックリシタ気分デ川口ニヨリ成田山へ參詣スル予定デ兄ト約束シテ居タ處兄ハ昨夜エビヲ喰ツテ下痢ヲスルトテ行カナイトノコトニ一人川口ニ行ク 八時一昨日ノ千葉ノ會議ニ川口氏モ出タラシイ口振りデアッタ 大体木下案ニ同意スラシイ口紛(ママ)デアッタガ國産ノ株ヲ取ルコト 創立當時ノ不正否ハ犯罪 コト更ニ犯罪ト云ワレタハ確實ナルモノデ佐藤氏ハ犯罪ガ成立スルト云フシ田山モソレヲ承認シテ居ル 又川口氏自身モ左様ニ思フトノコトデアッタ ソレデ一通リ創立當時ノコトヲ話シ辨明シタ處君ハマダンソナコトヲ思ツテ居ルノカ 更ニ反省ノ色ガ見エナイデハナイカ、君ノ立場ヲカバウコトニ努力シ又吉田氏モ左様考へテ居ルノニケシカラン 此上ハ一切知ラナイトムキニナツテ怒ツテ居タノニハコチラガ、アキレル外ナカッタ。ホントウニソナ事案ガマダアルト思ツテ居ルノニハ少カラズ驚イタ 兎ニ角成田行キヲ中止シ船橋ニヨリ清平へ話シ(山東丁度來テ居タ)清平ハ千葉へ定款ヲ調ベニ行ク 自分上京 福西ニヨリ同道シテ國産ニ行キニ時渡辺事ム所ニ行キ以上ノ話シヲナシ明後日会见ノ參考ニ供ス 渡辺氏ハ確信ヲ有スルモノノ如ク何ントデモ云ワシテ居キナサイ。之レハ少々免(ママ)倒ナコトニナルカモ知レヌガ關係者會議ヲヤツテモ一切腹ヲ立テハイケナイト注意サレタ

四時半帰宅

◆▼140ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月12日(日)

天気 晴

六時起床 今日ハ注射ノ日ナノデ朝湯ヲ立テテ呉レタ 八時入浴後八時半工場出  
九時半ノバスニテ布施サンニ行キ十一時帰宅

島田來 止メルコトニキメタトノコトデアッタガ北島サンニ一度會ツテ話シスルニドウシタ  
ラヨイカトノコトニ自分トシテハ君ニハ氣ノ毒ヲシタト思ツテ居ルノデ君ノ身ノ立ツ様考ヘ  
テ上ゲタイト思テ居ル 其意味デ北島サンニモ會フツモリダト話ス 晝食後帰ル 午後  
ハ六時半迄昨年一月以來ノ日ヨリ吉田トノ交渉ヲ記録ス 七月七日迄書イタ。余リ  
字ガ細カイノデ目ガ変ニナツタ

◆▼141ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月13日(月)

天気 雨

今日回答アル筈 七時半宅ヲ出清平同道文部省ニ行ク 関口氏山崎氏會見 日誌道  
具ヲ附属サセテ呉レ 十円増ストノコトニ承知 外堪航証付ケテホシイトノコト 之レハ  
勿論ツケテ引渡ス予定デアアル旨返答ス 前金ノ件ハ何ントカナラヌカトノコトデ原則ト  
シテハ附則ヲ認メテ貫ヒ實際取引ハ会社対學校則(ママ)ト直接交渉トスルコトニ打合せ  
其旨回答書ヲ出スコトニシテ分レル 尚山崎氏ヨリ文部省型圖面引直シノ件タノマレル  
明日肥田木ヤルコトトス。

国産へ十一時半ツク マダ何等通知ナイ由 田山氏へ電話スル 午前中ダメナラ午後三  
時カラニシテ呉レト田山氏希望シタル由 晝食後散髪ス 二時渡辺氏ニ電話ス マダ何  
ントモ來ヌ 佐藤事ム所ニハ佐藤モ菅谷モ小西モ來ナイ由。清平ト外ニ出銀坐ノ森永ニ  
テ茶ヲノミナガラ万一回答ヲ故意ニ延バス場合又ハ當方話シニ應ゼザル場合ニツキ相談  
シクラブニ行ク 五時迄待ツ ツヒニ佐藤長野ヨリ帰ラズ 菅谷小西モ來ラズトノコト。  
渡辺氏明日適當ノ手段ヲ講ズベシトノコトニテ引上ゲルコトトス 木下、井倉、船崎氏ニ  
モ會フ 以上報告ス

◆▼142ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月14日(火)

天気 晴

五時半起床 八時工場出 奈良原氏來 肥田木文部省(圖面)ノ件ニテ出張サセル 五  
円阪出シス 日本パイプ佐藤出張スル様命ジテ居ク。野口來ラズ 十時山東出版社 野  
口成田線ニテ行ツタトノコト 川口カ大和田ノ工場へ行ツタノデアロウ。明日ノ手形ノ

金ニ対シ弍百円クラブヨリ入金サセルコトニシテ十時半ニア上京 福西ニ立寄り吉田ノ返事ノ如何ニヨリ自分社長辞任ノ時機ニツキ国産側ト解決ノツク迄ハ止メラレナイコト、船崎氏ノ方余リオソクナルト別個ニ工場建設案ガ出ルカモ知レナイコトヲ話シ合テ国産ニ行ク 兄モ來 渡辺氏ヨリ今日中ニ返事アル筈トノ知セアリタリト。文部省ヘノ回答文タイプ打チニヤリ三越見物シテ兄清平ト四時クラブニツク 木下井倉君居ル渡辺氏ヨリ五時頃電話ニテ吉田ノ方話シマトマリ決セズ三人ノ内技師一人ダケマダアエナイカラ明日ハ最(ママ)非ノ回答ヲ必ズスルトノ佐藤ヨリ電話アリタル由 尚川口氏ヨリ吉田ヘ伊藤ノ体(ママ)度ガ悪イトノ知セアリタル由 之レハ過日川口氏訪問シタ時三川口氏認識不足ニ対シ説明ヲ試ミタノガイケナカッタトノコト 明日午後二時渡辺事ム所ニ集合 吉田ノ回答如何ニ対シ協議スルコトニ申合セル

五時半新橋駅ヘ來テ呉レトノ電話アリ行ク 川辺竹崎木下居リ遠藤君來 遠藤君一両日中ニ南支ヘ行ク由 送別会ヲシタイトノコト 曙ニ行ク 遠藤君妻君三月死亡セラレタル由 小供ヲ母ニ預ケ今度ハ御用商人ニナルベク南支ヘ行クトノコトデアッタ 成功ヲ禱祈ツテ別レル

◆◆143ページ◆◆ 昭和15(1940)年5月16日(木)

天気 晴風出ル

本記事八十六日ノ記事ナリ 十五日ノ記事八十六日ノ處ニアリ

五時半起床 七時半鈴木菊雄來 鈴木ノ格納庫一万六千円デ上岡ヘ賣ルコトニキメタトノ報告デアッタ 八時工場出 奈良原氏來 十時野口來 昨日千葉ヘ行ツタガ吉田ニ寄ラナカッタトノコトニツキ六月ニハ新商法ニヨル定款変更ノ必要上今月中ニ役員会株主總會ヲ開ク必要アリ 其日時ノ決定ニツキ事務的立場ヨリ今日ノ狀況ニテ役員会ヲ開催不可能ト思フガドウスルカヲ聞イテ來テ呉レル様依頼ス

十時二十五分ニテ上京 国産ニヨル マダ何ニモナイトノコト 十二時半木下氏クラブデ待ツテ居ルトノコト 二時頃待チ兼ネタ渡辺氏ヨリ電話アリ 只今小西ヨリ電話ニテ今朝吉田ヘ行ツタ處妻君ガ出テ尚二三相談ヲ要スル處アツテ菅谷君ガソノ方ニ行テ居ルノデ今日ハ菅谷モ上京出來ナイシ尚二三日確答ガ延ビルカモ知レナイトノ返事アリ。ソレニ対シ渡辺氏ハ當方ハスデニ五十万円金ヲ用意シテ貴答ヲ待ツダケデアアルノデ、イタヅラニ日ヲ延バサレテ其爲メニ當方ニ生ジル損害ハ全部貴方デ負担セラレタイ旨述べタニ対シ小西ハソレヲ非常ニ心配シテ居ルノデ今佐藤ハ裁判所ニ行ツテ居ルカラヨク話シテ居クトノコトデアッタ由

右ニヨリ清平ヲツレクラブニ行ク 井倉、宮本居リ木下今不在トノコトデアッタ 以上ヲ話ス 宮本ヨリ、ソレデハ一應話シヲ打切ツテハドウダロウ、ソシテ將來伊藤サンガ中心ニナルコトヲ前提トシテ新会社ヲ作り仕事ヲ進メテハトノ申出アリ 昨日ノ井倉君ノ

言ト思合セ一應打切説ガ出ルモノト考ヘラレタ、ガ三時ヨリ田山氏へ集ルコトニナツテ居タノデ再会ヲ約シテ三時十五分田山氏ニツク 福西來テ居タ 間モナク、岡田禰富尾兄弟來。自分ヨリ打切り説ノアツタコトヲ話ス 皆ノ一番恐レテ居ルコトガ出テ來タノデアツタ福西氏ノ案デア菅谷君ニ会テ様子ヲ見ルコトニ異見一致 福西氏ニ一任ス 尚渡辺氏ノ方ハ正攻法ニテコノマ、進メテ貰フコト 最モ明朝佐藤小西千葉へ出向ク旨通知アリタル由

五時クラブニ歸ル 船崎木下井倉氏居リ以上ノ報告ヲナス

木下氏ヨリ新会社設立案出タレドモ船崎氏ハ新会社認可ニ一ヶ月ハ要スベク尚二三日待ツコトトシ万一ノ場合渡辺氏ノ決意セラレテ居ルト云フ 最后案ノ検事局へ持チ込ムコトガ一番ヨイカモ知レヌ 尚桜井氏カラ吉田ニ出頭ヲ命ジ話シテ貰フコトモ一ツノ手ダトノ話シアリタリ

尚万一スラ、話シマトマリタル上、ソノ様ナ合手トスルト何ニカ無イ借金ヲ有ル様ニシテアトノ会社へ不合理ナコトヲ云ツテ出ヤシナイカトノ疑問ヲ出サレタガ判ハ自分ガ持つテ居ルシ共同代表ニナツテ居テ現在吉田ノ借金ハスベテ二人ノ名デ借りテ居ルカラ其點決シテ御迷惑ハカケナイカラ御安心願ヒタイト答フ 船崎氏退場後木下氏ヨリ今アノ様ニ新会社案ヲ出シタガ船崎氏ノ手前アマリ永クナルノデアノ様ニ話シタト辨明シテ居タ 尚渡辺氏ノ希望モアリ吉田ノ回答ヲ至急得ル様嚴重ナ督促ヲ出シテ貰フコトトス

◆◆144ページ◆◆ 昭和15(1940)年5月15日(水)

天気 晴

十五日記事

午前中工場 晝食後上京 国産ニヨル マダ返ナシトノ事 本日野口君ト午前中ヨリ話ス 野口氏モ困ツテ居ルラシカッタ上ニ定款変更ノ総会ト役員会ヲ開カネバナラヌトテ相談アリタルモノコノマ、デハ役員会ヲ開カレナイカラ吉田氏へ聞イテ呉レトタノム 田山氏モ此度ノ事件ニツイテハ吉田ヲオサエルダケノ人ニ話シテ貰ワネバ少シ意地ニナツテ居ル様ダトノコト ソレニハ以前ニハ折原サン外一名アツタガ今ハナイトノコト 然シ野口個人トシテタレカ此前ノ日曜日ニタノンダ人ガアルノデ多分話シテ呉レタコトト思フトノコトデアツタ 其事ヲ国産ニ話シ渡辺サンニ行キ相談ス 渡辺氏ハアク辻吉田ヲ普通ノ人ト思ツテ居ルノデ正攻法デヤルト云ツテ居タ 決シテマケナイ イヨ、トナレバ検事ノ前へ引出ス 決シテ心配シナサンナト云ツテ居タ  
クラブニ行キ井倉君ニ以上報告 木下君ニハ電話デ話ス

◆◆145ページ◆◆ 昭和15(1940)年5月17日(金)

天気 雨

七時起床 八時工場出 組合文部省型協定價格ノ通知書大坂側美津濃へ取マトメ東京吉原へ送ル

野口來 昨日吉田へ行ツタ由ナルモ朝カラ旅行 一三日帰ラヌ由 旅行先キハ例ノ温泉サガシラシイトノコト 今日佐藤小西両弁護士ガ行ク筈ダガドンナ返事ヲシテ來ルコトカ。清平ト電話スル 昨日夕方福西ニ電話シタガ菅谷トハマダ連絡取レヌ由

十時半帰り入浴後昨年七月以來ノ吉田トノ交渉日記ヲ記録ス 兄來 夕方帰ル 四時頃終ツテ庭ノ木ヲ見相撲ノ放送ヲ聞ク

▲▼146ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月18日(土)

天気 晴

チヤボ生レル日

五時半起床 八時工場出 野口君本日局工政課ニ行クコト。総務ノ職勢(ママ)上ノ責任ニ於テ吉田ノ意思ヲ聞イテ居クコトノ手紙ヲ書イテ佐藤ニ言傳ル 十時航空局着 工政課長ニ面會 会社ノゴタ、ニツキ聞カレ一應話ス 今月中ニ解決ノ見込ミト云ツテ居ク。後チ綿ノ配給ニツキ想(ママ)談 村上、飯塚、榊原諸氏ノ意見モ聞キ割當ヲ決定ス 丁度十二時 乗員課ニ一寸顔ヲ出ス 大藪君來テ居ルトノコトデアツタガスグ國産ニ行ク 今朝渡辺氏佐藤氏ト電話デ話シタ處本日マタ御返事スル材料ガナイノデ千葉カラ回答アリ次第申出ルトノコトデアツタ由 ソレヨリ先キガ何ニモナイノデ万一月曜日ニナツテモ同様ノ場合ハ如何ニスルカニツキ相談シタ マトマラズ福西ニ行キ意見聞イタガ之レモダメ 決(ママ)局自分ノ案トシテ福西ヨリ田山氏へ月曜日モ同様ノ場合ニハ如何ナル対策ヲ取ラレルカラ渡辺氏ト相談シテ貰フコトトシテ分レル 五時清平宅ニテ夕食後八時半帰宅 大藪君來テ居タ 泊メル

▲▼147ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月19日(日)

天気 晴

五時半起床 大藪、角ト共ニ七時半京成津田沼ニ行ク 丁度來タ電車ニ清平ト兄ガ乗ツテ居タ 非常ニコンデ居タ 成田山参拝 久シ振リデ御ミクジヲ引ク 大吉デアツタ 兄ノモ大吉 御参リヲ終ツテカラ自分ノハ中村デ 兄ノハ吉田ガ借用シテ居ルト云フ谷ヶ崎ト云フ女ニ占ワセル ドチラモヨカッタ 自分ハ思ヒガケナイナイ幸福ガアルコト。最后モカナラズ成功スルコトトアツタノデ大變氣持チヨカッタ 谷ヶ崎デ少シ吉田ノ話シヲ聞キタカッタガ兄ガ早ク出タノデヤメテ帰ル 米屋柳屋共ニ材料ガ切レテ休ンデ居タ 他ノヲ五本包ミデニツ求メ大藪ト辻本サンニ贈ル 十時半帰ル 十一時河合樂器ノ日比氏來 組合加入ヲ申込ム 局工政課へ行ク様話ス

午後一時植木ワイヂリラジオヲ聞イテ三時ゴロ野口君來 四時過ぎ帰ル 入浴 今日ハ醫者ヲサボル

◆▼148ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月20日(月)

天気晴

九時工場出 野口上京スルカラ來又由 一昨日千葉へ行ッタラシイカ山東ノ話シデハ菅谷へ行ッタラシイトノコト

午前中組合ノ書類整理ナス 奈良原氏來 俱樂部ノ方針相談ス 練習生ノ数ヲ制限スルコトス

島田來 當方マダ方ツカナイカラ、ソレ迄自由行動取ッテヨイト云ッテ居ク

一時ヨリ上京 航空局ニ行ク 工政課皆会議中ニツキ書類文部省價格ノ件並ニ綿布配給ノ通知書各一通写シヲ村上氏ニ渡ス様預ケテ乗員課ニ佐田サンヲ尋ネ松岡練習ノ件ニツキ懇談 過日西原少佐ニ呼バレクラブノ存續問題ニツイテハ一任シテ居イタコトヲ話ス

クラブニ行ク 井倉、船崎氏居ル 田山氏ニ電話ス 明日午後迄ニ渡辺氏ト最后ノ手段ニツキ相談シテ居クトノコトニ時頃田山氏へ皆デ行クコトニキメル。木下連絡取レズ明朝電話スル様清平ニ命ズ

◆▼149ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月21日(火)

天気晴

時事 川合楽器朝電話アリ村上氏ヨリモ組合加入問題ニツキ電話アリタリ

六時起床 八時工場出 野口ノ出社ヲ待ツ 九時半頃來 十時ニ曙ニ呼ビ會談 吉田ニ十日程會ワヌ由 土曜日ニ菅谷ニ會ッタガマダ菅谷ハ勢ヒ立ッテ居タトノコト 例ノ十五万円問題ハヤハリハキ違ヒラシテ居ルト云ッテ居タ 今日ハ矢板カラ吉田モ帰テ居ルダロウトノコトニ最(ママ)非會ッテ解決點ニ達セシメル様話ス。今日午後一時カラ万一今日モ返事ナキ場合辨ゴトトシテハ手段ヲ取ルコトニナッテ居ルカラ出來ルダケ早ク話シヲマトメル様ニサレタシト希望ス 国産、清平、福西、ヨリ役員會通知ニ対シ先日十七日ノ決議事項決定迄延期方回答アリ

午後上京 二時国産ヲ出ル マダ返ナシトノコト 三時半クラブニ行ク 井倉君居ル 五時過ぎ国産ヨリ電話アリ 本日只今田山氏ヨリ電話アッテ吉田ヨリ三十五万円寄コセバ一切ヲ投ゲ出スト回答アリタリトノコト 木下氏ニ知ラセヲタノミ 国産ニ行ク 渡辺氏ト岡田氏ト電話ニテ話ス 川口菅谷佐藤ト會見 前記ノ要求アリ 渡辺氏ハ先方(木下氏)ノ方話シ困難ニ向ヒツクアリ ヨッテ一應聞イテ見ルト云フコトニシテ當方ノ案ハ一ツモ示サナカツタ由 明日午前九時半渡辺事ム所へ集合 回答ニ対スル最后案

ヲ聞キタイトノコト 大体過日ノ第一案ヲ以テ進ムコトニ申合セ六時辞ス 明日ハ清平ト兄行クコトニシテオク

所沢ノ三上綱吉氏ト矢島ノ二男トクラブニテ會フ 矢野ノ娘ノムコガ大進屋ヲシテ居ルノデ仕事ヲ照(ママ)介サレタイトノコトデアッタ

▲▼150ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月22日(水)

天気 晴暖

時事 注射二十本目

久シ振リニ定刻前出社 朝礼ヲナス マイゼ鋼管發送通知書ヲ作ル。河合ノ日比ヨリ又組合加入ニツキ電話アリ 兎三角梅津氏へ大坂三社ノ意向ヲ聞イテヤル

山東來 自分布施サンニ行キ注射ト血脈検査ヲ受ケル 十二時十分帰宅スルト国産へスグ來テ呉レト電話アリタル由 晝食後行ク 二時五分ツク 章氏ヨリ今朝渡辺氏ニ會ツタ處社長ノ意見モタシカメテ居キタイトノコトデ呼ンダトノコト 三時ヨリ会見ノ予定遅レル 三時半田山事ム所ニ行ク 清平兄クラブニテ船崎氏ニ會フ 今月過ギタラ打キリタイト云ワレタ由 木下同道來 福西渡辺氏モ來 渡辺氏先方中々強行ニツキ眞ノ腹ヲ聞イテ居キタイ。ソレニ六万一コチヲノ公平論ニ感ジナカッタ時ハ如何トノコトニ自分ニ聞カレタノデ自分一個トシテハアク迄黑白ヲ明ラカニシテ貰フコト 其爲メニハ三十年ノ苦節モナゲ出スト答ヘル 国産ハ伊藤氏ニ一切オマカセシテ來タノデアルカラ正當ナ理由アレバ一株モ無クナルトモアラソウト述べ福西之レヲ決定的ニ附言ス 渡辺田山以上ノ腹ニテ佐藤へ行ク 一時間程シテ福西ト自分デ來テ呉レトノコトニ佐藤事ム所ニ行ク。吉田ノ出シタ数字ヲ聞カレ計算シテ廿五万七千円トナル 三十五万ニハナラナカッタ 菅谷岳崎來テ居タ。ソレダケデ帰ル 六時頃先方会见終リ、第一相互ノ精養軒ニ行キ夕食ヲニベンゴシト共ニス 返事ハ渡辺氏三十万デ當方マトメルト云フテ來タ由 十萬ヨリハ絶対ニダメダトノコト 明日回答ノコトニシテ帰ル 十二時帰宅

▲▼151ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月23日(木)

天気 晴暖

全国的ニ五六度温度高シ

五時半起床 七時出ル 七時半船橋着 八時半頃野口來 吉田ニ會ツタカ聞ク 昨朝早ク川口ニ會ヒ後チ菅谷ニ會ツタ由ニツキ今日ニナツテハ新出資者、航空局ノ諒解ヲ得ナクテハ回答出來ナイ立場ニナツテ居ル旨話シテ居ク 十時丁度福西着 富尾二人來テ居ル由 福西ト下デ會談 今朝木下ヨリ清平へ電話アッタノデ福西へ懸ケテ貰フ様タノンダ話シ福西ヨリ聞ク 木下氏ハ昨夜清平ヨリノ報告ヲ聞イタガ吉田ノ要求ハ木下並ニ航空局ノ考ヘトヘダタリ多ク伊藤並ニ伊藤飛行機ヲ援助スル主意ニ反スルコトデア



カラ皆シナガ平均ニ承服ノ出來ル案デナケレバ金六出セナイトノコトデアッタ由 之レニヨツテ強硬ニ出ルコトニ申合せ三階ニ行ク ソレヨリ約一時間過ギテ岡田氏來 別室ニテ國産三人デ相談後福西ヲ呼び打合せテ吾レ等ノ室ニ一同着席 先ヅ岡田氏ヨリ國産ノ立場ヨリ國産トシテノ最少退(ママ)度ヲ茲ニ申上ゲテ居キタイ ソレハ株券並ニ債券共ニ一株二十五円替ニ換算シテ頂イタモノダケヲ頂キタイ(約九万六千円) 之レハ最少限度ノ要求デアルト同時ニ何人ニ聞カレテモ差支ナキ話シト思フカラ木下氏ニモ話シテ呉レトノ事デアッタ 清平一二話シタガ自分ヨリ御話ハ大變常識的ナ話シテ自分等トシテモ最后ハソノ位デマトメテ頂キタイト思ツテ居タ 然シ今吉田カラ三十万円ト云フ要求ガアルノニ対シ只今ノ御要求ニヨレバザックバランニ申上ゲルト吉田國産共ニ要求額出セバ此場合話シハマトマルデハナイカ 要スレバ伊藤ガ其損ヲ引受ケサエスレバナイト云フコトニナルガ如何トノ答ニモジ、シナガラ先ヅソソノモノデストノコト 之レニ対シ福西ヨリ今朝木下氏ヨリノ電話ノ模様ヲ承(ママ)細話ス コレニヨレバ吉田ノ要求ヲ入レルコトハ先方ノ方ガコワレルコトニナルノデ他ハドンナ話シラシテモ何ソモナラナイ事ニナルヨツテ此際ハ強硬ニ平等案ヲ以テ最后迄(平等案ト雖モイワユル最后案トナル)進ムコトニシテハ如何トノ提案ニ章氏先ヅ賛成シ留雄之レニ次キ岡田氏シブ、承認ノ形トナルソコデ清平又話シタガ廻リクドイノデ自分、ザックバランニ清平ノ云ヒタイ處ヲ申上ゲルト万一決烈(ママ)ノ場合ヲ予想シナケレバナラナイガ其時ニナツテアノ時伊藤サエ承知シテ呉レタラマトマツタモノニトノ話シガ出ルト困ルト話ス 岡田氏ソレハ一度承認シタコトデアルシ又元ノ方ガダメニナルトスレバ、ソソノコトモ云エナイコトニナルトノコトニ話シハ一決ス

其間兄ヨリ万一ノ場合國産ノ取り分ハ伊藤側ト平等ニサレタイト云フ 之レハ誠ニマツイ話シテ自分ヨリ八万一ノ場合ハ自分ハタガニナツテモヨロシイト主張ス 福西八万一ナド考ヘテハイケナイ 一本槍デ進ムベシ 必ず成功スベシトノコトニテリードス 先ヅ今一度木下氏ノ意見ヲタシカメテ呉レトノコトニ自分ト清平クラブニ行ク 木下氏宮本氏ニ會フ 以上ノ模様ヲ報告シ木下氏ノ意見ハ聞ク迄モナカッタガ尚繰リカエシテ同氏ヨリ話シアリ 其旨福西へ電話ス 田山サン居ルカラスグ行クトノコトニ時刻ヲハカリ三時頃ニ時半頃田山事ム所ニ行ク 少時シテ皆集マル 一度渡辺氏モ來 主トシテ福西ヨリ木下氏ノ話シヲナシ尚且ツ吉田案ニヨル時ハ数字的ニモ左ノ如クナリ到底應ジラレナイ旨強調ス 今日ハ渡辺氏昨晚ノ勢ヒナク(昨晚ハ三十万以下デハ絶対ニマトマリマセンゾト向フノ人ノ云フ様ナコトヲ云ツテ居タ) ソレハ最モデアルカラ其旨ツタエルトノコトニ対シ福西ハコレハ必ず決裂スルモノト思フカラ先生方ノ報酬モ聞イテ居キタイト申出タニ対シイヤ二十五万デマトマレバヨロシイデシヨウ 兎ニ角行ツテキマスカラ一寸待ツテ下サイトテ渡辺田山両氏佐藤事ム所へ行ク

吉田へ30万

國産へ96,000

396,000

アト10万4000  
 此ノ内ヨリ  
 大坂ノ 30000  
 未拂約 20000  
 田山  
 渡西 16250  
 岩間  
 其他ノ株 48750  
 約1950  
 115000  
 以上ダケデ  
 110000円不足スルト伊藤ノ債権47000ヲ25円替ニ直シニ  
 320000円トシテ之レハ一文モ取レナイノミナラズ11000借金セネバ整理出來ナ  
 イ計算トナル

コ、デ待ツコトハ話シニ未練ガアル様デヨクナイカラトテ一同國産ニ込引上ゲテ返事ヲ  
 待ツ 約一時間程シテ田山氏ヨリ電話ニテ岡田氏聞ク 御話シノ通り話シテキツパリ一  
 度コトワツタ 先方ハ佐藤、小西、菅谷、宮崎來テ居タ 僅カニ宮崎ガオヤジハ到底承認  
 シナイデシヨウト云ツタノミ 他ハ一言モナカツタ由。尚附言トシテ、假リニ工場未拂金  
 フ向フテ皆整理シテ呉レルカト一寸水ヲ向ケテ居イタトノコトデアツタ由 之レニヨツテ  
 向カラ何ニカ話シテ來ナイ限リコチラカラ聞キニ行ク方法モナイノデ散会スルコトトシ  
 自分ト清平クラブニ行キ木下、井倉宮本ニ以上ノ経過ヲ報告ス 先刻船崎氏來 木下  
 ヨリ晝頃迄ノ話シハヨクシテ居イタカラ、一寸其後ノ話シヲ直接シテ居イテ呉レトテ電  
 話ヲサガシタガ居處不明ニテ井倉氏ヨリ報告スルコトニナリ六時分レテ帰ル

▲▼152ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月24日(金)

天気 曇リ

朝布施ヲ呼ビニヤリ昨日桐生デコワシタ一三修理ノ件徳次ト共ニ打合せ尚昨日迄ノ  
 吉田トノ話シヲナシ一兩日出社シナイカラト最后ハ安心シテ居ル様申聞ケル  
 小盆栽ヲ作り昨日ノ日記ヲ記入 静カニ一日ヲ送ル  
 奈良原氏來 昨日迄ノ話シヲナス  
 木下豊來 修理後ノ練習ニツキ注意ヲ與ヘル  
 夜ニユース時間ニ床ニ入ル 眠カッタ

▲▼153ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月25日(土)

天気 雨寒

時事 東京ハ水キキンノ處今日ノ雨ハ喜ビノ雨デアッタ

六時起床 八時半出カケル 中台會フ 賄又半月延バスコトニナッタトノコトデアッタ。  
清平宅ニヨル 今朝福西ヨリ電話アリ 佐藤ヨリ田山サンヘ木下ノ方ダメナラ吉田ノ方  
ヘイクラデ賣ルカヲ知ラセテ呉レトノコトデ 国産ト相談シテ呉レトノコト 上京 自分航  
空局ニ村上氏訪問 河合樂器組合加入ノ件大坂美津濃ヨリ大坂側承認 但シ入金金  
云々ノ手紙ヲ見セル 局ハ関係者會議ヲヤルコトニナツテ居ルトノコトニ結果ヲ聞カセテ  
貰フコトニシテ十一時半 国産ニ行ク 清平先着 十二時福西來 話シノ由ニダン、今  
日ハ福西ヨリ弱氣ノ話シデ、ツツパルコトハ一文取ラズニナルカヲトノ説出ル 別室ニテ福  
西ヨリ自分ト清平ニ吉田ニ或程度譲歩シテマトメルナラ 国産ノ方モ鳴カセルガドウカト  
ノコトニ大乗的ニ考慮シテ一日モ速カニマトメルコトガ 国家ノ爲メト感じ一切マカセルコ  
トトス。相連レテ四時渡辺事ム所ニ行ク 四時半渡辺氏ト会见 先方三十万以下デハ  
中々ムツカシイトノ説アリ 當方ノ不利ナ話シバカリデ福西ソレニ導ク如キ口紛(ママ)  
アリ 大分變ナ工合デアッタガ、ウタガウコトヲ止メ速カナ解決ニ進ムコトトス。方針ハ  
月曜日先方ヘ交渉スルコトトシソレ迄ニ福西 国産ヲ説クコトトナル 尚菅谷ヲ呼び吉田  
ノ方ヲ打診スルトノコトナラ之レハ八百長ト見ラレル

◆▼154ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月26日(日)

天気 晴

六時起床 工場ニ行キ清平ヘ電話ニテ福西岡田木下ヘ電話ノ要領ヲ話シ組合ノ書類持  
ツテ帰ル 朝食後宇賀來 組合綿糸ノ配給割當ヲ決定ス 後チ工場ノ成行キニツキ質  
問應答ス 彼レノ意見ハ此際従業員トシテ過已ニ三年間ノ賞與ニ相當スルモノヲ要求ス  
ルトノ意味デアッタ 之レハ間違ツタ考ヘデアルト思ツタガロニハ出サナカッタ 兎ニ角吉  
田ノ要求ニヨレバ従業員ニハ何ニモシテヤツタリモ出來ナクナルト云ツテ居ク 然シ自分ト  
シテハ考慮ハシテ居ル旨話シテ居ク

正午頃兄清平來 間モナク福西ヨリ富尾氏ガ待ツテ居ルカラ來テ呉レトノ電話アリ  
三時頃出懸ケテ行ク アト二十万円手取りノ場合ノ分配額等ヲ算出シテ見ル 兄タ  
方帰ル

本日鷺津事ム引繼ギニ來タノニ山東野口二人共來ラズ。明日鷺津來テ貰フ様ニタノム  
チャボノヒヨコ僅カニ一疋残ル 親ヲ返シカイロデ温タメソダデル  
カナリヤ手入レス

◆▼155ページ◆▼ 昭和15(1940)年5月27日(月)

天気 晴

六時半清平ニ電話ス 一昨夜菅谷福西会见 尚菅谷会社創立當時ノコトヲ強ク云ツテ居タソウダガ最后ハヤハリマトメテ貰ヒタイトノコトデ最后案ヲ吉田ニ聞イテ貰フコトニナツタガ今朝電話デ吉田ニマダ會ツテナイトノコトデアッタ由 清平終日国産へ行ク正午奈良原氏來 今朝自分デ思ツタコトデアツタガ奈良原氏ト野口昇君ニ■■■■野口ニ會テヨク話シヲサセルコトデアツタ。ソレヲ奈良原サンニ頼ンダガ、ソレモイイダロウト云ツタノミデ、外ノ話シバカリシテ頼リニナラナイノデ止メタ。野口菊來テ居ルトノコトニ呼びニヤル 奈良原氏居テ呉レト思ツタヲ帰ツテシマツタ 一時頃野口來 一時半迄自分ハ三十五万ト聞イタ時ダメダト思ツタ 之レハ出來ナイ相談ヲモチカケテ居ルモノト思ツタノデソレ以來將來ノ問題引退後ノコトニツキ考慮シテ工場へモ出ナイ旨話シ然シ万一マトメル考へガアルナラ茲一両日ヲ過ギルト自然新出資者ノ方ダメニナルカラトコトワイ尚二三心境ニツキ話ス 野口ハ最(ママ)非公平案デマトメタイガ自分ノ話シハ今一向取上ゲラレナイト云ツテ居タ 三時半船橋ニ行キ国産ニ電話スル コレカラマトマツタ場合ノ爲メニ内山サンへ行クトノコト。自分ハ或ハマトマラナイカモ知レヌト予感モアルノデ千二百株ノ件デ相談スル様命ズ  
(今日ハナンダカ出來ナイ様ナ予感ガシタ 不安ヲ感ズ マダ達觀シ得ナイ)

▲▼156ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月28日(火)

天気 曇リ

六時起床 八時出 清平ニ行ク 今日福西へ昨日国産ト諒解ノツイタ點ヲ話シタ上皆デ田山サンへ行クトニナツテ居ルトノコトニ九時半頃清平先キニ行ク 自分ト兄ハアトヨリ上京 上野ノ二千六百年記念日本画展覽會ヲ見正午同食堂デ晝食シテ国産ニ行ク 間モナク清平來 少シ遅レテ福西來ル 昨夜菅谷二十時頃ヨリ駒込ノ待合ニテ會見シタガヤハリ強イコトヲ云ツテ居テ話シニナラズ物分レ 今朝八時頃電話シタラ六時頃帰ツタトノコトデアツタ處十時頃菅谷ヨリ電話來 上野駅ニテ會見 ヤハリ告訴云々シテ居ルノデ福西モ強クヤルコトヲ主張シテ分レカケルト又止メテ話シ出スコト数回 結局マトメル話シハ菅谷ヲ手引クカラ、ソチヲ宜シクトノコトデアツタ由 マトメテホシイガ弱音ヲ見セマイトスルラシイ 皆ニテ田山氏ニ行ク 今朝田山氏佐藤へ電話シテ二十万ト三十万ニテ吉田側ニテ工場未拂ヲ持ツコトニテ條件ヲ出シタニツキ吉田ト相談ノ上返事スルトノコトデアツタ由 五時頃佐藤へ田山氏ヨリ電話スル 之レカラ吉田ノ處へ行キ最后案ヲキメテ來ルトノコトデアツタノデ其旨ヲ福西同道シテクラブニ行キ木下ニ返事シテ帰ル  
イヨ、明日ハ最后デアル

▲▼157ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月29日(水)

天気 晴

二時半頃ヨリウツゝゝス 五時半起床 九時清平ニ行ク 同道シテ上京 清平国産へ  
自分竹崎ニ行キ会社ノ現状ヲ詳細ニ話シ決裂ノ場合應援方依頼 川辺君ニモ話シテ貰  
フ。十一時半国産ニ行ク マダ返事ナイ由 午後三時田山氏ヨリ電話ニテ岡田氏聞ク  
佐藤辨護士田山事ム所へ來 昨夜吉田ト相談ノ結果野口モ同席シタガ三十万円デイ  
ケネバ自分ノ方デアト経営スルトノコトニツキ佐藤トシテハ何ントカマトメテ貰ヒタイ旨  
田山氏ニ懇願シテ帰ツタカラ相談シテ呉レトノコトデアッタ 少シ後又田山氏ヨリ電話  
アリ 今日ハ急(ママ)ガシクテ今カラ出カケルカラ明朝返事シテ貰ヒタイトノコトデアッ  
タ。岡富尾留雄氏飯山ヨリ帰ル 福西モ來 兄モ來ル 結局クヤシイガマトメネバアブハ  
チ取ラズニナル恐レアリトノ意見ガ多カッタガ明朝決定スルコトニ福西提案シ六時分レ  
テ兄ヲ東京駅ニ送り大坂ノ株取りニ帰ツテ貰フコトトス  
田山氏バカニ腰ガ弱ク昨日ナドマダ決定セヌ内ニ先方へ三十万デ未拂ヲ持ツテ呉レト云  
ツテヤツタリ今日ハ又木下カラ電話ガアルトスグ佐藤ノ回答ヲ話シタリ実ニ輕率デアッ  
タ

▲▼1588ページ▲▼ 昭和15(1940)年5月30日(木)

天気 曇リ

七時半清平宅ニ行ク 本日最後の決定ノ日ナノデ奈良原氏同道スベク自分奈良原氏  
宅ニ行ク スデニ出カケタトノコトニ福西へ行ク 間モナク奈良原氏ト清平來 昨日国産  
側トアトノ分配ニツキ協議シタル結果計算方ハ章氏ニ一任シタル由 今日ハ公平ナル案  
ガ出ル筈トノコトデアッタ 十一時前国産ニ行ク 未拂ハ一万円ダケ認メルコト アトア  
レバ伊藤ガ支拂フコト 大坂ノ三万円ハ半額ニスルコト 其他ハ平均ニスルコト 之レデハ公  
平トハ云エナイ ■ニナツタノデ自分一人クラブニ行ク 吉田ニ三十万円アトノ二十万  
円デ未拂ヲナシ他日公平ニ円満解決シタカラ御願ヒシタイ旨述べル スグ船崎氏ニ電  
話ス 交詢社ニテ之レカラ晝食スルカラ食後会见ノコトニナル 一時行ク アマリ裏デア  
ツタノデ周囲 ■■■色々進メタラトノ意見モ出テ居ルガ今日ニナツテ御約束ダカラヤル  
ガ伊藤氏以外ノ重役ノサレルコトニ信用ガ出來ナイカラ決算ヲ各辨護士ニ委任シテ貰  
フコト 未拂、未収入拂確實ナモノハ残セバアト支拂ヒスル 但シ五十万円カラ引クコ  
ト ニツノ條件ガアッタノニ自ノ考ヘデ初メ要求ガアッタノデ役員ノ辞表モ各 ■■取引  
込渡シテ居クコト 以上ノニツヲ方国産ニ帰り報告ス 田山氏ニ電話シタガ居ラズ  
福西ニ行キ同氏ヨリ田山氏へ電話シテ貰フコトニシ明日田山氏事ム所ニ集リ決定スルコ  
トトス 国産福西ニ賛成ス  
木下ヨリ役員ニツキ兄ト自分ダケニシ井倉ノ關係上清平ハ社員トスルコトノ話シアリ  
一切マカセルコトトス

◆◆159ページ◆◆ 昭和15(1940)年5月31日(金)

天気 晴

五時半起床 七時過ぎ竹崎氏弑万円持参 残り五万円十日頃迄ニ全部持参スル由  
當方不満足ナガラ解決スルコトニ決定シタ旨述べ川辺君ニ傳言タノム 宇賀來 コチラ  
デヤルコトニナツタ旨話シテ居ク 尚金工部請負ニ不正ナイカヨク調査スルコト 佐藤ナ  
ドニモ注意スルコト 万一不正アレバ此際正直ニ自分迄申出ルコトヲ命ズ 清平ニヨル  
奈良原氏居ラレ各五十円ツゞ月末小拂ヒトシテ渡ス スグ上京 田山氏ニ行ク 岡田  
氏先着 十時半頃福西以外ソロウ 渡辺氏モ來 木下並ニ船崎氏会见ノ模様ト條件  
ヲ話ス コレニハ異夜(ママ)ナシ。タゞ福西ノ七千五百円ヲコチラデ負担シナケレバナラナ  
イコトニナツテ居ルガ之レヲ先方ニ持タセル様ニ交渉スルトノコトデアッタ 午後二時ヨリ  
会见スル由 其間ニ晝食ヲ高島屋デナシ自分堀閣下ニ會フベク飛行協会ニ行ク 出張  
中 明日帰ル由 散髪シテ国産ニ三時行ク 五時迄待ツタガ返ナシ 六時十五分前田  
山渡辺氏來 今迄四時間交渉シタガ菅谷川口來 又吉田八千葉カラ電話ニテ福西ノ  
分ハモチロン昨日ノ六千円モコチラデ負担セヨトノコト ソレデイケナケレバ吉田デヤル  
トテ互ニ應ズル影(ママ)色ナシトノコト 福西ニハ岡田田山氏ヨリ電話ス 止ムヲ得マイルト  
ノ岡田富尾氏モ同様ニツク 自分トシテモ異議ク(ママ)當方負担ニ決定 清平何ニカ云  
ヒ出シタガ此際大乘のニ解決スベキコトヲサトス

◆◆160ページ◆◆ 六月

新規更生 五十年ノ生涯ヲ茲ニ清算  
無一物ノ新生振出し

但シ五十年前トコトナリ今ハ無形ノ信用ト  
四人ノ子宝ト清平ト云フ協力者アリ

◆◆161ページ◆◆ 昭和15(1940)年6月1日(土)

天気 晴

八時清平ニ行ク 清平先キニ行クコトニシ自分時間ツブシニカツシカノ植木屋ニ寄ル 預  
ケタエゾ松ガ元氣ヨクナツテ居タ  
十時半福西ニ行ク 清平居リ奈良原氏工場へ行ツタトノコト 工場へ電話シテ來テ貰フ  
様ニス 岡田氏來ラズ 章氏十一時半頃來 留雄氏モ來ラズ 何ソノ爲メニヨツタガ分  
ラズ 木下氏連絡ノ結果月曜日各辨ゴ士ト船崎会见ノコト 午前十時交詢社ニテトア  
ツタガ渡辺氏連絡ノ結果午後二シテ呉レトノコトデアッタ 工場ト連絡 明日午后福

西宅へ決算表持参ノ上分配方法モ決定スルコトトス。午四時半工場ニ帰ル 野口山東  
ト明日ノ打合セヲナス 山東今夜中ニ作製 明日上野駅ニテ野口ニ渡スコト 野口ノ方  
モ明日午後二時工場ニテ小西辨ゴ士ニ會フ由

午前三時眼ガサメ昨夜考ヘタコトヲ計算ス 結局国産ノ要求ヲ入レレバタスレバ借金ヲ  
残スコトトナルノデイサギヨク自分ノ株券モ債権モ一切提供スルコトヲ決意シ株ハ二十  
五円替トスルコト 大坂ノ三万円同ジク アトハ未拂ト辨ゴ士ノ札ヲ引イタモノヲ債権  
二分配スルコト ソレデ各約月ノ債権ハ半額位ニナルコトトナル 国産ノ出様ニテハ尚イ  
ヨ、ハダカニナルコトト覺后ス 昨日マデハ少シナヤマシカッタガ今日ハ之レデ少シ氣ガ晴  
レタ

◆◆162ページ◆◆ 昭和15(1940)年6月2日(日)

天気 雨曇リ

六時過ぎ起床 葉方妻君ヲ連レテ挨拶ニ來 コレカラ玉井君ヘ行クトノコト。午前十一  
時迄日記 クラブト自分ニ五月分ノ計算ヲナシ、二十万円分配案ヲ手帳ニ控ヲ取ル  
十一時晝食後清平同道一時廿分福西宅ニ行ク 章氏一所ニヤル 岡田氏一時半留雄  
氏二時半頃漸ク來ル 実ニ不都合ナ人々ダ。十時頃野口五月分決算表置イテ行ツタ  
トノコトニヨリ章氏主トシテ見ル 未収入未拂合計差引額ハ三万余円トナル 兵器廠ノ  
金ハマダ半製品ニナツテ居ルラシイカラ之レヲ生カスト一万余個トナル外ニ尚四五千円  
ニナルダロウ  
木下ト連絡 船崎氏ノ方明日午後ニシテ貰フコトニシタカ後チ考ヘルト明日モ六ヶ敷ノ  
デ明後日ニシテ貰フコトモ今夜連絡スルコトトス 但シ仕事ノ方ノコトハ早ク相談シタイ  
ノデ明日ニモ木下君ト會ヒタイ旨申入レルコトトス 今日ノ會合ハマタ、マトマツタ話シナ  
ク決算確定後ニ延期スルコトトナル

◆◆163ページ◆◆ 昭和15(1940)年6月3日(月)

天気 晴

六時起床 七時前清平ニ電話ス 七時ニ木下舟崎電話連絡スル由 其上デ知ラセルト  
ノコト 後チ徳次ニ聞カセル 四時交詢社デ辨護士ノ會見アル由。朝顔ガ大キクナリ過  
ギタノデ植替ヲナス 奈良原氏來宅 晝食ヲ共ニシ工場ニ行ク

野口山東ト會見 決算書ヲ見ル 仮出金中四百五十円ト二百余円間違ヒアリ 現金  
予金ヲ貸分ニ記入スル等重大ナル間違ヒアリ 尚自分等ト話スニ山東ノ態度不都合ヲ  
極ム 夜清平ニ山東引續キ勤務ノ意志アリヤ否ヲウタガウ旨話ス 一時半ニテ上京  
野口浅草橋迄同道ス 四時交詢社ニテ今里氏畑氏天野辨護士、多小西渡辺両辨護  
士ト自分會見 五日午前九時会社書類提出 七日頃工場視察、十日取引ト云フコト

ニホゞ決定 散会。スグクラブニ行キ舟崎木下氏ト四人デ工場見ニ行ク 六時頃工場着 一週シ海面ヘノ拡張ニ氣ガ進マナイラシカッタ 時機ヲ見テ説ク必要アリ  
浜町園田中ニテ夕食 十時散会 舟崎氏ノウタイト佐渡オケサハヨカッタ 木下君ノ小歌モ中々堂ニ入ッタモノデアッタ 十二時半就眠

◆◆164ページ◆◆ 昭和15(1940)年6月4日(火)

天気 曇晴

五時半起床 八時工場出 九時頃野口清平來 決算表ニヨリ整理スベキ貸借ヲ整理シ山東へ貸借対照表ヲ作ラセル 正午野口君ニ明日其書類交詢社へ持参スル様依頼ス。一時ノバスニテ上京 羽田三時着 丁度日本一周ノ最終ゴールニ入ッタ曳航機ガ丁度頭ノ上へ來タ處デアッタ 清水ノ高等飛行モ中々ウマクナッタ 着陸モ実ニ堂ニ入ッタモノ 歡迎ノ宴アリ 島安博ニ會ヒ和歌商ノ事聞イタガ分ラズ。東日自動車ニテ奈良原氏ト有楽町ヨリ省線ニテ帰宅  
夜布施、角ヲ呼ビ取引ニ込進ンダコトヲ話シ、工場内ニテ整理スベキ人其他ニツキ聞ク

◆◆165ページ◆◆ 昭和15(1940)年6月5日(水)

天気 晴

朝徳治ヲ清平宅へ今日舟崎方へ提出書類ノ写シヲ持参サセツイデニ大坂へガソリン代百カン分支拂ワセル トラム代四五月分ト空カンニ百カン分ト差引

午前八時工場出 部長級ヲ集メ経過ヲ話シ今後ノ注意ヲ與ヘル 佐藤千代田ト下受工場へ行ク 正午陸軍科學研究所ヨリシーニス持参ス サルムソン四十五馬力渡ス。旗方讓ツテ呉レトノコトデアッタガ貸スコトナラスル旨述べテ居ク。国産ヨリ電話アリ 田山氏ニ電話スル スグ來テ呉レトノコトニ上京 田山氏ニ行 渡辺氏清平居リ今朝カケ違ツテ先方ト会ワナカッタトノコトニ更ニ連絡シテ三時交詢社ニ会见 先方今里、畑、矢野 當方田山渡辺自分、清平、佐藤、小西、野口 大分細カイ話シニナリ十八万円ノ在庫品ヲヨリ分ル様ニシテ居イテ貰ヒタイトノコトデ八日土曜日午後工場へ見ニ來ルコトニ決定 其上テ取引ノコトヲキメルトノコトニナル。ヨツテ、佐藤、田山両方デ心配シ木下君ニ最(ママ)非ヨク話シテ政治的ニ處理サレル様ト自分ニクレ、云ツテ居タ 自分モ同感デアル 心配クラブニテ宮本、井倉ニ會フ 宮本ハソンナ話ハナイ ケシカラント云ツテ居タガ木下來ラズ 明日會見ヲ希望シテ帰ル。自分モ一寸心配ニナルノハ過日舟崎氏ニ會ツタ時ベンゴ士ニヤラセテイケナイト云ワレルト一寸困ルノダト云ワレタ事 然シヤルコトハヤルト云ツタノデ望ミハステナイガ氣ニカ、ルノデ木下ニ會フ必要ガアル

◆◆166ページ◆◆ 昭和15(1940)年6月6日(木)



天気 晴

八時工場出 佐藤ヨリ千代田機械ノ話シヲ聞ク 先月分八百余円受取ル 銀行入金  
手續キヲナシ野口へ報告サセル

発動機其他貯蔵品手入レ整理ヲヤラセル 正午ヨリ上京 清平同道商工省ニ立寄ル  
組合認可申請手續ギ中ノ一部書類明日縣ノ手ヲ経テ提出スル様トノコトニ工場へ電話  
ニテ通ズ 二時十五分木下君來 昨日ノ会見ノ結果貯蔵品ニツキ疑問アルラシク其爲  
メ話シガコワレル様ナコトガアツテハナラナイガ、ドウカト聞ク 今更局ノ手前モアルシ自  
分トシテモ立場ガナクナルカラト話シ中ニ丁度舟崎氏ヨリ木下ニ會ヒタイトノ電話アリ  
スグ行ク 五時過ギ帰り、ヤハリ其コトデアッタ。同氏氏(ママ)政治的ニヤルツモリデア  
ルガ下ノモノカラ、價値ガナイ様ニ云ワレルト困ルカラ、ソノ辺ウマクヤツテ呉レ 價格  
調査ノ爲メ木下善寿ヲ連レテ行ク由トノコトニ木下君ノ案ニテ明日善寿君ニ下見シテ  
貰フ打合せシタ方ガヨイトノコトニ明午後六時善寿君ガ井倉君工場へ來テ貰フコトス

▲▼167ページ▲▼ 昭和15(1940)年6月7日(金)

天気 曇晴雨

八時工場出 山東清平ト三月ノ棚卸表ニモトツキ在庫品ヲ分類シ現場ハソレ、手入レ  
整頓ヲナサシム

右命ジテ帰宅 イマ出タ處トノコトニアトヲ追ヒ松戸駅ニテ追ツク 家内和子金ト八柱  
二十二時五十分着 信太郎ニ會ヒニ行ク 墓地ノ右端ガ樹木ナク間ガヌケテ居ルノデ  
宅ヨリ白南天ヲ持參シ植ツケル 下ニコンクリートアリ 或(ママ)程初メカラ植テナカッ  
タラシイ 墓前デ持參ノニギリメシデ晝食ヲ取り信太郎ニモ供ヘ鈴木ノ墓ニ參リ永久掃  
除料九十七円ヲ事ム所ニ納メテ二時四十五分發ニテ帰ル 四時十五分工場出 六時  
清平井倉氏□シテ來ル 善寿シ來ラズ。アトデ知レルト困ラシイノデヤメタラシイ  
最モデアル 井倉氏ニ説明ヲナシ現場ヲ見セル 夕食ヲ三田浜デナスベク頼ンダガ井倉  
氏一人デハ反ツテ迷惑ト思ツタノデ止メ船橋駅ニ送り代リニ清平角トデ食事ニ行キ十  
時終ル 十一時帰宅ス

▲▼168ページ▲▼ 昭和15(1940)年6月8日(土)

天気 晴

八時工場出 山東出社 書類ヲ作ツテ居タ 皆完成スルニ丁度一時迄カ、ツタ 内容ニ  
ツキアラマン検討シ工場見セル前ニ一通リ説明ノ必要アリ 特ニ老舗ト云フコトニオモキ  
ヲ居クコトニ話スベク心ガマエヲナス。午前中奈良原氏、一時半頃自動車ニ一台デ清平案  
内シテ今里、畑、矢野ノ外ニ木下善ト航空器材ノ総務板垣氏來 書類ヲ見セテ株式  
台帳印鑑ハヨク目ヲ通サナカッタ 権利書ト主トシテ貯蔵品ニツキ調査、説明ヲナス内

田山氏來 二時過ギテ佐藤小西來ル 工場内一搬(ママ)ニ見セル 畑氏板垣氏主トシテ調査ニアタル 四時過ギ頃迄カヽル 大分メンシツデアッタ。説明中田山氏ヨリ創立當時ノ権利營業權ヲ日銀デ財産ニ加エルコトノ諒解ヲ得タコト 二十万円位ニ見タコト、ソレカ尚今日モ加ツテ居ルコトヲ話ス 自分モ写真ニヨリ昔作ツタ機体ノ話シヤ最近外返書ヲ出シタ謝文達ノ南京政府カラ練習機ノ照(ママ)介ノ件ヲ話ス  
菅谷君三時頃來 吉田ノ方ハ菅谷ノ腹デ延期シテアルノダカラ急速ニ取キメテ貰ワヌト飛ンダコトニナル ソレニツキ今日先方ノ人ヲ樂園ニマネキ打診シタイノデ樂園ニ仕度シテアルトノコト。之レハ會ワセルワケニ行カナイノデ野口同様決定權ノナイ人々ダカラ、ソナコトハ無駄デアリ又主人公へ今日スグ報告シナケレバナライカラ、スグ帰ルトノコトダト話シ照(ママ)介モセズ先キニ佐藤氏等ト返ス  
昨夜足ノ痛ミトフミンニセメラレ一時半カラ眠レナカッタノデツカレタ 八時前床ニツク。今日ノ工場下見ニ六分頭ヲツカッタ

◆▼169ページ◆▼ 昭和15(1940)年6月9日(日)

天気 晴後雨

余リ上天気ナノデ思ヒツイテ宅ノ大掃除ヲヤラセル  
七時半出 成田山へ御礼方ヤ御願ヒヤラニ參詣ス。清平コナカッタ 帰リニコヒー一ヲ  
ンデ先キノコトヲ考慮ス十時帰宅

工場ニ出ル 正午布施サンニ行ク 帰ツテ二時半迄工場ニ居ル 宇賀ヲ呼び過日釘三樽  
ドコエ持ツテ行クコトヲ聞ク 先方ノ配給券ニヨツテ釘ヲ作ツテヤツタ御禮ニ工場へ二樽  
貰ツタノデ二樽先方へ返シタトノコト ソレデハ矢野へ拂ツタ金ハ當然先方ニテ取レルトノ  
コトデ山東ニ其旨ツタエテ居ク。会社ノ従業員ノ件ニツキ話シ合ヒ特ニ退職手當出セナ  
クナツタコトヲ告ゲテ居ク 彼レモ其意味デスデニ話シテ居ルトノコトデアッタ 三時大  
掃除ノ手傳ヒヲナス 四時半頃ヨリ夕立來ル  
夜早ク床ニ入ル

木下今朝三時頃魚釣ニ出デツヒニ連絡取レズ 舟崎ノ方氣ニカヽル

◆▼170ページ◆▼ 昭和15(1940)年6月10日(月)

天気 晴

五時半起床 スグ船橋ニ行ク 木下全然行衛不明 兄昨夜九時出發シタガ一人ラシイ  
ノデ芦屋ノ佐渡島へ電話ス 丁度在宅 一通り話ス 前田ニ話シテアッタノダカラ一所  
ニ行ツタダロウトノコトデアッタガ尚マダ立ナイナラ今夜ニモ最(ママ)非立タセテクレト  
タノム 九時頃兄到着 ヤハリ一人デ來タ 大分困ツタラシカッタ 車中大蔵ヤ、航本  
第二課長ト同車 一所ニ酒ヲノンダトノコトデアッタ

十時工場ニ出ル 奈良原氏來 一昨日來ノ経過話ス 十一時半清水來 用件ハ八月十日富士山ヨリマイゼ飛行ノ由 マイゼニ乗セテ貫ヒタイトノコトノ諒解ヲ得ニ來タノデアッタ。一所ニ出奈良原氏ト三人デ島村デ晝食シクラブニ行ク 夕方五時半泊居ル 五時頃井倉、宮本來 木下氏土曜日夜カラ行衛不明 マダ帰ラズ 舟崎氏トノ連絡取レズ 渡辺ベンゴシノ方ハ重役会議中トノコト 井倉ノ話シデハ財産ニハ意義(ママ)ナシ 將來ノ仕事ニツイテ協議シテ居ルトノコトデアッタ イツレニシテモ取引キヨラズ不安ノ内ニ帰ル 秋田佐藤明日株受取ル手配ヲナス。前田今夜九時半立ツ由

◆▼171ページ◆▼ 昭和15(1940)年6月11日(火)

天気 晴

五時起床 七時工場出 久シ振りデ朝礼 徳治ニ清平へ株券ト委任状持タセテヤル 散髪後行ク 奈良原氏來テ居タ 清平マダ居タ 木下カラ電話ニテ舟崎氏ト一所ニ午後一時航空局へ挨拶ニ行キタイカラトノコト 大坂ヨリ佐渡島ノ社員前田氏來 委任状ヲ入レテナカッタノデアトカラ速達デ送ツテ來ルトノコトデアッタ 十一時ヨリ上京クラブニ行ク 宮本氏居リ局へ行ツテ來タ處会議ニツキ四時頃ニシテ呉レトノコトデアッタ由。エミ子來 ヅックノ靴四円三十錢デ買ツテヤル 晝食後ニユースヲ見ニ越ニテ小鳥ノエヲ買ヒ三時半クラブニ行ク 四時五分木下來 間モナク舟崎來 共ニ局ニ行ク 工政課長佐藤少将ニ會フ 來ル金曜日十四日器材工業ト津田沼ヲ見ニ來ルコトニ決定。 後長官ニ會フ 長官ハ舟崎氏ニ伊藤君モ効(ママ) 勞者デアアルノデ何ントカシタイト考ヘテ居タガ小サイノデドウニモ仕様ナク困ツテ居タガ貴下ガ乗り出シ下サツテ有難ウト礼ヲ述ベラレタ 舟崎氏ハソレニ対シ自分モ何等カ御約(ママ)ニ立チタイト思ヒマスノデ金ノ方ハ綱ノ方デモウケテ飛行機ハ自分モスキデスカラ大ニヤリマスト云ツテ居タ。東京飛行機ノ事ニツイテモ長官ヨリ挨拶アリ 舟崎氏大ニ気分ヲヨクシタ 今日ノ局行キハ結局アトノ仕事ガハタシテ局デクレルカドウカヲタシカメル爲メデアッタノデ非常ニヨカッタ 明日取引ノ日ヲ辨ゴ土ヲ通ジテ知ラセルコト 大体明後日取引ノコト 尚木下氏ニ登記ノコトモアルノデ急グ様電話シテ貰フコトヲタノミ帰ル

◆▼172ページ◆▼ 昭和15(1940)年6月12日(水)

天気 晴

五時半起床 八時工場出 野口出社 組合勘定ヲ命ズ 清平ヨリ電話ニテ明日午後取引ニ決定 辨ゴ土ヨリ通知アリタリトノコト 朝菅谷へ右ノ旨知ラセル。清平ヨリ五月末決算書入ルトノコトニ一部山東ヨリ受取り自分ト野口決算ニ相違無キ旨記入捺印ヲナス。野口自分任中ノコトニツイテハ責任ヲモツカ其以前ノコトニツイテハ責任ヲ持テナイ 又之ノ数字ニツイテ帳簿上下相違ナキ旨ハ保証スルガ現物ガアルナイニツイ

テハ責任ヲ持テナイトノコトヲ云ツテ居タガ馬鹿ナコトヲ云フ男ダ ソレモ吉田ガ注意シタトノコト。ソレニツキ當方又ハ今後ヤル人トシテハ吉田氏ガ今迄ヤツテ來ラレタコトニ返テ不安ヲ持ツテ居ル旨述ベテ居ク

三時国産ニ行ク 株二十五円貸金三十五円七十余銭ノ計算ニテ諒解ナツタ由。仮受金其他ノ差引ニツキ岡田氏ヨリ意見アリ 田山サンへ行き明日ノ打合せヲナス。野口ニモ來テ貰フコトニ電話ス 明日午前八時交詢社集合ノコト

▲▼173ページ▲▼ 昭和15(1940)年6月13日(木)

天気 晴

六時起床 七時五十分工場出 山東來 株式帳、印鑑権利書ヲ金庫ヨリ出シ八時二十五分ノバスニテ清平ト出カケル 中山ニテ思ヒ出シ船橋ヨリタクシーニテ帰宅 三万円ノ貸金書類ヲ出シ前ノ四万九千余円ノト共ニ持参 交詢社ニ至ル 田山渡辺清平ダケ。一時間程シテ佐藤小西來 十式時近ク畑、矢野兩氏來 一時頃今里氏 二時頃菅谷野口、宮崎來ル 数字ノ方ハ未収入未拂ヒ差引勘定シテ貰フコトニ話シキマリ尚其上兵器廠分未収入ニ製品ヨリ振り替ノ諒解ヲ得 決算表作り替エヲナス 明日午前中ニタイプ出來ル由 佐藤ベンゴシニ依頼ス 菅谷宮崎ハ今日取引ヲ最(ママ)非シテ呉レト大分通ツテ居タガ技術的ニ出來ナイノデ明後日トキメタノヲ明日ノ午後二時ト決定ス 自分松戸へ行爲メ不參ノ諒解ヲ得ル 田山氏ニ歸リ国産兄、福西來ル 福西今朝千葉へ行キ三百株受取ツテ來タ由 然ルニ何ニガ氣ニサワツタカ 辨ゴ士ナシカ、アテナルモノカ、(田山氏ノ前デ)又金サエ貰エバヨイノカ 仕事サエ出來レバ男ガスタツテモカマワヌカ、ドロ棒ヨバワリサレテ取引バカリ急イデ和解書ヲ何故取ラナイ 福西ハ男デゴザルトバカリ株券ヲタ、キツケテ和解書ト金ヲ先キニ貰ワネバ話シハコワレテモ渡サナイト田山氏ト自分デ止メタガキズ帰ル。夜国産ノ人先キニ行キ自分アトヨリ福西へ行ク 來客多ク會ワズ 明日ヲ約シテ帰ル 未拂ヒ未収ノ差引ハ八百余円デアツタガ現金有商(ママ)ヲ入レルト反対ニナルノデ之レハ〇トシテ貰フコトト国産ノ希望アリ

▲▼174ページ▲▼ 昭和15(1940)年6月14日(金)

天気 晴

四時半起床 清平ヨリ岡田ニ電話サセ昨日福西ト会見ノ模様ヲ聞カアトヨリ同宅ニ行ク。ベンゴシニ対シ示談書ヲ取ラセル爲メト外二三話シアリタル由 昨夜田山氏ニ電話ニテ示談書作成方依頼シタル由 ソウ聞イテ上京 福西ニ行ク ヤハリ同ジ様ナ話シデアツタ。辭シテ田山サンニ行ク 清平待ツテ居タ 示談書下書キヲ見取引上ノ打合せヲナシアトヲタノミ国産トノ話シヲツクルベク清平ト行ク 兄モ居タ 大分勝手ナコトヲ

云ツテ居タラシイガ兎ニ角国産側ノ要求ヲ聞キノレニヨリ福西岩間ノ分計算シテ見ル以前一万三千円ヲ取ツテ自分ノ取分〇トシタ場合ノ分配ト同額ニナルノデ別ニ取ル式万三千円ガ九千円ニヘッタノデ取キメル様命ジ時間ガナイノデクラブニ行ク 木下船崎來 松戸ニ佐藤少将ヲ訪レスグ津田沼ニ行キ後チ航空機材ヲ見学。浜町ニテ夕食十一時散会 十二時帰宅 新聞ヲ見一時就床  
佐藤氏ハ局ノ拡張ト共ニ漸時(ママ)ヒロゲルコトトノ話シデアッタ。補給方針ニツイテハマダ決定シテナイ由

▲▼175ページ▲▼ 昭和15(1940)年6月15日(土)

天気 晴

五時半起床 工場ヨリ電話アリ 清平ニ木下、船崎へ昨日取引済ミノ御札ヲ述ベサセル朝食後清平宅ニ行キ小切手ヲ見セテ貰フ 佐渡島其他伊藤側ノ分配ニツキ案ヲ作り 清平ト兄上京 前田君ニ渡スコトス 佐渡島本店ニテニ和銀行ニ依頼 佐渡島分爲替ス 前田君晝ノ汽車デ帰ル 自分喜代市兄ヲ同伴 工場ニ行キ奈良原氏ニ報告 判ヲ返シ一二用件ヲスマセ上京 国産ニ立寄り挨拶ヲナシ福西ニモ電話デ挨拶ヲナス 後田山渡辺氏ニモ挨拶ヲナシ打合せノ上十九日午後五時ヨリ以上ノ人々ト会食 御別レヲスルコトニス

正午船崎氏トクラブニテ会フ。今後ハ仕事ヲ急グコト 役員ハ船崎氏ノ外ニ木下中塚氏今里氏自分取締役ニ監査ヲ船崎氏ヨリ一名兄ト二名トスルコト 月曜日三四人事ム打合せニヤル 同四時船崎氏來 社員一同ニ挨拶ヲナス筈ト打合ス 木下、井倉、宮本來 井倉宮本清平三人ニテ会社人事問題ニツキ話シ合ツタ由 井倉ノ木下善寿ガ這入ルツモリトノコト 宮本ハ木下耶麻次君ノ取締ハナラナイ方ガヨイトノ意見デアッタ由 宮本自身ハコチラへ來タイ由

明日礼廻リノ手土産松屋ニテ買物ヲナス

喜代市兄ハ家内ト徳次案内シテ成田山宗吾ニ参拜 清平宅ニテ夕食ヲ共ニス 十時帰宅

▲▼176ページ▲▼ 昭和15(1940)年6月16日(日)

天気 晴

時事 チヤッボ七ツノ内五ツ生レル

五時半起床 昨日目黒カラ來タ犬ヲ少シ散歩サセル。イヤデレイヤートカ云フノダンウダガキタナラシイ顔ヲ見ルトカッタイ防(ママ)ミタ様ナ犬ダ 行儀ハナカ、ヨサソウダ

八時船橋ニ行キ清平ニ三越デ切手ヲ買ワセルコトニス 金ノ都合デ木下五百円ノ予定

ヲ三百円ニ減シ妻君ニ別ニ五十円スルコトトス 井倉宮本各百円ツ、トス 自分ハ葛飾ニヨリ直輪ノ五葉松百十円デア買フ 之レハ船崎氏へ贈ルコトトス 松屋ニ行キ買物ヲ受取ル 十一時半頃清平來 利根川君ノ自動車デ初メ佐々木利吉郎氏宅カラ初メテ井倉宮本、松浦佐藤、福原、守屋、木下山川ヲ準(ママ)序ニ廻テ八時半お茶ノ水ヨリ帰ル 船崎氏宅ニテ明日來ル人ニツイテ聞ク 井倉ノ外ニ二名入レル予定トノコトテ井倉ハ重役希望アツタガ之レハ二三年先キニシタ方ガヨイト思フトノコトデアッタ 木下氏ノ重役ハ木下氏ハ此際遠慮シタイトノコトデアッタ

◆▼177ページ◆▼ 昭和15(1940)年6月17日(月)

天気 雨

六時起床 皆寝過ス 八時工場出 主任以上ヲ集メ今日舟崎來場 挨拶アルコトヲ話ス。野口君來 自分千葉(手土産)ヲ持チ菅谷ニ行ク 不在 妻君ニ挨拶ヲナシ吉田ニ行ク 妻君出テ來テ來客中トノコトニ昨年來ノ礼ヲ述ベ今回ノ件ハ御不満モアルダロウガ 円万(ママ)解決ヲ見テ事業ノ遂行出來ルコトニナツタコトヲ謝シテ帰ル。二時半頃舟崎、今里、畑、板倉井倉外三四名來 野口山東ヨリ事務ノ引繼ギヲナス 舟崎ニハ福原サニニ会ツタクラブノ方針ヲ語ル 尚奈良原氏青年學校長トナツテ居ルコト。木下氏重役辭退ノ意志アルコト 宮本入社ノ希望アルコト 明日山川氏訪問ノコトヲ話ス 舟崎氏ハ木下氏ノコトモ知ツテ居タガ一應ハ就任ヲ進メルコト 明日一所ニ山川氏福原氏ニ行キタイト 練習機早ク着手スルコト 工場敷地買収調査ヲ至急進メルコト等希望アリタリ。自分等ハ明日ヨリ(一)ヨリ(八)ヶ條ノ議案ニツキ連日會議シテ速急ニ進メルコトヲ申合ス 金工部ハ千代田ノ仕事事ハルコトニ意見一致ス。四時半全員ヲ集合 自分ヨリ舟崎氏ヲ照(ママ)介 同氏ヨリ今回出資ノアイサツアリ 中々ウマク話ス 六時帰宅 徳次大腹(ママ)カタルヲ起ス。佐渡島へ拂ツタ残金六万八千五百五十六円二十三銭 九八特別當坐預金トナス

◆▼178ページ◆▼ 昭和15(1940)年6月18日(火)

天気 晴

四時半起床 青木ヲ呼ビニヤリ マイゼ延期願ヒト工程表ヲ取ヨセル 自分工場へ行キ判ヲ取テ來ル 村山ヲ呼ビ航空神社建築ノ準備ヲ命ズ 七時出 清平ニヨリ同道シテ上京 九時半舟崎同道局ニ行キ工政課長ニ取引終了並ニ五十万円ノ分配方報告ス 山川航空官ニ會フ 白洲氏ノ件技術部長ノ意見ハ平取締リデモヨイカラシテヤツテ呉レトノ事デアッタ 尚木下氏モ最(ママ)非役員ニ入レルコト 監理部長ト會ツテキマレバ發表シテモヨイトノコトデアッタ 一度器材ニ歸リ自分ハ東日ト朝日ニ挨拶ニ行キ十二時器材ニ歸リ局へ電話ス 監理部長マダ來ナイトノコトニ舟崎氏用事アリ自分モ二時

迄ニ帰ル予定ニツキ明日ノコトニシテ帰ル 挨拶状畑氏原稿作製 木下氏ニ電話シ舟崎氏ヨリ局ノ意向ヲツタエ就任ヲ乞フ。考ヘルトノコト 八塚氏取締役就任承諾セル由 一時半帰場 二時半清平井倉來 組織ニツキ協議 五時半終リ 原案ハ自分預リ明日 舟崎氏ニ話スルコトトス

◆◆179ページ◆◆ 昭和15(1940)年6月19日(水)

天気 晴

時事 佐藤ベンゴシ吉田へ七万五千円報酬請求セル由 福西ノ話シ

五時半起床 七時工場出朝礼

奈良原氏來 清平出社 辨ゴ土謝礼三千円ト外ニ五百円引出シ奈良原氏ニ三千五百円ノ内百円渡シ清平兄五千円ヅ、ニシテ呉レトノコト 一万円余リ借金ヲ拂ツテ残リソウダ 旧社員ノ手當安岡共五千円余リトナル 午後上京 舟崎同道監理部長ト会見 白渕氏ノ件社内関係ダカラ局デハカマワヌトノコト 舟崎氏ヨソデ聞イタノハ白渕氏ガ資本保統(ママ)ヲ持ツテ会社ニノゾムコトハ困ルトノ立前ヨリ重役タルコトヲコトワルコトトス 幸ヒ山川氏ノ處へ來テ居タノデ舟崎白渕初会見ヲナス 以上ノ主旨デ技術部長就任ヲ願フ 白渕氏ハ友人(杉山氏栗屋氏)等ト相談ノ上返事スルトノコトニテ別レル 舟崎氏ニ退職手當会社成立以來ヲ認メテ貰フ(局ローカニ話ス) ソレ以前ノモノハ自分此度処理スル旨コトワル。 国産ニ行キ打合せ クラブニテ舟崎氏井倉氏ニ會フ 其前器材会社ニテ組織ニツキ諒解ヲ得 三部長ヲキメ白渕氏來ナイ時ハ自分技術兼任購買ニ塩野目居レルコト 清水グライダー部ニ入レルコト ニツ共承認ヲ得 五時ヨリ岡田、福西、田山渡辺ヲ東京會館ニ招キ礼ヲノベ會食ス 三千円ハ寸志トシテ 田山氏ヨリ渡ス

◆◆180ページ◆◆ 昭和15(1940)年6月20日(木)

天気 晴大雷雨

時事 航空局大蔵省等十二官廳落雷ノ爲メ焼失ス

晝頃舟崎氏ヨリ電話アリ 器財へ行ク 二時技術部長帰京 山川氏ヨリ白渕氏ニ話シタル處役員ニシナケレバイケナイトノコトデ対策ニ困ルトノコト 報酬問題ヨリツヒ白渕氏ヨリ費用ノ要求アリシコトヲ話ス 今里、畑、舟崎皆ソレハイカン ソレデハ単ニ入社スルコトサエコトワイ(ママ)タイ モト、伊藤君ノ話シ方デ來タコトダカラ何ントカ處理シテ呉レ 金ハ一万円位ヤツテヨイデハナイカトノコト 技術部長ニ會フベク局へ行ツタガ山川氏ニ様子ヲ聞ク。ドウモ六ツ間敷ラシイノデ會議中ヲ幸ヒ今夜兄ガ薄謝ヲ持ツテ白渕氏へ行ク予定ニナツテ居ルノデ白渕氏カラ自發的ニ引カセルコトニ方針ヲ立テ飛行協會ノ評議員会ニ臨ミ六時兄ト會ヒ清平ヲ船橋ヨリ呼ブ 七時頃來 相談ノ決(ママ)果

ヤハリ技術部長ニ先ニ諒解ヲ得ナケレバイケナイノデ電話スル 不在ニツキ明朝役所へ行くコトヲ告ゲル 白渕氏へ清平ヨリ電話ス。明後日東京デ会見スルコトニシテ帰途ニツク上野ヨリ京成ニノル頃ヨリ雨降り市川附近ニ來タ頃ニ猛烈ナ雷雨トナル 十一時船橋着 船橋ニ泊ル 市川アタリニ火災起ルト見エタガ東京ト分ル

◆▼181ページ◆▼ 昭和15(1940)年6月21日(金)

天気晴

五時目ガサメ新聞ヲ見ルト航空局ニ落雷焼失ストノコト 今日役所デ技術部長ニ會フ 予定ナレドモ致定落ツイテ会フテ居レナイダロウト思ツタノデ電話シ七時宅へ行ク 入浴中ニテ役所デ待ツテ呉レトノコト 九時会见 昨夜三時半頃帰宅サレタトノコトニツキ今日ノ話シハ、マツイカラ延期シヨウト思ツタガ聞クトノコトニ白渕氏ト舟崎氏ニ性格的二握手ガ困難ト思フカラ將來ノ爲メ今ノ内ニ手ヲ引イテ貰フコトヲ話ス。ソレハ話シガ違フ 木下君ニ話シタコトガアルカラ木下ヲヨシテ呉レトノコトニ木下氏ト連絡 十一時會ヒ舟崎氏ト三者交詢者(ママ)ニテ会见 木下氏ハ技術部長ノ言ヲ返スコトヲ初メ考ヘテ居タガ舟崎氏ノ話シニヨリソレデハ技術部長ニ明日會フコトトナル

午後堀閣下ニ舟崎氏紹介(ママ) 好結果、ヲ得 清水六ニ会フ 堀サンカラ來テ呉レトノ話シアル由ナレドモ勿論入社スルトノコトニ時期ハ富士山飛行終了後トシ給料ハ自分ニ一任スルトトス 夜電話デ木下氏ト話ス 其後山川サンニ会ヒ舟崎氏ノ意向ヲヨク話シタ處山川氏ヨリ技術部長ニ話ストノコト。ソレハ役員デナラ入社ノ方針トノコトデアッタ 之レハ今日舟崎氏カラ木下氏ニ言質ヲ與ヘタカラデアッタ 清平、井倉工場出事ムの方針ノ樹立ニ進ム。兄昨日カラ地所サガシ 明日井倉同道松戸方面ニ行ク予定

◆▼182ページ◆▼ 昭和15(1940)年6月22日(土)

天気晴

五時起床 八時工場出 清平白渕氏ト会见ノ爲メ上京 氏ハ月曜日技術部長ニ面会部長ノ推撰(ママ)ヲ辞退シ白紙ニ帰ツテ舟崎氏ト交渉シタイトノ事デアッタ由 竹島、中山、兄ノ分大坂渡シノ小切手銀行ニテ書カセ清平ノ分ハ現金ニテ出シ総計貳万七千円程ニナル 夕方新工場敷地ヲ舟橋大佛鎌ヶ谷方面ト自動車デ見ニ行ク 井倉兄同道ス 分譲地気分盛ニシテ地價高シ 帰り清平宅ニヨリ用意シタ金ヲ渡シ外ニきん姉二千円渡スコトニキメ内五百円ヲ渡シアトハ今夏姉上京ノ節渡スコトニス 午後猿田氏小國氏來 九百十円一五式殘金受取ル

◆▼183ページ◆▼ 昭和15(1940)年6月23日(日)



天気晴

八時前工場出 和子昨夜ヨリ下痢 醫者ヲ呼ブ ヤハリ大腸カタル 徳治ノ方ハアト二三日デヨイトノコト 後チ定子又腹ガイタイトノコト 一三日前カラダト 早ク云エバ 醫者ガ丁度ヨカッタノニ 熱ヲハカルト三十九度以上アリ又醫者ヲ呼ブ 十二時過ギ 迄カ、ル

奈良原氏來場 島安博來 萱場ヲ止メタイトノコト。其内會ツテ話シテヤルコトトス 正午醫者ニ行キ注射シ午後帰宅静養。吉田關係書類整理ヲナス。ガソリン購入ノ爲メ 木下二五〇〇ガロン分四一五ト五円計四二〇渡ス

◆▼184ページ◆▼ 昭和15(1940)年6月24日(月)

天気晴

八時工場出 井倉清平出版社 社内組織ノ作製 自分旧責(ママ)ノ整理 銀行ヨリ八千円引出シ支拂ヒニアテル 近所ノ古イモノモト考ヘテ居タガ家内ヤ中台ガ不必要論ヲトナエルノデ中止ス。布施サンヤ其他デ全額ノ内ヲ負ケタダケヲ家内ノ收入ニシテヤル 約五百円位ニナルラシイ

夜明日古イ社員ニ昭和十二年十二月(会社創立以前)ノ入社者ニ対スル退職手當ノ計算ト包紙等ヲ作ル 十時ニナル

◆▼185ページ◆▼ 昭和15(1940)年6月25日(火)

天気晴

朝工場出 九時半頃山東出版社 一五ノ金引繼ギ帰宅 佐藤、秋田ノ株金ヲ白渕氏ノ分ニ流用スベク東京ヘ持参 橋本善喜、高藤三四男津田沼ヨリ送金 橋本国雄ノ分東京ヨリ送金ス

正午舟崎、畑氏ト交詢社デ会見 白渕氏へ五千円ヤルコト 自分ヨリ出スコト 案内アツサリ承諾シタノハ少々意外デアッタ 後チ木下ヨリ電話ニテ話シ右ハ舟崎出スコトニナル 一時清平白渕氏ト会見 四時半自分会見 礼ヲ述べ寸志トシテ五千円包ヲ渡ス 大変嬉(ママ)バレタノハウレシカッタ 但シ伊藤個人トシテハ受取リニクイトノコトヲ聞イテ居タノデ会社名ニテ渡ス 清水会見 入社ニツキ和田氏ニ話シテ呉レトノコトニ東日ニテ会フ 和田氏ハ本人ノ希望ニマカセル 堀サンノ方ハ話シスルトノコト 佐藤元吉氏速達ガ來タノデ行ツテ見ル 吉田菅谷川口宮崎、野口皆ノコトヲヒドク悪ク云ツテ居タ 實際七万円バカリ請求シタラシイガ其半分ノ一割ニモ當ラヌ金シカ持参セヌノデ小西ニ持タセテヤッタガ取ラヌノデ小西ニヤッタトノコト 野口宮崎ノ給料千円佐藤手ニ受取りタイトノコトニツキ会社へ話シテ居クコトトス。帰りニ福西ニヨリ五百円返ス。エゾ松ノ寄植一鉢呉レトノコトデ見セテ呉レタ 中々立派ナモノデ鉢ダケデモ四五十円スル

カト思ツタ

夜近所ニ居ルモノダケ呼ビニヤル 佐藤羽田へ行ツテ居ラズ 太田布施角ハマニ金ト感謝  
状ヲ渡ス ヒサ分太田ニ事傳ル

◆◆186ページ◆◆ 昭和15(1940)年6月26日(水)

天気 晴後雨

五時起床 朝食散髪後工場

清平井倉午後揃フ 組織体制出來ル 社員昇給下案ヲ作ル

銀行約手書替工利子支拂ヒヲナス

組合工場ノ金受取り九八へ入金 取引ヲ新タラシクス

四時舟崎氏來 組織体制ヲ示シ昇給表ヲ見セル 明日重役会ヲ開キキメルカラ來テ

呉レトノコト 地所ヲ地圖ニヨツテ見セル 谷津ガ最モ氣ニ入ツタラシイ。練習機試作進

メルコトモ話シアリ 谷津附近帰りニ見ル由 清平案内ス

◆◆187ページ◆◆ 昭和15(1940)年6月27日(木)

天気 雨

時事 滑空機工業組合認可二十日附ニテ來ル

梅雨ラシイ雨 五時起床八時工場出

佐藤ニハ会社手當金渡ス 昨日ノ三式プロペラ折損事故ニツキアヤマリニ來ル 村山古イ

連中ニ大分沢山金ヲヤツタンウダガ自分ハ長屋ノ時ノ金ガ式百円マダ貰ツテナイトノコ

トヲ申出ル 山東ガ知ツテ居ルトノコトニ山東來タラ調ベル様徳治ニ命ジテ上京ス

秋田ハ千式百六十円 佐藤ハ四千式百円現金デ渡ス 兄昨夜大坂ヨリ帰り大坂デ見

セタ支拂ヒ表ニ判ヲ皆貰ツテ來テアツタノデ同様判ヲ貰フ 航空局ニ山川氏訪問 白

洲氏ノ件礼ヲ述ベ尚海軍ノ方内容充実ノ上更ニ御願ヒスル旨述ベタニ対シ心ヨリ承ダ

クサレル

器材事ム所ニテ舟崎畑、氏等ト会議 組織々制部長ハ重役ガヤルコトトナリ從テ皆一

階級下ル 井倉、清平共ニ課長ニナル 井倉君一寸心配ニナル 其他給料等ハ全部承認

兄ヲ建設課ノ仕事ヲサセ百円出スコト 奈良原氏ハ從來通トナリ安心ス 帰りニ船橋ニ

ヨリ兄清平ニ話ス

山口清宅デ待ツテ居タ 急イ中ヲヨク來テ呉レテウレシカッタ

◆◆188ページ◆◆ 昭和15(1940)年6月28日(金)

天気 曇リ

昨日職工連中数名代表ト稱シ宇賀ニ皆ニモ金ヲ呉レト申出タ由 宇賀ハ又五百円位貰ツテヤル 出ナケレバ自分モ止メルカラ皆モ止メロト云ツタ由 定刻前出社 朝礼後今回ノ古イ人ヘヤツタ金ノ理由ヲクワシク話シ皆ヘハ社友会ニ寄附シテヤルコトヲ告ゲ、マダ分ラナイモノガアレバ自分ノ處ヘコイト高飛者(ママ)ニ出ル 尚今後ノ方針ニツキ皆ノ心ガエヲ告ゲ今迄通りノ勤務振りデ首ニナツタカラトテ今後ハ止ムヲ得ナイト覺后ヲウナガス 宇賀ヨリ皆ヤツテ呉レトノ話シアリタレドモ昨日ヤツテアルノヲナゼ話サナカツタカラナジリ結局更ニ二百円ヲ追加シニ二百円寄附ス。奈良原、清水來 一日ノ千葉ノ聯盟発会式ノ打合セノ爲組合認可來ル 宇賀ニ登記手續キヲ命ズ 各組合員ニ通知シ品代金ノ請求書ヲ出ス

午後上京 器材事ム所ニテ舟崎、畑、今里、板垣等ト昇給問題ト組織ニツキ協議 ヤハリ井倉ヲ課デ居クコト 山東ヲ課長トスルコト 經理課長ハ今里兼務トシ時々板垣氏出張スルトノコト

夕食清平宅ニテ 井倉君右問題ニツキ不満アリ止メルカモ知レヌトノコト 板垣氏トハ野村時代カラ關係ガアルラシイ 明日クラブニテ木下氏ト會フコトニス 国産ニヨリ石川事ム所ヘ行クコト 六月四日午前十時トス

◆▼1896年(昭和15)1940年6月29日(土)

天気 雨

定刻出 八時二十五分発バスニテ上京 清平途中行違ヒトナル

十時航空器材着 十時十五分舟崎氏足立工場ヨリ帰ル スグ片岡氏訪問 約三十分待ツ 会见 木下昨日片岡氏ト會ヒ相談役方顧問ナラ受ケルトノコトヲ云ツタ由 相談役トシテ依頼スルコトニホゞ決メル 舟崎氏郷里ヘ日野資朝卿ノ神社建設スル由ニテ日野氏ノ小冊子ヲ貰フ。クラブニ行キ正午岡田勇氏來 今日ノ経過ヲ話シ式百円残金全部ヲ支拂フ 安岡ノ小供ヲ保険ニ入レルベク手紙ヲ申入レテ居イタノニ昨日津田沼ヘ來テ呉レタ 皆川氏ニ電話シタガ不在。三時半迄待ツタガ木下氏モ宮本氏モ電話サエカヽラズ 井倉君ノ地價並ニ器材ト伊藤会社トノ問題ヲ解決シタク相談ガアツタガ出來ズ 飛行館ニ行キ木村氏ニ會フ 同氏ハ小林君トノ關係ヲハッキリ断ツテ貰ヒタイトノコトノ話シデアッタ コチラカラハ会社ノ模様ヲ話シ入社ヲ希望シタガ今ヤリツヽアル陸軍ノ仕事ガアト四五年カヽルカラソレ迄ハダメトノコトニソノ他二人ヲ依頼ス 木村氏ノ囑托(ママ)ハ正式ニ辞令ヲ出スコトデ從來通り承認ヲ得。五時ニテ青年航空團ノグライダー十週年記念坐談会ニ出席 九州ヨリワザヽ佐藤先生ガ來テ居タ 十一時終ツテ一時帰宅

◆▼1900年(昭和15)1940年6月30日(日)

天気 曇リ

今日モ終日木下連絡取レズ 若シ明日モ會エナケレバ單獨デ舟崎ニ話シスルコトトス。イツ迄モ中途半端デハキマリガツカナイ

正午醫者ニ行ク 一度瀬尾サンへ行ツテ見テ貰エト進メラレル  
兄張り切ツテ工場修理ト土地ノ交渉ニ當ツテ居タ

二時半ヨリ帰宅 休ム 兄モ來 清平トモ夕食ヲ共ニス 今日ハ木工ノ手配ヲナス

◆▼1926ページ◆▼ 昭和15(1940)年7月1日(月)

天気 晴

八時工場出 清平ト一所ニナル マイゼノコト作業方針ノコト清平ニ命ジ十時ヨリ上京局ニ行キ村上氏ニ組合認可ノ写シト定カンヲ提出 飯塚サンニ値上げ問題考慮方ヲタノム 榊原サン不在 クラブニ行ク。一時頃木下氏來 二十分程シテ舟崎氏來ル 井倉君ノ件舟崎氏自宅ニ呼ビ然ルベク説得サレル様依頼ス 尚井倉永富徳次ニ速カニ辞令ヲ出サレタキ旨述ベル 三十日付ニテ辞表ヲ出サセルコトニシテアルカラ出シ次第辞令ヲ出スコト 津田沼勤務トスルコト。部長ハ常務ガドラモ見ルコト等打合セ出來ル 地所ハ谷津ト松戸ト両方ニ購入スルコト進メテ呉レトノコト 木下氏技術部長ヨリノ依頼ナリトテ森川氏ヲ白渕氏ノ代リニ入レルコト話シアリ 舟崎、自分ニ異議ナク今里ノ意見聞イテ今日中ニモ決定スルトノコトデアッタ  
帰り兄ト船橋デ話シ合ヒ大格上ノ地所明日取引ノコトニキメル

◆▼1933ページ◆▼ 昭和15(1940)年7月2日(火)

天気 晴

堀閣下へ清水君入社方懇願状ト福西へエゾ松ノ札ヲ書ク 工場ニ一寸立寄り家内ヲ連レテ瀬尾博士ノ診察ヲ受ケルベク千葉醫大ニ行ク 一時迄カ、リ僅カニ、肛門ノ中ヲ調べテ反應ヲ見ル爲メノ注射ヲシタダケデ明後日十一時ニ來ル様トノコトデアッタ。四時半迄工場ニ居ル 大格裏ノ地所三百六十坪アル由 十四円ニテ買収 明日登記スルコトトス 清平半分出ストノコトデアッタノデ明朝三千円引出スコト 尚山縣墜落地ノ土地六十坪アマリ共立土地会社ヨリ買収手續キ出來三百円手付金ヲ入レ十六日登記契約ヲナス。夜何ントナク物憂ク早ク床ニ入ル

千葉醫大ニ瀬尾博士ノ診断ヲ受ケル予定

◆▼1944ページ◆▼ 昭和15(1940)年7月3日(水)

天気 晴暑シ

終日工場 兄ト徳治土地取引ノ爲メ登記所ニ行 三時頃帰ル  
木工入社急ガセル 村山、奥山へ依頼ス  
木材取引インガセル

物卸資材ニツキ明後日前川氏ニ會フベク時間ヲ聞合セサセル(青木局へ行ツタノデ)明後日午後來テ呉レトノコト。明朝千葉醫大へ行クノデ国産ノ方午後三時ニシテ貰フ  
四時頃ヨリ松戸飛行場へ行ク 皆不在 工場敷地ヲ見ル 道路ヲハサンデ左右ニ相當ノ土地ガアツタ

◆▼195ページ◆▼ 昭和15(1940)年7月4日(木)

天気 晴

八時工場出 清平來テ居タ 九時過ギ井倉君來 舟崎氏モ相當理解ヲ得テ居ルカラ一度會アハドウカト進メテ居ク 十時ヨリ醫大ニ行ク 第四性病ハナイトノコトデ石川内科(照(ママ)介サレタ 其方デハ主トシテアミーバ赤痢ヲヤッタコトハナイカトテ調べルラシイ 便ヲ検査スベクヤッタガホンノポツチリシカ出ナカッタ 又明日來イトノコトデアツタ。スグ上京 国産ニ行ク 清平井倉クラブ待ツテ居ルトノコト 石川公証役場ニ行キ十三年契約ノ公証書解除ヲ相談ス タゞ末尾ニ全部受取ツタコトヲ債権者ガ記入捺印シテ責(ママ)務者ニ渡セバヨイトノコトニ其通りニテ受取ル

畑ガ會ヒタイトノコトニ航空器材ニ行ク 四五十名待ツ 王子ヨリ帰ル 自分ノ計算ノコトデアツタ 土地ノ代千六百円ハ適時入金ノコトニス 合資会社ノ分七百四十円アツタノヲ昨日忘レテ居タラ差引六百八十円バカリ支拂ヒ前ニナル 明日持參ノコトトス 明日組織決定方キメル様話シクラブニ行ク 清平井倉、木下居リ木下ヨリ舟崎氏へ今夜電話スルトノコトデアツタ 清平ヨリ自分ノ代表取締リノコトヲシキリニ云ツテ居タカコチラカラ要求スベキコトデナイノデ後チ木下へ電話シテ止メル。井倉清平ドウモ還任ナドニコダワツテイケヌ  
帰リニ船橋ニヨリ兄ト井倉清平ノコトニツキ話シ會ヒ木下ニ電話シテ帰ル

◆▼196ページ◆▼ 昭和15(1940)年7月5日(金)

天気 晴

定刻出 八時ノバスニテ醫大ニ行ク 石川醫長オソク十一時頃漸ク診察 結果一ヶ月程入院シテ徹底的ニ治シタラヨイトノコトデイツ入院スルカト氣ノ早イ話シニ九月頃ナラ出來ルコトヲ答ヘ処方箋ハ家内ニ貰ワセ先キニ帰ル 二時ノバスニテ上京 三時器材ニツク 畑氏一人今里氏電話シタガ來ラズ 社長不明 井倉君ノ件ニツイテモ其他ノモノニ対シテモ組織ノ発表ヲ急グ事ヲ告ゲ明日発表スルコトトス 辞令ハ用紙印刷中ニツ

キ來週木曜トナル由。アトヨリ兄來 土地ニ関シ中間報告トシテ谷津ノダメノコト 工場上ガ松戸飛行場附近ヲ撰定スルコトヲ告ゲル 畑氏來週ヨリ一日ツ、連絡ノ爲メ出張スルトノコト 尚スベテハ森川氏就任ノ上 決定経営方針ヲ樹立シタシトノコトデアッタ

四時航空局ニ行ク 工政課長、監督課長、前川氏飯塚氏ニ會ヒ組合ニテ物資配給ノ件申出ル 皆賛意ハ表シテ呉レタ 前川氏ヨリ陸軍トノ関係モ聞ク イツレニシテモグライダー資材ハ組合デマトメテ願出ルコトハ賛成デアッタ

▲▼197ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月6日(土)

天気 晴

八時工場出 清平出テ居タ 今日組織発表スベク待ツタガ永富午前中遂ニ來ラズ 午後兄ト上野ノザクロノ盆栽展ヲ見ルベク共ニ出タガ帰宅シタラ外ノ暑サト家ノ涼サデ遂ニ中止ス 犠牲者ヲ調べ記入ヲナス

清水君ノ件堀閣下ヨリヤハリ協会へ呉レトノ返書來ル。清水モソレヲ希望シテ居ルトノコトデハ止ムヲ得マイ。クラブ卒業生金朝鮮へ帰り慎ノ處(勤メタイトノコトニ照(ママ)介状ヲ書イテヤル

午後永富來タ由 尚畑氏カラモ電話シタ由 永富ハ登記書類ヲ持參 判ガ入ルトノコトデアッタ由 畑ハ組織其他ノコトデ會ヒタイト明後二時社長モ來ルカラ來テ呉レトノ事傳アリ

▲▼198ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月7日(日)

天気 晴

時事 日支事変第三周年記念日

七時半工場出 八時奈良原清平來 記念式典ヲ行フ 奈良原氏二千六百年勅語奉讀後一場ノ訓示アリ 後チ自分ヨリ新会社ニ対スル吾人ノ覺后ニツキ訓示ヲナス 帰宅兄ヲ待チ十時頃來タガドウシテモ行カズ 一人布施サンニ行ク 石川内科デーケ月入院シロトノ話シヲシタガ、ソシナコトデナオラナイトノコトデアッタ

経師屋ニヨリ学堂額ノ金七円五十錢トノコトニ支拂ヒアト月ト梅ノ圖ト二千六百年ト創立二十五周年ニ當リ犠牲者菩ダイノ爲メノ写経ノ表装ヲ依頼ス

午後ラジオヲ聞キナガラ一眠リス 夕方盆栽ニ虫除ケノ薬ト水肥ヲヤル 夕食兄ト共ニス

▲▼199ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月8日(月)

天気 曇り雨

八時工場出 清平日立出張 正午ヨリ上京 兄同道器材ニ行ク 今里氏居リ社長鹿島ノ方ニ居ルトノコトニ行ク 二十分程待ツ 話シハ急轉直下 自分ニ社長トナリ森川氏ヲ常務トシ舟崎今里ハ平取締トナリタイ 理由ハ舟崎ハ余リ多クノ会社ニ關係ヲ有スルノデ官廳方面ニ対シ其方ガヨイコト 金融關係モ其方ガウマク行クト思フ 何分自分トシテモ洗ワレレハボロガ出ルカモ知レヌカラトノコト 尚森川氏ト相談ノ上急速ニ三百万円増資ノ案ヲ建テテ貫ヒタイ ソレニ伊藤森川ガ役所ヘ行ケバ出來ルト思フ 毎月役員会ヲ開キ増資出來ル迄ハ毎月必要ナダケ支出スルトノコト。木下氏ニ相談ノ上回答スルコトニシテ分レクラブニ行キ木下氏ニ連絡ス 森川氏ト今日会ツテ明日午後三時クラブヘ返事スル 社長ニ就任シタ方ガヨイトノ意見デアッタガ尚井倉宮本君ノ意見ヲ聞クコトトス 清原ト夕方会谈 イツレモ舟崎氏ノ言ヲ好意ニ解釋シテ此際ソウシタ方ガヨイトノコトデアッタ

清水六君ニ會フ 一先ヅ協会ハヤルコトニキメル ワシミ君ニ會フ 入社ヲ懇請シテ分レル 夕食ヲ共ニス

▲▼200ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月9日(火)

天気 曇後雨

朝寒カッタ 散髪シテ八時半工場出

奈良原氏來 山縣記念號碑文下書き出來拜見ス ヨク出來テ居タ。清平ニ心付イタコト書イテ渡ス

正午兄ト上京 出ガケニ石屋ニヨル

秋田直吉ニヨル 説明ヲ仕様ヨシタガテンデ聞カズ 何ンデモ千五百円ヨコセ ソレデナケレバ裁判シテモ取ルトノコトニ馬鹿々々シクナツテヤルコトニシテ帰ル。沢田ニヨリボールト見積リサセル 一ペト三円 配給券ナケレバ三円五十銭 約八十貫目ニナル由。クラブニ行キ五時迄待ツタガ木下下行違不明 困ツタ人ダ 木下善寿君ニ会ツテ呉レト井倉君ノ話シ 明日四時クラブ會フ約束ヲナス

七時清平宅ニ歸リ木下ヘ電話シタガ居ラズ 明朝又電話スルコトトス

▲▼201ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月10日(水)

天気 曇夜雨

八時前工場出 清平木下氏ト連絡(ママ) 今夜森川氏ヨリ返事アル筈 其上デ局ヘ行ク由。森川氏待ツテ居レナイノデキメルベキコトト進メル 差当リ昇給ト賞與ヲ決定ス 奈良原氏ト平塚ヘ出カケル 十一時半東京駅發ニ丁度間ニ合フ 一時着 福知氏ニ會ヒ青年學校ノ資料ヲ貰ヒ一時五十分ニテ帰ル 三時半クラブ着 丁度善寿氏ヨリ電話

アリ 今日検査ガアリ出ラレナクナッタカラ明日四時會ヒタイトノコトデアッタ、ノデ協会ニ行キ堀サンニ清水君ノ件協会へ使ツテ貰フコトヲ回答ス サシ出テ居ラレタノデ見舞ヲ申上 後 両氏ニクラブノコトニツキ前ノ埋立地ヲ飛行場トスル爲メ残シタイコト 協会デ飛行場運動ヲヤツテ呉レルナラ止メテモヨイ旨述べテ居ク 飯沼君ニ電話ス明日二時會フ約束ヲナス 片岡文三郎ニ久シ振リデ會フ 帰途清平ニヨリ帰ル

▲▼2022ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月11日(木)

天気 曇夜雨

八時工場出 全員ノ賞與ヲ決定 リストヲ作り上京 畑氏ニ會ヒ手渡ス 丁度二千元明日持参スル由 舟崎氏明日午後三時頃帰ル由 畑氏自個(ママ)ノコトヲ色々話シテ居タ。賞與ト中元ノコトヲ取キメ飛行館ニ行キ晝食ヲシテ飯沼ヲ待ツ 來ラズ 相羽ニ會フ 舟崎氏へ佐藤君ノコトヲ依頼状ヲ出シタトノコト 二時クラブニ行ク 木下耶麻治氏腹ガ悪ク帰宅シタ由 四時頃電話アリ 森川氏ニ會ツタガ入社ニツイテハ異議ナキモ今ヤリカケタ仕事ノ爲メ半年程待ツテ貰ヒタイトノコト サモナケレバ兼務デ其間ヤツテモヨイトノコトニツキ福原部長ニ今日相談シタ由ナルモ福原氏モソレデハ困ルダロウカラ一日考へサセテ呉レトノコトデアッタ由。舟崎氏ニハ報告ヲ依頼ス 井倉君ニ會フ明日工場へ來ルコト 森川氏ノ如何ニカ、ワラズ直進スルコトヲ申合ス。木下善寿君五時十分迄待ツタガツヒニ來ラズ。舟崎デ奥山氏ニ會フ 清平宅ニテ職工ノ話ヲ聞ク 一両日中ニタノムトノコトデアッタ

▲▼2003ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月12日(金)

天気 晴曇リ雨

八時工場出 終日在所 清平、井倉、兄、奈良原氏來場 工場組織其他重要案件ニツキ協議ス  
明朝器材ニ舟崎社長ト会见予定  
夕方兄ト共ニ帰り食事ヲ共ニス  
仁三郎第一相互二五千元契約 第一回拂込金支拂フ(一ヶ年分)

▲▼2004ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月13日(土)

天気 曇小雨

七時半ノバスニテ船橋ニ行キ舟崎氏へ会见ノ電話スル 正午頃行クトノコトニ工場ニ帰ル山東、永富、浪江來 本日登記間ニ合ワヌ由 明後日山東永富行ク由ニツキ明日休マセルコトニシ明日云ヒ渡スベキ自分ノ所信ヲ聞カセル 賞與袋ニ入レテ持参セル由 辞令



モ來タガ一部訂証(ママ)サセル

正午舟崎氏來 工場改修案ヲ示シ印ヲ貰フ 五ヶ月間位デ出來ル様ニトノコト 作業狀況其他ニツキ報告 工場及敷地ニツキ見分ヲナシ飛行場申請ニツイテハ大讚(ママ)成デ早ク手續キスル様トノコトデアッタ 金工部ノコトニツキ協議 ヤハリ利益ノアル方ガヨサソウナ口振りデアッタ スベテノ點デ利益ハナクトモ損ノナイ様ニトノ意ガハッキリ見エタ。二時半出テ大塚サン宅ニ行ク マダ帰ツテ居ナカッタノデ舟崎氏ノ名刺ヲ置キ分レテ帰ル 井倉出 金工部舟崎ノ意モアリ現狀ヲ續ケルコトトス。玉井藤一郎君來仕事ハ間ニ合ワナイガトノコトデ同氏ノ方ハダメトキメル 社長問題尚一應ハコトワツタガ登記モスデニ進メテ居ルカラトノコトニ引受ケルコトトス。森川氏ノ方早クキメテ貰ヒタイトノコト 増資ガ急グラシイ 金融ガ大分困難ナノデハナイカト思ワレル 其爲メ認可ヲ必要トスルノデハナイカト想像サレル

▲▼205ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月14日(日)

天気 晴雨風強シ

日本海ニ進ミツ、アル颱風ノ爲メ天候悪シ 箱根へ行ツタ連中モマダ一回モ出來ナイ由八時出 清平スデニ來テ居タ 井倉君モ來 其前兄ヲ連レテ布施サンヘ注射ニ行キ帰ツテ主任以上ニ組織ノコト 手當ノコト 休日ト出勤時間ノ件等話シ四時一同ヲ食堂ニ集メ全員ニ自分社長就任ノコト 今後ノ二大目標ヲ示シ国家意識ヲ強調ス 六時帰宅ドウモ氣持チガ悪クテ困ル

▲▼206ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月15日(月)

天気 晴

南風十二三米 暑イ日デアッタ 工場休ミ

八時四十分 廻間文部省ノ自動車同道スルノニ來ル 徳治大蔵(三式プロペラ)ノ借用証送付ノ手紙書キ東京デ速達出スノニ一寸手間取り九時半出ル 清平途中ヨリ同車航空局ニ行ク 松浦器材課長イランヨリ帰朝セラレタノデ今回ノ件同氏ガ木下氏ニ話シテ呉レタノガ導火トナツタノデ礼ヲ述ベ挨拶ヲナス。クラブニ行キエノ本君ニ五円祝儀ヲ出ス。清水君ニ會フ 箱根ハ天候不良ノ爲メツヒ一回モ飛ベナカッタ由

器材ノ上森氏訪問ノ予定ナリシモ井倉連絡ノ結果上森氏本日出社ナキ由ニツキ中止ス 四時飛行協会ニ行ク 二千六百年並ニ航空三十年記念航空功勞者表彰者撰定委員會ニ出ル

可児、新井、分局ヨリ河□課長出席 協会側小野、井上、高草木、佐藤、亀サン倉重君 六時半迄ニ本日ハ表彰者ノ標順(ママ)ヲ定メル 尚総花的ニ古イ人ニヤツテハ如何ト自分提案 次回迄ニ、人撰提出ノコト 次回ハ二十日午後二時ヨリ。

夕食ノ馳走ニナリ帰ル

◆▼207ページ◆▲▼ 昭和15(1940)年7月16日(火)

天気 晴

風 静ニナル

会社員出揃フ 但シ永富浪江ハ三時頃畑氏ト一所ニ來ル 事ム所月給者ノ昇給辞令ヲ渡ス 畑氏ヲ照(ママ)介ス 村山ニ長屋ノ前仕事ノ残金弍百円兄ノ手ヨリ渡ス 前工場ヨリ受取りナカッタノデ自分ガ拂ワネバナライノデ百円ニ負ケサセ様トシタガドウシテモ負ケナカッタ

黒沢君來 今日ハナンダカ非常ニクタブレタ上ニ黒沢ガアノ重イロデアレデシテ、、、トシヤベラレテ困ツタ 夕食ヲ共ニス 話シハ何ニカ軍部ヤ財閥ガ當飛行場ノ利用ヲ考ヘテ居ルカラ大ニ善処シテ呉レト云フ様ナ意味デアッタ。北辺ガドウノ南進ガドウノト、大分變ナ様ダ

◆▼208ページ◆▲▼ 昭和15(1940)年7月17日(水)

天気 晴

八時工場出 清平來 木下氏今日森川氏ノコトデ技術部長ニ會フ予定トノコト 永富浪江早ク出社シタ 山東病氣欠勤 永富登記所へ行ク

奈良原氏來 同道シテ器材工場へ行ク 上森工場長不在 木下氏モ居ラズ 高尾氏ニ井倉君ノ件ヨク話シ工場ヲ一巡シテ帰ル 一時工場ニ帰ル 奈良原氏宇賀ト教育方針ニツキ協議セラル

木下氏夕食(ママ)松戸ヨリ船橋へ來ルトノコトニ時間後船橋ニ行ク 六時頃來 楽園へ案内シ大塚サン來テ漸ク顔ヲ見レバ思ヒ出シタ 然シ二十年振り位ノ会见デアッタ 一時追会谈 工場敷地ニツキ意見ヲ聞ク。野口栄治大塚サンヲ松戸飛行場ニ訪問シタル由

今日ハ大分クタブレテ早ク帰リタカッタ處反ツテ遅クナツテツカレタ

◆▼209ページ◆▲▼ 昭和15(1940)年7月18日(木)

天気 晴 風 強

朝出ルツモリデアッタガドウニモ工合ガ悪イノデツヒニ静養スルコトトス 晝迄ホトンド眠ル マダ身体ガイタク、ダルイ 二時頃井倉、清平來 シバラク起キテ話シタアト大分ヨクナツタ

夜又早ク床ニ入ル ヤハリ眠イ ヨホドツカレタモノラシイ

▲▼210ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月19日(金)

天気晴

定刻工場出

松戸ヨリ電話ニテ作業機見積書提出方申込みアリ 今日羽田へ出張中ノ井倉三時頃  
帰社 明日行クコトニキメル 利益ハナイガ景気付トシテヤルコトトス

明日ニソナエ表彰者ノ調査ヲナシ表トス

久次郎ニモ久シ振リデ手紙書ク。宗里、馬詰太郎等ニモ出ス

三時半工場ヲ辞シヒゲヲソリ帰宅 四時半

▲▼211ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月20日(土)

天気晴

暑シ

午前中工場 十一時帰宅晝食後上京 二時協会着 清水君ニ會フ 明日ノ打合セラ  
ナス 廻間居リリリースノ件工場へ電話サセル 仁三郎霧ヶ峯行キノ件藤原サンニ交渉  
サセル

二時十五分ヨリ表彰者センコウニカ、ル 五時二十分終了 大体終ル 操縦士ノ資格者  
多ク三十名近クナル 自分提案ノ其他ノモノ一部通ル 愉快デアッタノハ根岸君ヲ御  
親族ノ組ニ入レタコト 浅見木暮ガ這入ッタコト 奈良原磯部ハ大分異論ガアッタガ結  
局入レルコトトナル 但シ会堂ノ方ニナル 自分モ受ケルコトニナル 鈴木菊雄猿田秀文、  
藤原延ハダメニナル 鈴木ニハドウモ弱ツタ  
大蔵來 同道シテ帰ル 途中一寸鈴木館へ顔ヲ出ス 十時過ギ大蔵帰ル

▲▼212ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月21日(日)

天気晴

五時起床 和子体操ニ六時迄ニ學校ニ行ク 朝食後中台主人同道成田山ニ参詣 十  
時前帰宅。ソトノ暑サト人出ガ多イノト宅ノ冷シサニ外出ヲ取り止メル 醫者行キモ  
止メ静カニ讀書、ラジオ、ニ日ヲ過ス

千葉海岸デ聯盟主催ノ清水ノC二型ノ公開飛行 予定時間ニ行ヒ六時頃清水廻間  
宅ニ立寄ル 一時間程話シテ帰ル

▲▼213ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月22日(月)

天気 晴

六時起床 八時工場出 気付イタコトソレ、命令ヲメモニ書イテ清平ニ渡ス 十時半出 十一時半萱場着 社長、松井両氏ニ會ヒ無尾八月中ニ終ルコトヲ約束ス 十二時過ギ外出中ノ武田氏帰ル 一寸挨拶シテ出ル 渋谷駅前ニテ晝食後鷺見氏訪問。神坂君ニ會フ 無尾ノ連絡係リ 一時間程雑談シテ局ニ行ク 三時監督ノ篠原氏ニ鈴木菊雄ノ件法規違ハンアリダメ。村上氏ニ特免ノコト ベニヤ板照明ノコトニ話ス 照明証明明日來ルコトトス 乗員課ニ新ラシク出來タ補給係リ長ニ照(ママ)介サレ挨拶ス 大分話セソウナ男デアッタ。榊原サンニモ會談 四時半辞シテ帰ル 五時五十分帰宅 東京ハ暑カッタガ宅ハスズシイ 硝子戸ヲ一尺ホドシカ明ケテ居ケナカッタ 今日ハ休養ノアトデ気分ヨク活動力ガアッタ

▲▼214ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月23日(火)

天気 快晴

終日在所 夕方布施サンニ行ク 不在デ一時間待ツ 仁三郎第二回目ノ血脈検査ヨカッタノデモウ大丈夫ダロウトノコト 徳治今日採血シテ貰フ  
松戸ヨリ渡辺島根両氏來場 來月五日ヨリ三日間學生ニ水泳ヲやらセニ來ルトノコトデアッタ 其打合セノ爲メデアッタ 島根氏ノ部下デ宮川ト云フ人アリトノコト 教練ノ先生ニ丁度ヨサソウナノデ依頼ス  
井倉松戸ヨリ三時過ギ工場ニ來

▲▼215ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月24日(水)

天気 快晴

八時工場出 清平來テ居タ 中々精勤ダ  
九時頃井倉野村氏ト來場 野村氏十一時頃帰ル  
午一時散髪ニ行キ帰宅 夜早ク床ニツク  
職員ノ給料明日支拂ヒノタメ永富、山東器材へ行ク

▲▼216ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月25日(木)

天気 快晴

宅ヨリ七時半ノバスニテ清平行キ 木下ト連絡アリ 今日ハ羽田ニ居ル由 森川氏ハ八月 嘖中ニ今ノ仕事ヲ終ツテカラニシタイトノ話シデアッタ由  
九時五分御茶水着 井倉ト會ヒ共ニ局ニ行キ工政課器材課乗員課ニ照(ママ)介シ九時半終リ共ニ羽田へ行ク 木下君ニ會フ 今カ聞イタ様ナ話シデ今朝船崎氏ニモ話シテ居

イタトノコト 挨拶ノ爲メ森川氏ニ會フタ處一時間バカリ話シサレタ イロ、アッタガマトメテ見ルト第一ハ会社ト局ニ対スル不満、第二ハ木下氏トノ間ニ面白カラヌコトガアル由。第三ハ船崎サント云フ人ヲヨク知ラナイカラトノコトデアッタ 尚船崎三二人ダケデ会ワセテ呉レトノコト 外ニコブンヲ二三人連レニ行クコトヲ諒解シテ貰ヒタイトノコトデアッタ。器材ニヨッタガ船崎氏居ラズ板垣君ニ明朝十時來ルカラト事傳シテ帰ルクラブニヨッタガ井倉居ラズ。久シ振リデ福西ヲ訪問 少時話シテ帰ル プラッグノ件合ワセテアル陸軍ノ証明ガ貰エタラ相談ニ行クトノコトデアッタ。帰場 清平ニ今船崎氏ト連絡ヲ命ジ工場ヲ見テ帰ル

▲▼217ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月26日(金)

天気晴

今日ハ冷風デス、シカッタ

八時前工場出 畠山検査官來 夕方予定通り終ル

松戸ヨリ渡辺会計課長來 井倉清平晝食ヲ共ニス 根岸君來。帝高河野先生來

十二時半ノバスデ上京 二時五分钟前器材ニツク 船崎氏交詢社デ待ツトノコト 二時十分交詢社着 二十分程前ニ出タトノコト クラブニ行キ器材へ電話シテサガシテ貰フ不明 四時帰場 マイゼノ進行ヲハカル 組合登記書類提出終リ火曜日膳本ガ貰エル由

千葉裁判所ヨリ会社定款変更登記遅延ノ理由申請方通知アリタリ 清平ニ命ジ又船崎氏へ連絡サセ森川氏ト会ッテ貰ヒタイ旨述べサセル

▲▼218ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月27日(土)

天気 曇小雨晴

九時半器材着 船崎氏会见 森川氏ノ件話シスグ森川氏ト連絡 十一時半ヨリ交詢社ニテ二人ダケデ会见スルコトニキマル。船崎氏ト局ニ行キ技術課長ニ挨拶ス 増資ノ件ニツキ工政課長ト会ッテ呉レトノコトニ會フ 増資ニツキ工政課、デハ待期(ママ)シテ居ル由。尚組合ニツキ工政課長ヨリ強化決(ママ)束ヲカタメルコトノ注意アリ 尚役所ト協調スルコト等ノ話シアリ ベニヤ板ノ証明ヲ貰フ。ニュース映畫ヲ見、晝食後時代社へ。組合ノ金五十円支拂ヒヲナシ、協会ニ帰ル 時間ガ早イノデ成吉汗ヲ讀ム

二時開会 製造会社派ノ出席五六名アリ 結局撰定範圍ヲ決定シアラタメテ出シテ貰フコトトナル 後チ一搬(ママ)ノモノニツキ再調査ヲナシ次回ハ八月十三日トス 渡辺一英、中正夫ト夕食ヲ共ニス。ミヅノノ梅津君ニ會フ

▲▼219ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月28日(日)

天気晴

五時半起床 終日在宅  
安岡妻ヲ呼び定期予(ママ)金証書二通 保俵(ママ)受領証一通ヲ渡ス アンマ來 久シ  
振りニヤツテ貰フ  
徳次工場見ニヤル 清平來テ居ルトノコトニ行カズニスマス  
庭ノ木ヨリ葉巻虫ヲ取り薬ヲマク  
朝顔ニ支柱ヲ立テル  
節子午後來 エミモ來 五時清平來

▲▼220ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月29日(月)

天気晴

清平風引キ休ミ マイゼ進行セズ 金物オクレル 今村、長島、岡田、ヲ呼び敵ニ促進ヲ  
命ズ  
試験場連絡 明日井上氏來場ノコト  
器材課電話アリ マイゼドノ程度カトノコトニ今日明日ニ内部検査ヲ受ケル予定ト返  
事ス  
器材会社ノ千鳥圖面試験場ノ方聞イテヤルトノコト 瓦斯電モ持ツテ來ルコトニハナツ  
テ居ルガ同社長曾部デ異論アル由

▲▼221ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月30日(火)

天気晴

八時工場出  
試験場井上氏來場 九〇式検査ノ打合セラナシマイゼ見テ貰フ  
正午布施サンヘ注射ニ行ク  
今朝角ヘヤツテアッタ鳥七羽今デハ三羽ニナッタノデ返ストノコトニ引取ル ツヒデニ廿  
イメスト新ラシイオス各一羽鳥屋ニ出シ古イメス一羽ベテ貰フ 夕方料理ス 余リウマ  
クナカッタシ注射ノ爲メ氣持チ悪ク喰エナカッタ  
組合登記終了ス

▲▼222ページ▲▼ 昭和15(1940)年7月31日(水)

天気晴

朝工場出 照和航空計器(價格ノ件清平ニ手紙書カセル  
試験場へ行ク 十一時半着 井上氏各研究機関ヲ説明シテ呉レタ 十二時辞シテ日新

工業へ行ク 北島氏止メタトノコトニ東横デ土産物ヲ買ヒ青山ノ宅ニ行ク 不在。報知  
安信所ニ寄テおきんノ結婚相手ノ調査ヲ依頼ス。東京駅精養軒ニヨリ八月八日組合  
総会ノ会合ヲ依頼シテ三越ニ立寄り京成ニ帰ル 四時二十分ノバスニ間ニ合ツタガ晝  
食ヲ取ラナカツタノデ気分悪ククタビレ工場へ行カズ帰宅ス  
夜仁三郎霧ヶ峯へ出発 徳治新宿迄送ル

▲▼223ページ▲▼ 八月

増資案確定 増資申請ノ事

▲▼224ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月1日(木)

天気晴

近頃毎日北風デ冷ヤカタガ日中ハ工場ニ風ガ這入ラナイノデ反ツテ熱イ

興亜奉公日満一周年 七時半出 久シ振りデ朝礼ヲナス

終日在所 組合ノ計算ヲナス

奈良原氏鹿島ノグライダー訓練会ニ出張セラル

畑ヨリ電話アリ 森川氏入社決定 舟崎ヨリソレ、関係方面へ通知シタル由。千鳥圖

面ノ件板垣君へ電話ス。

飯塚氏ヨリ電話アリ 慎ノ□處へ佐藤一ヶ月出張ヲタノマレタガドウカトノコトデアッ

タ。慎ガ今月來ルトノコトニ其上デヨイトノコトデアッタ

▲▼225ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月2日(金)

天気 晴夕立アリ

二等六名受検 伊藤氏來 二名終ル 帰還ノ時刻ニ夕立來テ心配ス

奈良原氏來

午後船崎氏來 神社ノ件諒解ヲ得 石燈コウヲ寄付スルカラ注文シテ呉レトノコトデア

ツタ

森川氏アノ日浜町へ行き四時迄話シテ肝胆相照シ來ルコトニナツタトノコトデアッタ

船崎氏ノ自動車デ上京 山水楼ニテ日立井上誠氏ト会見。部品ノ件依頼 何ントカ

方法ヲ考ヘテ見ルトノコト 千鳥一型ヲ作ツテハドウカトノ話シアリタリ

▲▼226ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月3日(土)

天気 曇晴雨

降タリ止ンダリ 本日二機桐生泊リ

終日在所 奈良原、清水來。井倉午後出社 午前松戸へ行ク

柳金具取付終日カツテモ終ラズ

東日和田氏ヨリ九日間ニ合セル様電話アリ

▲▼227ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月4日(日)

天気 雨

朝カラジャン、降リ試験ハ中止

七時半工場へ行キオリンピック型試作ノモノ全員約三十名出テ居タノデ一同ヲ集合セシメ会社ノ面目ニカケテ九時中ニ完成セシムル必要アルコトヲ述べ激励ス

正午兄大坂ヨリ帰ル 大坂ノ模様ヲ聞キ晝食後工場ニ行ク。作業捗シカラズ 金工部夜十二時迄カ、ル 自分ト清平最后迄居ル 清水君來

夕方和田氏ヨリ清水君ニ電話アリ 美津濃間ニ合ヒ兼ネル由 當方ガンバッテ呉レトノコト

▲▼228ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月5日(月)

天気 晴

久シ振リニ南風ノ好晴トナル

試験本日ヲ以テ終ル 鈴木カラ來タ山里一人落伍ス

松戸ヨリ水泳隊來 大塚大佐來場

養生工マイゼへ全部手傳ワセル

決算表組合分出來ル

朝日本小型へ行ク予定ナリシモ決算表出來テ居ナカッタノデ明日ニス

試験場へ電話 明日來テ貰フコトニナル

植木屋金支拂フ 石屋明日ニス。木材ヤ來月デヨイトテ請求書來ラズ 以上神社分

防空演習最后ノ日デ今日ハ早ク床ニ入ル

明晩ハ徹夜ノ予定

▲▼229ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月6日(火)

天気 晴

七時工場出 八時宇賀ト縣二人商工課へ組合認可ノ礼ニ行キ其マ、蒲田ノ日本小型ニ



行キ宮原氏ト庶務ノ人ニ會フ 組合會計報告ヲナシ承認ヲ得テ後チ本庄氏ニ會フ 組合定款ニツキ協議其他打合せシテ駅前ニテ晝食ノ馳走ニナリ三時工場ニ歸ル 畑氏待ツテ居タガ丁度今歸ツタトノコトデアッタ  
今夜ハ徹夜 自分ハ夕食ニ歸ッタマ、床ニツク  
オリンピック型

▲▼230ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月7日(水)

天気 晴

終日在所 マイセ進行ヲハカル予定ノ處十時半頃器材ヨリ電話アリ 工政課長、監理部長ガ器材ヲ見學 松戸ニヨリ津田沼ニ行クカラ來テ呉レトノコトニ一時局ニ行キ待ツ 臨時部長差支アリ器材課長行ツテ貰フコトトス 予定通り廻リ五時頃津田沼ニツク 松戸ニハ今朝津田沼へ來ラレタ佐藤閣下モ待ツテ居ラレタカラ場内ヲ案内サレタ 夕食ハ兩課長歸リヲ急グ爲メ中止ス  
九時頃帰宅ス 工場ハマイゼノ爲メ徹夜ス

▲▼231ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月8日(木)

天気 曇リ

正午ヨリ上京 東京駅上ノ滑空機工業組合總會ニ行ク  
アカシヤ不参ノ爲メ三時迄待ツタガ來ラズ 三時開會 定款ノ一部変更、事ム所移轉、事ム所設置ノ件決定 河合樂器初メテ出席  
以上決定ノ頃、招待者來。局ヨリ松浦器材守屋工政兩課長、佐田航空官石島屬。航空本部ヨリ内田中佐西原少佐出席セラル 商工省文部省不参。自分組合認可、オリンピア型材料遅延並ニ文部省型低價格決定ニ対シ責任ヲ感ジ辞表ヲ水野梅津へ提出ス 全部ヲヨク留任懇請アリ 数回辞待(ママ)後船田ノ生田氏ヨリ文部省型決定ノ時ノコトニツキ陳謝アリ ヨツテ留任ス 價格問題ニツキ想(ママ)談ヲトゲ八時頃散會。十時頃帰宅場 ツヒニ徹夜 マイセ促進ニツトム

▲▼232ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月9日(金)

天気 曇リ

東北ノ風寒シ

大沢航空官午後二時來場セシモ試行出來ズ 明朝ニシテ貰ヒ泊ツテ貰フ 鈴木館へ送ル 九日完成検査重心測定其他計測

オリンピック型夕方漸ク羽布張ル程度トナリ九時歸ル 板金全部塗装ノ一部木工ノ

一部徹夜ス

▲▼233ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月10日(土)

天気 雨曇り

朝カラジヤン、降ッテ居テ時ニ小降りトナル 午後ヨリ僅カ認可日ガサシタコトアル  
モ曇り晴

四時工場ニ行ク 間モナク兄清平、清水、大沢航空官來ル ツヒニ朝夕八間ニ合ワズ。夕  
方モ漸ク五時頃試験飛行ス 二回良ナレドモスポイラー輕ル過ギ曳行中ニ飛ビ出ス。終  
ツテ堪航証ヲ貫ヒ尚カバーノリベットガ残ッテ居タノヲ佐藤ニヤラセルコトニシ九時迄居  
テ帰宅 一寢入シタ 十二時半頃廿人バカリノ夜食ヲ作ッテ呉レト云ッテ來タガスデニ  
自動車ニ積込中トノコトニソレデハ今カラ焚イテ居タノデハ間ニ合ワナイノデ聞キニヤル  
ト三人分ダケデヨイトノコトニ三人分ニギリメシヲ持タセテヤル

九〇満載時ノ重心測定ヲナス 試験飛行ハ養生所側デハ離陸後スグ松戸ニ降シテ呉レト  
云ヒ試験場側デハ當場ヲ二回離着陸ヲ行フコト云ヒ、マトマラス試験飛行ハ中止トナル

▲▼234ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月11日(日)

天気 曇小雨

五時起床 九時頃散髪ヲシ工場ヲ見廻リ、石屋ニ寄り山縣ニ石ヲ見、神社ノ手洗石ノ  
方予定ハ二尺トノコトニ三尺ニ変更サセル

十一時兄來 共ニ醫者ニ行ク 一時帰り

新聞ヲ讀ミ初メルトタチマチ眠クナルノデツヒニ横ニナル

夕食後モ早ク床ニ入ッタガラジオノ終ル迄聞ク

富士山飛行十四日決行ノ入電アリ

▲▼235ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月12日(月)

天気 曇少晴

七時半工場出 清平宇賀ニ用件ヲ命ジ、自動車十五番タクシーヲタノミ將來ノ爲メ

本日試乗ヲナス 兄同道上京 クラブニテ井倉君同道大日航ニ向坂氏初会見 中型機  
試作局ノ意向ガヨケレバ大ニ援助スルトノコト 同氏山川氏ニ電話シテ呉レル。スグ行キ

山川氏ト懇談 器材課長ニ話シテ居クカラ、直接会ッテ呉レトノコト 尚同氏個人ノ意

見ヲ約一時間聞ク 器材課長明朝会フコトニシテ羽田ニ森川氏訪問 丁度晝ニナル 食

後同道シテ松戸ニ行ク 車中船崎氏ト会見内容ヲ聞ク 井倉君ノ話シデハ、キマッタ様

ナコトダカ森川氏ハマダキメテナイトノコトデアッタ。松戸ニテ佐藤閣下ニ會フコトハ同

氏ノ心準備ノ爲メカト思ツテ居タラソウデモナク一寸会ツタダケデスグ工場敷地見分  
ニ出ル 松戸駅前送り帰途御墓ニ参リ玉川デ航空神社用燈ロウヲ見テ帰ル  
清平宅ニヨリ今日ノ模様ヲ話シテ帰ル

▲▼236ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月13日(火)

天気 曇リ

十時協会へ行ク 畑氏ヨリ濟ンダラ、会ヒタイトノコトデアッタノデ午後二時前終ツタ  
ノデ器材ニ行ク 船崎今里モ居ル。船崎ヨリ森川氏ノ件ヨク聞ク。自分ヨリ辞表呈出ヲ  
カンコクスルコトトス 畑氏ヨリ五月末決算ト稅務署關係ニツキ報告ヲ聞ク 二時半再  
ビ協会ニ帰ル 徳次來タガ東京駅ニ行キ二時二十何分ニ乗ツテ居ナカッタカラ帰ルトノ  
電話アリタリトノコトニ富士行ヲ中止シテ帰宅ス 徳次ハ四時ノ汽車迄マツテ居タ由

▲▼237ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月14日(水)

天気 晴

家内三時カラ風呂ヲ立テル 入浴後六時出カケル 東京七時十五分發 九時半御殿  
場着 今日モ晴レタレドモ出發點ニ雲アリ晴レズ中止トナル

二時頃ヨリ東葛飾中學ノ平野氏ト同道 自分登山ス 太郎防(ママ)ヨリ自分ハ馬ニ乗ル  
樂ニ夕方五合五勺ノ室ニツク 太郎防ニテ下山ノ局長、乗員課長、渡辺一英氏ト會フ。  
太郎防ヨリ上リ砂原ニテ目ヲ樂シマスモノ何モナシ 富士ハ最后迄石炭山ヲヨシルモノ  
成程一度ハ登ル處 二度登ルハ馬鹿トハヨク云ツテアル 今日雲ノ爲メ視界悪シ  
夜中ヨリ晴レヨイ月ガ出下界モヨク見エタ

▲▼238ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月15日(木)

天気 晴

四時起床 コップ一杯デロヲソ、ギ残りデ顔ヲ洗フ 三回バカリナデルコトガ出來タコ  
ウシテ見ルトコップ一杯デ充分洗顔デキル。五時皆起キル ハルカ雲ノ上ニ今夏初メテ  
ノ御來光ト云フノヲ拜ム 雲次第二晴レ七時半頃ハスツカリ大山方面迄見エル 北東ノ  
風ノ爲メ西コースト決定

九時十五分前ノ一番機ヨリ四十分間ニ全部出發ヲ終ル イヅレモ見事ナ離陸デアッタ。  
室ノ主人カラ乾杯ノ酒ガ出タガ先キ急イデ平野氏ト頂上ニ向フ 一時三十分ツヒニ到  
着 記念撮影ヲナシ二時浅間神社参拜 下山ス 七合ヨリ横ハラジツツケ砂走リヲ下  
ル 二合迄樂デアッタ コ、ヨリ馬車ニ乗り五時半太郎防着 東日ノトラックデ御殿場  
ニ帰り奈良原平野氏ト自動車ヲタノミ、箱根ノ梅屋ニ行ク 途中長尾峠ニテ下車 月

下ノ眺望ヲホシマニス 富士ハオボロデアッタ 十時半床ニ入ル

飛び込んで見度い気がする、雲の峯(七合ニテ)

▲▼239ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月16日(金)

天気晴

五時半起床 一時頃カラ瀧ノ音ト顔ガホテルノデ眠レナカッタ 起キテ鏡デア見ルト顔ハ赤クコトニ鼻ノ頭ガイタイ程アカクナツテ居タ

ユックリシテ九時四十五分ノ下リバスデ宮ノ下発 奈良原氏ハ協会ヘ寄ルノデ新橋下車 平野氏ハ木更津ヘ船デ行クトテ横浜下車 自ハ一時船橋着 ソバヲ喰ヒ小型デア帰宅 モノ前面トフクラハギガトテモ痛ク、階段ニ六閉ロス

▲▼240ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月17日(土)

天気晴

終日休養 夕方少シヨクナル 朝アンマヲ取ツタガ足ハナデル程度デアサワラレルノガ痛カツタ

午後井倉清平來 兄モ來ル

▲▼241ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月18日(日)

天気晴

五時半石屋ト山縣ノ土地見分ニ行ク。八時工場出 清平出社オソシ Cニ工程マダ出來テ居ラズ 少シタイマンダ 井倉清平山東等ト塩野目警視廳ヲヤメテ外ヘ行ツタトノコトニツキ対策協議 各自サガスコト 其他二三協議シテ晝食後兄ト布施サンニ行キ、稲毛ヨリズツト上京 丁度三時東日着 富士山ニ於テモ式千六百年記念飛行競技ノ閉会式ニ参列ス 終ツテ森川氏ト懇談ス 同氏三百万円ハ一致シテ居ルガ未拂込ヲツクリ必要ニ應ジテ取ルコトヲ主張シテ居タ 今日ノ大蔵省ノ方針ナド知ラナイラシイ。シイテ争フベキデナイノデ聞キ居ク 身体問題デア明日副総裁ト会フトノコトニ辞職ヲカシコクシナカッタ。ガハツキリシタコトヲ云ワナイ。タヨリナイ人ダ 工場土地問題モ数回聞キ直シテヤツト分ツタコトハ松戸飛行場ニ接シテ土地ノ安イ處ヲ出來ルダケ広ク取り少シハナレテモ附近ヲ遊バセテモヨイデハナイカ、ソレカラ非常ニイソガネバイケナイトテ急イデ居テ明日松戸ノ役場ヘ行ツテ見ルトノコトデアッタノデ吉田トノ關係ヲ話シテ居ク

▲▼242ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月19日(月)

天気 晴

終日在所 畑氏へ電話ニテ船崎社長へ森川氏本日副総裁ト会見ノ由通告ス 明日來ラレナイノデ水曜日來テ貰フコトトス

明日山縣記念碑ノ地慎(ママ)祭ヲ行フ爲メ夕方工場員クラブ員ノ奉仕ニテ地均シ作業ヲ行フ 本日井倉清平ニ初メテ二十五周年記念日ヲ航空神社祭典ト共ニ行フコトヲ相談 イツレモ讚(ママ)成 小冊子ヲ作ルコトヲ井倉提稱ス

▲▼243ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月20日(火)

天気 晴

山縣記念碑土地地鎮祭午前九時行フ 参列者鳥飼氏自分兄清平、クラブ員会社各主任

組合定カン變更登記ニ宇賀午後ヨリ千葉登記所へ行ク

正午過ギマイゼ羽田ヨリ帰ル 清水操縦 同君母堂危篤ノ由 スグ帰ル 同道シテ上京 奈良原氏六十一ノ時贈呈スベク計畫シテ居タ胸像航空三十年記念トシテ本年贈呈スベク立体写真へ行キ五割青銅製ニテ注文ス 別ニ一個自家へ残ス爲メタノム。航空時代ニヨリ帰ル

▲▼244ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月21日(水)

天気 晴 俄雨

今朝下痢ス 原因不明 カイロヲ入レテ出社ス

畑氏來 帳簿傳票ノ不備ヲ指適(ママ)サル。自分ヨリ常々云ツテ居タ處デアッタガ帳簿ガ出來テ來ルノガオソカッタコトニ起因シテ居ルノデ明日ニモ井倉君ト聯絡サセルコトトス。經理課長ハ井倉ニヤラセルトノ意見アリ 丁度ヨイ都合デアル

午後舟崎氏ヨリ電話アリ 羽田デ森川氏ト會ツテ來タ 明日十一時交詢社デ役員ノ顔合セヲシタイカラ來テ呉レトノコトデアッタ 兄ハ明日高木村ノ地主連ト合(ママ)談スルコトニナツテ居ルノデ欠席トス

▲▼245ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月22日(木)

天気 曇雨

定刻工場出 時々雨降ル 九時半ヨリ上京 十時五分交詢社着 十一時半頃揃フ

船崎今里、八木、森川。船崎氏ヨリ森川氏就任ノ披露アリ サソク畑氏ノ手デ就任

承諾書ヲ作ル。今里氏ヨリ森川氏ニ抱負ヲ聞キタイトノコトデアッタガ森川氏ハ簡單ニ部品ハ他工場デナシ組立工場トシテ進ムコト 敷地ヲ出來ルダケ多ク取ル事ノ二點ダケ話シガアリ晝食ヲ共ニス

クラブニ行キ川辺武崎氏ト連絡 五時頃ヨリ久松氏ト四名デトウ、亭ニ行キ先搬(マ)ノゴタ、ニ対シカゲデ心配サレタノニ対シ報告ヲ兼ネ謝意ヲ志ス 終ッテ清水六ノ助君母堂ノ死ニ対シ悔ミニ行ク 会社トシテ二十円 自分ヨリ十円 外ニ富士山飛行手當トシテ五十円贈ル

今日ノ会議デ森川氏ニ先ヅ練習機試作ノ件ヲ同意ヲ得船崎氏ノ承認ヲ得 祭典披露ノ件自分ヨリ時局柄ニツキ如何ニスルカラ聞ク 進マナイ様子デアッタ

▲▼246ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月23日(金)

天気 晴

八時出社 昨夜オソクナッタノデ今日ハ少シ眠カッタ

協会北尾君依頼ノ談話ノ材料ヲ古イ切り抜帳カラ調ベル 佐田少佐ニ明日會フベク電話シタ處今日夕方カラ出張スル 午後モ居ルカ居ナイカ分ラヌトノコトニスグ行ク 正午着 クラブノ問題決局ヤメロトハ云ワナイガ自発的ニ止メルコトシ現在居ル分ダケハヤラセル爲メガソリンヲ配給スル様話シテ居クトノコトデアッタ 尚將來ノ問題ニツイテハ未定デアアル由 統合問題モ未定ニツキ自分ノ意向トシテ東京アマチューアクラブト當クラブノ結合ヲ希シテ居ク 二時帰場ス 森川氏今帰ッタ處ダトノコトデアッタ 松平ノ父、上仲共二局へ出ス履歷書調べニ來 松戸ノ九〇翼角度不良ニテ試飛行ダケデ着陸ス 明日空輸ノ予定

▲▼247ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月24日(土)

天気 晴

朝散髪シテ九時前工場出 松戸カラスデニ高原整備長來場。相手ヲスル内職業紹介所ヨリ式百円寄附ヲ受取りニ來ル 之レニ又會ヒ二時間程カ、リ、古イ切り抜調ベヲナス 十二時中止シテ上京 二時五分協会ニツク

今日ハ最后ノ技術者ノ表障(ママ)不可能ニツキツヒニ会社ヲ表章(ママ)スルコトニ決定 其撰定ハ航空局案タル三菱中島川崎川西愛知ノ五社ニ決定ス

帰りニ三越ニ立寄りキリフキ外ニ三求メ、浅草橋駅前ニテ盆栽ノ本ヲ求メ、清平宅ニヨル 兄今日モ高木村ト大柏村ノ方へ出張 地圖ヲ写シテ來ル

徳治青木正ト富士登山ニ六時頃出タ由

九〇今日空輸出來ズ 二台共野外ニツナイデアアル由

◆▼248ページ◆▼ 昭和15(1940)年8月25日(日)

天気 晴

颱風來ル 布施へ六時頃行キ九〇格納庫へ入レル様命ズ 午前二時半目醒メ徳次富士山へ行ツタノガ氣ニナリ眠レズ 四時半起床 五時工場行 村山、仕事師ト山縣ノ土地手入レノ打合セラナス

七時過ぎ廻間來 自動車(埼玉県庁ノ分)動クカ見ニヤル 九時前來 キーガナイトノコトデ船橋ニ行キ肥田木ト一所ニナリ九時四十五分發ニテ柏ニ行ク 船橋駅ニテ松木氏ト同車ス。タクシーヲタノミ十時半ツク 丁度終ル頃デプライマリー一回 セコンダリー一回ノ飛行ヲ見タダケデ晝食ニナル。パンヲ買ツテ行ク 廻間肥田木殘シ三時迎へノ自動車ニテ帰途ニツキ三時十五分柏發ニテ四時半帰宅

清平工場へ特免会社ノ人が來タノデ応接ノ爲メ行ツタ由 兄、清ヲ連レテ來テ居タ颱風來ラズ

◆▼249ページ◆▼ 昭和15(1940)年8月26日(月)

天気 晴曇雨

颱風ハ夕方六時頃房総沖ヲ通過スルトノコトデアッタガ夜二入ッテ館山ニ上陸 銚子へ出タ由 最大風速廿三米

終日会社 井倉清平ト要談 松戸ヨリ九〇取りニ來ル 三時半二機松戸へ飛行ス。民間養生所ト懸賞競技ニ参加シテノ材料ヲ切抜帳ヨリ調べル 終日カゝル 帰ル頃ヨリ風雨強クナル 一昨夜富士へ向ツタ徳治心配シタガ帰宅後五時頃無事下山ノ入電アリ引ツ、キ今夜御殿場ニ泊ルトノコトニ安心ス

畑氏ヨリ電話アリ 船崎、森川、松戸へ土地ニ見ニ行ツタ由 ソチラニ寄ルカモ知レヌトノコトデアッタガツヒニ來ナカッタ 明後日夜出發 台湾ニ行ク由

◆▼250ページ◆▼ 昭和15(1940)年8月27日(火)

天気 晴

徳次無事帰ル 五合五勺辻昇ツタダケデ帰りハ雨デ困ツラシカッタ

終日在所 津田沼松戸工場設置拡張計畫案ヲ作り清平井倉ニ示シ今月中ニ原案作製 明後日台湾へ行ク船崎、森川帰ル迄ニ具体案作製方ヲ命ズ

朝夕工場ノ行キ帰リニ山縣ノ地見ニ行ク 地均シ土台大分出來テ居タ 傳十郎トノ土地地形上此ノ角ガ双方面白クナイノデ傳十郎ノ申出ニヨリ村山協議決定ノ報告ニヨリ圖ノ如ク改ム ×印ヲ交換ス

▲▼251ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月28日(水)

天気 晴

八時工場出 終日在所 兄ニ松戸ノ用水、電燈、鉄道ニ関スル調査ヲ依頼ス。明日行ク予定

午後四時過ギ北尾亀男君來 昔ノ話シヲシテ、調査資料トナス。山縣ノ碑ヲ見ニ行キ六時ノバスデ帰ル 夕食ヲス、メタガ又此次ギニシテ呉レトノコトデアッタ

山縣ノ碑立テル時チエンボック故障ノ爲メ落下 一番上ノ後側ガ少シカケタ。前ノ土台ガ小サイノガニツニ折レテ居タ 之レハ取替エル外ナイ 上ノ方ハカケラヲ附ケテスマセルコトモ差支ナカロウ

徳治日大藝術科ノ写真部へ這入リタイトノコトニ調査サセルコト

▲▼252ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月29日(木)

天気 曇リ

山縣ノ碑モ出來上リ一ツ借金ヲ返シタ氣持チ 航空神社へ船崎氏寄贈ノ石燈籠到着 出來上ルトヤハリ少シ小サイ氣ガシタ 式百八十円立替ヲ拂フ

十一時ヨリ松戸ニ行ク 井倉布施長島外一名九〇、二〇号タゾ取付ケノ爲メ自分ト兄村役場ニ行キ予定地ノ面積所有者へ調査シ水ハ三丈位デ井戸ハ使用出來ル由 電氣ハ京成電氣トノコトデアッタ。二時半頃帰リ村山、石屋ニ七百五十円支拂ヒヲナス 松戸ニテ兄ト九〇作業機ノ試飛行ニ同乗ス

約八分 八柱靈園ヲ見タ コハ上カラ見ルヨリ下デ見ル方ガヨイ

▲▼253ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月30日(金)

天気 曇リ少晴

颯風ハ支那大陸ニ進ミ内地安全トナル

晝前行クツモリガ遅レ晝食後兄ト布施サンニ注射ニ行ク 帰ツテ鈴木ヲ見舞フ ヤハリクルシムソウデ結核性カ否カニツキ去ル廿七日大学へ行ツタガ結果ガマダ分ラヌトノコトニ電話デ佐己内科へ聞合セテ見タガ不明 多分土曜日デ居ナイノデアロウ

松戸ノ職員職工達チ來場 汐干狩リヲ行フ 夕方早ク帰ル  
工場賄明日ヨリ直営トナル

▲▼254ページ▲▼ 昭和15(1940)年8月31日(土)

天気 晴



家内八四時半起床 學校へ町内ノ集会ニ婦人会デ出席 自分仁三郎和子ヲ連レ五時半出テ成田山参拝 今日カラ改メテ土産物ヲ買ワナイコトトス 和子カワイソウデアツタガ 帰宅後朝食八時半帰ル  
晝頃昨日手紙ヲ出シタ利根川君來 工場購買主任ト組合ノ配給係リヲヤツテ貰ヒタイコトヲ依頼ス 其前自動車業廃業後ノ方針ヲ聞ク マダ何ニモナイトノコト 文部省カラ囑託ヲ依頼サレタダケトノコトデアツタ 一兩日考慮ヲ願フ 明後日來場スルトノコトデアツタ

終日週間朝日トラジオヲ聞イテタ方タライ湯ヲツカウ

▲▼256ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月1日(日)

天気 曇晴

三十一日分本日ノ記事ナリ

▲▼257ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月2日(月)

天気 晴薄曇リ

終日在所

山東井倉ニ会計帳簿急グコトヲ命ズ  
兄ト高木村土地ノ持主ト面積ヲ調べル  
職工養生ノ本広告ヲ見タノデア買ワセル 夜讀ム 自分ノ考ヘトピツタリ會ツテ居タノハ愉快デアツタ

▲▼258ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月3日(火)

天気 曇晴

風ナクムシ暑イイヤナ日デアツタ

九〇二機松戸空輸

清水長臣飛行打合せニ來 鷺見入社希望薄シ

利根川君來 入社ノ件自信ナシトテ辞退ス 尚考慮ヲ求ム

正午畑氏船崎悌次郎氏同伴ス 四時帰ル

伊谷明一福田ニ入社 総務部員トシテ來社ス

夕方佐々木信一來 新聞広告ノ中繼ヲヤツテ居ル由

▲▼259ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月4日(水)

天気 晴

一點ノ雲ナクキレイニ晴レ南風七八米アリ  
八時工場出 銀行ヨリ三百円引出シ三河屋拂二百九十五円五十銭山東ニ預ケル  
井倉來 今朝畑氏ニ會ツテ來タ由  
終日職工養生ヲ讀ミ尚当工場トシテノ木工金工組立ニ基本実習ニ關スル設備、工具、  
教程ヲ木工八村山ニ金工六長島ニ組立六太田ニツイテ研究ス  
二時ヨリ上京 白木屋神佛係へ行ク 神社ノ内部施設ニツキ相談ス 二三日中ニ拝見ニ  
行ツタ上見積リシタイトノコトデアッタ  
出ル前萱場社長ヨリ電話アリ 目下作業中ノ無尾六千円ニテ決定ス 金具機械部品六  
萱場持チノコト  
兄胃悪ク今日ハ休養ス

◆▼260ページ◆▼ 昭和15(1940)年9月5日(木)

天気 晴

八時工場出  
清水君來  
奈良原氏來  
白木屋ヨリ神社見ニ來 内部構造ニツキ村山ト打合セ附属品注文ス  
兄醫者ニ行ク 今日ハヨクナッタラシイ  
航空局ヨリセメント証明書來  
井倉出社 今朝今里氏ト會ヒ双発旅客機試作ノ件話シタ 器材ニ六内密ニ進メルコト  
予算ハ差支ナシトノコトデアッタ由。佐田サンカラマイゼ十機製作方相談アッタ由

◆▼261ページ◆▼ 昭和15(1940)年9月6日(金)

天気 晴

マイゼ、TC試飛行行フ 利根川君來 同氏ソアラ一破損 大羽布張替ノ爲メ綿綿(マ  
)入荷後迄延ヘルコトニナル  
兄井倉松戸町役場ニ町長訪問ス  
昨日成東職招(ママ)ヨリ希望者二名アリタル由 本日成田へ行ク  
夕方ヨリ主任級会議 棚卸價格決定会議ヲナス 變ジテ産報ニ社友会併合論ニテ一  
同賛成進要員ヲ任命ス 宇賀、山東、永富、佐藤太田以上五名 浪江私見トシテ会  
議ヲ時ニ開催サレタキ希望アリ採用ス  
夜井倉君來 古イ写真ヲ見テ歸ル

▲▼262ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月7日(土)

天気 曇雨

正午布施サンへ注射ニ行ク

野口節君來 借家ノ件永富入レルコトニス 航空青年學校経営ニツキ野口君シキリニ進

メテ居タ 考慮ヲ要スル問題ダト思ツタ

夕方三十分程早ク帰ル

角帰省中ノ處今朝帰宅ス

▲▼263ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月8日(日)

天気 北風強雨

七時迄皆寢ル 朝カユ 晝ヌキ 芋デスマス

終日在宅 洋間用ノ机設計。盆栽、飛行、新聞イラン国情等ヲ讀ム

自分ノ社長トシテ今日ノ問題ニツキ考ヘル

▲▼264ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月9日(月)

天気 雨北風少晴

今日モ終日在所 明日試験場行き予定ナリシモ新入初年工ノ爲メ在所スルコトナリ

中君へ人ヤル事トス

今日ハ奈良原氏ト教育方針ニツキ先ヅ三ヶ月間ノモノヲ確定ス

▲▼265ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月10日(火)

天気 朝雨後晴

本日新入社十七名外ニ女事ム員六名入社 宇賀大分急(ママ)ガシカッタ

奈良原氏來 親タチ八四人來 朝ト夕方三人ヅ、來タノデ別々ニ接見ス

女ノ子タチニ三人ニ対シ一寸挨拶ヲナス

午後野口君埋立地ハ飛行場ニ利用ノ件縣庁へノ願書ヲ書イテ來テ呉レタ タイプニ打

タセルコトトス 二十円謝礼ノ意味デ渡ス

▲▼266ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月11日(水)

天気 晴

十一時十三分三式ニテ曳航TC型肥田木操縦出發 松戸飛行場々(ママ)上空ニテ二

千米突デハナシタ由 二時頃茨木県北條町ヨリ電話アリ 北條町附近ニ着陸ノ際電線ニフレ負傷 左眼球露出 其他ハ無事トノコト 兄ノ外ニ廻間、青木仙外二名自動車ニテヤル 東日ノトラック四時頃工場ニツク スグ行ツテ貰フ

午後三時ヨリ新入初年工入社式ヲ行フ 自分ト奈良原氏トテ訓示ヲナス  
夜北條町ヨリ電話アリ 今夜同町泊リ 明日千葉醫大ニテ手術ヲスル由

▲▼267ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月12日(木)

天気 晴風雨

八時工場出 奈良原氏スデニ來場セラレタ

南風強ク汐ヨク引カズ 清水君來タガ中止

正午奈良原氏ト同道朝日新聞社ノ航空三十年坐談会ニ出席 芝紅葉館丁度一時半着ツク(ママ) 近藤大佐、金子少将、和田秀穂中将、和田航研所長、岩本教授、航本川島大佐、井上長一、海軍航本藤島大佐、千田大佐、田中館博士 新井三郎氏 永瀨三郎氏、藤原博士等アラル方面ノ人々デ面白イ話シガ大分出タ 堀中将モ居ラレタ 全部終ラナカッタノデ、二三人ノ人ハ記者ガ行ツテ聞クコトトシナリ(ママ)七時頃ヨリ会食 八時辞シテ帰ル タ方南ノ大風雨トナツタガ時間ガ少ナク帰りハスデニ晴レテ居タ

肥田木十一時頃自動車デ工場ニヨル スグ千葉醫大へ入院

▲▼268ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月13日(金)

天気 快晴

久シ振リノ日本晴レ 従ツテ北東ノ風トナル 定刻出 朝礼ヲナス 人ガ増シタノデ愉快デアッタ

清水來 東北ノ風ニツキ宇都ノ宮附近デ離脱スルコトノ打合アリタリ 十一時玉宮善次郎氏葬儀ニ出カケル 一時参拜ヲ終ツテ協会ニヨリ吉岡氏ニセメントノ件聞合セタガアイニク他ニ貸シタアトトノコトデ、残念デアッタ 東日ニヨル 清水肥田木ノ降リタ附近ニ着陸 桑畑デアッタ爲メ胴体ガ折レタトノコト ヤレ、。局ニ行キ器材課長、飯塚、西沢各位ニ右報告シアヤマル 朝日ノ木村氏ニ電話シテ之レ又謝意ヲ表ス。後チ朝日ヨリ局へ電話デ十日カラ借リル筈ノモノダト云フコトヲ抗ギ？ヲ申込デ居タ様ダ  
カントタノ篠原君ノ處デ萩原君ト會フ 物動計画ニツキ意見ノ交換ヲナス 榊原サンニ會ヒ來年度物資計画ニツキ書類ヤハリ呈出スルコトトナル  
三越ニヨリ帰ル

▲▼269ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月14日(土)

天気 快晴

朝工場ニ出テマイゼ意外ニ大破ニオドロク 着陸前低空旋回中スポイラーガ飛び出シテ急傾斜ノマヽ失速セラル由 クラブノ練習生四名分ノガソリン配給通知ニ對シアト三名認可ノ再申請ヲナスベク原稿ヲ作ル 十一時ヨリ兄ト醫者ニ行ク ツヒデニ千葉迄行キ肥田木ヲ見舞フ

帰場 結核患者ニツキ注意ヲ受ケテ來タモノニ對スル処置ヲキメ室ノ消毒ヲ行ワシムルコトトス

購買ノ方山東井倉清平ト相談ノ上廻間、青木營業部ヨリ手傳ワセルコトニキメル  
今日午前中一時間受持チノ修身ニツキ初メテ養成工ニ話ス 修身ト定メズ今日ハ初期ノ航空時代ニツキ大正元年迄ノコトヲ話ス

▲▼270ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月15日(日)

天気 晴

六時起床

椿ヲ鉢上ゲシ松ノ手入レヲナス

島田來場宅 職工手配ト証明ノコトタノマレル

奈良原氏來 一時頃両氏ト晝食ヲ共ニス

安田ノ弟來 ツマラヌ本ヲ四十冊賣付ケラレル

三時頃ヨリ葛飾ノ盆栽屋ニ行ク 預ケタエゾ松ヨクナツテ居タノデ持チ帰ルコトトシ外ニ眞柏ヲ十円デ求メテ帰ル 植替工用トノコトデ五十錢余分ニ渡シ船橋迄持ツテ來テ貰フ

六時二十分船橋駅着ニテきん、つる、松江、文雄モ來ル 急ニギヤカニナツテ食事ヲ共ニシ九時松江ダケ連レテ帰ル

▲▼271ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月16日(月)

天気 曇小雨

定刻出 朝礼

十二時ヨリ上京 局ニ行キ佐藤伊藤並ニ企畫ノ物励係ヘガソリン配給ノ件再願書提出事情具申ス 工政課村上氏不在 物励前川氏ニ手續キヲ聞ク

建設課長ニ建築ニツキ聞合セ船橋ノ山下技師二名刺ヲ貰フ 協会ニ行ク 相羽尾崎氏ニ會フ 渡辺君モ居タ 近ク野武士会ヲヤルトノコトデアッタ 文部省山崎氏ニ電話デ圖面ノコトヲ話シ、帝国ホテルニ慎ト會フ 四時半帰場 井倉ニ慎來テ居ルコトヲ話シ明日出発シナイ様ナラ會フ様話ス

山東結婚ノ爲メ明日ヨリ約一週間休ミタイトノコトデアッタ

夜姉ヲ中心ニ船橋ヤ三吉ノ家族全部集マリ賑ヤカニ夕食ヲナス

▲▼272ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月17日(火)

天気 雨

終日雨 颯風近キ太平洋上ニアレドモ北ノ高気圧ノ爲メ上陸セズ 北風寒シ

午前十時二十分ヨリ先日ノ續キ航空歴史ヲ大正四年迄語ル

畑氏來 三時帰ル 昨日山東ノ作ツタ五月末決算書ヲ見テ帰ル 井倉 ■三時過ぎ帰ル慎ニ會ツテ來タ由 慎ノ話シテ局デモ有力ナ人ガ伊藤ダケニヤラセルノデナク相羽ヤ井上ニモヤラセル、又伊藤デハグライダーモ六ニ出來ナイト云ツテ居ルトノコトデアツタ之レモ大ニ味フベキ言デアル。朝日デ聞イタ由 陸海軍デ少年航空兵ニグライダーヲヤラセル由トノコトニ陸軍ヘハ井倉 海軍ヘハ清平明日明後日行クコトニキメル 木下ヨリ試飛行済ンダ梅沢不在トノ入電アリ

▲▼273ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月18日(水)

天気 風雨

房総沖颯風通過 正午頃最モハゲシク朝來風雨(北)強シ 女二人ハ學校休マセル 仁三郎ハ學校迄行ツテ學校休ミデ帰ル 徳治夜七時頃帰ル

京成電車成田線ニテ追突惨事アリ 一名即死 五十余名ノ重軽傷者 電車二輛ヲ燒ク

夕方早く帰ル 四時頃ハ天晴レ氣持チヨイ秋晴レトナル

▲▼274ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月19日(木)

天気 雨

今日ハ秋晴レノ上天氣ト思タニ夜ノ明ケヌ中カラ雨 終日降ル

今日ハ工場デ組合ノ事務ヲ多ク取ル

清平風引キデ午前中休ム

夕方四時帰ル

▲▼275ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月20日(金)

天気 曇晴

今日モハッキリシナイ日デアツタ 姉モ雨ニ降リコメラレテタイクツソウデアアル

廻間ヨリ昨日ノ報告ヲ聞キ商工省明日行ク様ニ命ジタイヤー注文ス

十一時帰宅 晝食又キニシテ一時半出テ丁度二時松戸駅着 二時四十分船崎社長來共ニ町役場ニ行ク 門町長ニ面會 予定地ニツキ協議 値段ハ反六百円ト千百円 少シ安クナイ様デアッタガ現地ヲ見ニ行ク 町長外一名案内シテ呉レル 墓地ノ裏デア吉田ノ土地ノ前一帶 地形ハヨサソウデアッタ 墓ニ參ル 船崎氏モ參ツテ呉レル 船崎氏松戸ヲ希望シテ居ルラシイ 三四日後ニ返事スルコトトス 日曜月曜ノ休日中ニ増資案決定スベク打合セ工場へ來ル由 帰宅 井倉野口清平待ツテ居タ 野口奈良原両氏埋立ヲ飛行場ニスル件ニテ縣庁へ行ツテ貫ツタ處大變好都合ニ行ツタ由 明日更ニ縣會議員ニ會フ由

◆◆276ページ◆◆ 昭和15(1940)年9月21日(土)

天気晴

八時工場出 今日ハ急(ママ)ガシカッタ 組合員へノ手紙出ス 清水、利根川君來 清水君ヨリ和田氏ガマイゼノ修理費五百円出ストノコトデ僕ニ會ヒタイトノコトデアッタ 丁度修身ノ時間ニナツタノデ講議(ママ)ニ行ク 帰ツテ局ヨリ組合員ノ明年度物資ノ請求書ヲ出セトノコトニ各組合員へ發送スル様ニ命ジテ居ク 井倉君、清平ト明日ノ会社増資計画案ニ対スル原案ニツキ打合セラナス。土地問題松戸案ニナリソウダノデ高木村案ニスベクソレニハ明日大塚大佐ニ來テ貫フコトガヨイノデ今日井倉清平トデ舟遊ビヲナシ明日來テ貫フコトヲタノマレル 二時半ヨリ兄ト昨日ノ土地見分方々姉ヤ家内ヲ連レ八柱ニ行キ帰りハ川甚デ夕食ヲ共ニシテ帰ル

◆◆277ページ◆◆ 昭和15(1940)年9月22日(日)

天気晴

六時半起床 八時四十分工場出 間モナク畑氏來 十時過ギ船崎氏來 土地問題初マル時兄大塚氏同道來 大塚氏ヨリ高木村ニツキ説明アリ 船崎氏高木案ニ決定ス 十一時半森川氏來 土地問題更ニ協議 ツヒニ森川氏モ同意決定ス 晝食後大塚氏二時頃帰ル ソレヨリ増資計画案ノ討議ニ入り船崎氏ノ提案ヨリ三百万円増資 四回ニ拂込ミ各七十五万円ヅ、拂込ムコトニシ第一期二期迄ノ設備並ニ収支予算案ヲ作製。アトハ井倉、清平、ニテ一週間内ニ案ヲ作り來月中旬迄ニ提出スルコトノ出來ル様ニ進メルコトニ決定 散會 午後五時半クラブ尾形九百円金持參ス 練習ノ如何カ問題ニナツタガ取アエズ預ルコトニナル

◆◆278ページ◆◆ 昭和15(1940)年9月23日(月)

天気 晴

朝船橋へ電話シタガツルハ留都(マヅ)番ニ行カラ行ケトノコトニ姉ト家内ト三人デ東京見物ニ行ク お寺ニ参リ増上寺、泉岳寺、明治神宮、繪画館、乃木神社ヲ参拜 五時信濃町登ニテ帰ル 船橋着ニヨリ帰宅夕食 少々ツカレヲ覺エル 九時床ニ入ル スグ眠ル

▲▼279ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月24日(火)

天気 曇リ晴

今日ハ東京へ出ルツモリデ工場へ出ル 其前昨日黒沢君ガ持参シタオリンピックノ洋菓子ヲ喰ツテ行ツタ處下痢ヲ初メトマラナイノデ十時頃帰宅 益々ハゲシク十一時頃カラガ上カラモ出ル 苦シクナツタノデ醫者ヲ呼び注射シテ貰ツタガトマラズ 上ゲルノガ益々苦シクナルノデ夕方又來テ貰ヒ注射シテ貰フ 漸クオチツキ眠ルコトガ出來タ 十二時過ギ菓ヲノミ、コレモオチツイタガ、少シ上ゲタ

▲▼280ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月25日(水)

天気 晴

今朝マダ少シムネガムカ、シタノデ注射シテ貰フ。ソレカラハ、ズットヨクナル 滑空機組合へ飛行協会カラ取マトメ発注ノ案ヲ作製 尚學校ノ収入ニツイテ考慮 一 二案ヲ作ル 夕方井倉清平來 工場ノ状況ヲ聞ク

▲▼281ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月26日(木)

天気 晴

上天気

終日静養 間ニ盆栽ニ水ヲヤル程度ノコトヲナス 井倉清平夕方來 高木村長午後來タ由ナルモ急イデ帰ツタ爲メ話シハ改メテ來ル由

▲▼282ページ▲▼ 昭和15(1940)年9月27日(金)

天気 曇後晴

朝。ハラ、ヤツタノデ心配シタガ後チ上天気トナル 八時過ギ工場ニ出ル 十時頃ヨリ試験場ノ児玉氏、續イテ航本ノ鈴木少佐 午後榊



原氏來 鈴木少佐ハ來月三日陸軍ヨリグライダー製作状況視察三四十名來ル件  
兒玉氏ハ練習機風筒(ママ)実俵(ママ)用模型ノ件 榑原氏ハオリンピック型スボイラー  
金具調査ノ爲メ來場 午前D1試飛行終了 洲崎へ飛行ス  
晝頃ニ六帰宅スルツモリガツヒニ夕 終業時ニナル 晝メシガ、宅デオカユガツクテアッタ  
ノデ喰ヒ帰レナカッタノデ腹。ペコニナル 身体ノ工合ヨシ 井倉君羽田へ出張ス

◆▼2833ページ◆▼ 昭和15(1940)年9月28日(土)

天気 晴

時々小雨

午前三時頃ヨリ目醒メル 午前中作業サセ一時二十分ヨリ自分ノ体検(ママ)ヨリ過已  
三十年間ノ話シヲナシニ時半終ル。船橋署ヨリ清水巡查部長ト久々田駐在ノ齋藤巡  
査來 一日ヨリノ防空演習ニツキ講演アリ 四時終了 四時半帰ル  
姉ト家内成田山カラ宗吾へ參詣 七時半頃帰ル 夜島田金七來 予想通り金ヲ貸シ  
テ呉レトノコトデアッタガ通帳ヲ見ル アト五百円シカ残りガナイ上ニ石屋へ三百五十  
円拂フノデ百円位ナラ貸ス旨述ベル ソレデモトノコトニ貸ス 借用証トノコトデアッタ  
ガ名刺ニデモヨイト云フト万年筆ガナイトノコトニ証書ハ取ラナイコトトス。イズレ返サ  
イ(ママ)場合ニヨチラカラ取りニ行ク意志モナイノダカラ同ジコトダ

◆▼284ページ◆▼ 昭和15(1940)年9月29日(日)

天気 曇リ

朝顔ヲ當リ工場出 ニ三用件ヲ方付帰寄船橋ニ寄り清平ノモーニング上着ヲ借り受  
ケ上京 白木屋神佛係ニヨル 注文ノ品明日出來ルトノコトニ一日届ケル様依頼ス 外  
ニ洋間ニ置ク机ヲ中古品デ八十五円ト云ノガアッタノデ求メル グライダート獨逸展  
覽会ヲ見、銀坐ノ立体写真ニ行ク 石膏像ガ出來テ居タ 口元ガ一寸ドウカト思ツタ  
ガヨク出來テ居タ。日比谷会場ニ行ク 約十五分前 モウ一杯ノ人デアッタ 次第書ノ  
如ク予定通り進ミニ三例迄ハ各個御親授 四例カラマテメテ五人乃至十人位ヅ、拝  
受 第一番ニ自分殿下ヨリ代表拝授(ママ) 賞品ハ河内一廣君ガ代表ス 家内、姉、恵  
美子ノ三人ハ式後飛行館ヲ見テ帰ル

六時ヨリ野武士会ニ出席 十二名中北尾川辺ノ式君ヲノゾク外全部ガ拝授(ママ)者  
デアッタ 石尾市太郎君來 十一月五日頃南京へ通信局長トシテ赴任スル由 客員ト  
シテ入会 外ニ原愛次郎、茂呂君、尾崎氏ヲ正会員トスルコトニ決議ス  
十時帰宅ス

◆▼2855ページ◆▼ 昭和15(1940)年9月30日(月)

天気 小雨小晴

昨夜ヨリ今朝迄セキガ出テ眠レズ 今日上京ノ予定ナリシモ中止シテ完全ニ直スベク決意シタ處、昨日ノ表章(ママ)ニ対シ津田沼青年團員ガ嬉(ママ)ビニ來ルトノコトニ九時工場ニ行ク スデニ來テ居タ 挨拶ヲ受ケコチヲヨリモ答札ヲナシ、賞品ヲ見セテ帰ヘス。アト清平ト仕事打合セナシ帰宅 吸入ト浅田飴デ終日安静ニス 日中セキハ余リ出ナカッタ

夕方兄ト井倉君來 夕食ヲ共ニシテ帰ル

國勢調査表ヲ徳治ニ書カセル

▲▼287ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月1日(火)

天気 曇後晴

定刻工場出 防空演習ニツキ注意ヲ與ヘル

十時四十分ヨリ修身ノ講義ニ新体制ニツキ一時間話ス 尚仕事ノ事ニツキ注意ヲ與ヘル 松戸ヨリ九二輕禎(ママ)來 九〇持ッテ帰ル

三時ヨリ千葉縣庁へ松木氏訪問 禎(ママ)察官ニモ招(ママ)介サレ組合トシテ必要ヲ感ジテ居ル來年度需要ト中學ノ購買力ニツキ種々意見ヲ聞イテ参考トス

結果文部省通信省協会ニ交渉スルト同時ニ組合ノ本年度賣上ニツキ調査ヲ要スルコトヲサトル

▲▼288ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月2日(水)

天気 曇リ

防空演習第二日

演習ノ主意ガ從來ト異ッタ事ヲ知ラナイ爲メ無用ノ人が仕事ヲ休ンデ居ルノテ奈良原先生ヨリ班長以上ヲ集メ訓示シテ貰フ

萱場ヨリ鷺見君連絡係リ一名來

三時帰ル時井倉君來 松戸ヨリ來年三月迄二十六台整備決定シタトノコトデアッタ

夜早ク床ニ入りラジオニ注意ス

▲▼289ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月3日(木)

天気 雨

定刻出

船崎氏來 増資計画書大分急イデ居ル様子デアッタ 井倉君宮本君同道舟崎氏ニ宮本氏ヨリ意見ヲ述ベサセテ居タ。帰りノ自動車内デモ話シサセル筈ダト 其爲メニ連レ

テ來タラシイ

土地ノ交渉へ防空演習終了後進メルコトニナツテ居ル旨報告

尚津田沼工場整備二十万円予算ヲ計上 舟崎氏自身書イテ残シテ帰ラレタ

クラブ会社へ統合ノ件進言 賛成ヲ得 奈良原氏ノ講議(ママ)振り大変氣ニ入ツタラシイ

夜井倉君當直スル由 宅へ連レテ行ツテ夕食ヲ共ニス

白木屋ヨリ机來 神様ノ方ハ來ラズ

佐田サンヨリマイゼト試作プライマリーヲ局へ買取ル件組合デマトメテ吳レトノコトニ日本小型ニ電話デ相談 大坂方面手紙出ス

◆▼290ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月4日(金)

天気 快晴

快ヨリ晴レ 秋色濃シ

定刻工場出 井倉君居ラズ 後チニ聞ケバ昨夜帰ツタ由 佐藤、太田、松戸へペラ取りニ行ク

十時半ヨリ白戸ニ行ク 空襲ノ爲メツイタノガ晝前ニナル。奈良原氏胸像ノ件話シ三十円乃至五十円寄附決定。昨日タノンダ釘一ヶ印譲リ受ケル 一ヶ印式円五十錢ダトノコト。ガソリン二三カンタノマレル

外ニ工場移轉スルノデ二千五百円金ガ入ルノダガ無イノデ六千円カヽッタ家ヲ五千五百円デ賣ルカ三千五百円デ貸シテホシイノダガトノ相談デアッタ。マダ急ガナイトノコトニ聞イテ居ク

昨(ママ)場後工場設備ニツキ明日ノ防空方針ヲ定メ訓示ス

◆▼291ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月5日(土)

天気 晴

定刻出 清平昨夜泊ツタ由

正午布施サンへ注射ニ兄ト行ク ツル姉來ラズ

正午ヲ以テ防空演習終了ス 今日ハ定刻ヨリ自身カラ指揮ヲナシ不用ノモノハ皆作業ニツカシム。防空壕ヲ掘ラセル

午後士官學生四十名程鈴木少佐引率ノ下ニ來場 奈良原氏ヨリ昔話シヲ三十分後工場見學 清平説明 四時過ぎ帰ル

待望ノ布百二十一反到着 清平処理 スグ各社へ発送ス

井倉君佐藤少将ニ會フベク松戸へ午後行ク 閣下ヨリ地所ノ件ニテ舟楯崎氏會ヒタイ旨今朝電話アツタ爲メ舟楯氏會エナイノデ井倉行ク ヤハリ町長カラ大分タノマレタモ

ノラシクシキリニ松戸説ヲ閣下ハ云ツテ居タトノコト。町長ハ別ニ手紙書イテ出サセル

◆▼2926ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月6日(日)

天気 晴

奈良原氏ト神崎神社ヘ行ク予定ニテ六時半宅ヲ出七時四十二分千葉発二間ニ合フ様  
京成ニテ千葉ヘ行き千葉駅ニテ混合ヒソウナノデニ等ニ枚買ヒホームニ這入ル 十五分  
前 奈良原氏來ラズツヒニ其汽車デ一人行ク 神社ニ参拜 氏子総代一人來 奈良原  
氏アトノ汽車デ來ラレルダロウト待ツタガツヒニ來ラレズ。由來記ヲ讀ンデ貰ヒ、御靈  
代ヲ受ケニ來ルコトノ打合セラナシ一時十二分ノ汽車ニ乗レズ一時四十五分ノバスニテ  
成田ニ出京成ニテ帰ル 四時帰宅 奈良原氏千葉駅ノ開(ママ)札口デ二十分前カラ待  
ツテ居タトノコト。不在中野口君、磯部サン、竹中(大坂)君來タ由  
ツル姉昨夜ヨリ胃悪ク寢込ンデ居ル由

◆▼2933ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月7日(月)

朝散髪シテ八時半工場出 兄清平出社 用件シタタメ井倉君ニ渡ス様命ジ上京 十一  
時文部省着 松下氏休 山崎氏ト會見。晝食ヲ共ニシ中等學校ヘ財源トシテ校友會費  
値上ゲ 又ハ會費取ルコト 協會デ半額以上補助ノ件 資材申請上必要ナル事等ヲ話  
ス。マダ何等具体的ナ話シガ進ンデ居ラナイ由。コレカラ相談ヲスルトノコト 尚今日模  
型ノ方ガ急(ママ)ガシク先決問題トシテヤツテ居ル由 協會ニ行ク 堀閣下旅行中 他  
ハ地方主事會議デ四時頃迄カハルトノコト 三階ニ行キ北尾氏渡辺氏ニ會フ 航空神  
社由來記ノ印刷ヲ丸木主人ニ來テ貰ツテタノム 卅日ニ出來ル由。郡君ト東日ニ行キ  
和田氏ニ會見 同氏ヨリマイゼノ挨拶アリ五百円材料代トシテ呉レル由 領収書持參  
サセテ呉レトノコトデアッタ 中沢氏訪問シタガ不在 明日奈良原氏來ル旨話シテ歌  
舞伎坐ノ坐席券ヲ買ヒニ行キ佐渡島氏宿松葉屋旅館ヘ明日ニ時頃迎ヘニ來ル旨ノ名刺  
ヲ預ケテ帰ル 銀坐ニ二丁目ト書イテアッタ爲メ一時間以上サガシタラ大ニクタブレル  
五丁目ノ間違ヒデアッタノデズツト帰宅五時半 姉きち鎌倉見物ニ行ツテマダ帰ツテ  
居ナカッタ

◆▼2944ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月8日(火)

天気 晴

定刻工場出 十時自動車ニテ御神木ヲ積ミ出カケル 途中墨汁ト菓物ヲ買フノ二時間  
カハリ中野ヘ丁度十二時着 食事ヲスマセ十二時五十分井上大将宅ニツク 御不在ニツ  
キ預ケテ帰ル 日比谷ヘ來タラ一時過ギテ居タノデ航空局行キヲ断念シ器材ニ立寄り

総務二舟崎氏大坂行ノ打合セヲタノミ今里氏ヨリ梅津氏ノコトヲ頼マレテ、松葉屋旅館ニ行ク 不在 三十分程待ツ 帰ッテ來ラレ三十分程其後ノ話シヲナシ、立体写真ニ行キ夫妻共贈呈スルコトトシ、終ッテ丁度四時十分前 スグ歌舞伎坐へ案内 姉ハスデニ來テ居タ 十時十分頃終ル 佐渡島非常ニ嬉(ママ)ンデ居タ 十一時半帰宅

◆▼295ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月9日(水)

天気 晴

六時半迄眠 八時過ぎ出社

井倉清平ト増資計画書下書キヲ見ル 井倉作製タイプヲ打ッテ更ニ見ルコトトス。建築見積り用ニ今明日中ニ圖面作製方ヲ命ズ

野口君來 町長明日ヨリ不在ニナルトノコトニ今夜会食六時トキメテ連絡ヲ野口君ニ依頼ス 且代君來 少時話シ正午過ぎヨリ上京 局ニ行ク 工政課村上氏ニ飛行機木材工業会社ノ件ヲ聞ク。組合定カン修正ニツキ意見アリ 明日宇賀ヲヨコスコトトス 西沢氏ニ會ヒマイゼノ件皆揃ワナクテモイカヲ聞ク 最(ママ)非揃ハナネトノコトデアッタ。生田君ニ會フ 吉原氏會ヒタイトノ電話アリ。航空時代ニテ三人会见 要件ハ満州ヨリノ注文ハ組合ニ取り各個ニトラナイコト 交渉其他ハ吉原ニ一任ノコトニシタシトノコトニ同意シ大坂ノ理事会ヲ十六日ト定ム

白木屋ニ立寄り、六時十五分船橋着 鈴木館ニテ帰ル吉野町長奈良原、野口君ト会食 埋立地ヲ飛行場トスル件ニツキ意見ノ一致ヲ見 町長大ニヤルトノコトデアッタ 十時散会

◆▼296ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月10日(木)

天気 晴

午前中工場

午後上京 堀中将ニ面會 急(ママ)ガシソウデアッタノデ、アラマシグライダー普及ニ関スル自分ノ見解ヲ述ベル

早川氏會ヒタイト昨日電話アッタ由ニツキ日航ニ行ク 天王寺谷君ガ水上グライダーヲ作りタイトノコトデアッタ 賛成トシテ居ク

◆▼297ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月11日(金)

天気 晴

四時カラ姉ハ起キテ丸デ小學生ノ遠足ノ様ダ ツル姉ト家内ト三人デ辨当ヲ持ッテ香取、鹿島へ行ク 夜六時頃帰ッテ來タ

終日会社。喜代市ノ從兄中河ト云フ人が來タ  
午後クラブ茶話会ヲ開ク  
山縣ノ地竹垣完成ス

▲▼298ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月12日(土)

天気 晴

八時工場出 九時半ノバスニテ上京 十一時航本着 途中東京駅ニテ十五日午後一時  
半ノ特急券ヲ買フ 内田中佐面會申込ダガ中々出テユナイノデ十一時半ニ磯部サン  
ノ方ノ約東ガアルノデ十四日又來ル旨名刺ヲ置イテ帰ル 一時頃新橋駅前ノソバ屋ニ  
ヨリ磯部、尾崎、相羽、飯沼、奈良原自分ノ六人新協會へ發明者援助ノ請願書ニツキ  
打合せ二時半終ル。福西へ久シ振リニ行ク 新工場ノ資材見積ヲ依頼ス。尚設計モタノ  
ムソレニ二十日過ギ自分帰京後平面圖ヲ出スコト、ソレ迄ニ資材ノ方ハ作ツテ呉レルコ  
ト

姉ト兄、ツル家内四人デ今日ハ浅川ノ御陵カラ高尾山へ行ク。実ニ丈夫ナノニ驚イタ

▲▼299ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月13日(日)

天気 晴

六時半起床 九時工場出 十時過ぎ皆來ル 大坂ノ兄夫妻文雄久次郎夫妻清、角夫  
妻ト奨、自分夫妻ト小供四人計十五人航空神社前三テ写真撮影ヲナシ晝食ヲ工場  
デ共ニス。食後兄ト醫者ニ行ク ツル姉モ梅毒ガ余程進行シテ居ルトノコトデアッタ 帰  
途船橋市ニ兄ト行き山縣ノ敷地用植木ヲ七十円求め、杉苗八十錢デ買ヒ帰リニ野口  
節氏宅ニ行き、大坂行きニツキ由來記ノ様子ノ件、祭典案内状原稿ヲ依頼シ帰宅 五  
時半マダ皆居タ 夕食後七時前帰ル ツル姉ト家内ハ夜トボシニ行ク

▲▼300ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月14日(月)

天気 曇雨

姉ト喜代市兄房州巡リニ出カケル 雨ヲ氣ニシテ居タガ思ヒキツテ行ク  
工場出 野口君來 十一月一日ノ案内状書イテ呉レル 印刷ヲ命ズ 井倉君九時前  
來 清平オクレル

昨日白木屋ヨリ御宮ノ道具到着 荷造リヲ解イテ調べル

大岩ガソリン屋來 容器ノ保証金トシテ一カン一円二十錢計百三十二円ヲ加ヘタガソ  
リン代六百三十九円余ヲ支拂フ。上京 野口君ト船橋デ一所ニナル 東京駅ニテ晝食  
局へ行き建設課長、器材課長、等ニ會ヒ航本内田氏訪問 丁度今出カケタトノコトデ

一人文部省二行ク 関口氏会議中 山崎氏三會ヒ文部省型圖面ノ一部貫ヒ協会北尾氏ニヨル 松下氏三會フ  
功勞者撰定委員トシテノ自分ニ對シ謝禮トシテ銀盃一個ヲ貰フ

◆▼301ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月15日(火)

天気 晴雨相半

八時工場出 ソレ迄ニ出發準備ヲトノエル

工場デハ雑用ノ爲メ時間一杯トナリ十二時出發 ツヒニ神社合祀者印刷物ヲ忘レ大坂ヘツイテ思ヒ出ス 一時三十分東京發 約二十分早クツイタ 恵美子ガ駅ニ來テ居タ 徳治ガ來ル筈ダトノコトデアッタガ來ナカッタ 福西泰一郎ヘガキ工場ノ事傳書イテ渡ス

二時半晝食 七時半夕食 十時丁度大坂着

佐一郎ハ今日カラ夜勤ニナツタトテ居ナカッタ 入浴ス 湯ガワカシテアッタノハ有難カッタ 三十分程話シテ十一時過ギ床ニ入ル

◆▼302ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月16日(水)

天気 曇晴

七時起床 ツル姉ガ心ツケテ持ッテ來タ白米デオカユヲ作ッテ貰ッテ喰フ。七時半大蔵ニ電話ス 今日東京ヘ日帰り飛行ヲスルトノコトデアッタ。竹島ヘ挨拶ニ行 イマダ寢テ居タノデ足ノ悪イお娘サンニ話シテ土産物ヲ渡シ帰ル

九時梅津氏ニ電話スル 今日自分カラノハガキヲ見テ今日ノ会合ヲ知ツタトノコト 生田氏ハ工政課長ヲ案内シテ居ルノデ時間ガキマラナイ由ニツキ午前中後二時迄ニ行クコトニシテ自分ハ佐渡島ヘ挨拶ニヨル 令息ニ会ツタガ若イノニ実ニ元氣ノナイ人ダ。物ヲ云ッテ居ラレノモ聞キ取レナイデ困ツタ スグ出テ檀原神宮ニ参拜ス 御陵ハ此次ギニス。神武天皇ノ二千六百年前ノ御宮トシテハアマリ近代式ニ出來テ居テ、フサワシク、ナカッタ 殊ニ神境内ニ電柱電線ノ多ノハイケナイ 樹木ノ新ラシイハ、ヤガテ繁茂スルダロウ

一時半美津濃着 間モナク吉原君來 東洋ノ奥村氏ヲ呼ビ三時半本庄氏モ來ル。生田六時頃來 會議ハ八時頃終リ、南地ノ万花ニテ夕食 十時散会ス

◆▼303ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月17日(木)

天気 快晴

八時前上六駅ニ行ク 十分吉原來 共ニ楯津ニ行ク 十時ヨリ二千六百年記念滑空大

會 本年第三回目ノ開会式ニ参列 佐田少佐ヨリマイゼノ件聞カレ昨日決議ニヨリ二機ハ今シバラク使用後ニシテ貰ヒタイ旨述べル 其他イツレ帰京ノ上下云フコトニス 三時頃晝食トナリ終ツテ梅津、吉原生田氏同道シテ生田氏ノ工場見学ニ行ク 同事ム所ニテ自分ニ理事長ニ対スル感謝ノ表示トシテト目錄ヲ呉レタ 国防服トノコト 之レハ結構 御受スルコトトシタガ、夜帰宅後見ルト二百円別ニ現金ガ這入ツテ居タ ドウシタモノカト考ヘル。福田美津濃見学シテ福田ノヤリ方ニモ又参考ニナル點アッタ 海軍カラモ二十機 養生所カラモ百機発注シタ由。ボンヤリシテハ居レナイ 六時井上大蔵ガ夕食ヲシタイトノコトニ西横堀ノ平和楼ニ行ク 其前右ノ眼ガ痛ムノデ通リカ、リノ眼科ニヨツテ洗ツテ貰フツモリノ處深ク這入ツテ居ルトテ針様ノモノデホジクリ出シタノデ一曾痛ミ眼ガ開ケテ居ラズ困ツタ 大蔵差支出來井上一人 八時分レテ土産物ノ買物へ戎橋ニ行キ帰リテ梅田ニ迎ヘニ行ク 別ニ言ツケモナイ様デアッタ 帰宅 スグ床ニ入ル

◆▼304ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月18日(金)

天気 雨

五時半起床 姉ヤ広子ニ門口迄送ラレ出發 六時三十分発山田行ニ乗車 九時十五分着 高千穂館ニ入り朝食 徳川サンニ電話スル 風デ寝テ居ルガ奥様デ宜シケレバ御目ニカ、ルトノコトニ更ニ奥様ニ会见ヲ申込ミ先ヅ外宮ニ参拝 電車デ内宮ニ行キ雨ノ中ノ神苑ハ寒ニヨカッタ 参拝者ハ寒ニ多カッタ 先キニ御撰ヲ上ゲ御札ヲ頂キ参拝ス 参拝ヲ終ツテ僅カニ下ツタ頃 久邇宮元帥ノ宮殿下ノ御参拝ニ會ヒ御参拝後ハ下リニナル迄御待チ申上ゲ元氣ナ御英姿ヲ拝ス 風日ノ宮ニ参拝 一時帰宿 二時徳川家訪問 奥様ニ揮毫帳ヲ預ケテ帰ル 夕方近藤大佐ニ電話スル 不在 夕食後七時十二分発ニテ寢台ニ入リスグ床ニツク 眼ハ大分ヨクナツタ 明朝ハキツトヨクナルダロウ

◆▼305ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月19日(土)

天気 晴

六時半東京着 七時十五分船橋ニヨル 奈良原氏モ來ラレル 昨日猿田川辺君等來 一五ノガソリンヲ貸セトノコトデアッタガ初メカラ、コトワッテアッタコトナノデ貸サナカッタ 今日モ又來ルダロウトノコトデアッタガ、ツヒニ來ナカッタ 熱海カラハ猿田氏宛ニ数万ノ現象ニ困ルトカ電報ヤ電話ガアッタガ猿田氏モツヒニ姿ヲ見セナカッタ 晝前森川氏來 三時間程居テ帰ル 井倉清平ニ大坂ノ決議ヲ報告シ、グライダーニ対スル方針ヲ積極化スルコトヲハッキリセシム

組合カラ呉レタ金貳百円ハ返スコトニシ井倉ニ預ケル



◆▼3006ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月20日(日)

天気 曇り

七時起床 朝食終ツタ頃熱海ヨリトテ川辺一行來 工場へ連レテ行ク 清平へ寄ツテ來タトノコト 昨日一日各方面ニガソリヲ努力シタガ出來ズ幸ヒ恵美ニ会ツテ呉レルコトニナツタガ縣外輸送ガ出來ルカドウカガ技(ママ)問ダトノコト 之旨熱海ノ署長ガ飛行機ガ行ケバ証明シテ呉レルトノコトデアル由 一ニカンヤルコトニシ返納ニ対スル証書ト猿田氏ニ機体預リ書ヲ書カセ分解組立費トシテ百円受取ル 佐藤布施ヲ呼びニヤリ準備サセタガ發動機調子悪ルク夜七時頃漸クヨクナル 三時頃自分帰宅。百合トヒヤシンスヲ植ツケヲナス

◆▼3007ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月21日(月)

天気 曇後晴

五時半起床 京成駅ニテ野口君ニ會ヒ千葉駅ニテ永富奈良原氏ト同伴ス 予定時刻ニ着キ町長、小學校長、氏子總代其他ニ迎ヘラレト重ナル神前祭ノ後チ玉串ヲサ、ゲ御神符ヲ受ケ十時五十四分發ニテ正一時工場着 全員奉迎ノ内ニ階上段祭壇ニ安置ス 午後醫者ニ行ク予定ツヒニ行ケズ 永富宇賀ニ産報ヲ一日ニヤルコトヲ命ズ 肥田木退院後初メテ會フ 今後ノ進ムベキ道ニツキヨク話ス 兄三時頃ヨリ永富同道高木村ニ行ク

◆▼3008ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月22日(火)

天気 曇り

昨夜十二時ヨリ眠レズ 朝六時半起床 八時工場出 奈良原森川両氏スデニ來テ居タ。植木屋ニ樹木ノ植方ヲ命ジ九時ヨリ上京 森川氏同行 器材ニテ舟崎氏ト会ヒ土地ノ件、組合ノ報告、祭典ノ件、長富会見ノ件ヲ打合セル 同氏今夜大坂ニ行キ廿五日帰ル由。一時半帰場ス 富山ヨリ金工一名來 一二十名連レテ呉レル様ナ話シデアッタガ仕事ト給金ガドウカ明日迄泊ツテ貰フコトトス。夜小田君來 堀閣下ニ話シスルニツキ篠田氏ト相談シテ呉レトノコトデアッタ。迫細(ママ)ニ武崎ノ十年賣約ヲナス 竹崎ハ自分ニ任セルトノコトデアッタ

◆▼3009ページ◆▼ 昭和15(1940)年10月23日(水)

天気 曇り

今朝八時ノツモリデ起シタノガ六時ダッタノデオソクナル  
一日ノ招待者調べヲナシ永富ニ渡ス 十時五分ノバスニテ上京 正十一時東京駅着 本  
庄氏吉原氏梅津氏ト會ヒ松浦氏ニ連絡 一時局ニテ會フ 自分ヨリマイゼ製作遅延ノ  
理由ニツキハイプ延引ノコトヲ話シ想(ママ)談ニ來タ旨延ベル アトハ主トシテ本庄氏當  
ルツヒニ時機遅ク如何トモシガタシデ、ツヒニ泣寝入リト決定 今後ハ官民相協力シテ  
善処スルト云フコトニテケリ。予想通りノ結果デアッタ 吉原氏ハ尚維持奨励金トシテ  
交渉ノ余地アリトシテ居タ。丸ビル精養軒ニテ本庄氏ノ馳走ニナル 梅津氏ト神田ノ  
美津濃ニ行キ国民服ノ寸法ヲ取ツテ貰フ  
工場ニ五時帰ル 山崎氏丁度帰ル處デ井倉モ今日ハ出社シテ居タ 明日ヨリ社内打合  
セスルコトトス

▲▼310ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月24日(木)

天気 曇夜雨

今日ハ久シ振リニ定刻出 朝礼ヲナシ組合ヤ祭典ノコマカヒ用件ヲ皆スマセル 十一時頃  
森川氏來場 三時頃帰ル 今日カラ教練ノ中尉殿來 六時頃迄ヤツテ居タ 終ツテ挨  
拶ヲナシ初メナノデ宇賀君ニタ食ヲ共ニサセルベク島村ヘヤル

▲▼311ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月25日(金)

天気 晴風

和子ハ運動會ニテ嬉(ママ)ンデ居タ 昨日ノ雨デ作ツタ照ル々々防(ママ)子ガ効ヲ奏シタ  
ノダ。走りユデニ等ヲ取ツテ來タ

七時半出社 八時半出河合樂器ニ行ク 日比氏不在 局ニ行ク 局長居ラズ器材ニ行  
ク 今里、畑氏ヨリ工場財政問題ニツキ話シアリ 今日迄八万円出テ居ルガサツパリ入  
金ガナイコト 材料ノ仕入ヲ差控エテ貰ヒタイコト、三百万円ノ増資不可能ナコトナド  
話シアリタリ 舟崎氏ハ今日夕方着京ノ由。森川氏來ラレタノデ話シハ打キリトナル  
森川氏ト晝食ス。局長ツヒニアエズ  
小田君ノ事デ篠田氏ト会见 堀サンニ話ス時機ヲ、グライダー雜誌第一号ヲ出シタ後  
チ時機ヲ見ルコト。ソレハ篠田氏ニ一任ス。篠原氏會議オソクナルトノコトニ会见ヲ延期  
ス

吉原ト會フ 明日書類持參サセルコトトス 日比氏会见 十六日ノ経過ヲ話シ尚理事  
會ヲ總會トスル件諒解ヲ求ム 大体同氏ハヨイガ、一度社長ニ話ストノコトデアッタ。  
夜清水ト會食シテ八時半帰宅ス

▲▼312ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月26日(土)

天気 快晴

今朝ハクタビレテ早く起キラレナカッタ 九時出社 森川兄來テ居タ 養成所ヨリ高柳氏外一名來 工場作業視察シテ晝食後帰ル 會計へ借入金、賣上、収入等調査ヲ命ズ クラブヤ航空神社ノ寄附計算ヲナス 日本小型機ノ訪満書類ト羽布代殘金ヲ廻間ニ持參サセル 徳治仁三郎徳川閣下へ書ヲ貰ヒニ出發サセル

▲▼313ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月27日(日)

天気 快晴

七時起床 十時頃兄來 奈良原、鳥飼、鈴木伊四郎來 奈良原氏ハ矢吹方面ノ出資者問題、鳥飼氏地所ノ事、鈴木神社ノ打合せ 兄ト工場ニ行キ醫者ニ行ク 三時頃帰宅 夕食ヲ早メ早ク床ニ入ル 夕方ヨリ頭工合悪シ 注射ノ爲メ 朝ユスラ梅ヲ地ニ降ス。下ノ家デ建増シヲヤツテ居ル。ノミノ音高ク秋空ニカツン、ノト 静寂ノヤブル一句アリ

のみの音、秋空高く、ひびきけり

▲▼314ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月28日(月)

天気 晴

今朝七時半八時ニナツテモ徳次帰ラズ 大坂へ行ツタカト心配シタラ十時頃帰り七時 船橋着 寢テ來タトノコト 徳川閣下ハ航空報國ト書イテアツタ 午前中休ミ 晝食後野口氏來 午後宇賀ニ養生工アマヤカシ過ギハシナイカ注意ヲウナガス 組合ノ登記ノコトヲ促ス 夕方井倉、清平ト会谈 養生所ノ仕事第一主義ハ急ガスコト。其他打合せヲナス 井倉來宅 夕食ヲ共ニシテ帰ル

▲▼315ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月29日(火)

天気 晴

定刻出 朝礼 三十一日夜出來ルダケ出ルコト 一日ヨリハ門ノ出入リニ朝夕航空神社ニ敬礼スルコトヲ教ヘル 九時半帰宅後上京 飛行館ニ行キ北尾氏ニ序文ヲ更ニタノム 井上大将居ラレタノデ 行ツテ懇談ス 尚揮毫帳ヲ預ケテ帰ル。奈良原氏胸像マダ出來ズ 結局一日午前十時

取りニ行クコトトス

由來記出來ル 六十円北尾氏ニ預ケ訂正ノ印刷ヲタノム 明日夕方迄ニ作ル由  
野口、奥山氏ト會フ 旭航空ノ格納庫譲リ受ケノ予定案ヲ聞ク

四時局ニ行キ村上氏ニ組合決議ヲ渡シ篠原氏ト〇屋ニ行 飛行協会問題ト組合、文  
部省等ニツキ意見ノ交換ヲナシ六時半分レテ帰ル

▲▼316ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月30日(水)

天気 雨

八時兄ト共ニ工場出 九時頃森川氏來 晝前帰ル 結核寮(ママ)養所寄附ノ件 器材  
ヘ行クトノコトニ事傳ヲタノム 尚旭航空ノコト話ス

會計山東、浪江共無斷 出社セズ

午後二時ヨリ上京 局ニ行キ局長ニローカデ立話シテ航空神社ノコトヲ話ス。庶務課  
長ニ會ヒ一日ダレカ來テ貰フコトヲ依頼ス。白木屋デ鏡台ヲ受取り協会ニ行キ丸木ヨ  
リノ増刷ヲ受取り小野、堀両閣下ニ會ヒ、美津濃ニ行キ国民服假縫ヒヲナシ増田ニヨ  
リ注文ノ戸張ヲ受取り御茶ノ水ヨリ帰ル 船橋駅ニテ井倉ニ會フ 清平宅ニヨル 丁度  
今ツイタバカリダトテ節子ガ大坂カラ帰ツテ居タ 再婚ノ姉ト新郎モ一所ニ來タガ東  
京デ宿ヲ取ツタトノコト  
兄、ツル夫妻ト共ニ帰宅ス

▲▼317ページ▲▼ 昭和15(1940)年10月31日(木)

天気 晴

秋晴レノ快晴 明日モ上天氣トノコト

終日在所 夜七時ヨリ還(ママ)座祭 鈴木伊四郎祭主トナリ會人三名來 大久保ノ  
神官中村來ラズ 自分手傳ヒヲナス。自カラ奉仕出來テ反ツテ宜カッタと思フ

飛行協会カラ誰レモ來ラレナイト云ツテ來タノハ淋シカッタ。明日ハ方々デ催シモノガア  
ルノデ來客ハ少イカモ知レヌ。村ノ人達チデ御神樂ヲ奉納シタイトノ申込ミガアッタノ  
デ受納スルコトニス

▲▼319ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月1日(金)

天気 快晴

定刻出社 本月ハ明郎(ママ)快活ナル一月ヲ送ルコトヲ述ベル

珍ラシイ人々ハ天王寺谷、知覽ノ妻君、関口君ノ父、杉本ノ弟、徳永サン、且代君、磯  
部サン、尾崎サン、飯沼君、吉村、乗池諸君來 木下耶麻次、今里、畑、板垣、森川、

舟崎來場 神崎ヨリ町長其他來テ呉レタ。局、協会、縣、町カラ來ナカッタコトハ少シ淋シカッタガ今日ハ全国的ニ色々ナ催シモノ多ク其爲メコレ等カラハ來ラレナカッタラシイ  
予定ヨリヤ、遅レ二時半頃ヨリ舉行 先ツ奈良原氏ニ胸像贈呈 終ツテ祭典後自分ヨリ舟崎氏ヲ招(ママ)介挨拶ヲナス  
夜高見、磯部、奈良原、天王寺谷、野口、田中、川辺、等ハ豚肉デ会食 ニギヤカニ終ル 七時半デ歸ル

▲▼320ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月2日(土)

天気 晴

八時工場出 途中区長ノ戦病死ノ町葬ガアルノデ挨拶ニ行ク 午後ノ葬儀ニ六社員ヲヤル

畑氏ヨリ電話アリ 役員会ヲ五日ニシタイトノコトデアッタガ五日ハ梨本ノ宮ノ御召シガアルノデ六日ニシテ貰フ ソレ迄ニ増資書類、計算書、等間ニ合セル様ソレ、命ズ今年カラ初メテ参加シタ神宮グライダーヲ見ニ行コカト思フ處へ立川支廠カラ大内義理ノ死ト午後二時ヨリ葬儀ヲ行フ旨通知ガアッタノデ行クコトニシ十一時出カケル 車中浅井□吉氏、羽太氏ニ會フ 二時着 三時終了 駅ニテ遺骨ト一所ニナリ車中父ト語ル 梶原君ニモ會フ 今夜八時東京発歸国スル由

▲▼321ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月3日(日)

天気 快晴

三時頃カラ眠レズ週間朝日ヲ讀ム 六時起床

徳治ニ船橋へ電話カケサセル 遠慮シテ居ルラシイノデ行クコトニス 兄先キニ行キツル 姉家内ト十一時船橋着 十二時過ぎ樂園ニ行キ会食 三時終ル。きよ子夫人ハよいが、むこ殿ハコチラカラ言葉ヲカケナイ限り挨拶モ絶対シナイ人ダ。話セバヨク受答ハスルノダガ

樂園へ行ク前山縣ノ土地ノ件ニテ増田鐵雄氏ヲ訪問 不在 妻君ニ早く取引ヲ済マセタイ旨依頼ス。植木鉢ヲ求メ帰宅。徳治胃ケイレンデ寢テ居タ。布施サン來テ注射ス

▲▼322ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月4日(月)

天気 晴

定刻出 朝礼 森川氏來テ居タガ九時頃イツノ間ニカ歸ッテシマッタ  
晝前醫者へ兄ト行き注射ス

神社寄付金六百九十円位ニナツタ 計算シテ家内ノ金四百五十円返シテ入金ス  
清平井倉上京 青仙試験場ヨリ局ニ行ク 器材ノ大工來 器材デ大工場組立場ノ見  
積リヲサセテ居ルトノコトデ圖面ヲ見セタ。木造デヨク出來テ居タ 見積リガ出來テニ  
シテカラ貫フコトニス  
夕方ヨリ氣分悪クナリ早ク床ニ入ル

▲▼323ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月5日(火)

天気 晴

朝散髪 八時半出

朝今村、太田ヲ呼び仕事ト検査ニツキ注意ヲ與ヘル

十時ヨリ上京 十一時半丁度華族會館ニツク 十二時殿下台臨午餐ヲ給ル。食後堀  
閣下ニ都合ヲ聞ク マダ二週間位急(ママ)ガシイトノコト 大倉ト想(ママ)談シテ呉レト  
モ依頼ス 中島知久平、モ來タ 小倉中将金子少将、徳永大佐矢木少将、カラ石原少  
佐等新旧人々五六十名デアッタ 木杯ト御菓子煙草ヲ給リ一時半散會。三越ニヨリ  
四時帰宅社 會計々算マダ出來ズ 今夜中ニ持參スルトノコトデアッタガ九時迄ツヒニ  
來ラス

内田中佐ト會館ニテシバラク話シタ 内田氏ハスベテハツキリシテ居ル様ナ口振りデアッ  
タ グライダー普及ノ方針 物資ノ件等スベテ進ンデ居ルトノコトデアッタ

▲▼324ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月6日(水)

天気 晴後雨

八時工場出 十時五分ノバスニ漸ク間ニ合ッテ會計ヨリ書類出ル スコブル、ツサンナモ  
ノデアッタガ自分ニハ分ルノデ持ッテ兄ト上京 十一時十五分交詢社着 森川、井倉、  
清平先着 増資ノ件井倉ヨリ書類提出 尚ホ訂正ヲ要スル部分アレドモ先ツ局ト養生  
所ノ諒解運動ヲ明日ヨリ森川氏動クコトトナル。クラブノ件ハ今迄大變クラブへ会社カ  
ラ援助シテイタ如クゴカイシテ居タラシイ 然ラザル旨述ベタガモットツヨク云フベキデ  
アッタガ結局クラブハ別個ニシ將來練習中止ノ場合操縦士ハテスタートシテ会社デ給  
與スルコト、会社へ飛行機ヲ使用シタ時ハ使用料ヲ支拂フコトニ決定。産報ハ予定通り。  
資本金ノ件ハ増資後トスルコト。結核寮(ママ)養所ノ寄附金ハモット具体的ニ確カメタシ  
トノコトニナル

役員報酬ハ舟崎氏ニ一任ノコト。土地買収ハ兄ニマカセルコト 但シ内金六成ベク少ナクス  
ルコト 栗谷氏紹介ノ星野氏ト會フ 入社決定シタガ職工問題ニテ一寸話シガ永クナ  
ツタガ星野氏考慮スルコトトナル。清平今朝栗屋氏訪問 明後日飛へ行く由。

◆▼325ページ◆▼ 昭和15(1940)年11月7日(木)

天気 雨

終日降ル 森川氏定刻出社 正午全員ニ森川氏ヲ照(ママ)介 同氏ヨリ一通リノ挨拶アリタリ

一時二十五分發 森川氏ト東京駅迄同行ス 氏八局(行ク筈) 兄帰阪ニツキ寢台券ヲ求メル 九時カ九時四十分ノガアツタ。東中野ノ日本閣ニ行ク 奈良原氏先着ス。熊谷君ノ爲メニ祝ヲ持ツテ來タノダガ途中東京駅(置キ忘レテ)電話デ聞合セタガナカッタ

熊谷氏ノ結婚披露宴八十名以上ノ人デ盛会デアッタ 七時辭シテ帰ル 船橋ヨリ九時帰宅ス

◆▼326ページ◆▼ 昭和15(1940)年11月8日(金)

天気 曇リ

井倉、清平三井カラ日本飛行機、平塚(行ツタ)ノデ終日在所  
京都ノ宮崎雄蔵君來 グライダー製作ヤ協会ノ様ナモノヲ作りタイトノコトニ現状ヲクワシク話シテ聞カセ協会ノ小野サント日本小型(照(ママ)介ヲシテ)アゲル

明後日ノ奉祝方針ニツキ立案ヲサセタリ 鋼線ノ購入手配シタリ、文部省山崎氏ヨリノ電話デ請求書ヲ作ツタリサセヤハリ一日ゴタ、急(ママ)イモノダ

奈良原、野口氏來。奥山氏ヨリ電話アリ 格納庫ノ件 建設當時ノ値段ナラト返事シテ後ハ野田君行キ移轉シテ百円位デ出來ルダロウトノコトヲワザ、午後知ラセニ來テ呉レタ

◆▼327ページ◆▼ 昭和15(1940)年11月9日(土)

天気 曇リ

昨夜一時半頃犬ガ鳴クノデハナシテ出シテヤル 水ヲノミニ行ツタラシイ。今朝急ニ冷エ出シタ

七時三十分工場出 森川氏スデニ來テ居タ 朝礼ニ事ム員モ全員参加サセタイカラ 時間ヲ九時ニシテハドウカトノ説ガアツタ。九時二十五分發ニテ開間同道文部省ニ行ク 森川氏同時ニ局(行ク)。文部省型圖面ハ代金請求受領ノ件デアツタノデアトハ開間ニヤラセ、一人試験場ニ行ク 井上氏ニ会ヒ一三ベンツ一ヶ月延期ノ諒解ヲ求メ十二日見ニ來ルコトニナル。プライマリー検査ヲハブク件ニツキ相談ス。早クソウシタイノダガ製作所ガ信賴出來ナイカラ早く依頼出來ル様ニサレタイトノコトニ組合員ヘ云ツテヤルコトニス 三越(ヨリ)カナリヤ買ツテ帰ル 四時船橋着 電話ヲカケタラ、海軍監督官ト日立

ノ工場長來テ居ルトノコトニ、タクシード帰り挨拶ヲナス  
昨日清平井倉日飛へ行き來月カラ木製機ノ翼ヲヤルコトニナツタトノコト 昨春來ノ希  
望ガ漸ク達セラレル時ガ來タ

寢床より 冬シヤツを呼ぶ 寒さかな

◆▼328ページ◆▼ 昭和15(1940)年11月10日(日)

天気 快晴

午前九時工場ニ於テ祭典飛行 一同ニ祝辞ヲ述べル時海軍ノ話シラス 宮崎雄蔵來  
訓練ノ方ハ止メルコトニシタガ製作ノ方ダケハ最(ママ)非ヤリタイトノコトニツキ工政課へ  
一度行ク様ニ話ス 十二日行クトノコトデアッタ 今日ハ宅ニ連レテ行キ豚デ晝食ヲ共ニ  
ス。奥山君來 工場ノ件 建テテ坪百坪位ナラヨカロウガ、マダ資本案ニ話シテナイカ  
ラ決定的デナイコトヲコトワツテ居ク  
十一時ヨリ、ラジオニヨリ宮城前ノ祭典寅(ママ)説ヲ聞キ近衛首相ノ発声ニ合セ家内  
並ニ宮崎奥山氏等ト共ニ万歳ヲ稱フ

◆▼329ページ◆▼ 昭和15(1940)年11月11日(月)

天気 晴

定刻出 本日ヨリ朝礼ノ時社はヲ復稱(ママ)サセルコトトス 養生工ノ学科ニ伊勢ノ皇  
大神宮ノ御話シヲナス  
十時醫者ニ行ク 今日ヨリバスハ四十分毎ニナツタノデ帰りハ電車ニシテ帰宅 静養ス  
ツル姉モ今日注射シテ気分悪イトノコトデ休マセル  
角夫妻富山ヨリ帰ル

◆▼330ページ◆▼ 昭和15(1940)年11月12日(火)

天気 曇リ

昨夜中カラ雨トナリ朝夜ガ明ケル迄降ツテ居タ 今日ハ大變寒イ日デアッタ。御祝典  
日ダケニ日間好晴デアッタ事ハ何ントナク日本ノ国威ガイヨ、隆盛トナル様ナ氣ガシ  
テ嬉(ママ)バシイ限リデアッタ  
奈良原氏來場 今朝ハ九時出社 森川氏來テ居タ 正午森川奈良原両氏ヲ自宅へ連  
レ食事ヲ共ニス 一時半帰ル 再ビ工場ニ出ル  
井倉、清平ト海軍作業ニ対シ木工数十名増員ノ件打合せ 會津方面へ轉業者ヲ誘フコ  
トヲ教へ、手段ヲ取ラセルコトトス。



◆◆3331ページ◆◆ 昭和15(1940)年11月13日(水)

天気 曇薄日

定刻工場出 朝礼 一昨日実行サセタ社は復稱(ママ)ガ力ガ這入ッテ居ラナイ。清平今朝六時來社 函館行クプライマリー整備速(ママ)進シテ居タ  
十時宅ヲ出船橋ニヨリ、一行八家族六名ノ外ニ母、春子節子、ツル姉ト丁度十名ニナル  
十一時半東京駅着 式場拝観 宮城ヲ拝シ銀坐ニ出此前ノ御大典ノ時晝食ヲシタ例  
ニナライアスターニ行キ支那料理ヲ喰ヒ、金春映畫館ニテニュースヲ見、銀坐三越ニテ  
小供ノ買物ヲシ皆ニハ何ニモ買ヘナカッタノデ帰宅後小供ニ金デヤル 七時帰宅。留(ママ)  
都ハキミ子シテ呉レタ 今日モ大變ナ人出デアッタ

◆◆3332ページ◆◆ 昭和15(1940)年11月14日(木)

天気 曇リ

定刻出社 森川氏スデニ來テ居タ 今日ハ手本ニ自分デ社はヲ讀ンデ聞カセル 森川氏ヨリ朝礼参加社員ニツキ一場ノ話シアリタリ  
十時ヨリ上京 局ニ行キ榊原サンニ會ヒ資材ノ件聞ク 文部省トハナン等マダ話シナイ  
トノコト 業者ヨリ提出ノ三千台ヲ目標ニ出スツモリダトノコトデアッタ。甲斐サンカラ  
未亡人ノ話シアリ 藤枝操縦氏(ママ)ノ夫人ダトノコト 技術課長ニ會ヒ明日ニモ來テ  
貰フ様打合ス。大蔵ニ會フ 器材課ニテ慎君ニ會フ。一三堪航証ヲタノミ協会ニ行ク  
北尾君ニ画帳ノ序文ヲ書イテ貰フ 小田君ニ會フ 今月末頃堀閣下ニ話シテ呉レトノコ  
トデアッタノデ明後日篠田氏ト會フコトニス。四時更ニ局ニ行キ一三堪航証貰ヒ、荒井  
氏ト眞松ニ行キ夕食ヲ共ニス。花電車ガ見ラレタ

◆◆3333ページ◆◆ 昭和15(1940)年11月15日(金)

天気 快晴

六時十分前起床 定刻工場出 森川氏、乙竹氏同伴スデニ來テ居タ。ソレヲ照(ママ)介サレル。一寸乙竹氏居ナイ内ニドウ云フ御考ヘカト聞イテ見ルト井倉君兼務ノ庶務課長ヲ業務課長トシテ入レタイトテ、シキリニ組織体ヲ書イテ居ラレタ。後チ清平ニ皆ニ照(ママ)介シテ呉レト云ツタ由 清平ハ井倉君病氣欠勤ノ爲メ出來兼ネル旨述ベテコトワツタ由。マダ俸給モ置(ママ)位モ相談シテナイ内ニ照(ママ)介セヨトハ少シ早過ギルノデ自分ヨリソレトナク森川氏ニ舟崎氏ニ明日器材ヘ寄ッテ照(ママ)介サレテハドウカト話ス。其必要ナイトノコトニ然シ平社員デナイノダカラ一應行カレタ方ガヨカロウト話シタガ一々相談スル必要ナイトノコトデアッタ。夕方清平ヲ井倉宅ヘヤル

終日在所 今カラアノ様ナ禮儀ヤブリデハ一寸困ルカラ余程遠慮ナク云ベキコトハ云ワ  
ネバナルマイ 午後松戸へ行クトテ帰ツタ由。クラブ操縦士試験実地終了 明日學科

◆▼334ページ◆▼ 昭和15(1940)年11月16日(土)

天気 晴曇

定刻出 森川來。藤枝夫人來 九時前清平井倉來 藤枝夫人ヲ照(ママ)介 營業部へ  
渡ス 昨日ノ乙竹氏來 森川氏ニ舟崎氏同行ヲ進メタガ行カナイト云フノデ一人上  
京 器材二行ク 丁度舟崎氏居リ今朝清平ヨリノ電話デ午後行クツモリノ處差支アリ  
三時半交詢社へ來テ呉レトツタエタ處ダトノコト 森川氏照(ママ)介ノ乙竹氏ノ履歷書  
ヲ見セ同氏ノ面目ヲ立テル爲メニモ必要ナル旨述ベル 舟崎氏モ同感 百二十三十円トノ  
コト、ヲツタエ午後再會ノコトニテ鉄鋼會館内日本鋼材販賣会社へ行き様子ヲ聞キ協  
會三行ク 小野サンニ尚組合ノ受注ニツイテ話シ後チ篠田小田両氏ト松本樓ニテ會見  
二十日過ギ小田氏ノグライダー雑誌目算ツイタ處デ率直ニ堀サンニ自分カラ話シスル  
コトニス

三時半交詢社二行ク 森川氏スデニ來テ居タ。舟崎氏ヨリ自分ノ城ニ他人ガ進入スル  
様デ好イ氣ハシナイダロウガ新人ヲ入レテ呉レトノコトデアッタノニハ意外ニ思ツタ 自  
分ガ新人登用ニコダワツテ居ル様ニ思ワレテハ困ル 内部ノ若イモノノ氣持チヲ、クンデ  
人ノ和ヲ得ル爲メ下話シテヨクキメテカラ入レタイノデ誤解サレテハ困ル 之レハ舟崎氏  
ヨク分ツテ呉レタラシイ。給森川氏ト自分四百円デトノコト 嬉(ママ)ンデ受ケル 森川  
氏ハ会社ト同額ダカラ交通費ヲ出シテ呉レトノコトデアッタ 承諾ス

◆▼335ページ◆▼ 昭和15(1940)年11月17日(日)

天気 晴曇

八時起床 昨夜一時間毎ニ小便ニ起キヨク眠レズ  
夜中ニ俳句入門ヲツヒニ讀ミ終ル

終日ホトンド盆栽ニツヒヤス 朝ハザクロニ防虫濟(ママ)ヲヌル

正午ヨリ工場二行ク 兄一人居タ 清平午後來 夕方宅へ寄ル 昨日ノ話シヲナシ井倉  
ニ連絡サセル

朝安岡ノ家内來 一昨日東京ノ家族連レテ行ツタカラト嬉(ママ)ンデ居タ

◆▼336ページ◆▼ 昭和15(1940)年11月18日(月)

天気 曇リ

定刻出 森川氏居ル 乙竹來 森川松戸へ九時頃行ク 近藤同道ス

乙竹照(ママ)介ノ前ニ山東、永富、宇賀三人デ別々ニ話シ諒解サセル 井倉今夜招待ノ課長出席者キメル爲メ航空局ヘ行キオソクナリ三時頃船橋迄來タガ自動車ナク來ラズ 三時二十分ノバスニテ清平同道船橋ニテ會ヒ共ニ上京ス 乙竹一時過ギダマツテ帰ツタノデ照(ママ)介セズ 明日ニス

五時前トウ、亭着 舟崎森川來。來宴ハ松戸ノ大竹大塚、局ノ甲斐松浦大久保、更ニ浦川外二名 試験所ヨリ第三課長 以上 七時散會 自分挨拶シタノミ 森川舟崎共ニダンマリ 舟崎氏六時過ギ一足先キデ帰ル  
清平ト銀坐ヲアルキ京橋ヨリ地下鉄ニテ京成デ帰ル 十時帰宅。神社大觀來テ居タ十二時床ニ入ル

◆◆337ページ◆◆ 昭和15(1940)年11月19日(火)

天気 晴

八時工場出 九時ヨリ一時間社はノ解釋ヲ講義ス 井倉出社 乙竹氏ヲ皆ニ照(ママ)介サセル

森川氏兄ノアトヲ追ヒ松戸ニ行ク 自分上京 国民服ノエリガ少シ太イノデ直ス爲メ美津濃ニ持参 文部省ニ行ク 山崎氏、関口氏皆不在 協会ニ行ク 日本小型ノ宮原氏伊藤氏ト北尾君同道竹葉ニ食事ニ行ク 宮原氏ヨリ新重役伊藤氏ヲ照(ママ)介サレ同氏鉄鋼材料ニツキアセツテ居ルラシイノデ明日宇賀上京サセルコトニアラカジメキメル。協会ニ帰り奈良原氏ニ會ヒ共ニ又ミツノニ行キ同氏ノ国民服ヲ注文ス 白木屋ニ越フ見物シテ帰りニ船橋ニテ兄ニ會ヒ今日ノ松戸ノ様子ヲ聞キ帰宅 大富屋ニ金立替ヲ支拂フ

明年ノ博文館日記帳手ニ入ル

◆◆338ページ◆◆ 昭和15(1940)年11月20日(水)

天気 曇リ

終日工場 正午兄ト注射ニ行ク 今日ハ気分ガ悪クナラナカッタ  
八時工場出 森川氏例ニヨツテ來テ居タ

木工募集ノ件ナドツトメテ森川氏ノ前デ協議スル様ニス 氣(ママ)嫌ガヨイ様デアッタ職制ヲ明ラカニシ乙竹氏ノ机子ヲツクラセル  
井倉清平午前中海軍監督官ヘ出張ス  
家内きんノコトデ福西妻君ト會フ爲メ九時半頃ヨリ上京ス  
長山 ■へ觀世音ニ生キルヲ贈ル

◆◆339ページ◆◆ 昭和15(1940)年11月21日(木)

天気 晴

定刻出 森川氏ト増資ノ件話ス 同氏誰レニモ説明出來ル様自分デ作ルトノコトデアツタ 今日土地ノ件デ兄ト松戸ヘ行ク予定  
報恩講ニ東京ノ寺ヘ家内トツル姉同道シテ行ク 十時半着 親ラン上人ノ偈ヲ聞キ晝食ヲ馳走ニナリ説教ヲ聞キ十二時半辞シテ上野ニ二千六百年奉祝美 ■展日本画ヲ見日活館ヲ見テ六時終リ七時半帰宅後夕食  
宇賀商工省ヘ上京サセル

▲▼340ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月22日(金)

天気 曇リ

定刻出 森川氏出社ナク星野氏出社。主任級以上三照(ママ)介ス  
森川氏案ノ朝礼ノ爲メ皆揃フ様ニスルコト 時間遅ラセル案ハヤメ事ム所ノ方ヲ七時半ニ早メルコトトス 右ハ宇賀、清平、井倉ト相談、ス  
尚産報委任会長指名ノ分考慮シ夜井倉清平ノ意見ヲ聞キホゞマトメル  
終日在所  
試験場検査官萱場連絡員來ル

▲▼341ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月23日(土)

天気 曇リ

終日在所 定刻出 森川星野出社  
昨日森川風ヲ引イテ休ンダトノコト 器材へ行ツタラシイ 下ノ事ム所へ出テカントクスル様云ワレタトノコトデアツタ。清平井倉ニアテテ舟崎ヨリ自今傳標ニ森川ノ判ノナイモノハ器材デ金融ヲシナイトノ通知ガアツタ由  
今日山東ヨリノ傳票ヲ見ルトトレーシング。ペーパーヲ千五百円モ買ツテアル。之レニハ判ヲ押セナイノデ森川ニモ話ス。  
星野氏ノ海軍ヲ止メタ動期(ママ)ナドヲ聞ク  
奈良原、野口君來  
夜兄ニオワツテ家内ト新興館ニ奉祝式ノ映画ヲ見ル  
陛下ガ遠近ニハツキリ拝メタコトハ誠ニ有難カッタ  
拝觀ニアタリ姿セイヨクナイモノアルノハ正サナケレバイケナイ

▲▼342ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月24日(日)

天気 雨

今日八正午前一時間程工場ニ出ル外終日在宅 津田沼工場増産計画ニツキ考慮ヲ拂ヒ成案ヲ作ル

夕方兄ト清平食事ニ來ルノデ自分デ野菜鍋ヲ作ル 六時四十分ニテ二人帰ル 土地手付ノ件兄ヨリ話シアリ 清平ニ今朝ノ計画ニツキ話ス 明日上京ノ打合せヲナス

▲▼343ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月25日(月)

天気 晴

久シ振リデ上天気 定刻出 森川氏ニ鍵ヲ預ケ木下ニガソリン購買方命ジ八時十五分ノバスデ上京 船橋ヨリ清平同道 九時半東監ニ新任時トウ機関大佐ニ挨拶シ品川ニ行キ高速機関ノ太田氏ニ電話シタガ不在ニツキ協会ニ行ク。武田惣次郎大佐ニ会フ萱場ヲ止メテ初メテデアッタ。篠田氏ニ山田君ノ件今日堀閣下ニ話シ仕様カヲ相談ス一同不在中ニツキ帰リヲ待ツコトトス 今日武田サント松戸ヘ行ク由 岩崎君入社ノ件ヲタノム。清平ヲ第百銀行ヘヤル 一時半太田君ニ會ヒ工場ト発動機ヲ見セテ貰フ 百二十八アト二三十台注文アリ 六十馬力モ試作中ダガ何シニ使用スルカニツイテハ百二十ヲ複坐ニシテ練習後六十ノ単坐デ練習サセルラシイトノコト。之レハヨイコトヲ聞イタ 二時辞シテズット宅ヘ帰ル 此頃ハ皆丈夫デ楽シイタ食ヲナス

▲▼344ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月26日(火)

天気 曇小雨

朝降ツテ居タ 定刻出 森川氏八時過ぎ來タノデ変ダト思ツテ居タラ幕張カラ歩イテ來タトノコトデアッタ 星野氏モ來タノデ來年四月迄ノ人員増加ニツイテ昨日カラノ調査ニヨリ話シヲナス。森川氏ニ増員ヨリ先ヅ現在ノ整頓ヲ説ク 現在能率ヨイトハ云ヘナイガグライダー製作ニ於テ他工場ト比シ悪クナイ旨述ベル 尚募集ヲ進メルコトニハ同意ス

宇賀ニ話シ募集ニ進マシムルコトトス

井倉來タカ早クイツノ間ニカ帰ル 森川氏昨日給料貰ワナカッタトテ器材ヘ取りニ行クトテ出カケタ

▲▼345ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月27日(水)

天気 快晴

定刻出 森川氏少シ遅レル 鍵ヲアツケ尚金銭ノ支出ニツキ或程度迄部下ニ責任ヲ持タセテヤル様話シテ出ル

文部省ニ山崎松下氏ニ會フ 関口氏マダ出勤ナシ 協会ニヨリ局ニ行ク 局長ニ挨拶シ  
揮毫ヲ頼ダガ書ハ書カナイトノコトデアッタ 監理部長ニモ挨拶シ器材課ニ行ク 函館  
ノ書類不備アリ、タノシデ協会ニ行ク。佐田少佐ニモ會ヒ運搬ニツキ話シヲ聞ク 小田  
君ニ會フ 青木昨夜函館ニ行キ小田君今日堪航書受取ツテ送ツテ呉レル由。小田君ノ  
コト堀閣下ニ話ス。讚意ヲ表シテ居タガ雑誌ノ方ノ事サエヨケレバト云フ様ナ意見デア  
ッタ イツレニ三日後返事ヲ聞キニ行クコトトス 東日ニヨリ和田氏ニ會フ 神経痛デア  
ツテ居ルトノコトデアッタ。五百円向カラ話シガアッタノデ明日貰ヒニヤルコトトス 伊  
東屋デ組合ノ帳簿ヲ求メ三越ニ青龍個展ヲ見ル 筆力雅味勇達サビアリ 美津のニヨ  
リ国民服受取ツテ帰ル

▲▼346ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月28日(木)

天気 曇リ

定刻出社 森川氏松戸へ土地ノ件ニテ行ク  
正午布施サンへ注射ニ行ク  
式時帰宅 床ニツク 夕方兄來 食事ヲ共ニス 井倉、清平來 明日日立へ行ク由 工  
場事ム所ノ人事ニツキ語り合フ

▲▼347ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月29日(金)

天気 曇リ晴

定刻出 森川氏少シオクレテ來 昨日高木村長ト会見ノ模様ヲ聞ク 小切手弍千六  
百余円ノ養生所ノ金受取ル 山東ニ渡ス  
畑氏ヨリ森川氏ニ電話アリ 當社ヨリ約手出シテ呉レトノコトニ判ヲ持ツテ上京ス  
清平、外数名羽田日立へ打合せニ行ク  
午後帰宅 銀婚記念写真ヲ取ル爲メ家内和子ト工藤へ行ク。自分ハ国民服デ家内ハ国  
防婦人會ノ服装デ写ス 和子ノオーバーヲ求メタリ菊人形ヲ見タセタリシタノデ八時  
半帰ル

▲▼348ページ▲▼ 昭和15(1940)年11月30日(土)

天気 曇リ雨

一番デ奥山氏へ行き青木縣議宅ニ行ク 野口、吉野両氏ヨリ聞イタガ、ハッキリシナイ  
ノデ飛行場問題聞キタイトノコト 縣宮一本ヤリデ進ンデ貰フベキコト 会社ナド問題  
ニシナイコトヲ説ク ヨク分ツタトノコトデアッタ  
十時工場出 森川氏昨日五万円手形ヲ書イテ器材へ渡シテ來タトノコトデアッタ

昨日日立行き一昨日ノ話シクツガエリ職工ヲ貸シテ呉レトノコトデアツタ由 今朝監督官ニ行き大羽カントクニ會ヒヨク話シテ來タトノコト

組合帳簿記入ヲナス

明後日ヨリ日飛ヘ行ク職工ニ訓示ヲナス

書記長明日來ルノデ待ツ予定ノ處七時頃小型ヨリ電話ニテ差支アリ行ケヌトノコトデアツタ

◆◆349ページ◆◆ 十二月

増資書類提出ノコト

工員増加促進ノコト

組合事ム所新設ノコト

◆◆350ページ◆◆ 昭和15(1940)年12月1日(日)

天気 快晴

今日ハヨク富士が見エタ 北西ノ風ヤ、アリ

七時ヨリ家内恵美子和子ヲ連レテ成田山参拝 十時帰宅

十一時工場ニ行ク 清平出社

帰宅晝食

兄來 夕方帰ル

六時前小田清平同道來 昨日摺沢大佐ヨリ堀閣下ノ代理トシテ色々話シアリ 今朝

又同大佐自宅ニ行ツテ懇談ノ結果社長ニ會フコトニナツタ由 其結果ヲ話シニ來タ 要

スルニ本人ノ將來ノ爲メニヨケレバヨイラシイノデ其點自分ニ聞キタイラシイ

余暇神社大觀ヲ讀ム

徳治肥田木氏ヨリアルスノ写真大係ヲ貰ツテ來ル

◆◆351ページ◆◆ 昭和15(1940)年12月2日(月)

天気 晴

六時十分前起床 定刻工場出 森川、清平共ニ朝礼 十二月トシテノ挨拶カラ今日カラ出張ノ工員ニツイテ話シヲナス 東部特免第二回羽布代支拂ヒヲナス

満州行C二Bニ驗査來テ呉レタガC二一台ダケシカ出來ナカッタノデ明日打合せニヤルコトニキメテ帰ツテ貰フ

三時半萱場社長松井氏木村氏内藤氏、鷺見氏外二名來無尾ヲ見テ五時前帰ル

森川氏午後手形ノコトデ自分ノ判ヲ持ツテ器材へ行ク。青仙廻間帰社ス。井倉私用ニテ休ム

◆▼352ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月3日(火)

天気 晴

定刻出。清平井倉出版社後松戸ノ仕事ニツキ促進方命ジ九時半ノバスニテ上京 局ニ工政課宛書類提出 添付書類ナクアトヨリ出スコトトス 甲斐サンニ會フ。東洋金属ノ飯國氏ニ会ヒ丸ノ内ホテルニテ晝食ヲ共ニ組合ニツキ懇談。協会ニ行キ各部長ニ照(ママ)介シ堀閣下ニモ會フ 画帖ニ揮毫ヲ頼ンダノガ出来テ居タ 小田君ノ件マダ本人ニ會ツテ居ナイカラ其上デ返事スルトノコトデアッタ。要ハ本人次第アルガ男ヲシクナイトノ見解デアッタ。グライダーノ價ガモット安クナラナイカト説モ出タガ問題ニナラナイ。イソグ旨ヲ聞ク必要ガアル。日本小型ノ伊東氏へ電話シタガ不在 井上閣下ハ揮毫中デ面會ヲサシ控エ、上野ノ国風盆栽展ヲ見ニ行キ四時半社宅敷地ヲ見テ帰宅ス 札幌ノ石間カラ立派ナ新巻ノシヤケガ來テ居タ

◆▼353ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月4日(水)

天気 曇リ

定刻出社 清平來 今日検査官來ル由ヲ聞イテ八時半ノバスデ出發 十時丁度横浜駅ニテ星野氏ニ會フ 一寸話シガアルトノコト 喫茶シテ話シヲ聞ク 昨日森川氏ヨリ航空器材デ同氏ノ給料三百円ノ内百円出ス件出サナイ話シアリタル由ニテ大分氣ヲ悪クシテ居タ 森川氏ハ星野自身カ或ハ粟屋サンカラ船崎氏ニ話シセヨトノコトデアッタ 由 ソレハイケナイト思ツタノデ自分引受ケ粟屋サンニ話スコトヲ止メテ居ク。工政ニ行ク 晝ニナッタノデ附近デ晝食後会见ヲ求メタガ粟屋氏出張中ノ由 中島少将ニ會ヒ、挨拶ヲナス。ソレヨリ日本飛行機ニ行クノヲ中止シテ日本航空へ行ク 三時頃ツイタカイニク休デタレモ居ラズ 三時二十分デ引上ゲル 帰途清平ニヨル 今日朝日ノ池田君ニタノミ(Cニ二台無事済ンダ由 今夜板金ノ連中ヲ呼ンダトテ牛肉ノ馳走ガ用意シテアッタ

◆▼354ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月5日(木)

天気 晴

時事 西園寺公國葬ヲ日比谷公園ニテ行ワル

定刻出 朝礼後西園寺公國葬ニ対シ遙拝ヲナス 散髪ニ行キ九時出社 森川氏來テ居タ



十時前日本飛行機ヨリ山本氏外一名來 職工ヲ一ヶ月以上借りタイコト。監督官ノ命令ダトノコトデアッタ 井倉來ラズ 一兩日中ニ回答スルコトトシ工場ヲ見テ帰ルツヒデニ飛行機木材組合ノコトヲ聞キ參考トナル 船橋警察署長來 森川氏主トシテ話シ晝食後帰ル 例ノ寄附ノ件 之レモ一兩日中ニ持参スルコトニス 本日本日ノ支拂金來ラズ 山東ノ話シデハ明日間違ヒナイトノコト 森川氏カ山東カドチラガ取りニ行クカキメル様命ジテ二時ニテ社宅建築物ヲ見テ、船崎氏宅ニ行ク 四時着。星野氏給料ノ件 同氏ハ式百五十円ニ話シスルツモリトノコト 理由ハアルシ値打チトシテモ充分ダガ、初メノ話シヲタヤスク変ル人ト分ル。増資ノ件職工住宅ノ件等話シ合ヒ來週火曜頃重役会ニテ決定スルコトニ申合セ五時辞シテ帰ル

◆▼3556ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月6日(金)

天気 曇リ

定刻出社 森川出 星野出

本日ノ支拂ヒ過日森川判ヲ持参シタ五万円ヲドウ割引シタガ本社名儀(ママ)ヲ一千円當坐ヲ開イテアル由 今日一万円入金スルコトニ森川ヨリ電話ニテ交渉 三時過ギ入金シタ旨ノ電話アリタリ

正午星野氏ニ昨夜舟崎氏ト会見ノ結果ヲ報告 トゞマル様進メテ居ク。明日舟崎氏ニ會フ由

會計ノ報告宜シカラズ 支拂ノ方法モ又杜撰ナリ 森川氏ヨリ山東注意ヲ受ケタガドウモ山東ノヤリ方ハヨクナイ。井倉病氣欠勤ナレドモ營業ノ帳簿不良 スベテノ連絡ヨロシカラズ

注射ニ行ク 今日ハ入レル時ニ変デアッタガ夕方ヨリ少シイタム

◆▼3556ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月7日(土)

天気 曇小雨

八時工場出 きん嬢ノ件着物ヲ調ベルコトヲ命ズ 工場事ム不円満ニツキ心付キヲ書キトメル 森川出テ居タ

十一時頃京都ノ宮崎來 二名同行 工場ヲ見新設工場ニツキ自分ノ意見ヲ聞ク 旭航空ヲ見学ニ連レテ行キ鈴木館デ晝食 自分ノ考ヘヲ話ス 一名指導者ヲ世話シテ貰ヒタイトノコト。仕事習ヒニ二三名寄コス様話ス

三時帰場。夕方第百ノ小倉來 自宅ニ連レタ食ヲ共ニス 例ノ金千円デキマリツケル事ニ内定 最大限千弍百円ト云フコトニテ帰ル 支拂ハ廿五日 産報委員会ニ一階デ午後一時ヨリ四時迄開ク

◆▼357ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月8日(日)

天気 晴

六時半起床 朝食芋カユ 晝ウドン 夜テン普拉  
十時工場出 一週ス 清平兄出社  
正午晝食後一時ヨリ二時半迄ラジオ傷慰(ママ)軍人慰問ノ演藝ヲ聞ク  
二時半ヨリ材木屋ニ行キ鳥小屋材木ヲ買ヒニ行ク 工場ヨリニューム板荷造リノ箱材  
ヲ引取り四時半迄工作ス 仁三郎手傳ワス

◆▼358ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月9日(月)

天気 晴

定刻出 今朝ハ大分寒カッタ 森川氏來ラズ 九時星野氏出社 明日十一時ヨリ役員  
会ヲ開ク由 給料問題式百五十円デキメ不足ハ舟崎氏個人支出デオギナウ由。先ヅ  
ヨカッタ

奈良原氏ニ木下谷ノ練習費使ヒ込ダコト話ス

青木仙ヲ連レ局ニ行キ各社原價計算ヲ写シ東日会館デ晝食 分レテ、東日航空部ヘマ  
イゼニ対シ五百円呉レタ札ニヨル 和田氏神経痛デ休ンデ居タ 器材ニヨリ舟崎氏ノ預  
り品(タバコノフタ)ヲ預ケ協会ニ行ク 小田ヨリダメト聞イテ反(ママ)ツテ、ホットシタ  
話シハナイモノトシテ白紙ニ反(ママ)スコトトス 北尾氏堀サンカラ、コトワリ方タノマレテ  
居タ由。

渡辺一英君ニ會フ 税金デセメラレテ居ル由 組合ノ広告料五十円前渡ス。工藤ニヨリ  
写真ヲ受取り五時半帰宅

◆▼359ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月10日(火)

天気 晴

六時起床 定刻出 少シ遅レテ森川氏出 九時半バスニテ森川同道上京 ソレ迄二局提  
出書類ヲソロヘ組合原價計算ヲ作り両方トモタイプ打タセル 十時半有楽町着 器材  
ニ一寸ヨリ交詢社ニ行ク

今日ハ森川氏ヨリ工場ノアラユル欠點ヲ説キ出シ、舟崎外ノモノニ変ナ感ヲ與ヘタ様デ  
アッタ 時ニ財政上金ノ支出ニツキ何ニカ、ウタガワシイ點ガアル様ナ口振りニハイヤナ  
氣ガシタ 少シ軽率ダ ヨク調べタ上デロニスベキデアル。一番問題ニナツタノハ社員ノ  
出社成績ノ不良デアッタ。器材カラ來タ三人モヨクナイトノコトニ明後日器材ヘヨコシ  
テ貰ヒタイトノコトデアッタガ考ヘルニ森川氏ニ対シ若イ社員ガ悪感情ヲ持ツコトニナル  
恐レアリ 他ノ方法ノ考慮ヲ要ス

▲▼3600ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月11日(水)

天気 晴後曇

今朝ハワザト八時過ぎ出社 森川氏來テ居タ。十時頃星野氏來テカラ、明日器材ヘヤルコトヲ止メ我等カラ話シテヤツテハドウカト、ハカッタガ出勤時刻ダケデナイカラヤツタ方ガヨイトノ事デアッタ。井倉ヘモ速達ヲ出サセル。夜歸リニ山東立寄ル様ニ命ズ 永富君一所ニ來ル 昨日ノ話シヲナシ明日器材ヘ行ク覺后ヲアタエ人ノ和ヲトキ森川氏ニ反感ヲ持タヌコト ムシロ教ヘヲ乞フ立場デヤル様ナ氣持チヲモツ様ヨク話ス。井倉君ニ話ス機会ガナイノデ依頼ス

久松氏工具賣込ミニ來 萩原君広告取りニ來ル 小田ノ件局カラ話シタラトノコトデアッタガ、ソレ迄シテ堀サンノ感情ヲ害スルコトハナイト答ヘル

▲▼361ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月12日(木)

天気 晴夕小雨

六時十分前起床 定刻出 朝礼終ツテ山県碑写真ヲ取りニ行ク 歸ルト清平兄モ來テ居タ 森川來ラズ 多分器材ヘ行ツタラシイ 正午來 ハタシテソウデアッタ 三時頃用事アリトテ歸ル 日本飛行機職工派遣延期ノ件相談シタガ、ペンニカケラレタ様ダカラ止メルトノコト 自分ハ仕事取ルコトヲ本位トシテ多少ノ努(ママ)協(ハスベシト)云ツタガ明日自分デ行ツテ來ルトノコトニ清平ヤルコトヲ止メル 午後清平局ヘ明年度ノ物動計畫ニツキ呼バレテ行ク ツヒテニ滑空機適性價格ノ件ニツキ工政課ヘ相談サセル一方組合員ヘ右ニ対シアマリ冷淡ナノデ進メテヨイヤ否ヤヲ反(ママ)事ヲ取ル手紙出ス 午後永富山東歸ル 多クヲ語ラズ又聞カズ 努力ヲ求メテ居ク 兄ノ話シデ永富シキリニ社長ガ氣ノ毒ダト云ツテ居タ由 意味ガ分ル様ナ氣ガスル 今里一人ニ会ツタ由 井倉君ハ時間遅レテ会ワナカッタトノコトデアッタ。マア其方ガヨカッタ。増資問題書類訂証(ママ)シテ今器材ヘタノミタイプ中トノコトデアッタ

▲▼362ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月13日(金)

天気 快晴

定刻出社 宮崎代來場 工場設置ニツキ機械工場等ニツキ聞キニ來タトノコト 正午頃迄話ス 明朝又來ルトノコト 資材ヲ貰フ爲メ當社ノ下請サセル照明ヲ貰ヒタイトノコトデアッタ

野口氏來 昨日千葉工政課ヘ行ツテ呉レタ結果ハアマリヨクナカッタ様デアッタ 結局高橋君ニ任セテ居ク外ナカロウトノコトデアッタ

晝食後星野奈良原両氏ト松戸へ行ク ガソリンカーデ六實ニ行キ徒歩四十分デツク  
大塚大佐ニ六實駅デ會ヒ養生所デ佐藤閣下ニ會ヒ三十分余話ス 増資ノ件森川氏  
行クコトヲ依頼シテ居ク 社ノ拡張ハ予算ガ取レナクテモ外ノ金ヲ以テデモ絶対ニヤル  
トノコトデアッタ

五時半帰宅 エミ子徳治今日デ試験終ル エミ子廿三日発表 廿五日卒業ノ由  
明後日艶子挨拶ニ來ル由

◆▼363ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月14日(土)

天気 快晴

定刻出 井倉君久シ振りデ出社 ヒゲボウ、トシテイタ。森川氏ニ対シ相當反感ヲ持  
ツテ居タ

昨日止メテ居イタ請求書ヲ調査不充分ノマ、出シタ由 午後森川來タトノコト  
朝森川日飛ニ行ツタ模様ヲ聞ク 清平井倉モ丁度來合ス 取アエズ十四日デ帰ラレテ  
更ニ考慮スルコトニシテ來タトノコトデアッタ。

午後醫者カラ帰ルト産報委員会ヲヤツテ居タ 三時半頃終ル 森川スグ退社ス  
夕方東日ノ千葉支局記者二名來ル管差支アリ來ヌトノコトデアッタ 野口君來 今日  
満場一致 県会デ埋立飛行場案通過シタトノコトデアッタ

注射ヲナス 今年ノ冬ハ冷エヲ 寒感ジナイコトヲ話スト毒ガナクナルトソウニ云フコトガア  
ルトノコトデアッタ

◆▼364ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月15日(日)

天気 晴

定刻ヨリ十五分程早ク行キ航空神社ニ参拜 朝礼後昨夜内原訓練所へ対シナサレタ  
近衛首相ノ演説ヲ新聞ニヨリ朗讀シ工員ニ対シ心得ヲ語ル 約三十分カ、ル 森川星  
野出社ナシ

山東、畑氏訪問 所管事項ニツキ辨明シタシトノコト 許可ス。井倉君昨夜清平宅ニテ  
森川氏ノ話シヲ聞キ今里君カラハ輕イ話シデアッタノデ初メテ聞イテ驚イタトテ色々  
対策ノ話シハッタガステ協力第一主義ニ進ムコトヲ頼デ居ク

午後帰宅 兄ト共ニ鳥小屋ヲ作ル予定ノ處、艶子ノ主人ト影山來 來春三月末結婚  
サセタイトノコトデアッタ

三時頃野口君東日ノ小原高橋両君來 六時半ノバス迄夕食ヲ共ニシ話シ合フ 野口君  
ニ高橋君へ渡ス三十円預ケル

◆▼365ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月16日(月)

天気 晴

今日ノ休日ヲ終日鳥小屋作りニ終ル 日ガ短カイノデ完成ハシナカタガ八部通り出  
來上ル

夕方清平井倉立寄ル 又森川氏ノ事話題トナル。決算表ニヨツテ充分説明シテ器材ノ  
人達ニヨク理解セシムル外ナイ

尚森川氏ガイロ、ナコトヲキメル様ダガ之レガ爲メ誠ニヤリニクイトノ申出ガ大分アル  
様ダ 六時ノバスデ帰ル

入浴ス 今日ハ晝モ夜モ食事前下痛ガヘンナ痛ミ方ガシテ氣ニナツタガ食後ハ直ツタ

▲▼366ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月17日(火)

天気 曇雨

定刻出 森一寸遅レル 二日ガケテ熱海へ行ツテ來タトノコトデアッタ

十時十五分デ上京 富尾氏ノ倅ニツキ武田惣次郎氏ニ依頼セントシタガ出張不在。文  
部省ニ行キ関口氏ニ會フ 純綿キヤラク五万反モ輸出品ガ輸出不可デ帯貸シテ居ルノ  
デ之レヲ商工省へ交渉シテ中等學校用トシテ貰フコト 山崎君ニ會ツテ呉レトノコトデ  
アッタ 外ニ金具類ヲ円満ニ出シテヤツテ呉レトノコト希望モアッタ 自分ヨリハ台数ヲア  
ラカジメ知リタヒ旨述ベル 航空局へハ資源ニツキ來年度ハ八百台ヲ要求シタトノコトデ  
アッタ 山崎氏ニ會ヒ名刺ヲ貰フ 日本輸送機デ土井ト云フ人デアッタ 協会デ篠原  
君ニ會ヒ適性價格ノ件ニツキ意見ヲ聞キ武田氏不在ニツキ富尾氏ノコトタノム 山本五  
郎氏同期デ同君ニタノンデ貰フコトトナリ履歷書ヲ預テ雨ガ降ツテ來タノデ帰ル  
清平ニ會フ 森川氏日飛ノ返事スル要ナシ。仕事呉レネバソレデモヨイトノコトデアッタ  
由

▲▼367ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月18日(水)

天気 晴

予報ニ反シ上天気トナル

午前中決算表二目ヲ通ス

内田百二君ノ照(マコ)介デ工場上ノ土地ヲ賣リニ來タ 一万二千五百円デ賣リタイ  
但シ年内取引ニ願ヒタイトノコト 丁度少年工ノ寄宿舎ガ今日相談中デアッタノデ森  
川氏ニ話シテ居ク

野口君來 廿二日花嫁學校ト記者連中ガ來ル 廿三日ハ職業紹介所ノ人達ヲ連れ出  
シテ來ルカラ関リノモノニ會ツテ貰ヒタイト。廿六七日ニ模型講習会ヲヤルコトノ話シ  
ヲ持ツテ來タ

三時三十分ニテ森川星野氏等帰ル 森川帰ル時井倉君ニ事ム所ヲ井倉ガ集金上疑ヒ

ヲカケラレ居ルト大キナユエデ話シタ由 何シノ爲メノ悔告ガ井倉清平ヨリ話シアリ  
山東ヲ呼ビ其點ニツキ特ニ帳簿ヲ正確ニシ疑ヲ晴スコトヲ命ズ

◆▼3688ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月19日(木)

天気 晴夜小雨

定刻出 清平出社ヲ待ツテ出カケル 今日梅津來ル由 昨日森川ヨリ聞イタトノコト  
職場ニツキ倉庫デモ手傳ワセテナレサセルノモヨカロウト云ツテ居ク

午前中滑空機適性價格ニツキ村上氏ト榊原氏ニ話ス 村上氏今月ヤレナイノデ來月  
取カハルトノコトニクレヅ、依頼ス 星野氏ト新宿デ会ヒ、代々木ニ航空発祥地記念碑  
地慎(ママ)祭ニ参拝ス 人ハ少ナカッタ 當時ノ人トシテハ岸本奈良原ノ二人ダケ 陸軍  
ノ人ガワリニ多カッタダケ モ式ノ飛行ヲ見テ帰ル 東日ニヨツタガ原氏不在 明日晝  
頃行クコトニシテ帰ル。途清平宅ニヨル 森川午後出社 廿一日役員会ヲヤル由  
朝出ガケ谷津デ井倉君ニ会フ 昨日清平カラ聞イタ由 航空學會ヘノ加名ニ井倉君ヲ  
除外シタ由 同氏ヤメルノハ差支ナイガ昨日ノ様ナ悪名ヲ着セラレテハ我マンガナラナ  
イトノコトデアッタ

◆▼3699ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月20日(金)

天気 晴

六時起床 定刻出社 森川氏約十分遅レル 清平風休 井倉十時出社 昨日局デ調  
ベタグライダー高壓量調査表ヲ井倉君ニ渡ス

十時十五分ニテ乙竹ヲ連レテ上京 工藤ニヨリ日本橋区議土井氏ニ文部省中學用グ  
ライダー羽布ノ件電話スル 今日商工省カラ反(ママ)事アル筈ニツキ返事有次第山崎  
氏ノ方ヘ返事スルトノコトデアッタ。東日ニテ原氏ニ會ヒ、協会ニ行キ模型ノ件ヲキメ、  
文部省ニ山崎君ト會フ 帰途国産ヘ久シ振りニヨリデ會フ。ゼラチンデ硝子様ノモノガ  
出來ルノデ飛行機ニ使ヘナイカトノコトデアッタ 五時五十分ニテ帰宅

晝食ノ時乙竹ニ自分ノ心境ト協力一致ヲ説ク 本人モ最(ママ)非生涯ヲ会社ニサヘゲ  
タイカラ宜シクトノコトデアッタ 永富ハヤハリ轉ジタ方ガヨサソウデアアル 乙竹モ同意  
ス

夜野口君來 秋談永シ

◆▼3700ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月21日(土)

天気 晴

六時起床 定刻出 山東、井倉八時出社 決算表ヲ貰ヒ九時三十五分兄ト上京 十

一時十分前交詢社着 誰レモ居ラズ 十一時過ぎ森川氏來 自宅デ賞与ノ點數ヲ作ツテ居タトノコト。面倒ナ仕事ヲ中々ヨクヤツテ居タ

今里出席セズ 舟崎、畑二人來 決算表ニヨリ一通リ説明 ヨク諒解ス 營業費中旅費ノ四千余円 消耗品ノ六千余円ガ一寸問題トナル 決算ハ二三万利益ヲ出サネバナラヌカラ畑氏一任トス。森川氏ヨリ賞与ノ件 工員ハ最高十二月分トシ職員ハ六月古イモノハ二ヶ月乃至二ヶ月半、新ラシイ人ハ一ヶ月ヲ標準トスルコトニテ決定 仕事ハ三十日迄ヤルコト 職員ノボーナス給料二十六日 工員ハ三十日渡スコト。ソレカラ今月ノ支拂ヒ予定四万五千円バカリニナツタ内建設費二万円ヲ手形デ拂ヘヌカトノコトデアツタガ六理チノデ兎ニ角支拂表ヲ作製 更ニ相談スルコトニシテ舟崎氏一時ニ他ニ約束アリ先キニ出ル。畑氏ト晝食後帰場 三時山東ニ支拂表明日中ニ作製ノコトヲ命ジ四時帰宅 森川氏尚賞与ノ調査ヲナス

▲▼371ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月22日(日)

天気 晴風静

七時起床 朝食芋カユ 白米ニ合五勺ニ決定以來毎朝カユニス 一日一升五分デ六人ヲ賄フ爲メ

鳥小屋ヲ完成ス 左官屋屋根杉皮張り手配シテ呉レテタスカル。スグ鳥ヲ入レル 十時過ぎ工場ニ行ク 清平兄山東出社 十一時帰途井倉君ニ會フ

十一時二十五分自宅ヲ出此夏船橋デ買ツタ杜松ヲカツイデ家内ヲ連レ渋谷ニテ組合カンヅメヲ求メ木下氏訪問 不在 妻君ニ挨拶シ三十分程ニテ辞シツヒデニ多田永昌氏訪問 不在 土産物ダケ預ケ新宿駅ニテ、テンプラヲ求メ五時帰宅ス 食後花台ノコワレタノヲ修理ス

▲▼372ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月23日(月)

天気 曇雨

定刻出社 森川居リ十時前ヨリ器材へ金ノ件ト航空局へ見舞ニ行ツテ貰フ 去ル廿日三菱ノ旅客機試飛行ニ山川第三課長、井上、村田、石田三航空官技手ニ三人同乗ニテ行衛不明トナリタル爲メ

木下豊吉谷ノ金三百三十円使ヒ込ダコトヲ申出謝罪ス 廿六日返金スルトノ親戚ノモノノ爲メ融通シタル由 井倉君ニ清平ノ居ル處デ森川氏ニ対スル感情ヲ捨テ実績ヲ上ゲルコトニ奮励サレタキコトヲ種々聞カセル 本人モ大ニヤルトノコトニ安心ス

午後船橋警察署へ結格(マ)予防ノ寄附五百円持参 少額ノコトワリヲ述ベル 千葉ニ行キ白戸ニ六時頃迄待合セ宇賀ト打合せトキワへ行ク 職紹ノ人四人ト会谈 高橋君トモ同席 一時間位ニテ先キニ失禮ス

▲▼373ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月24日(火)

天気 雨

昨夜十二時角來 きみ産氣ツイタ由 家内行ッテ午前六時男子出生 五時頃船橋へ電話サセル。ツル母ハ氣分悪ク行カレヌトノコト 兄卜節子來 角應接ニテ寢カセル 八時工場出 二時半森川器材ニヨリ出社 給料ノ金持參ス 職員賞与ノ表見セル様云ツテ受取り見ル 出欠表ノミニヨル 賞與デ勤務振ガ少シモ加味サレテ居ナイノデ其意味デ自分ニ一應預ルコトトス 森川氏ハアレデ今日渡シテ仕舞フ予定デアッタトノコト之レハ少々、ケシカラナイ話シダ 兎ニ角賞與ハ二十六日ニ延期ス 午前中星野氏森川氏ト自分ノ間デ憂慮シテ居ルラシカッタガ心配無用 自分デ協調シテ行クカヲト話シテ居ク。然シ船崎氏ニハ連絡ヲヨクスル 申様注意ヲ受ケ入レル 清平ニ第百銀行へ大口ノ定期ガ丁度千円今日受取レタノデソレヲ持參サセル 竹崎ヨリ七百円借リタイ旨手紙アリ コトワル

▲▼374ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月25日(水)

天気 曇小晴

今朝ハ寢過ギ家内ガ六時起床 ソレデモ定刻出社 森川清平丁度定刻ニ來 賞与全部ニ六直シ様ガナイノデニ三ダケニシテ森川氏ニ渡ス 右ニ対スル意見ヲ書イテ見タガ止メニシタ 十一時五十分ニテ注射ニ行ク 帰社シタラ畑氏來テ居タ 山東出社ナク決算ニツイテハ調査出來ズ 今月ノ支拂ヒニツキ調べ上ゲタモノヲ出ス 森川氏ノ諸拂ヒニ対スル査定ワズカニ三千四百余円シカナクソレデハ一万円モ不足ナノデ明日再調査ノ上出スコトニナリ建築中ノモノ工場内等ヲ見テ三時過ギ帰ル 夕方清平井倉來 賞与問題、年末休日問題其他ニツキ話シアリ 七時帰ル 組合カラ貰ッタ二百円結局清平百三十円宇賀七十円二分ケルコトトナリ宇賀ノ七十円渡ス

▲▼375ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月26日(木)

天気 晴後曇リ

朝森川ニ対スル清平ヨリ下意上達ニツキ話シス 森川氏無言デアッタガ分ツタラシイ 昇給率決定ニ対シ清平ハ参考資料出ス必要アルマイト述ベタニ対シ状況ヲ知ル爲メニハ最(ママ)非出シテ呉レトノコトデアッタ。之レ等ヲ考ヘ合セルト腹ガアツテヤツテ居ルノデハナサソウデ少シ頼リナクナッタ。獨專ヲヤルナラ腹ガアツテシツカリヤツテ呉レルナラ



頼ミ甲斐モアルト云フモノダ

夕方三十日迄ノ仕事ヲ廿八日カ九日デ切り上テ呉レトノ工場ノ申出ニ対シテモ自分ハ船崎氏ノ経営方針ニ合致サセル爲メ断ジテイケナイトコトワッタノニ森川氏ハ希望ニ添ツテモヨイ様ナ口振りヲシタトノコト 益々腹ノナイコトヲバカロス。本日職員ノボーナス支給ニ対シテモ森川氏ヨリヨク理解スル様依頼シテ午後模型講習会ヲ見ニ行キ二時半到着ノ吉野町長子息ノ遺骨ヲ迎へ両国ノ工藤ニ行キ焼増ノ写真ヲ受取り丁度豆ヲ賣ル處ガアッタノデ黒、ウヅラ、白豆ヲ買ツテ帰ル 船橋津田沼ニハナイトノコトデ清平帰宅ノ途立寄り工員ノボーナス明日ノ給料ト一所ニ呉レトノコト。清平定期預金デ金ヲ作ツテ來ルトノコトデアッタガ之レトテモ一度キメタコトヲ反ヘルコトハヨクナイ

▲▼376ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月27日(金)

天気 晴

昨夜清平ノ話ニツキ考慮ノ上出社 朝礼後全員ニ対シ(清平來テ居タ)会社ノ現状ヨリ説キ三十日ニ作業ヲ終ルコト 三十日ニボーナス渡スコトニツキ船崎氏ノ経営方針デ変更スルコトノ出來ナイモノデアル所謂ヲ説キ協力ヲ述ブ 皆モ理解シタ様デアッタガ晝後宇賀カラ又話シアリシモ右デ押し通ス様命ズ ハタシテ皆モ事情ヲ諒トシ問題ハ解決シタガ森川氏ニ直接合セヨトノコトデアッタガ、ソレハ三十日ニデモ産報委員会ヲ開クコトヲ命ジテ無事スマセル

養成工學科終了式ヲ行ヒ太田へ引渡ス

十一時ヨリ學校ニ行キ木村氏ノ講義(ママ)ヲ聞ク 終ツテ、佐々木氏來テ居ルトノコトニ帰場シタガ姉ヶ崎へ探査ニ行ツタトノコト

三時半頃講習生來 自分星野氏ヨリ挨拶シ工場ヲ案内 五時過ぎ附近ノ校長並ニ先生ダケヲ鈴木カンニ招待 十一時帰宅 先ヅ成功デアッタ。野口君二百円贈ル。安岡へ百円

大坂ノ姉ト博子ニ写真ヲ送ル

▲▼377ページ▲▼ 昭和15(1940)年12月28日(土)

天気 快晴

六時前起床 朝食後七時ヨリ徳治仁三郎ヲ同道成田山へ今年無事終ツタコトノ御礼参拜ヲナシ十時帰宅 十時半工場出 星野氏ヨリ工場員マダ何ニカ清平ノ處へ申出テ居ル様デアッタ

午後森川氏出社 今朝松戸へ廻ツテ來タトノコトデアッタ 清平井倉宇賀ヨリ賞與ノ

標準ヲドコニ居カレタカヲ聞ク 各主任達ノ調査ハ全然参考トセズ。出欠ニノミヨツタ旨答ヘソレデ実施スルコト 之レヨリ生ズル一切ノ責任ハ森川ガ取ルトキツ。ハリ云ヒハナツ。自分ヨリモ一寸注意ヲ與清平ハ將來悪思想ヲ残ス旨再三述べルモツヒニ聞キ入レズ。萱場内藤氏來 來月十五日迄ニ完成シテ與レトノコトデアッタガ種々調査ノ結果廿五日迄カヽルトノコトデアッタ 四時帰宅  
自宅餅ツキヲ行フ 兄夫婦デ手傳フ 帰ツタラ丁度終ツタ處デアッタ  
終業後工員ガ又寄ツテ居タトノコトデアル  
久松氏へ五十円送ル 百円貸シテ與レトノ手紙ガ三度モ來テ居タ 送金後又來タ。竹崎氏友人ヨリ七百円手形デ借リルノニ対シ裏書ヲシテヤル 二月廿六日期日トアッタ 自分ハ三月末ト云ツテ居ク

◆▼378ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月29日(日)

天気 晴

今朝ハ少シオクレ六時半起床 参吉來 昨夜富山カラ來タ大工チヲ恐(ママ)ハクシテ今日履行ヲ決定スルコトニ調印サセタトノ事デアッタ 定刻出 大キナモノハ全部出場シテ居ナカッタ。守衛大石ヨリ守衛簿ヲ取ヨセ見尚説明ヲ聞ク 其内二九時ニナツタノデ宇賀カラ立チ話シテ様子ヲ聞キ千葉ニ行ク 十時四十七分ニ森川氏ト同車 姉ヶ崎ニ行ク 旅館ニハ誰レモ居ラズ 海岸トノコトニ行ク 会社側カラ永渕氏井上君、局カラ佐々木氏飯塚氏外数名 三菱カラ武田次郎氏來 昨日ハ漁船六十余隻デサガシタガ何等テゴタエナシトノコト 今日ハワカニ風ガ出テ 今日引上中デ飯塚氏ノ乗ツタ小舟ガマダ帰ラヌトテ心配シテ居タ。途中晝食 一時十分デ帰ル  
三時過ギ奥山氏待ツテ居ルモノト考ヘ帰ツタガスグ帰ツタトノコト  
清平ヨリ梅山ヲ介シテ辞表ヲ出シタ連中ガ取消運動ヲシテ居ルカラ明日ハ解決スルダロウトノコトデアッタ。宇賀ハ責任上辞表ヲ清平ニ預ケテ居タ  
(主謀ハ岡田河原ラシク岡田ハスデニ之レデ三回目ダカラ今度ハ絶対処分ノコト)

◆▼379ページ◆▼ 昭和15(1940)年12月30日(月)

天気 晴後曇

定刻出社 工員本日モ出ズ青年校生ノミ 朝礼後八時過ギ森川氏來。講習会ノ立替百円ト千葉ノ百八十円森川ノ判ヲ取り現金受取りクラブノプラグ代百二十円、山東ノ賞與少ナイノデ個人手當三十円ヤル  
十時過ギ帰宅 松竹梅ト櫻ノ寄植ヲ作り十二時ノバスニテ上京 美津野へ奈良原氏ノ服支拂ヒヲナシ青山ノ合同葬ニ参列。相羽、片岡、多田氏ニ會フ。新橋ヨリ銀坐、京橋三越ニテ少々ノ買物ヲナシ地下デ上野ニ京成ニテ帰ル 行きカラ帰り迄立チ歩クノミニ

テ大変ツカレタ上ニ京成ガ混雑シテ気分悪クナリ船橋へ下車シタ時ハホドント上ゲソウデアツタ 兄ノ帰ル迄休ミ六時四十分ノバスデ帰ル。工員ノ方ハ今日ハボーナスヲ貰ツテ其マヽ引取り産報会デ意見ヲ述ベルコトニナツタト宇賀ガ云ツテ居タ由

◆◆380ページ◆◆ 昭和15(1940)年12月31日(火)

天気 晴

ユツクリ寝サセ自分モ八時近ク起キル 食後中山氏ハ朝日ノ三十年記念坐談会ニ貰ツタタバコボンヲ贈ルノデ荷造リノ木箱ヲ作ル 晝食後兄來 後工場ニ行キ中山氏ニ手紙ヲ書キ仁二郎ニ送リニヤリツヒデニ局ヨリ拂戻シノ千九百十五円四十五銭ヲ受取ル 横浜ノ宿ヨリ電話アリ宿料ノ請求ガアツタトノコトニ、兄立替テ持タセテヤツタトノコト 其金ヲ船橋へ持参方々鳥ヲ買ヒニ行ツタガ、ツヒニ買エナカッタ 品切レノ爲メ 五時五十分ノバスデ帰宅ス

夕方居川へ居残ノ青年たちへミカン三函ト餅ヲ持タセテヤル 奥山君來 木下書類渡ス お蔭ヲ以テ多端ノ本年ヲ送ル 上半期ハ受難 下半期ハ極楽 十一月末ヨリ十二月ニ入ツテ頭ヲナヤマス様ナ事起ル 入ムコヲ取ルト家ノ中ヲ納メルニ骨ダ キン張ヲ要ス

省みて われはづかしく なかりけり

◆◆381ページ◆◆ 補遺

(46ページから続く)

二月十一日

事 名古屋ノ報国株式会社ノ連中三人二十万円ヤルコトニシテホシイ 中川氏ノハアトデヨイトノコトナリシモソレデアトデ出シ様ガナクナツタ時ニ困ルカラ衣笠氏モ必要ダシ五万円位余分二十五万円ト見テハ如何ト話シタガ結局コレハ十万円ニシテオキ余ハ中川氏ノサイリヨウニ任セルコトトス 工場買収ハイクラナラヨイカ吉田国産ナド、メンドウナコトハ見ル必要ナクソレハ伊藤ガ賣ツタ金デマカナエバヨイトノコトデ七十五万円デ弐万五千坪ノ土地モ入レテ賣渡スコトトス 尚十万円報酬問題カラ八十万円ニシテ居テハ如何トノ中川氏ノ言ニ其コトトス 後チニ考フルニ之レハアトデ新会社ノ財産ヲ作ル時又ハ経営ノ上ニ困ル問題デアルカラ尚考慮ヲ要ス 最後ニ運動費ノ問題

◆◆382ページ◆◆ 補遺

(3811および50ページから続く)

ニナリ中川氏ハ立替アモヨイノダガ今婦人會ノ方ノ問題デ七八十円立替ア居ル上三二千円ハイツイルカ分ラナイカラ全部立替兼ネルカラ、ドノ位ナラ出來ルカラアトハ立替テ呉レトノコトデアレバ考慮スルトノコトデアッタ 衣笠氏ニハスデニ運動費ハ成効(ママ)報酬デキメルコトニ前持ツテ話シテアッタノダガ之レハ更ニ考ヘテ返事スルコトトス 書直シタ書類ハ十三日中ニ持参ノコトニキメル其上ニテスグ名古屋へ行ク由。夕方五時四十分ノ自動車デ帰ル 食事ハ衣笠氏ニ東京デタノム

二月十五日

續キアッタノデ他ハ多クカタラズ スグ其足デ清平宅ニ行キ兄ニモ報告シ今日ノ白渕氏ト(午前十一時)會見ニ六昨日ノ話シ吉田ト共ニヤル方針。又今日ノ買収ノ方針トイツレニモ対スル案ヲ作ツテ尚且ツ

◆◆3883ページ◆◆ 補遺

(3822ページから続く)

新出資者ノ氏名ヲ明ラカニスルコトヲ白渕ニ話シ當方ハ吉田氏ニ會見ノ日取リヲキメル様取ハカラウコトトス。尚衣笠カラ今日二時ニ會ヒタイトノ電報アリ 兄ト清平行ク。自分ハ工場ニ歸リ野口氏來テ居タノデ今日ノ菅谷氏ノ話シヲナシ吉田氏ノ眞意ヲ聞イテ貰フコトヲ依頼ス 同氏ハ吉田トシテハ表面上金ハ出サヌト云ツテ居ルガ氏ノ性格カラシテ考フルニアク辻ヤルツモリデ居ルダロウト思ツテ居ルトノコトデアッタ。然シテ自分ハソレハ自分ノ今辻一番知りタイト願ツテ居タコトデアル ヨイ事ヲ聞イタ。然ラズ左ノ三ツニツイテヨク聞イテ貰ヒタイト頼ム

- 一 吉田氏ガアク辻ヤル意志デアレバ今夜ノ方策ヲ明示サレタイト
- 二 新出資者ト協力シテヤルコト(国産手ヲ引カセルコトガ條件トシテモ可)ニ対スル意見 ヤルトスレバ其條件

◆◆3884ページ◆◆ 補遺

(3883ページから続く)

二月十五日

三 全部肩替リスルコトニ対スル意見及條件  
以上ノコトヲ聞イタ上三三ノ場合ニハ白渕氏ト會見シテ貰ヒタイトカラ其ノ日時ヲキメテ貰フコト

以上ヲクレゾ、頼ム 吉田氏ハ昨夜千葉ニ帰ラズ 多分花ノ井ラシイカラ今夜ニモ以上  
クレ、タノム 午後野口上京ス 出カケニモ又繰返シタノム  
クラブ試験終リニ機四時過ギ無事帰ル 兪一人通過セズ 昨日ハ悪気流デ大分ナヤン  
ダラシイ

熊谷來 昨日小林ノ入レタニ時間分百円ノ内ヨリ七十円渡ス

夜性犧(ママ)者ヲ吊フ 阿彌陀経ヲ写ス アト一バンデ終ル處迄進ム

◆◆3885ページ◆◆補遺

(52および79ページから続く)

二月十七日

二三ツイテハ菅谷ガ交渉中ノ由ニテマダ具体的ノ返事ニ接シナイノト又吉田一人ノ考ヘ  
ニモ行カナイカラ役員會ニモ計ラネバナラヌトノ由 二三ツイテハ菅谷君カラ全然何ニモ  
聞イ(ママ)居ナイ 初耳トノコトデアッタ 尚過日來菅谷君ニモ三四日會ワナイトノコ  
トデアッタ。後チ、清平、兄ト相談 明日臼渕氏ニ會ヒニツノ方法ニツキ具体案ヲ作  
ツテ貰フ様頼ムコトトス

航空局へ修理下命ノ再願書ヲ提出スベク下書キヲナス

三月十四日

當時ヨリノ経過 其後ノ試算表ノ写シ等ガ乗ツテ居タ。之レハ数字ハ讀マレナカッタガ菅  
谷氏モク讀中會議ハ明日ノ交渉ヲ如何ニスベキカニ話シ進ム中菅谷氏ヨリ株式会社成  
立當時ノ模様ニツキ質問アリ 岡田氏主トシテ之レニ答ヘ昨年ノ十五万円借入金問題  
ニ及ビ同金ガ会社へ貸シニナツテ居ルコトガ不都合ダト云ヒ出シ之レガ責任ハ社長ニアリ  
トノコトニ此問題ニ関スル限り菅谷

◆◆3886ページ◆◆補遺

(3885ページから続く)

ノ思ヒ違ヒデ昨年、吉田氏ノ前デモ一度其話シガ出テ吉田氏ガ菅谷君ソレハ違フヨト  
云ワレタ事ガアッタデハナイカト指適(ママ)シ菅谷氏ノ間違ヒト云ツタコトニ突然席ヲケ  
ツテ退社シタ 章氏ト野口氏アトカラ、行ツタガ帰ラズ鈴木館ニ居ルトノコトデアッタ  
尚會議ヲ續行シタガ結局事前ニ吉田氏へ話シニ行クニハ川口氏ハ菅谷君ヲ最(ママ)非連  
レテ行ク必要アリトノコトニ自分獨リ鈴木館ニ行ク 來テ居ナイトノコトニ帰リガケタ  
處へ丁度來タ 一室ニ入り酒ヲ命ジ話ス 菅谷氏ハ國産ニナニカ云ヒタカッタコトハ豊ニ

ノ口振りニヨツテ明ラカデアッタガ本人ハアレ以上居ルト自分ノ性質上手ヲ出スオソレガアツタノデ自分デ逃ゲテ來タノダト云ツテ居タ 結局吉田氏ハ白瀧ト会見ノ結果ヲ報告ニ行ケバヨイカラ今夜ハヨソウトノコトニ其旨川口氏ニ電話シテ夕食ニ來テ貰フコトトス

兄土地ノ問題ヲ吉田カライクラデハナスカ今夜中ニ聞イテ居キタイトノコトデアッタガ、ドウセ明日白瀧氏カラスグ回答ガ

◆◆387ページ◆◆ 補遺

(386および103ページから続く)

得ラレル筈ノモノデモナイノデ其上ノコトトス。兄川口氏來館 八時半迄会食 主トシテ雑談ニ終リタゞ明日ノ交渉川口氏今後ノ調査報告書ニヨリ氣ガ又ケタカラ自分ハ行クコトヲ止メ社長自カラ當ツタラドウカトノコト 之レハ会議ノ席デモ話シガアツタノデ其時ハ吉田ニマカセタノダカラ吉田カラ行ケト云ワレタラ行クガ一寸コマルトコトワッタガ夜ノ席デモ川口氏ドウシテモ行カズ社長ト兄、岡田三人デ行ツテ呉レトノコトデソレデハ川口氏ヨリ白瀧氏へ其旨(役員会ノ決議トシテ今後ノ交渉ハ社長ガヤルコトヲ)電話シテ居イテ貰フ 八時半散会 九時帰宅

四月六日

根本的ニ会社ヲ洗ヒ出シ更生スル必要アリトシ其爲メ佐藤辨ゴ士ヲ煩シ調査シタコトニヨリ自分ト懇談ヲトゲ將來ノ道ヲ交ジタイトノコト挨拶ガアツタ。ソレカラ佐藤氏ヨリ会社創立當時ヨリ今日迄ノ事ヲ聞カレ聞取り書キノ様ナモノヲ作り自分ノ覺エダケダトテ署名捺印ヲサセラレタ 川口菅谷

◆◆388ページ◆◆ 補遺

(387ページから続く)

宮崎小西モ同様ニナス 右ノ内創立當時ノ株ノ拂込ミガ空デアッタ事 十万円ハ見セ金デ実在ノ金デナイコト。六万弍千円ハ合資会社ノ貸金デ株式会社へノ拂込ト見ナサレナイコト等ヨリ文書擬(マ)造他一二ノ罪名ガ成立スル。之レニヨレバ創立當時ノ役員ハ全部徴(マ)役ニ行カネバナラヌガ、ソレハ取ルベキ手段デナイカラ円満ニ事ヲ運ビ会社ノ更生ヲ吉田氏ニヨツテ計ルベキデアルカラ、ソレニ協力セラレタイトノコト 国産ハ以上ノ理由ニヨリ全部ノ株ト貸金ハ棒引ニスベキデアルナドノ説モアリタリ 要スルニ自分ノ見ル處ハ昨年来菅谷君ガ口ニシテ居タ国産ノ株ヲ安ク取り上ゲル手段トシテ今回ノ

計理士ノ調査ハモツケノ幸ヒト之レニヨリ半バ恐(ママ)迫的ニ安ク取ロウトスル吉田氏ノ意志ニヨリ菅谷川口ニ動イテ居ルモノト判断シタ。然ラバ其後ハドウシテ呉レルカト云フコトヲ聞ユウカト思ツタガ聞イテモ先キニ大坂ノ株ヲ出サセタ時ノ例モアルカラ大体想像ガツク

◆◆389ページ◆◆補遺

(388ページから続く)

ノデ中止シタ。国産(行ツテ居ル公正証書ハ最(ママ)非取ルベキデアルトノコトデ之レハ自分ノ責任デモアリ當然取ルベキモノデアルカラ至急取ルコトトス

国産ノ富尾兄弟ハ自分ト同ジ様ナ立場デ福西、田山、岡田ガ仕組ンダ会社創立デアツタノデ国産興業会社ハムシロ氣ノ毒ナモノト云へ様 タゞ十万円ノ内六万円先キニ出シタコトガ吉田側デハ出資ト見ナサナイトノ見解カラ国産ヲ三万円位デ泣カセ様トノ腹デナイカト想像サレル 之レハムシロ吉田氏ノ今日ノ立場資力カラ見テ弱イモノイジメト云フ事ガ云エ様 其後チニ來ルモノハ何ニカ 或ハ更ニ伊藤側ニ対シ何等カノ要求ヲナスモノト予想サレル 用心スベキデアル。福西、田村、岩間、岡田、ノ如キモノコソ会社ヨリ利益コソ得テ居リコソスレ決シテ損ハシテ居ラナイ。菅谷君モ同様デアル 菅谷氏が吉田ノ代理トシテ大キナロヲ聞クナラ、弐万株ト千円ノ金ハキ出スベキデアロウ

◆◆390ページ◆◆補遺

(389ページから続く)

川口氏ハ国産トノ交渉ヲ自分ニヤツテ呉レトノコトデアッタガ自分ハ其任ニアラザルコトニ告ゲテコトワル 菅谷ハ初メカラ佐藤辨ゴ士ヨリ田山ニ話シサセルツモリラシカッタ 要スルニ今日ノ会見ハ佐藤辨ゴ士ガ來ル迄何ンコトガ更ニ分ラナカッタ。吉田氏ノヤリロハイツモ之レデ、スツカリオ膳立テシテオイトテ最后ニ其実行ヲ自分ニ迫ルト云フヤリロデ大坂ノ株ヲ取ル時、清平ヲヤメサセル時スベテ同一筆法デアッタ 今日モ中バ恐(ママ)迫的ト感ジタガ自分ハ創立當時ノ事ニ対シテソレガ罪ニナルナラ罪ニ服スル。ソナコトヲアエテ恐レナイ 自分ニ決シテヤマシイ事ハナイカラデアアル 神佛ノ前ニチカツテハジナイ自信ヲ持ツテ居ルカラ 吉田氏ハハタシテ善人カ悪人カ 国産ニ対シテハ吉田氏ニ委任状ヲ出サセテ手ヲ引カセタコトガ何ンダカ氣ノ毒ニナツタ 事実吉田氏ノ今日ノヤリ方ハ實際自分ノコトヲ考ヘテヤツテ呉レテ居ルトシタラ有難迷惑デアアル ソレヨリモ現実ノ工場問題ヲ如何ニスルカ 宮崎君ニアトデ菅谷ダケ居タ前デ野ロカラ工場

(3900および1099ページから続く)

ノコトヲ聞イタカト聞キ六月完納スベキ仕事ニ対シ如何ニスルカラ問タガ回答ハ得ラレナ  
カッタ ソンナ製造部長ガ何ンニナルカ

尚菅谷君ノ人格ニツイテ考察スルニ今伊藤会社ノ創立ヲ非難スル前ニ自分自身第三商  
事ヲ如何ニセントシタカ 事実ハ失敗ニ終ツタガ其取ツタ手段ハ僕カラ見テ他ヲ非難スル  
資格ナキモノト認ム

四月十二日

カクテ技術部長先ヅ伊藤ノ問題ニツキ此度木下ノアツセンニヨリ有力ナル出資者アリ  
之レヲ援助スルコト如何トノ答ニ佐藤少将マツ讚(ママ)成意見ヲノベ将来製造迄ヤラセ  
ルト云ワレタ由 之レニ対シ工政課長ハ今ソレハ決定サレテハコマルガ先キノ話シナラサシ  
ツカエナシ 修理ニヨル 援助ハ讚(ママ)成 乗員課長モ異議ナク器材課長モトヨリ推撰  
(ママ)シタ位ニツキ讚(ママ)成タチマチ決定 木下氏ニモ謝意ヲ述ベラレタル由 以上ノ  
報告ニテ話シハ決定 五十万円ノ金六用意シテアルカラ成ベク來週中ニ株ノ方決定サレ  
タシトノコトデ分レテ帰ル 十時半帰宅。国産公正証書取消シニ應ゼズ特別ノ手段ヲ  
取ル必要アリ



▲▼405ページ▲▼ 手控

時計番号 15-6-27購入

スイス製5041号16石 クローム側五分一秒針付 85

帽子寸法 6.3/4

カラー寸法 14.1/2